

組立・施工説明書

ソレイド テラス囲い 床仕様



改訂

・墨出し位置を変更しました。

《お願い》

商品の組立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組立方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組立て、施工を行ってください。

もくじ
安全にお取り扱い
いただくために

施工前の準備

基礎工事の準備

本体フレームの施工

屋根部の施工

基礎工事

開口部の施工

床部の施工

雨樋の施工

切断・加工要領図

姿図・商品断面図

'20-9 月 発行

はじめにお読みください



このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向けの取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 本説明書は、「ソレイド テラス囲い 床仕様」の組立て、施工について説明しています。








本書内の表記

- 商品の組立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。
内容をよくご理解のうえ、商品の組立て、施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表記	意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お願い	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

その他の表記

表記	意味
 改訂	商品や作業に変更があったことを示しています。 必ず変更点を確認のうえ、作業を行ってください。
 ご注意	作業上の注意して頂きたい内容を示しています。
 Check	確認して頂きたい内容を示しています。
 ポイント	商品の組立・施工を行う際の作業のポイントを示しています。
 電気工事	電気工事士の資格を有する方が行う作業を示しています。
 電動ドライバー禁止	電動ドライバーを使用してはいけないことを示しています。
 シーリング材	必ずシーリングを行って頂きたい箇所を示しています。

もくじ	P.1
安全にお取扱いいただくために	P.2
施工前の準備	P.3
作業前の確認	P.4
墨出し	P.7
基礎工事の準備	P.13
基礎の掘削	P.14
本体フレームの施工	P.17
壁面部材の施工	P.18
本体フレームの施工	P.29
屋根部の施工	P.59
屋根部の施工（上から施工の場合）	P.60
屋根部の施工（下から施工の場合）	P.73
妻 FIX 部の施工	P.85
基礎工事	P.97
基礎（柱・束）の固定	P.98
開口部の施工	P.99
作業前の確認	P.100
掃出しサッシ（床）・高窓の施工	P.101
連窓の施工	P.151
壁 FIX の施工	P.153
ドアの施工	P.160
床部の施工	P.171
床部の施工	P.172
雨樋の施工	P.185
雨樋の取付	P.186
切断・加工要領図	P.187
切詰め	P.188
姿図・商品断面図	P.197
根太掛けセット（基本仕様）	P.198
大引きセット（オプション仕様）	P.206
開口部	P.214

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 注意

- 本商品の組立て、取付けは、所定のボルト・ねじを使用し最後まで確実に締付けてください。締付け不良は漏水や事故につながるおそれがあります。
- 取付けは、柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず取付けてください。商品の破損や部材の脱落につながるおそれがあります。
- コーチねじの取付けは所定の下穴を必ずあけてください。
- 経年劣化などで構造材が損傷している場合は、お施主様と打合せをし、復旧、補強工事を行ってから商品を取付けてください。
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。組立不良は漏水につながるおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水につながるおそれがあります。
- 外壁と商品とのシーリングは、プライマーを塗布し、変成シリコン系シーリング材をご使用ください(別途手配品)。漏水につながるおそれがあります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材をご使用ください(別途手配品)。ポリカーボネート板の接着不良やひび割れにつながるおそれがあります。
- アルミ部材は鉄などの異種金属との接触で腐食が進行します。必要に応じて塗料、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- テラス囲い屋根の上に乗らないでください。商品が破損したり、転落によりケガをしたりするおそれがあります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組立て、取付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。

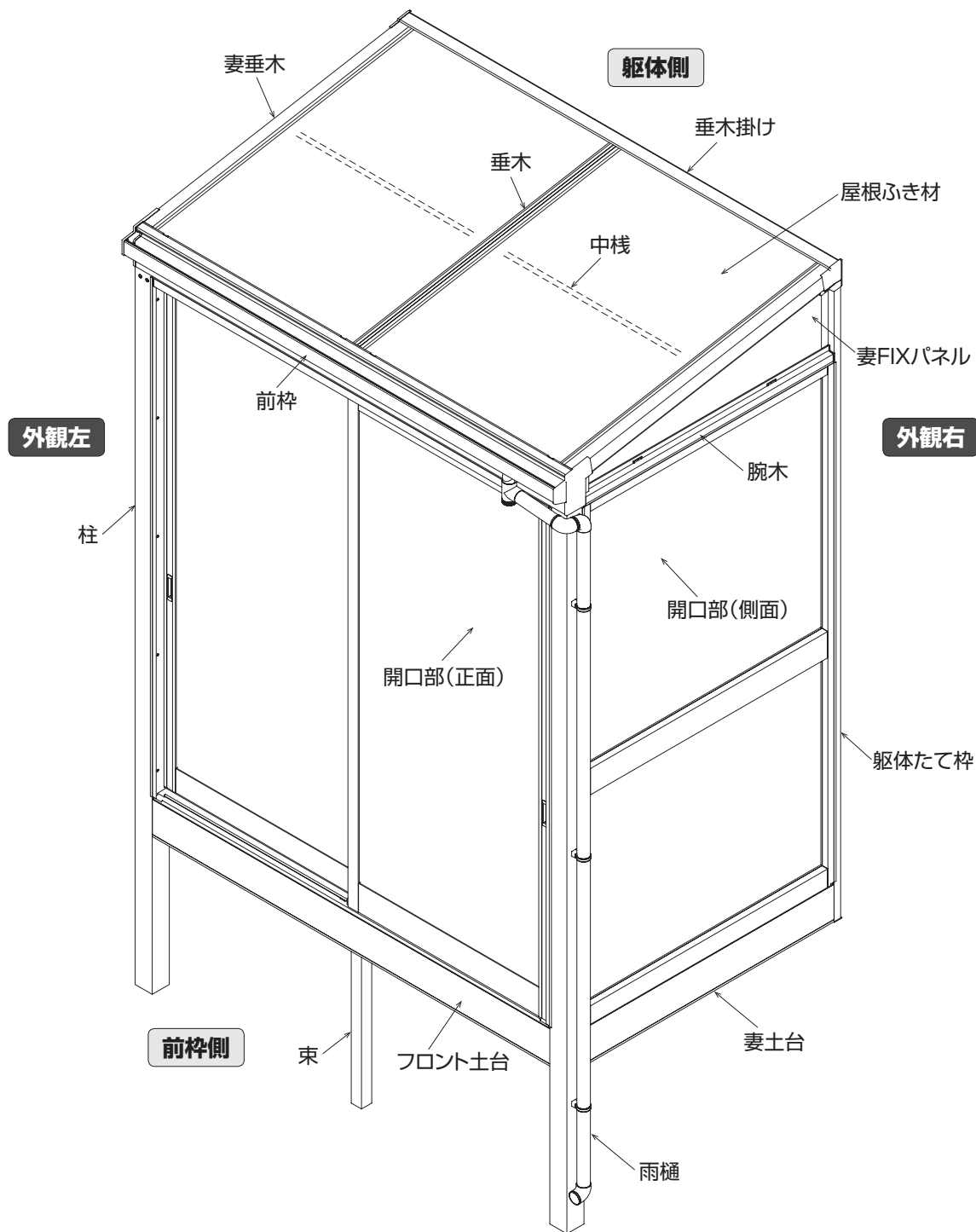
施工前の準備

作業前の確認	P.4
全体構成図.....	P.4
施工手順.....	P.5
墨出し	P.7
壁面部材の墨出し.....	P.7
基礎の墨出し.....	P.10

作業前の確認

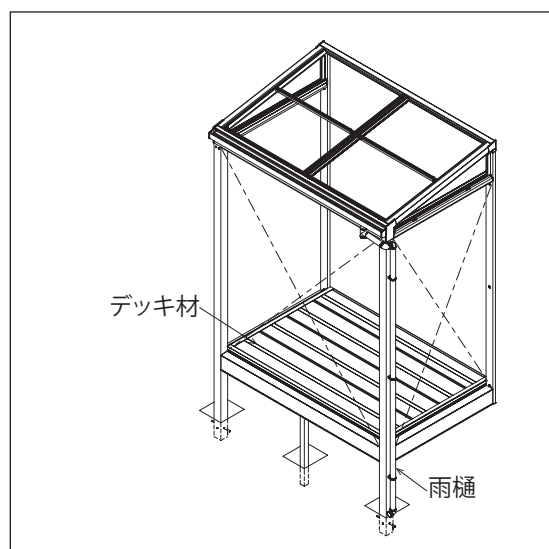
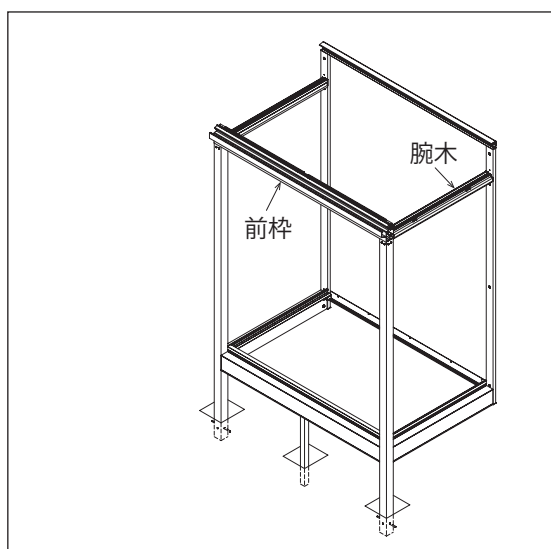
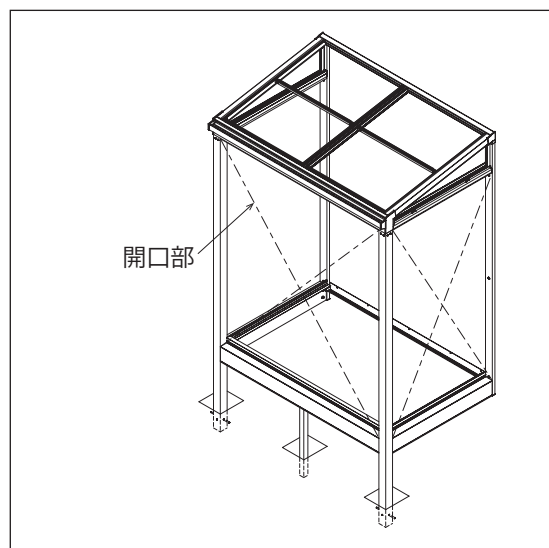
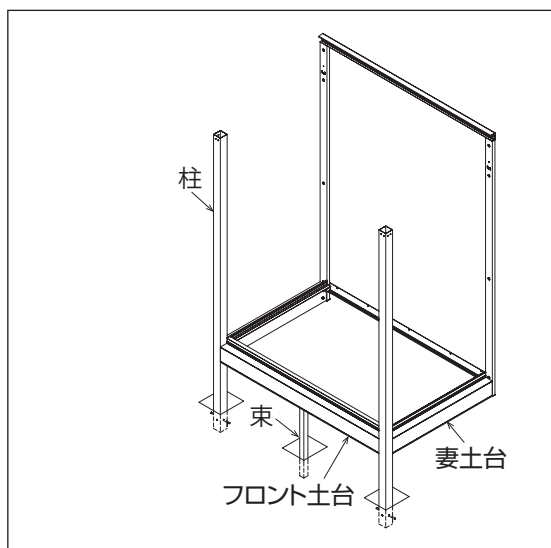
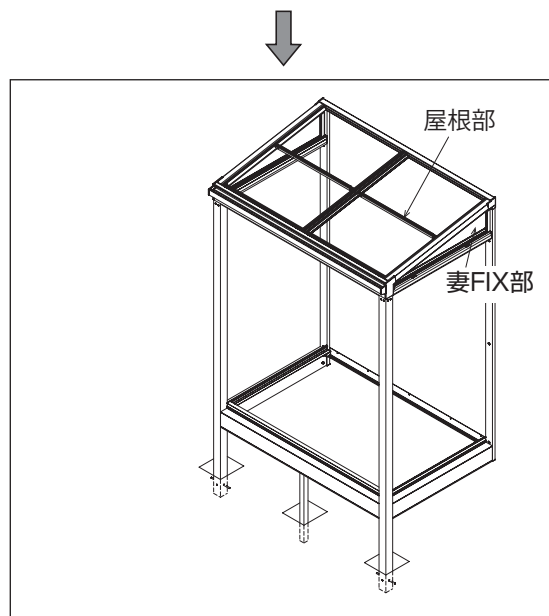
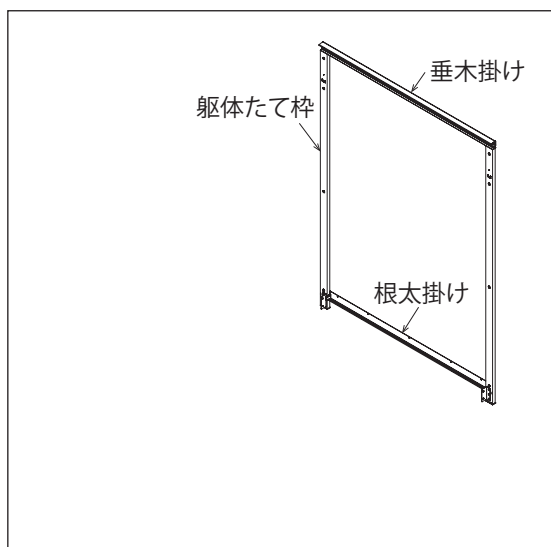
全体構成図

施工前の準備



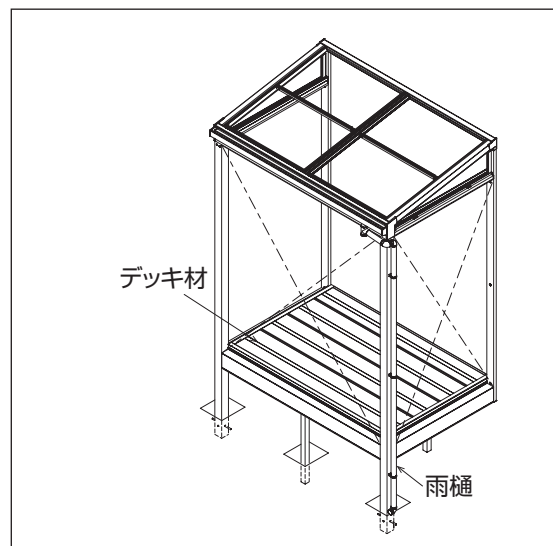
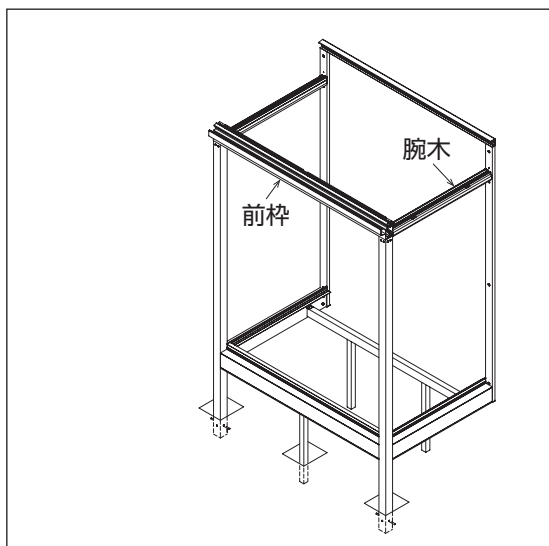
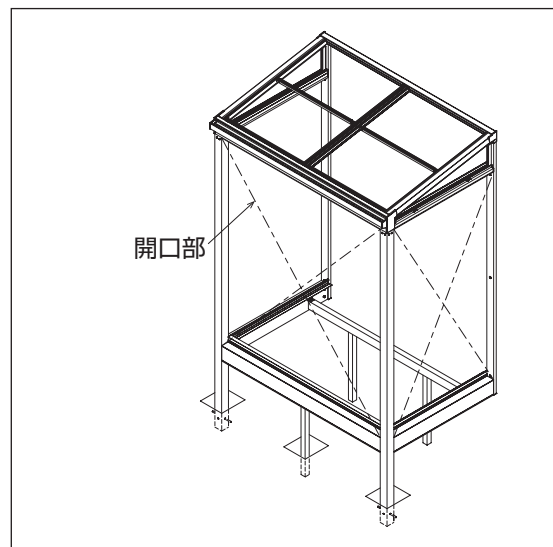
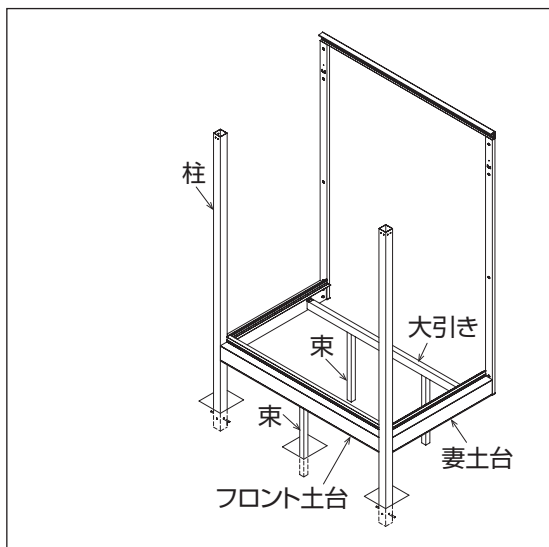
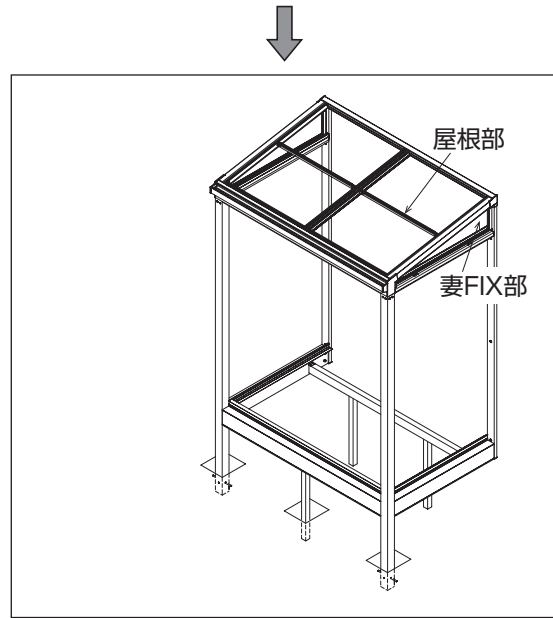
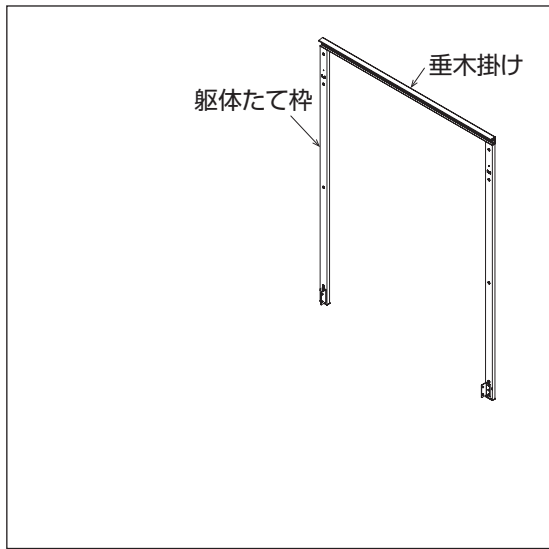
施工手順

《根太掛けセット（基本仕様）》



《大引きセット (オプション仕様) 》

施工前の準備



壁面部材の墨出し

根太掛けの墨出し

根太掛けセット（基本仕様）の場合

1. 根太掛けの墨出しを行ってください。（P.8【寸法図】参照）



- 根太掛けセット場合、根太掛けが取付けの基準となります。水平・垂直は確実にししてください。
- デッキ仕上げ面から根太掛け下面までが105mm以下の場合、根太掛けが取付きません。（P.8【寸法図】参照）大引きセットを使用して納めてください。
- <連棟用>は必ず外観右側に墨出しを行ってください。外観左側には取付けできません。
- ジョイントテラス<連棟用>は、外観右左の設定があります。必要に応じて墨出しを行ってください。

躯体たて枠の墨出し

1. 躯体たて枠の墨出しを行ってください。（P.8【寸法図】参照）



- 大引きセットの場合、躯体たて枠が取付けの基準となります。水平垂直は確実にししてください。

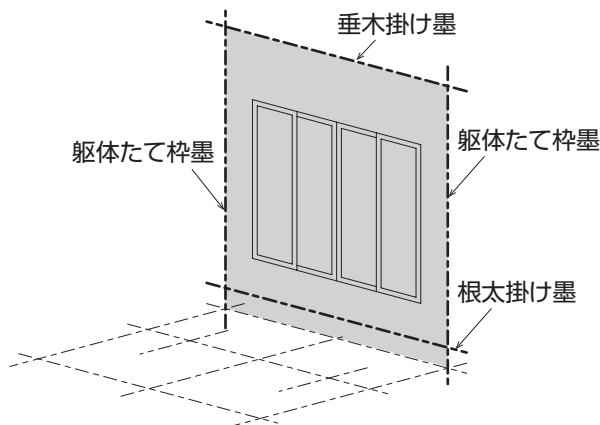
垂木掛けの墨出し

1. 垂木掛けの墨出しを行ってください。（P.8【寸法図】参照）

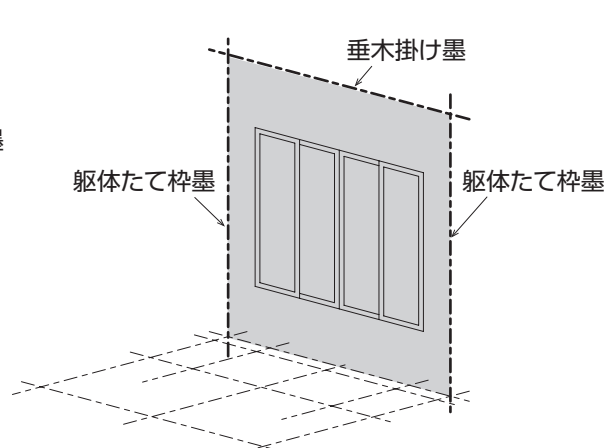


- <連棟用>は必ず外観右側に墨出しを行ってください。外観左側には取付けできません。
- ジョイントテラス<連棟用>は、外観右左の設定があります。必要に応じて墨出しを行ってください。

《根太掛けセット（基本仕様）》

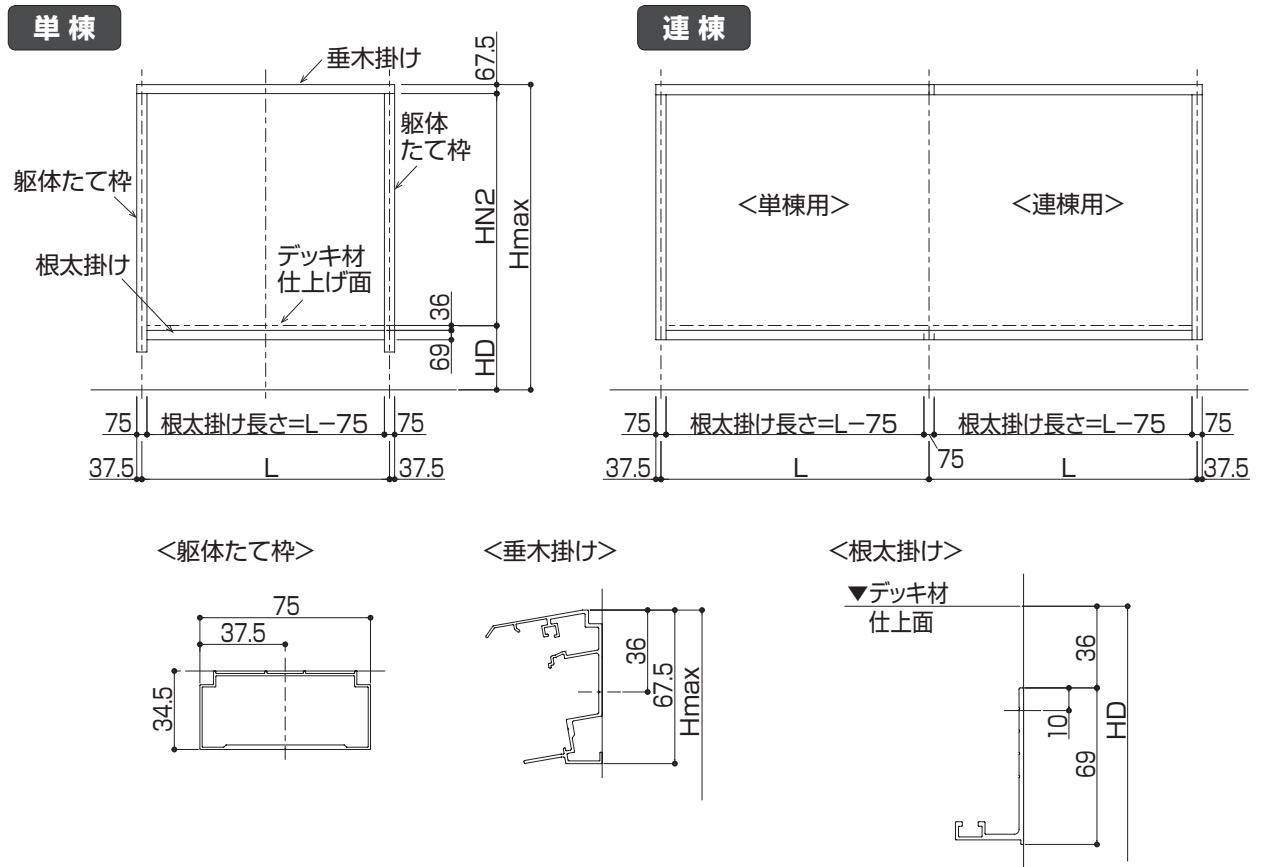


《大引きセット（オプション仕様）》

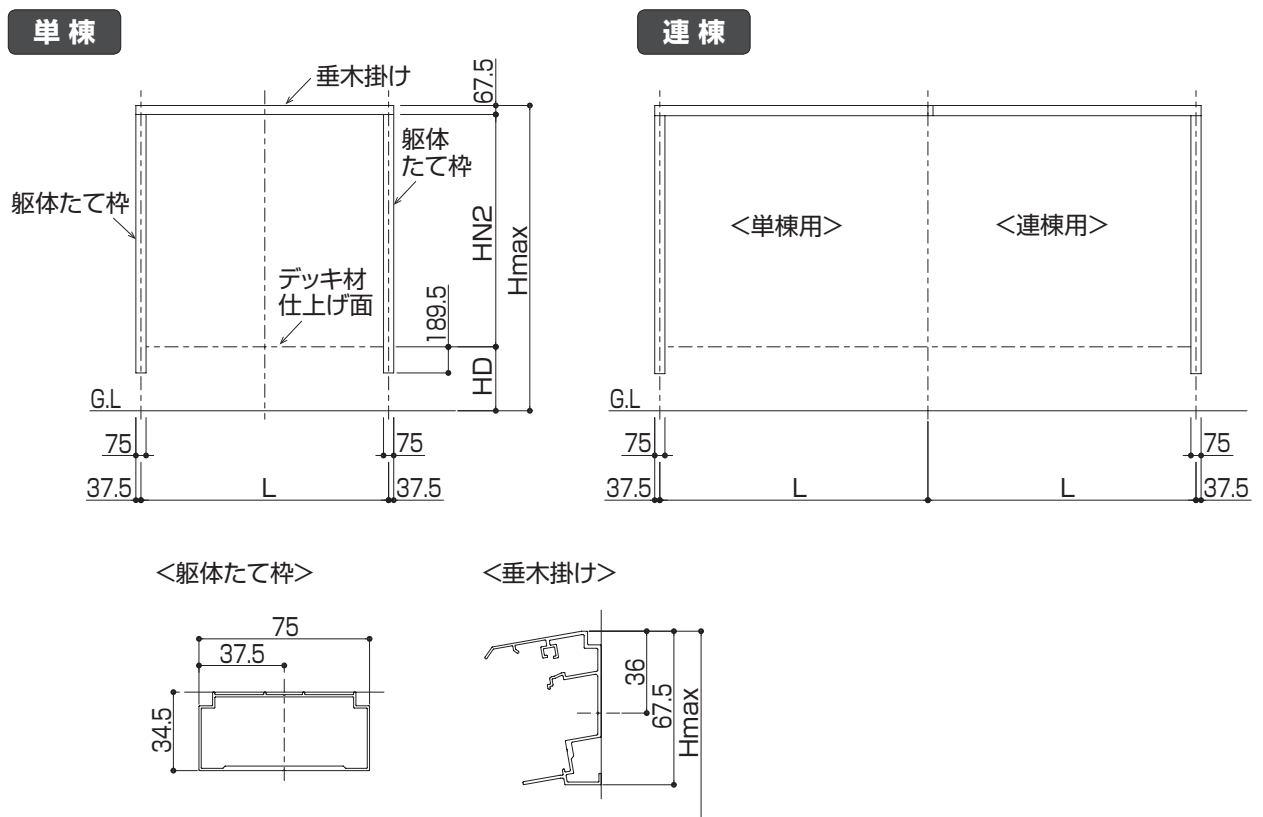


【寸法図】

《根太掛けセット（基本仕様）》



《大引きセット（オプション仕様）》



(単位：mm)

耐荷重性能	屋根形状	呼称出幅	D	ランマなし			ハイサッシ			ランマ付き		
				標準	床下ロング	HN2	標準	床下ロング	HN2	標準	床下ロング	HN2
				Hmax	Hmax		Hmax	Hmax		Hmax	Hmax	
600(N/m)	Fタイプ	3尺	870	2810.8	3210.8	2185.8	3010.8	3410.8	2385.8	3323.8	3723.8	2698.8
		4尺	1170	2863.7	3263.7	2238.7	3063.7	3463.7	2438.7	3376.7	3776.7	2751.7
		5尺	1470	2916.6	3316.6	2291.6	3116.6	3516.6	2491.6	3429.6	3829.6	2804.6
		6尺	1770	2969.5	3369.5	2344.5	3169.5	3569.5	2544.5	3482.5	3882.5	2857.5
		7尺	2070	3022.4	3422.4	2397.4	3222.4	3622.4	2597.4	3535.4	3935.4	2910.4
		8尺	2370	3075.3	3475.3	2450.3	3275.3	3675.3	2650.3	3588.3	3988.3	2963.3
1500(N/m)	Rタイプ	3尺	870	2956.2	3356.2	2331.2	3156.2	3556.2	2531.2	3469.2	3869.2	2844.2
		4尺	1170	3009.1	3409.1	2384.1	3209.1	3609.1	2584.1	3522.1	3922.1	2897.1
		5尺	1470	3062.0	3462.0	2437.0	3262.0	3662.0	2637.0	3575.0	3975.0	2950.0
		6尺	1770	3114.9	3514.9	2489.9	3314.9	3714.9	2689.9	3627.9	4027.9	3002.9
		7尺	2070	3167.8	3567.8	2542.8	3367.8	3767.8	2742.8	3680.8	4080.8	3055.8
		8尺	2370	3220.7	3620.7	2595.7	3420.7	3820.7	2795.7	3733.7	4133.7	3108.7
		9尺	2670	3273.6	3673.6	2648.6	3473.6	3873.6	2848.6	3786.6	4186.6	3161.6

	HD
標準	557.5
床下ロング	957.5

呼称間口	L	屋根幅
1.0間	1820	1895
1.5間	2730	2805
2.0間	3640	3715

基礎の墨出し

柱の墨出し

1. 柱の墨出しを行ってください。

束の墨出し

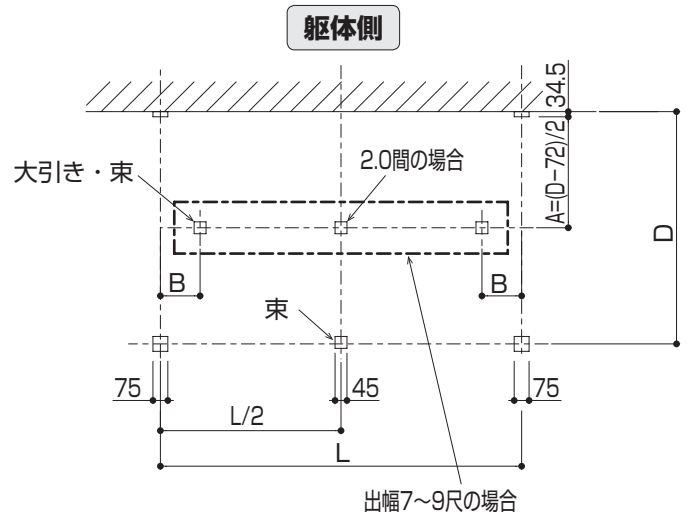
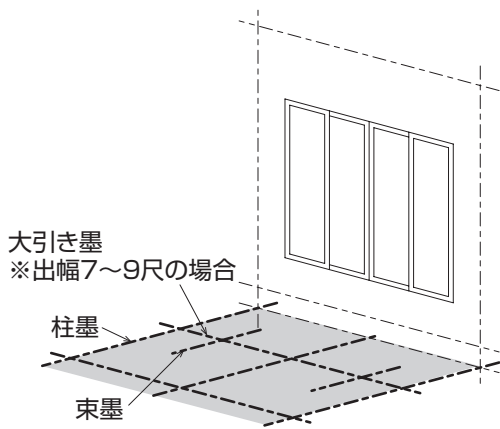
根太掛けセット（基本仕様） 出幅 3～6 尺の場合

1. 束(フロント土台用)の墨出しを行ってください。

根太掛けセット（基本仕様） 出幅 7～9 尺の場合

1. 束(フロント土台用)の墨出しを行ってください。

2. 束(出幅方向中央部の大引き用)の墨出しを行ってください。



呼称出幅	D	A	B	
			1.0間	1.5間・2.0間
3R	870	-	-	-
4R	1170	-	-	-
5R	1470	-	-	-
6R	1770	-	-	-
7R	2070	999	500	750
8R	2370	1149	500	750
9R	2670	1299	500	750

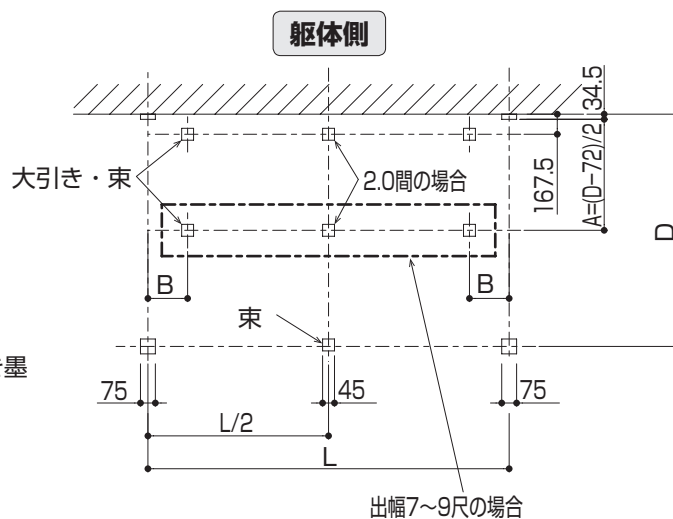
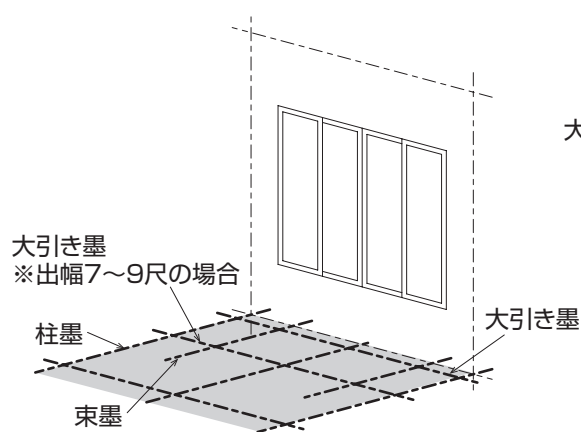
(単位：mm)

大引きセット (オプション仕様) 出幅3~6尺の場合

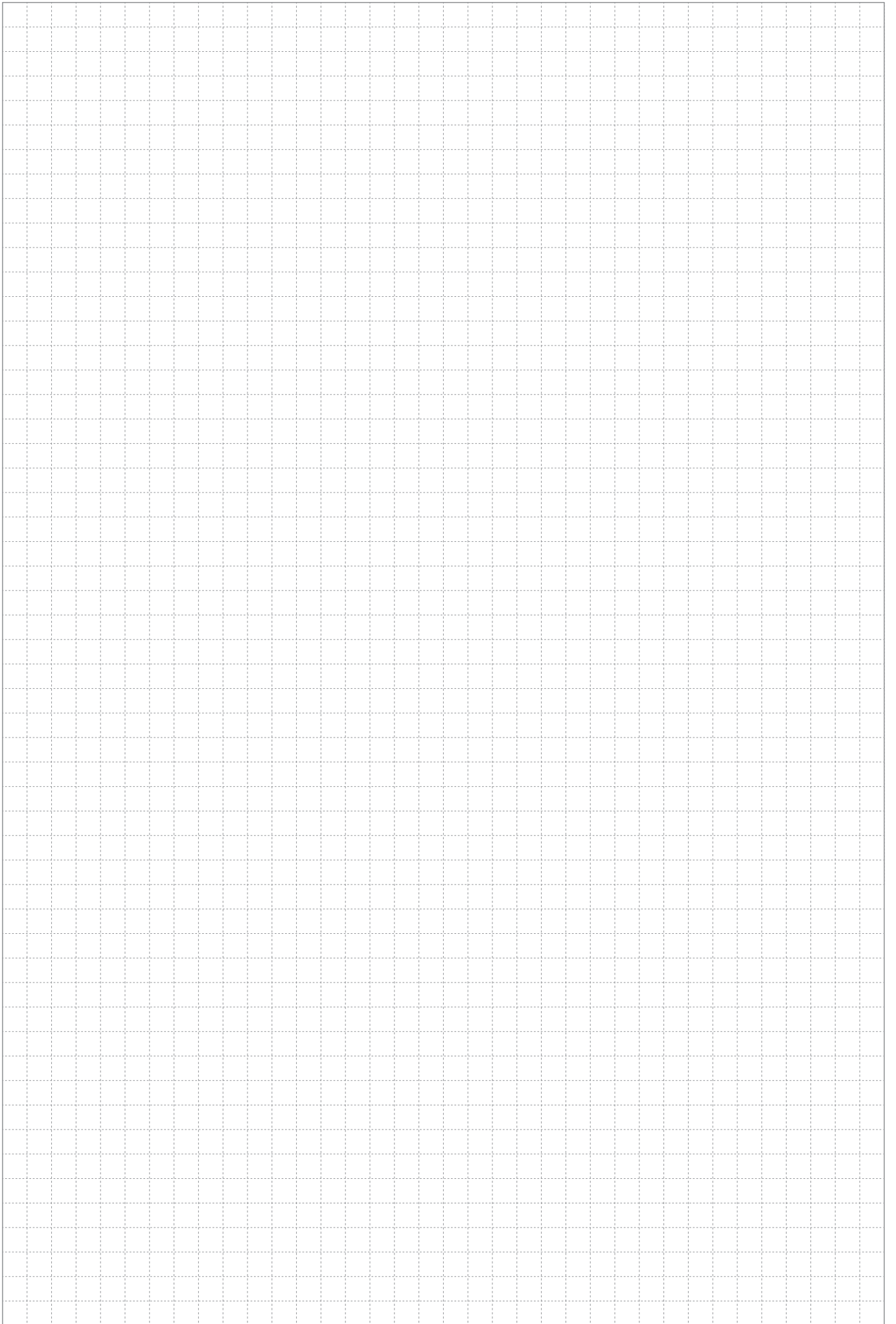
1. 束(フロント土台用)の墨出しを行ってください。
2. 束(出幅方向躯体側の大引き用)の墨出しを行ってください。

大引きセット (オプション仕様) 出幅7~9尺の場合

1. 束(フロント土台用)の墨出しを行ってください。
2. 束(出幅方向躯体側の大引き用)の墨出しを行ってください。
3. 束(出幅方向中央部の大引き用)の墨出しを行ってください。



呼称出幅	D	A	B	
			1.0間	1.5間・2.0間
3尺	870	-	-	-
4尺	1170	-	-	-
5尺	1470	-	-	-
6尺	1770	-	-	-
7尺	2070	999	500	750
8尺	2370	1149	500	750
9尺	2670	1299	500	750



基礎工事の準備

基礎の掘削.....	P.14
基礎の掘削.....	P.14

基礎の掘削

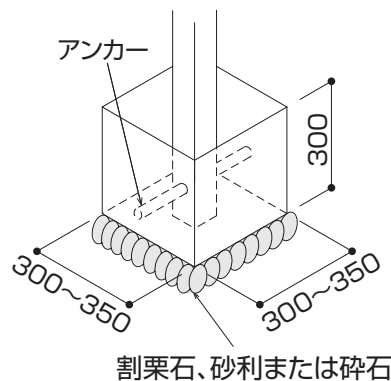
⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。
地盤の支持力が得られず、商品が沈下し、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。
地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

基礎の掘削

基礎の穴掘り

1. 図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。



■ 単棟 ※柱深さ 300mm

耐荷重性能	600・1500N/m ²		
呼称間口	1.0間	1.5間	2.0間
3尺	300	300	300
4尺			
5尺			
6尺			
7尺			
8尺			
9尺			

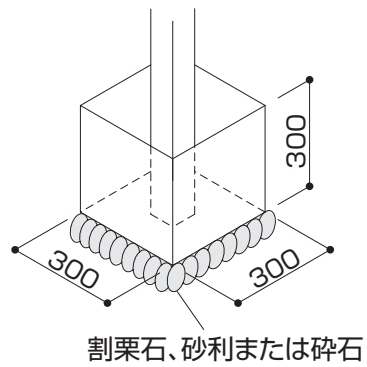
■ 連棟 ※柱深さ 300mm

耐荷重性能	600N/m ²			
呼称間口	2.5間 (1.5間+1.0間)	3.0間 (1.5間+1.5間)	3.5間 (1.5間+2.0間)	4.0間 (2.0間+2.0間)
3尺	300	300	300	300
4尺				
5尺				
6尺				
7尺				
8尺				
9尺				

耐荷重性能	1500N/m ²			
呼称間口	2.5間 (1.5間+1.0間)	3.0間 (1.5間+1.5間)	3.5間 (1.5間+2.0間)	4.0間 (2.0間+2.0間)
3尺	300	300	300	300
4尺				
5尺				
6尺				
7尺				
8尺				
9尺				350

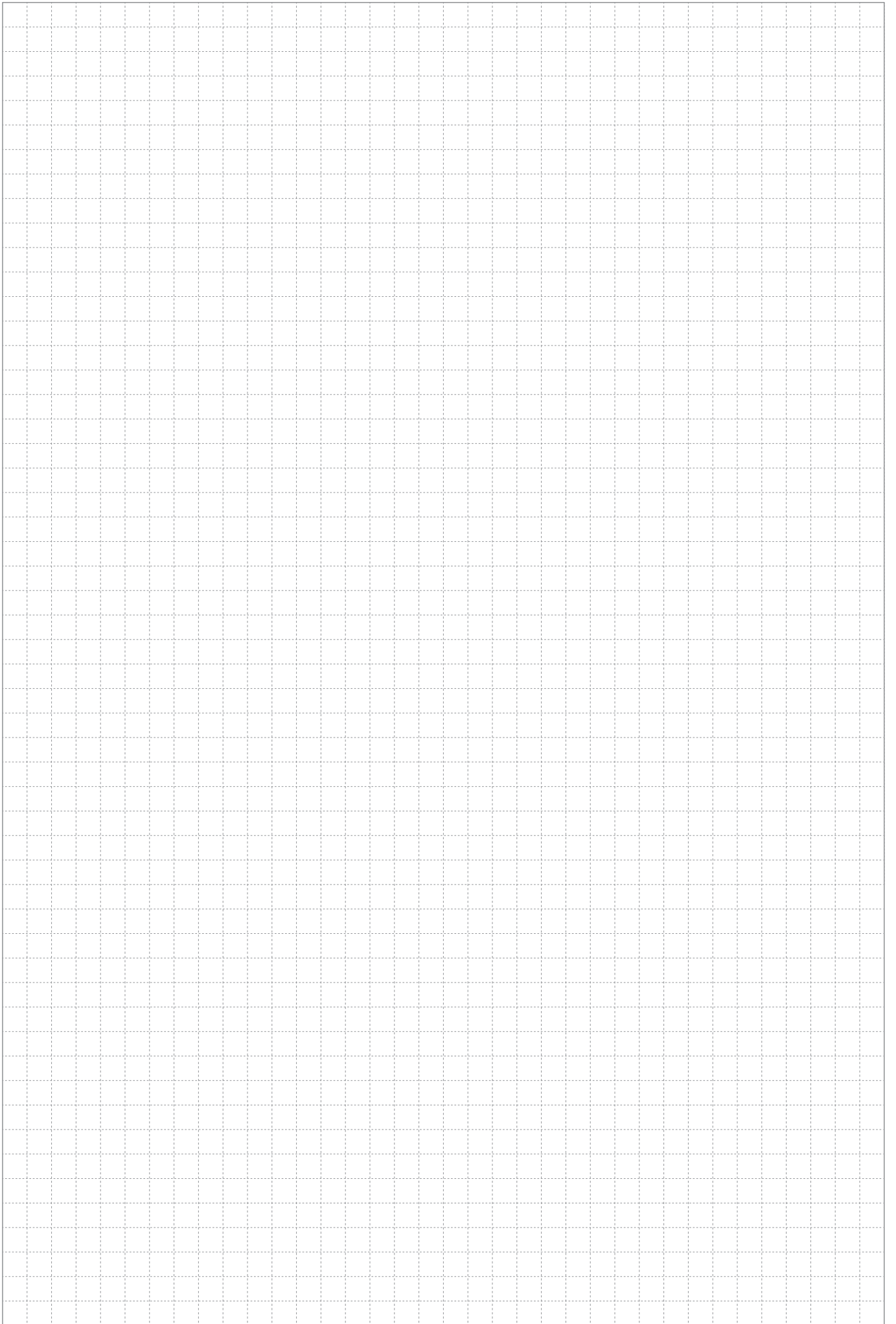
(単位：mm)

2. 図を参考に、束の基礎穴をあけてください。



割栗石・砂利、碎石の敷き均し

1. 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



本体フレームの施工

壁面部材の施工P.18

垂木掛けの加工 P.18

垂木掛け・躯体たて枠の部品付 P.19

壁面部材の取付 P.21

躯体たて枠・垂木掛けのシーリング P.28

本体フレームの施工P.29

柱・妻土台・前枠・中間根太の加工 P.29

前枠・柱・束・大引き・腕木の部品付 P.33

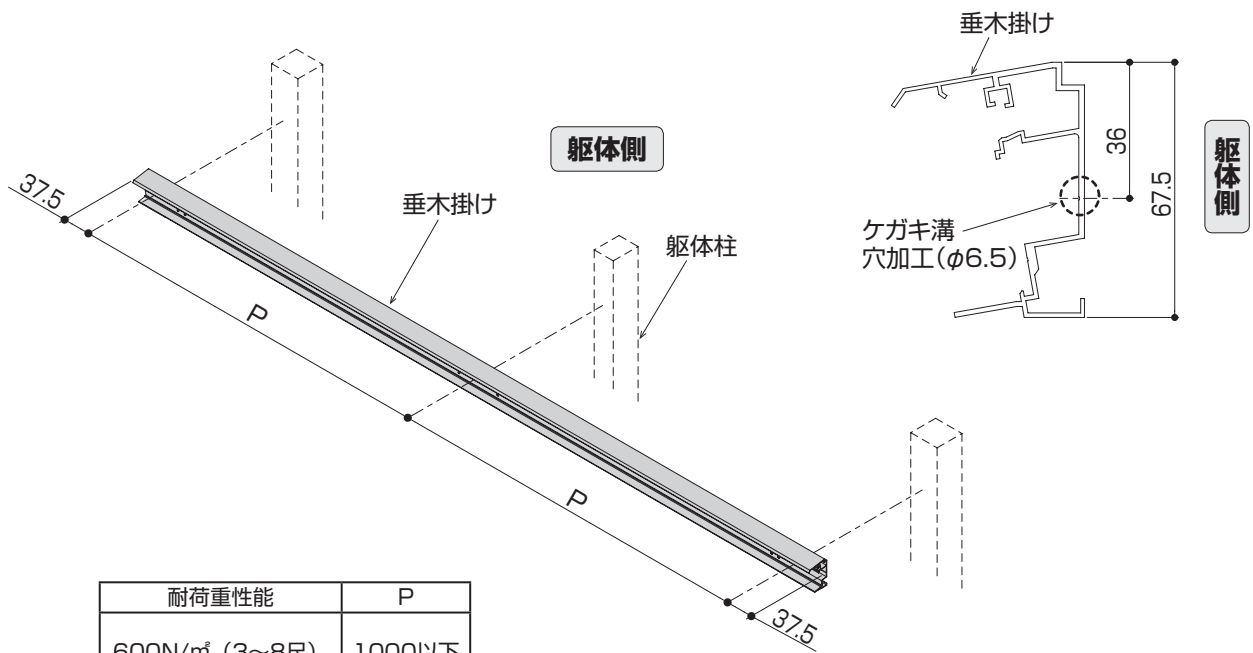
妻土台・フロント土台・大引きの組立 P.41

本体フレームの取付 P.43

壁面部材の施工

垂木掛けの加工

1. 躯体柱の位置にあわせ、垂木掛けに穴($\phi 6.5$)をあけてください。



耐荷重性能	P
600N/m ² (3~8尺)	1000以下
600N/m ² (9尺) 1500N/m ²	500以下

本体フレームの施工

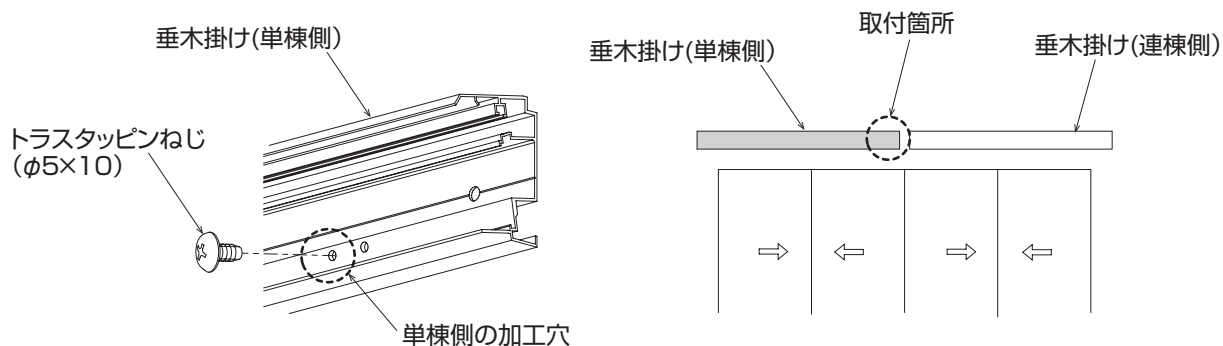
(単位：mm)

垂木掛け・躯体たて枠の部品付

垂木掛けの部品付

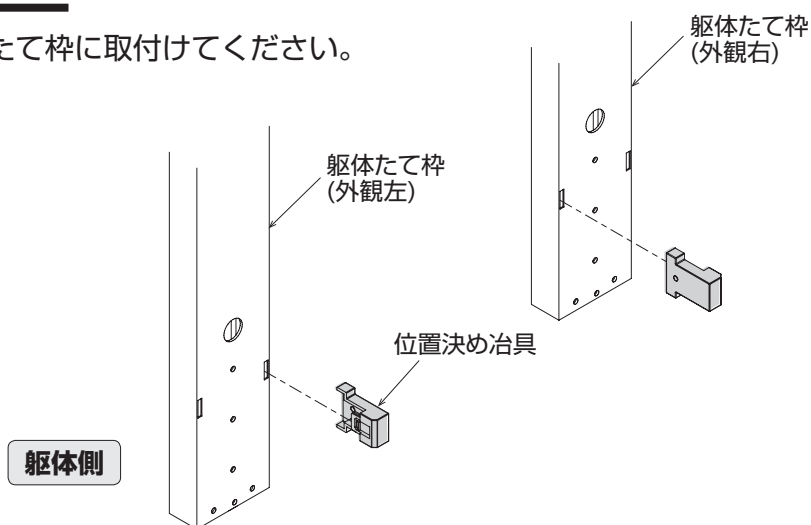
連棟の場合

1. 単棟側の垂木掛けの加工穴（○部）にトラスタッピンねじを取付けてください。

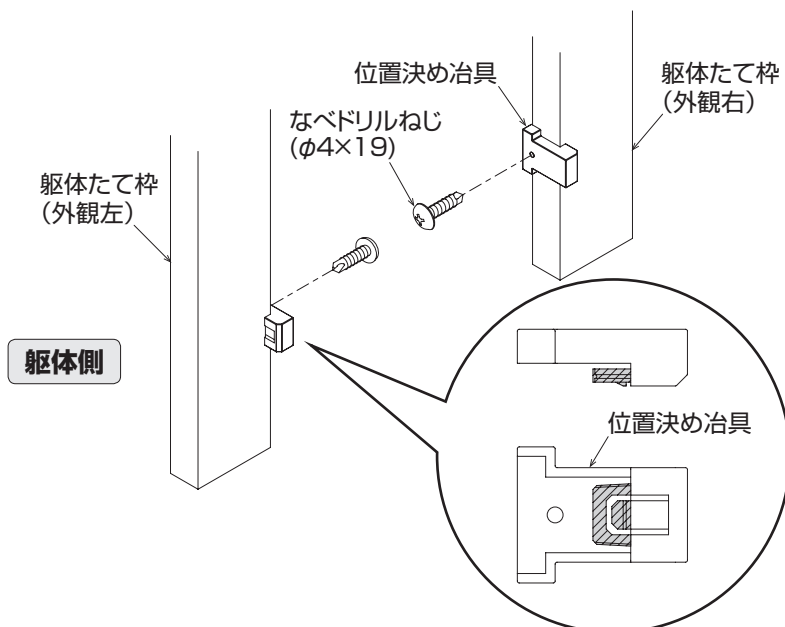


躯体たて枠の部品付

1. 位置決め治具を躯体たて枠に取付けてください。

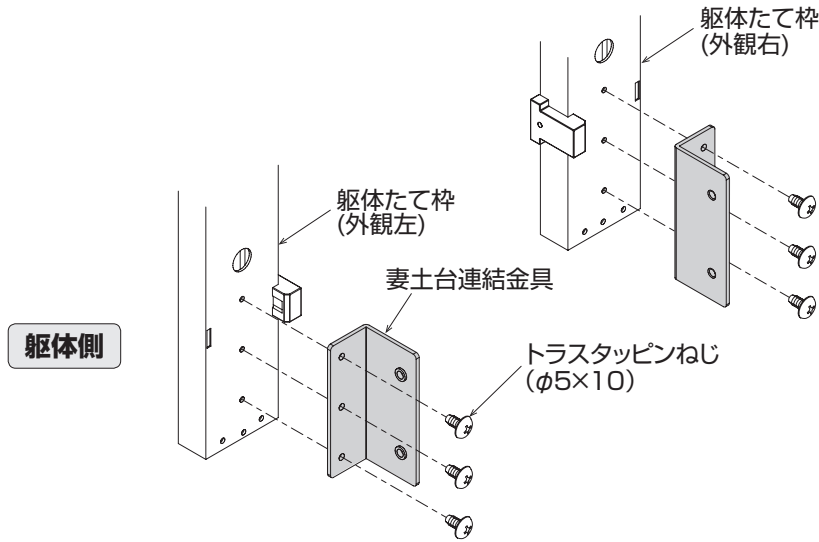


• 躯体たて枠を切詰めた場合、位置決め治具の斜線部を切欠き、ねじで固定してください。

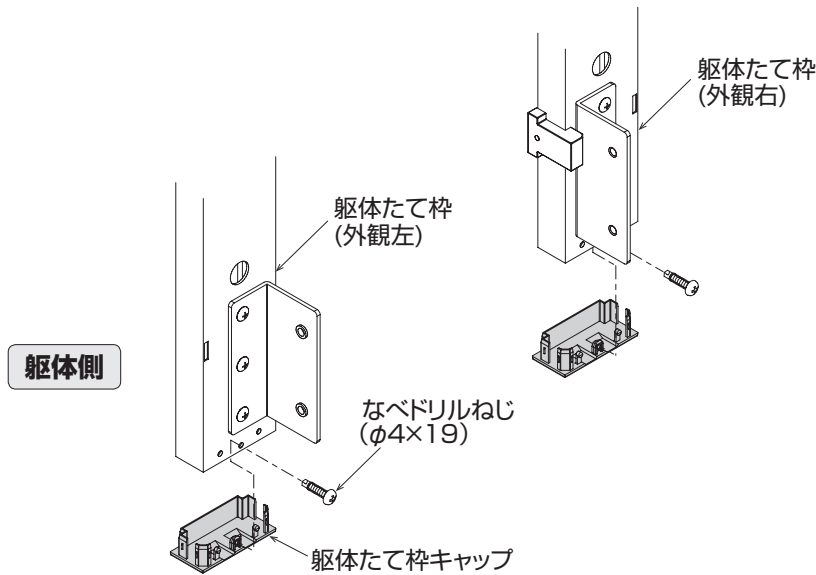


(単位：mm)

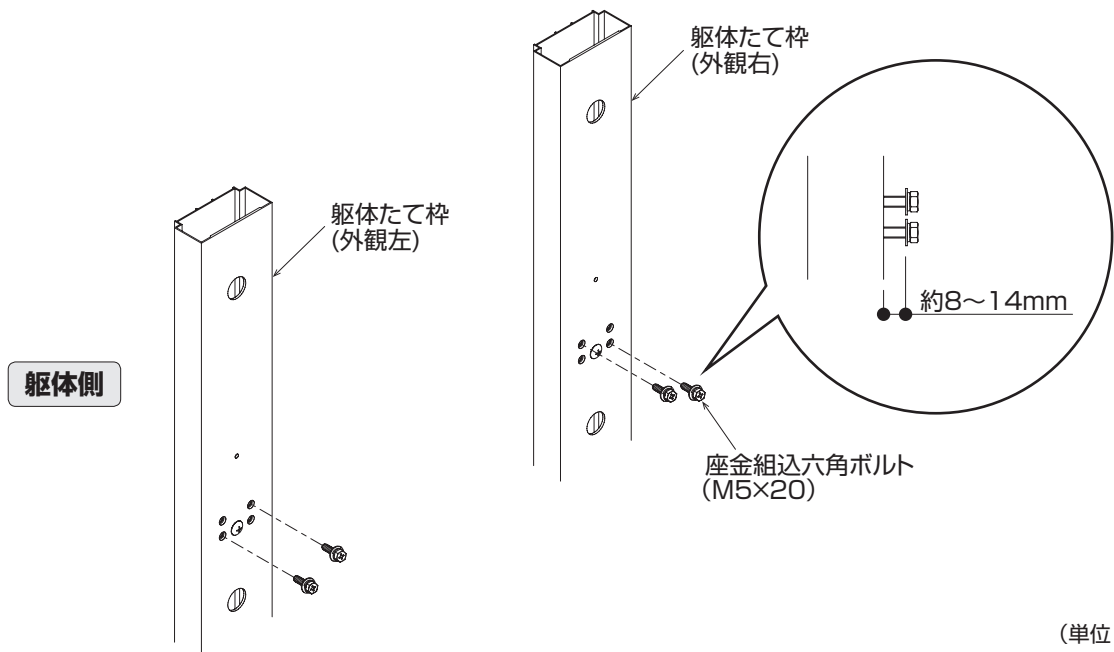
2.妻土台連結金具を躯体たて枠に取付けてください。



3.躯体たて枠キャップを躯体たて枠に取付けてください。



4.座金組込六角ボルトを躯体たて枠に仮留めしてください。



(単位：mm)

壁面部材の取付

⚠ 注意

- 同梱しているコーチねじの長さは90mmです。取付先の壁厚を確認し、内壁を傷めそうな場合は長さ75mmのコーチねじを使用してください。（別途手配品）
- 躯体にあけた下穴に確実にシーリング材を充てんしてください。
- コーチねじは確実にねじ込んでください。

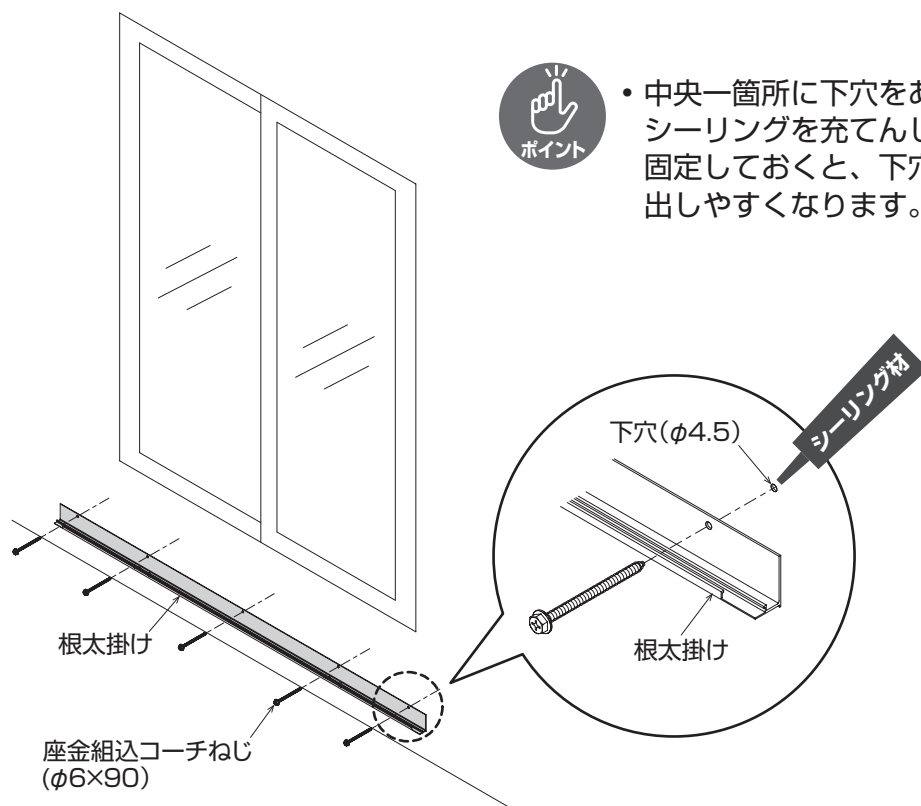


- 取付面(外壁)の凹凸や倒れこみ、土台水切との段差によって生じるすき間は現地で調整してください。

根太掛けの取付

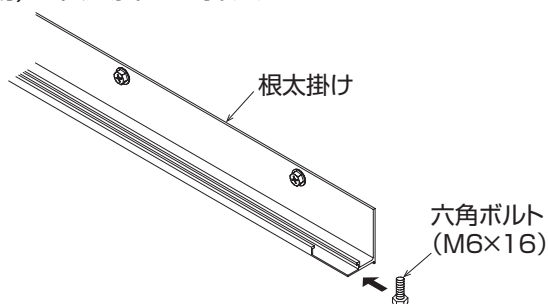
根太掛けセット（基本仕様） 単棟の場合

1. 根太掛けの加工穴位置にあわせ、躯体到下穴(φ4.5)をあけてください。
2. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
3. 根太掛けを躯体に取付けてください。



- 中央一箇所に下穴をあけ、シーリングを充てんした上で固定しておくと、下穴の位置が出しやすくなります。

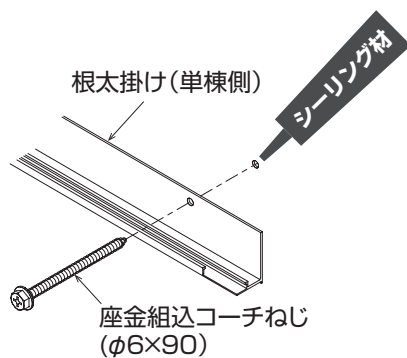
4. 六角ボルト(根太固定用)を根太掛けに挿入してください。



(単位：mm)

根太掛けセット（基本仕様） 連棟の場合

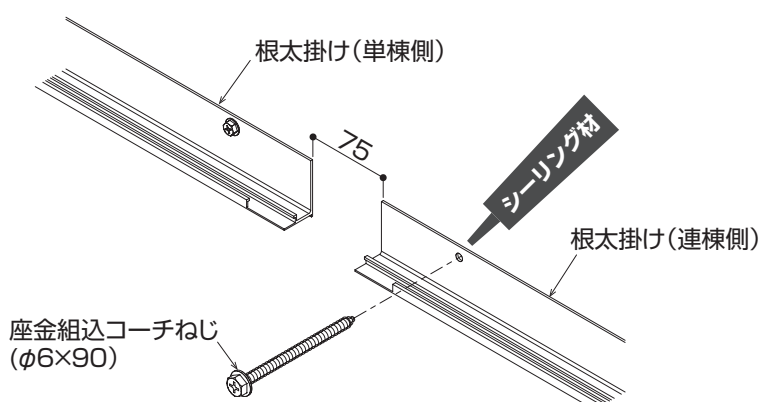
1. 単棟側の根太掛けを単棟の場合と同様に取付けてください。



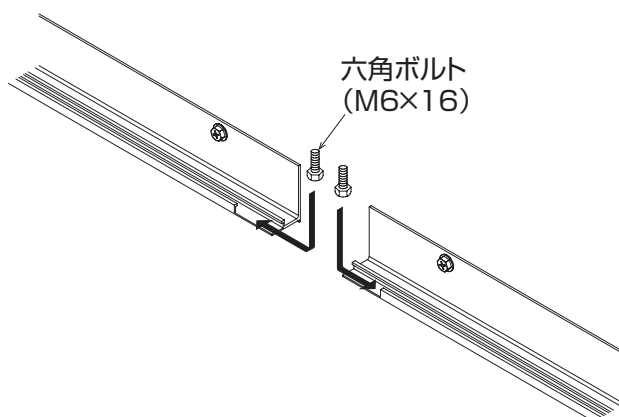
2. 連棟側の根太掛けを単棟側と同様に取付けてください。



• 連棟部は中間根太連結金具取付け用に75mmのすき間をあけてください。



3. 六角ボルト（根太固定用）を根太掛けに挿入してください。

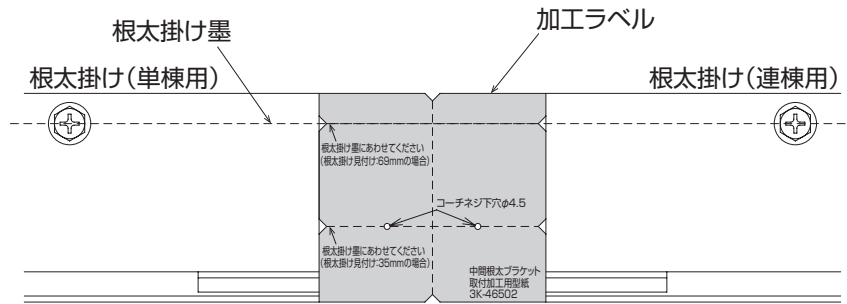


(単位：mm)

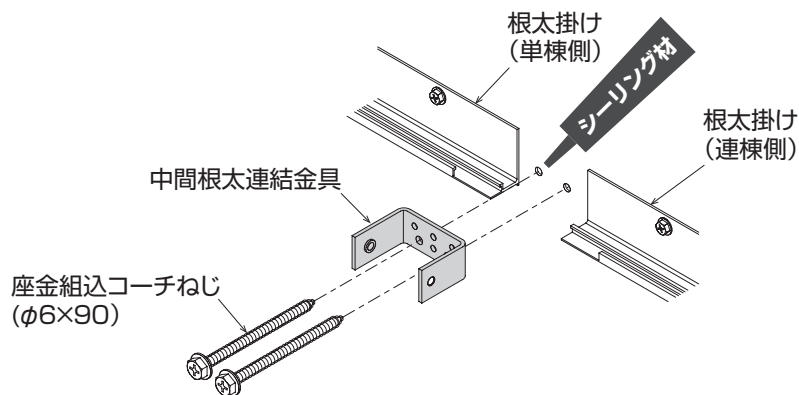
中間根太連結金具の取付

根太掛けセット（基本仕様） 連棟の場合

- 1.加工ラベルを根太掛け墨にあわせ、配置してください。
- 2.加工ラベルの穴位置にあわせ、躯体に下穴(φ4.5)をあけてください。

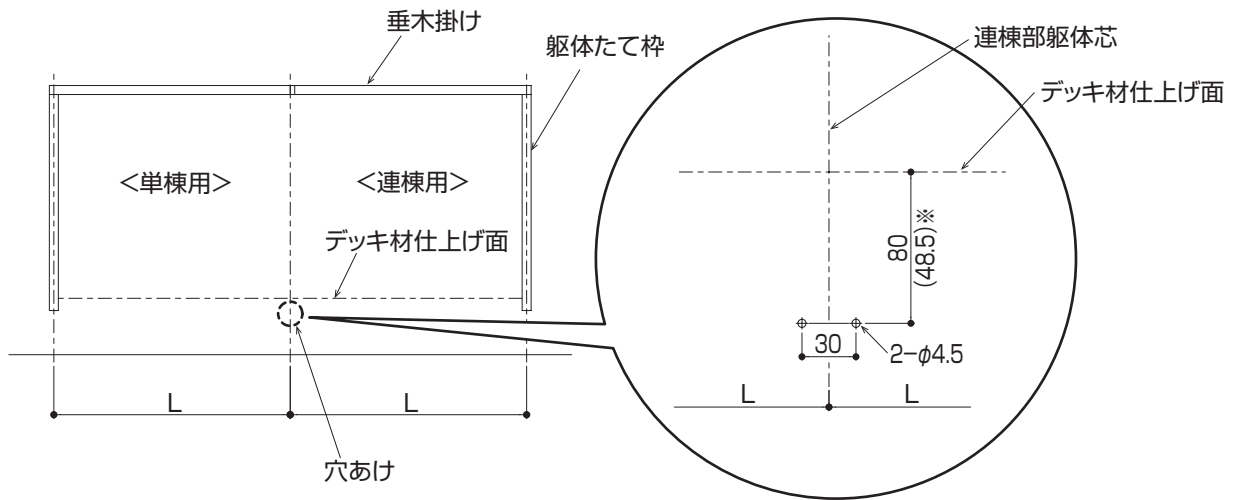


- 3.下穴にシーリング材を充てんしてください。
- 4.中間根太連結金具を躯体に取付けてください。



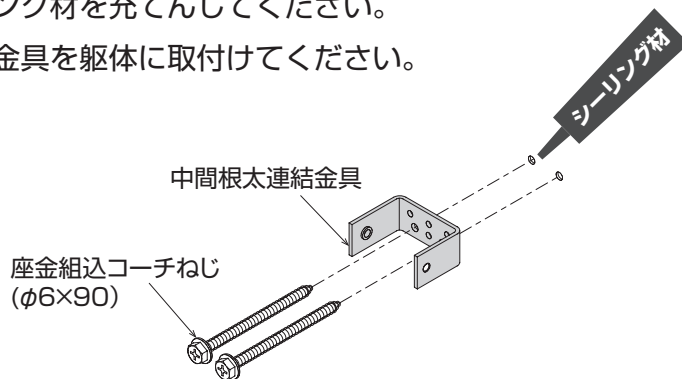
大引きセット (オプション仕様) 連棟の場合

1. 躯体に下穴(φ4.5)をあけてください。



※標準位置 (80) で施工できない場合、48.5 で穴をあけてください。

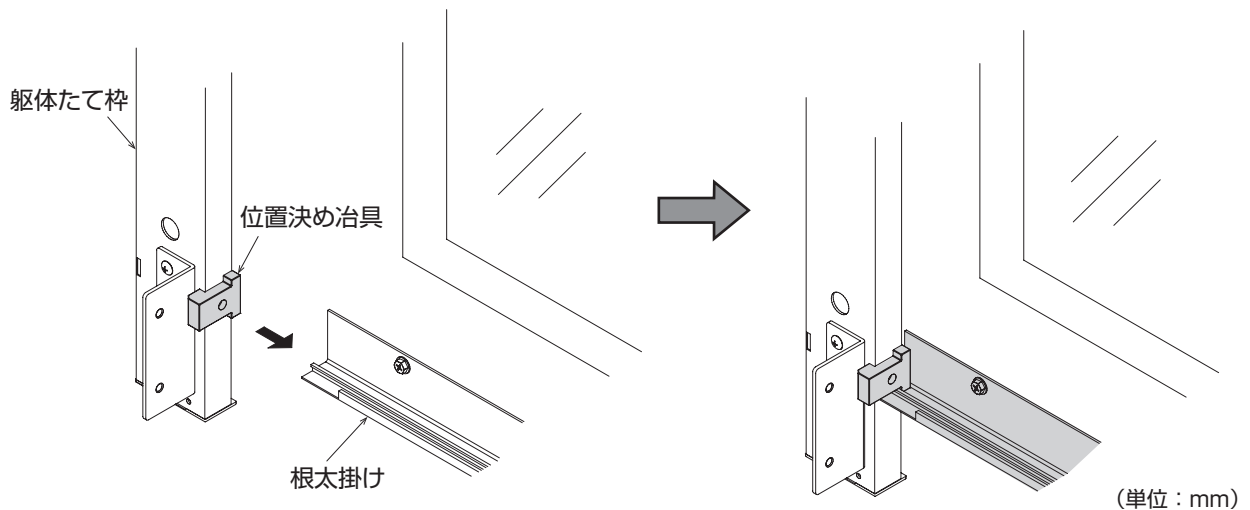
- 2. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
- 3. 中間根太連結金具を躯体に取付けてください。



躯体たて枠の位置決め

根太掛けセット (基本仕様) の場合

1. 位置決め治具を根太掛けにのせ、躯体たて枠を位置決めしてください。



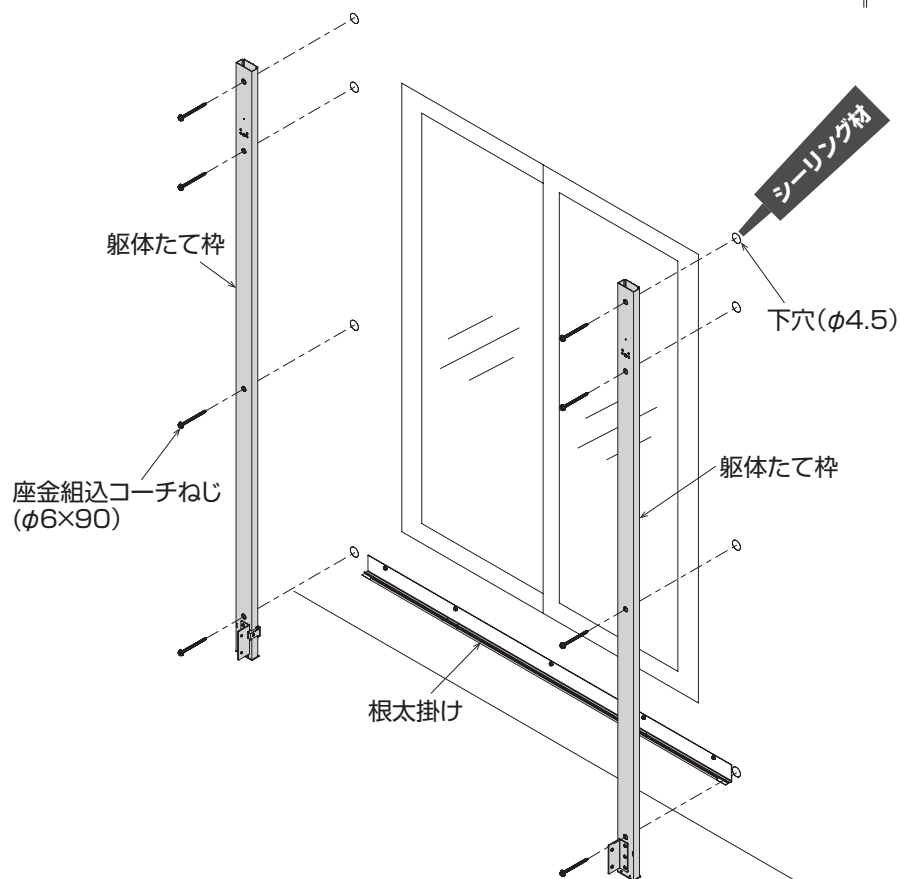
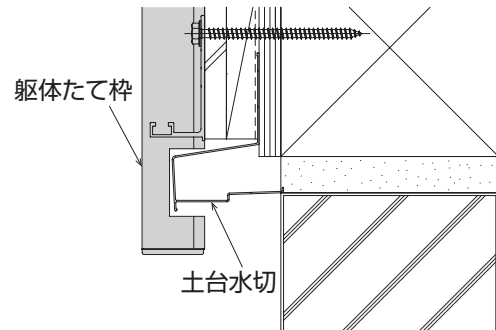
本体フレームの施工

躯体たて枠の取付

1. 躯体たて枠の加工穴位置にあわせ、躯体に下穴(φ4.5)をあけてください。
2. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
3. 躯体たて枠を躯体に取付けてください。



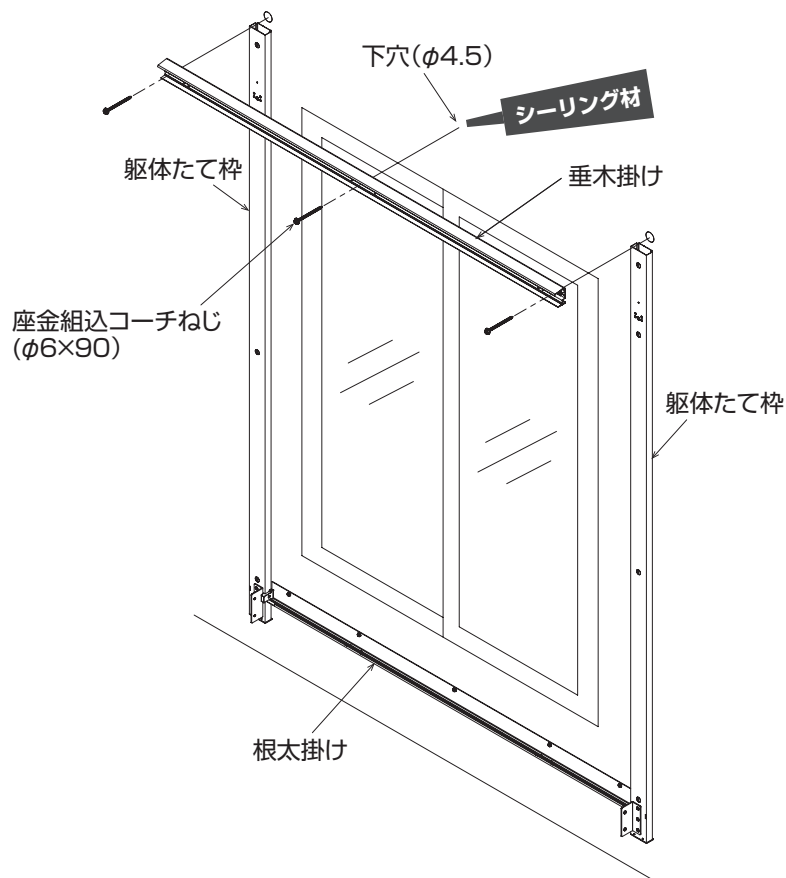
- 躯体たて枠が土台水切と干渉する場合は、躯体たて枠を切り欠いてください。



垂木掛けの取付

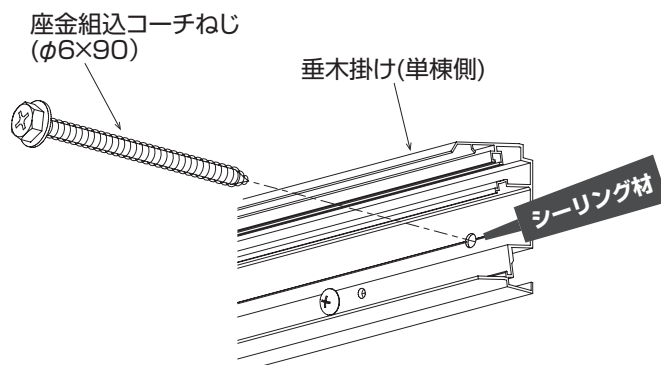
単棟の場合

1. 垂木掛けを躯体たて枠の上のせてください。
2. 垂木掛けの加工穴位置にあわせ、躯体に下穴(φ4.5)をあけてください。
3. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
4. 垂木掛けを躯体に取付けてください。

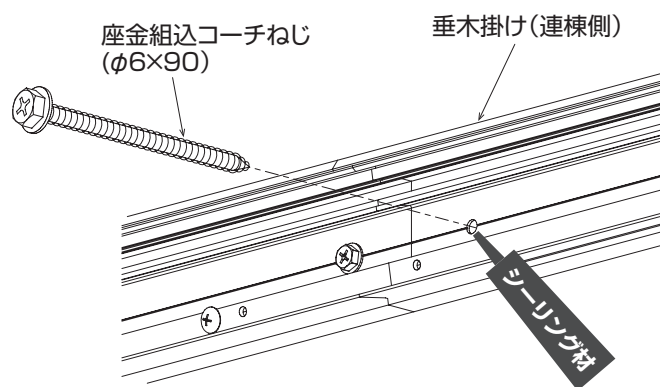


連棟の場合

1. 単棟側の垂木掛けを単棟の場合と同様に取付けてください。

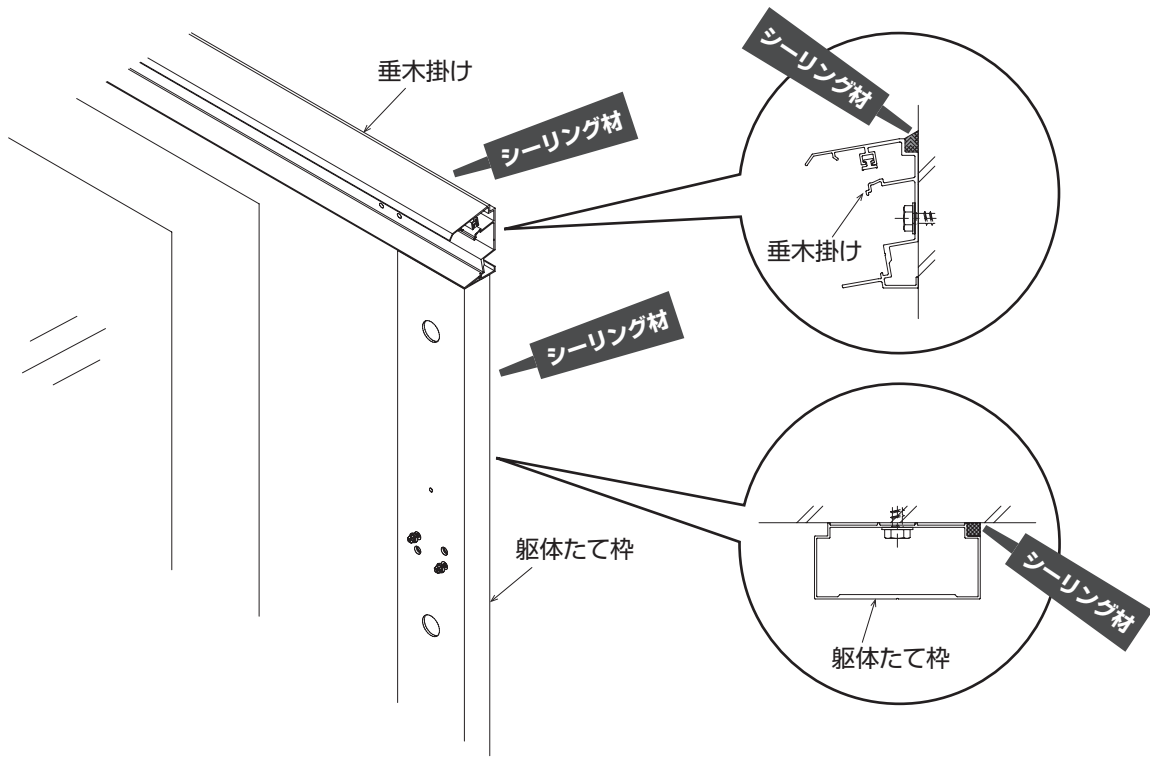


2. 連棟側の垂木掛けを単棟側と同様に取付けてください。



躯体たて枠・垂木掛けのシーリング

1. 躯体たて枠・垂木掛けの壁面にマスキングテープを貼付けてください。
2. プライマーを塗布し、シーリング溝に沿って、躯体たて枠・垂木掛けにシーリングを行ってください。
3. マスキングテープをはがしてください。



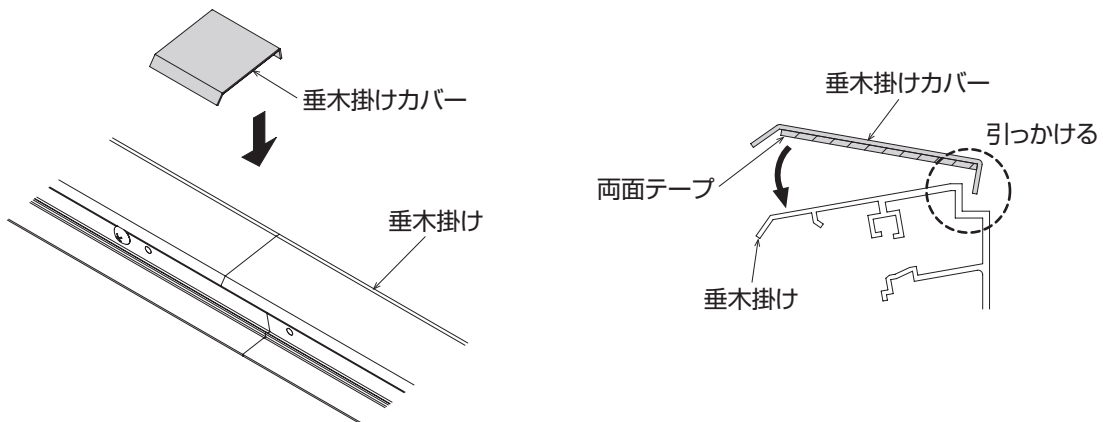
本体フレームの施工

連棟の場合

4. 垂木掛けカバーの両面テープのハクリ紙をはがし、垂木掛け連棟部に貼付けてください。

お願い

- あらかじめ両面テープ貼付け部の汚れや油分などを落としてください。貼付け後、しっかりと押えつけ、テープを確実に密着させてください。



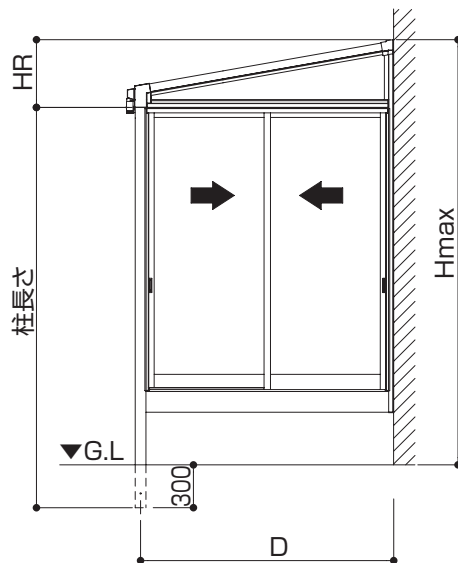
本体フレームの施工

柱・妻土台・前枠・中間根太の加工

柱の切断

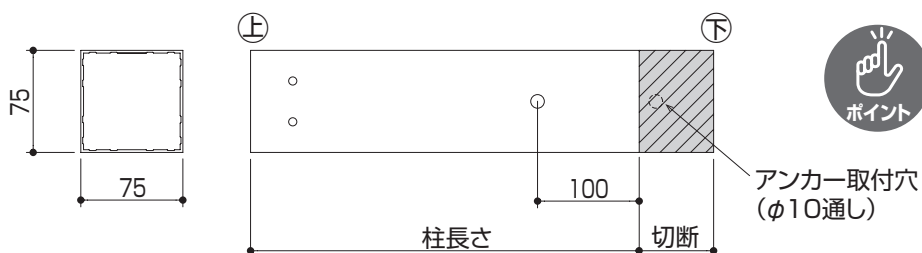
1. 必要な柱長さを算出してください。

$$\text{柱長さ} = H_{\text{max}} - HR + 302$$



屋根形状	呼称出幅	D	HR
Fタイプ	3尺	870	310.8
	4尺	1170	363.7
	5尺	1470	416.6
	6尺	1770	469.5
	7尺	2070	522.4
	8尺	2370	575.3
Rタイプ	3尺	870	456.2
	4尺	1170	509.1
	5尺	1470	562.0
	6尺	1770	614.9
	7尺	2070	667.8
	8尺	2370	720.7
9尺	2670	773.6	

2. 柱長さを確認し、切詰めが必要な場合は、柱下端側から切断してください。

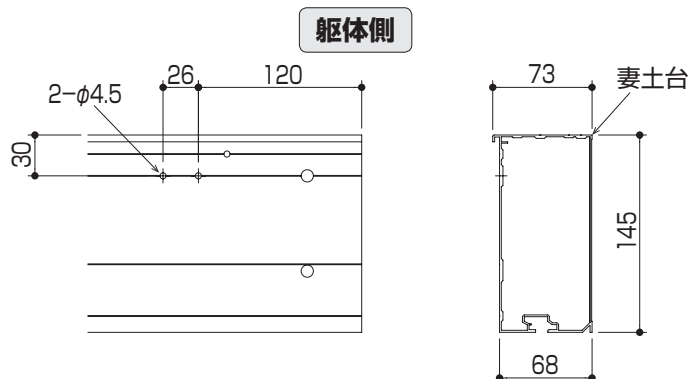


• アンカー取付穴まで切断した場合は再度穴をあけてください。

妻土台の加工

大引きセット (オプション仕様) の場合

1. 妻土台に穴(φ4.5)をあけてください。



(単位 : mm)

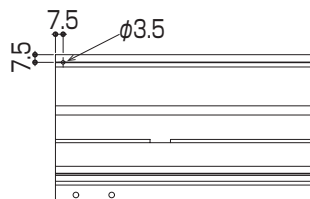
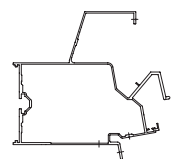
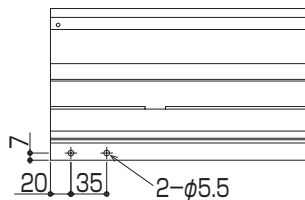
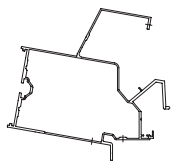
前枠の加工

連棟の場合

1. 前枠に穴をあけてください。

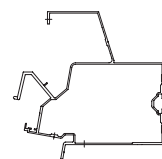
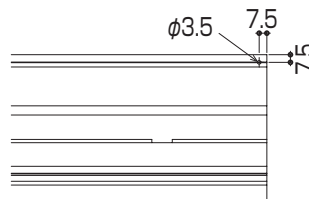
《Fタイプ》

前枠(単棟用)

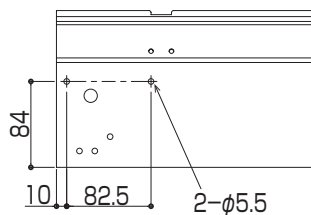
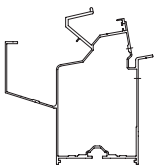
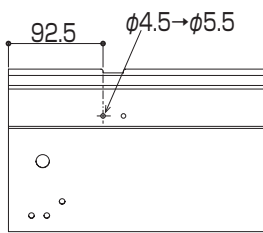
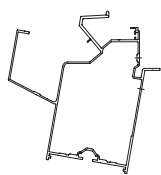


連棟側

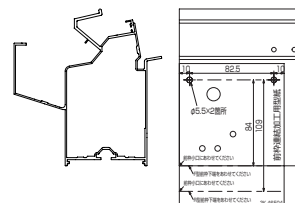
前枠(連棟用)



連棟側

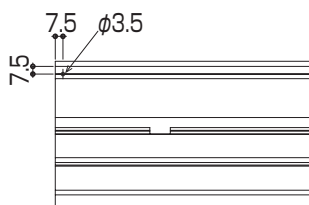
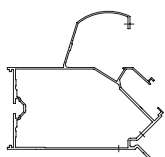
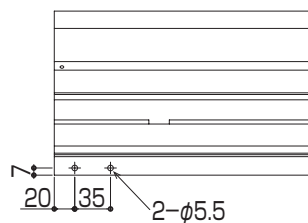
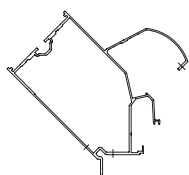


• 加工ラベルを使用すると穴位置が分かりやすくなります。

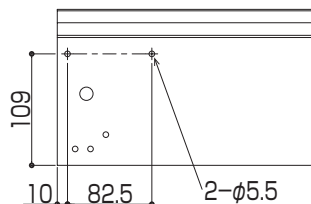
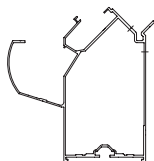
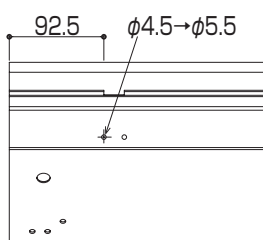
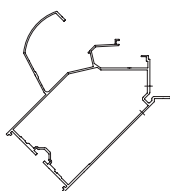


《Rタイプ》

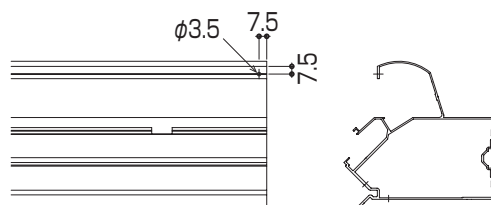
前枠(単棟用)



連棟側



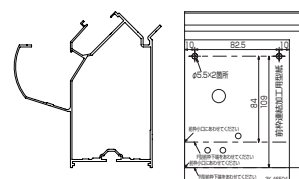
前枠(連棟用)



連棟側



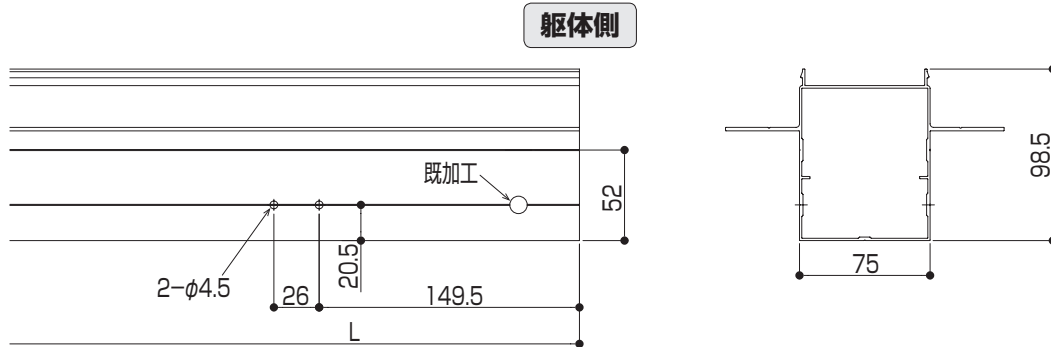
- 加工ラベルを使用すると穴位置が分かりやすくなります。



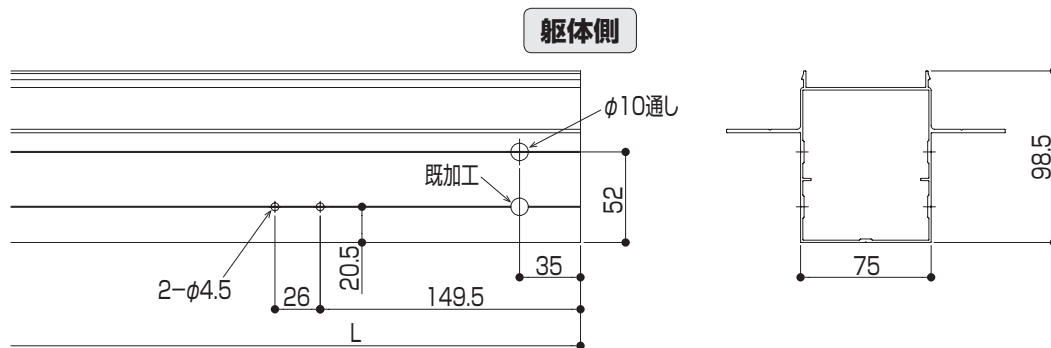
中間根太の加工

大引きセット（オプション仕様） 連棟の場合

1. 中間根太に穴をあけてください。



標準位置で施工できない場合



※詳細は、P.23「中間根太連結金具の取付」－
「大引きセット（オプション仕様） 連棟の場合」参照。

前枠・柱・束・大引き・腕木の部品付

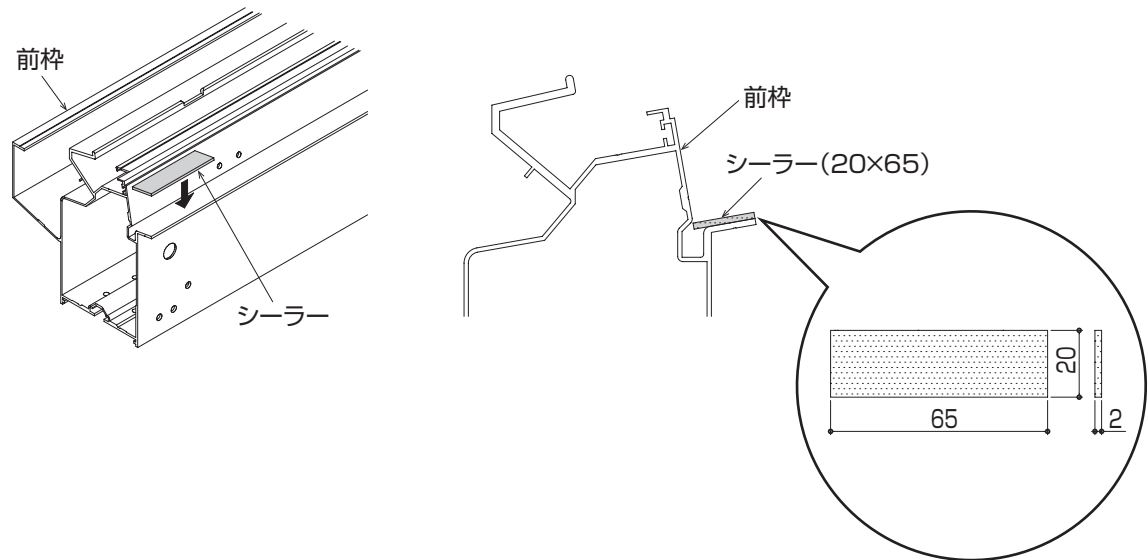
前枠の部品付

単棟の場合

1.シーラーを前枠両端に貼付けてください。



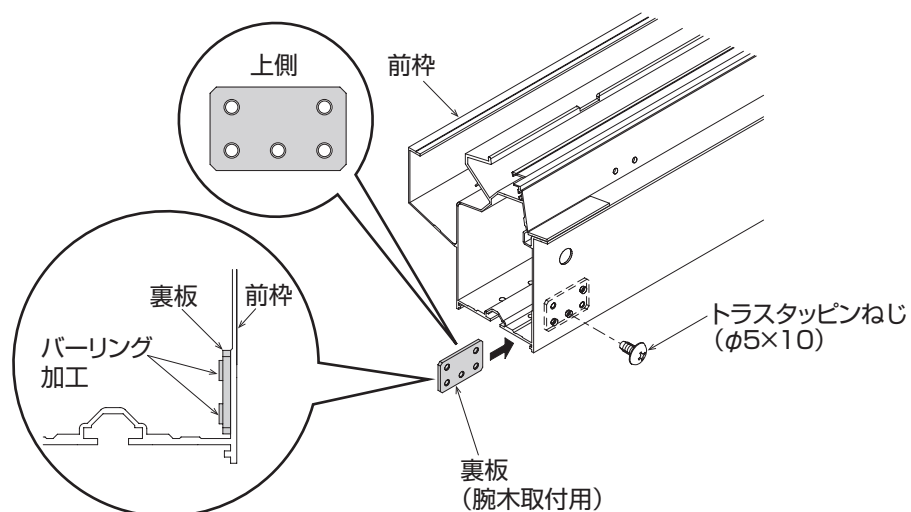
- 前枠用のシーラーの他に垂木、妻垂木用のシーラーも同梱されています。形状を確認して取付けてください。



2.裏板（腕木取付用）を前枠両端に取付けてください。

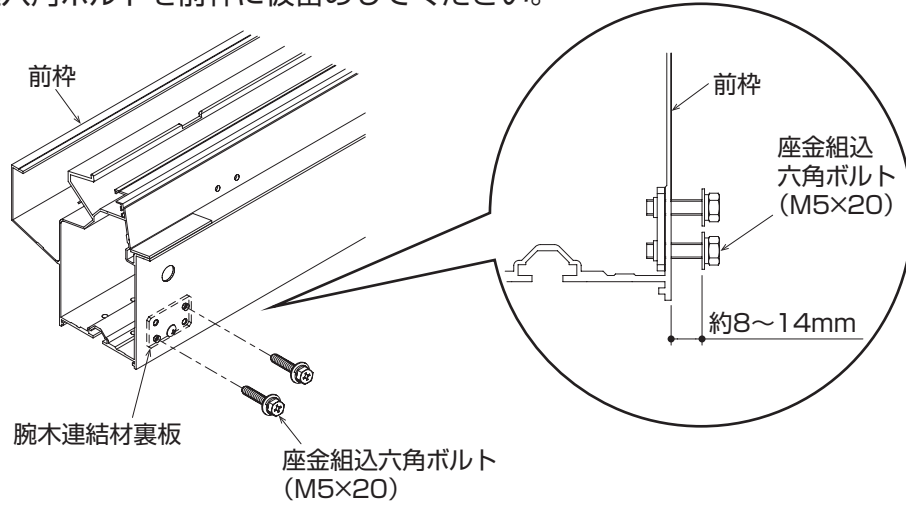


- 裏板の上下・表裏に注意して取付けてください。



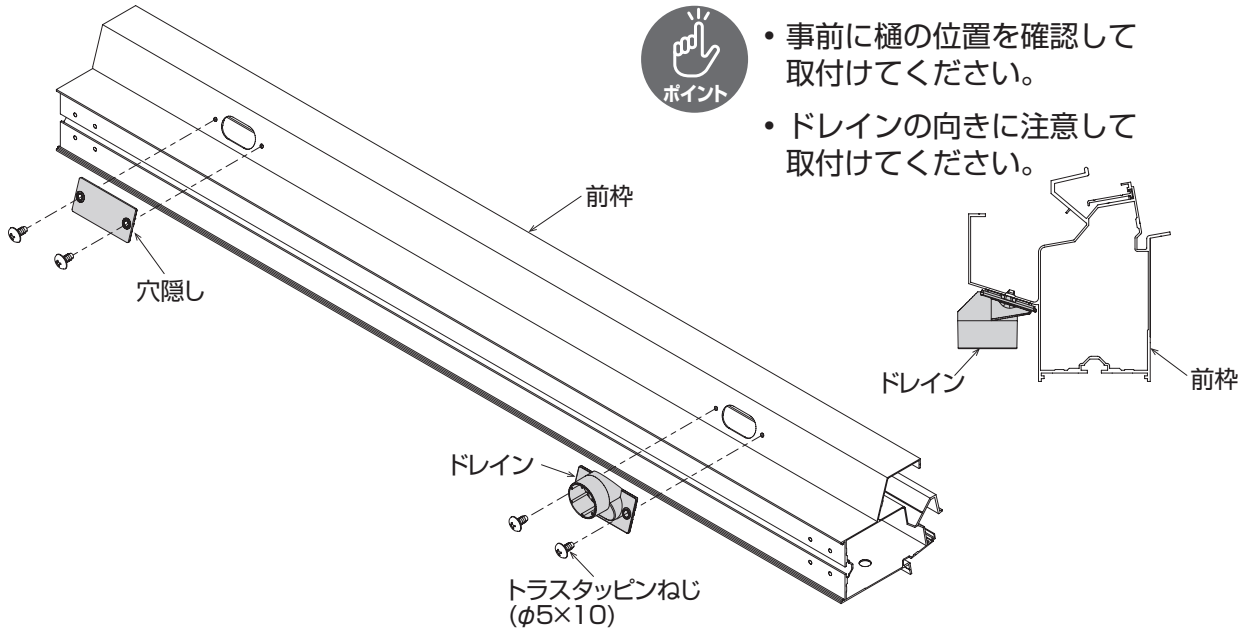
(単位：mm)

3. 座金組込六角ボルトを前枠に仮留めしてください。

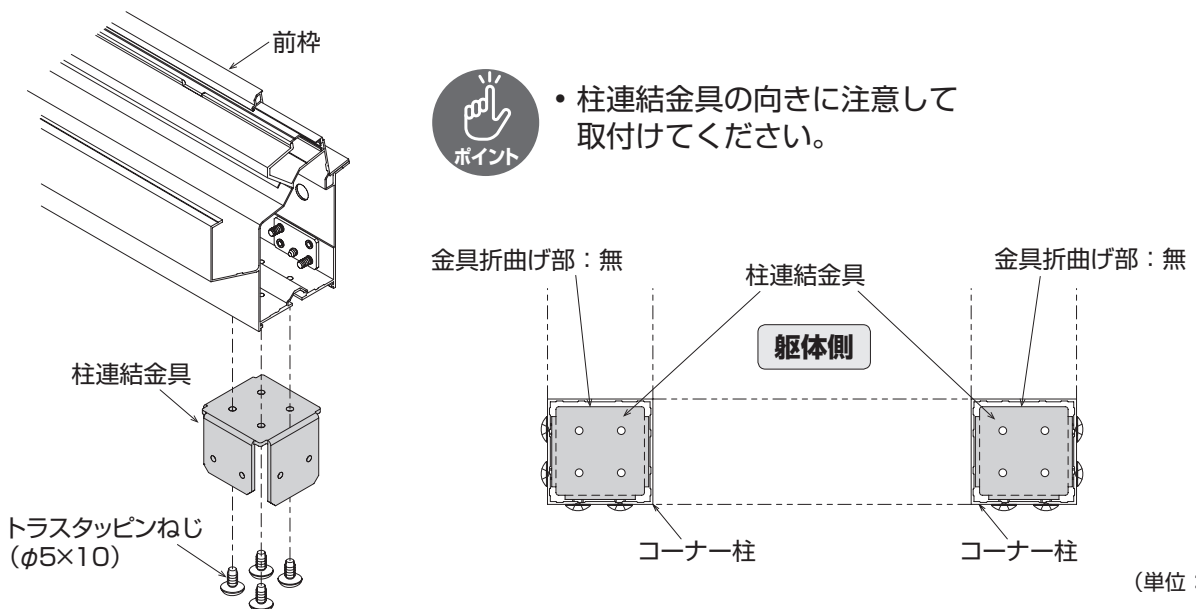


4. ドレインを前枠に取付けてください。

5. 穴隠しを前枠に取付けてください。



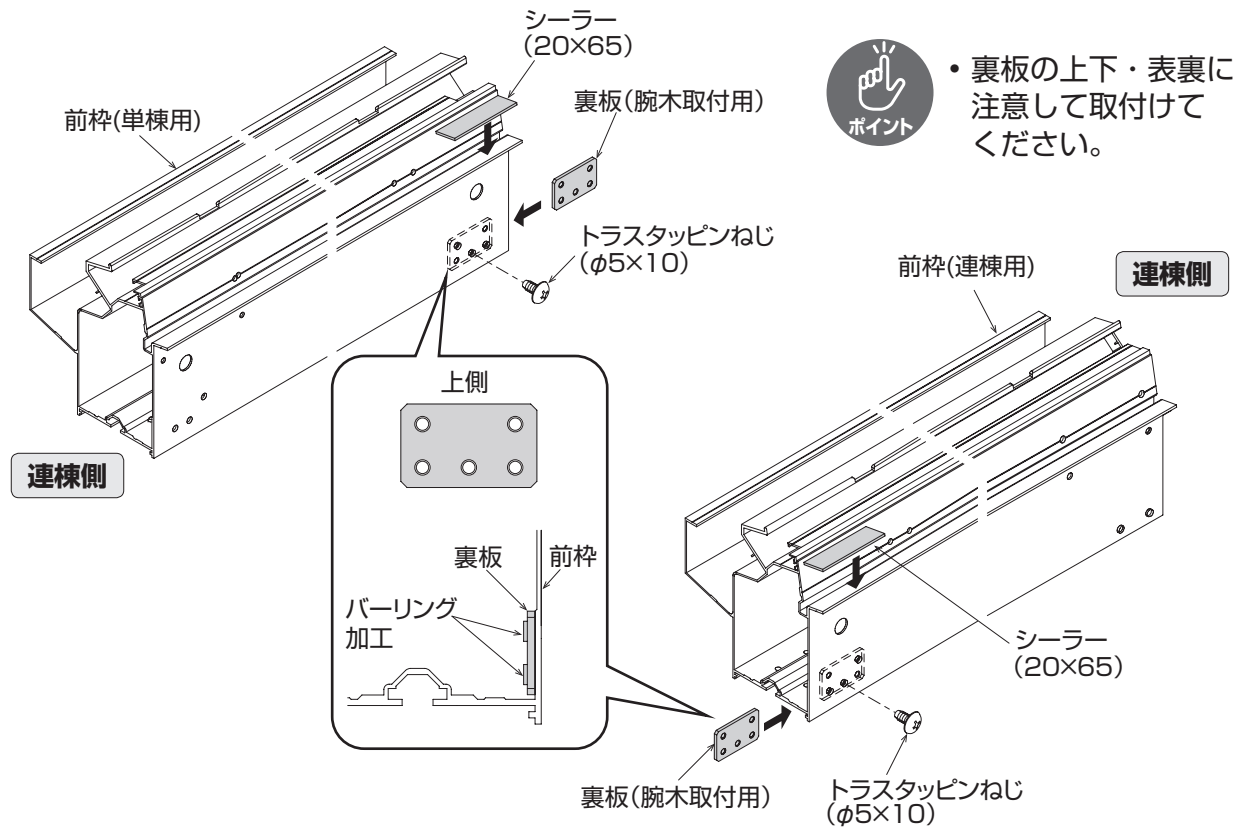
6. 柱連結金具を前枠に取付けてください。



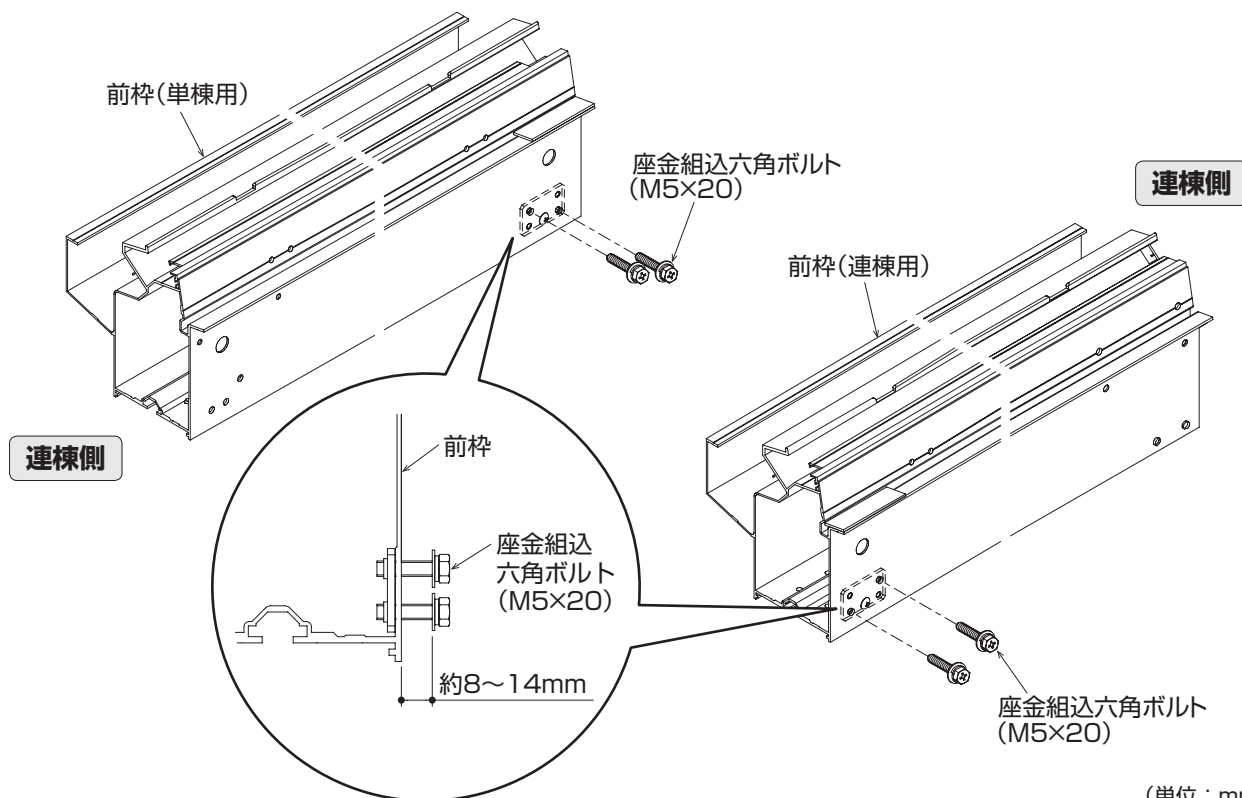
(単位：mm)

連棟の場合

- 1.シーラーを単棟用の前枠内観右側と連棟用の前枠内観左側に貼付けてください。
- 2.裏板（腕木取付用）を単棟用の前枠内観右側と連棟用の前枠内観左側に取付けてください。

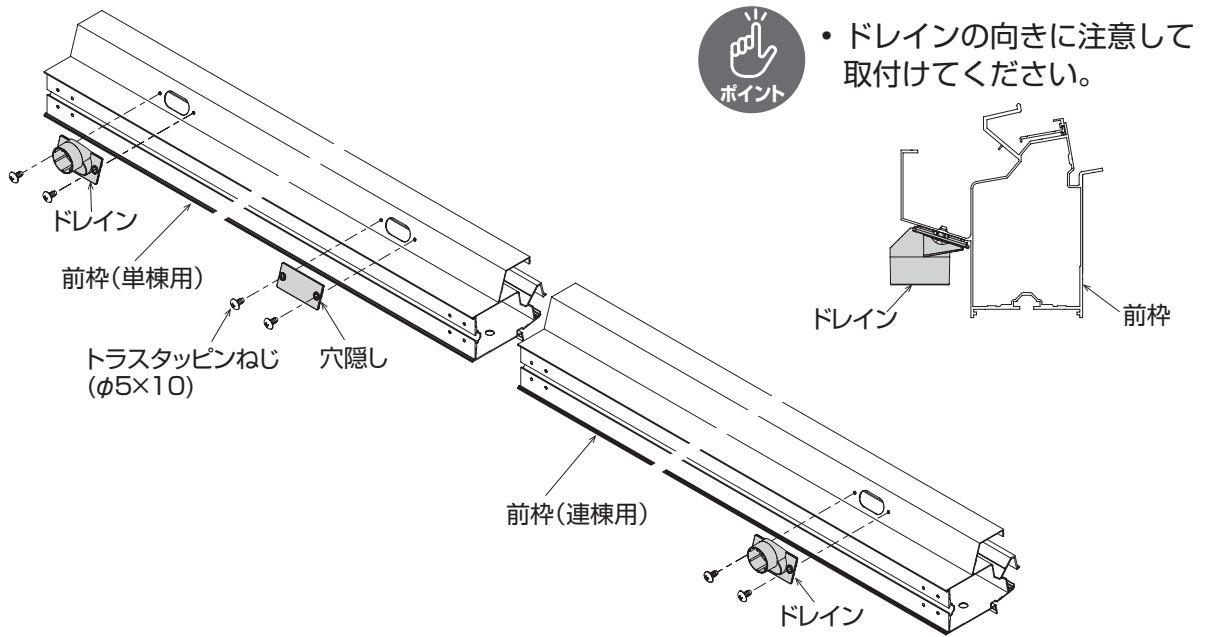


- 3.座金組込六角ボルトを前枠に仮留めしてください。

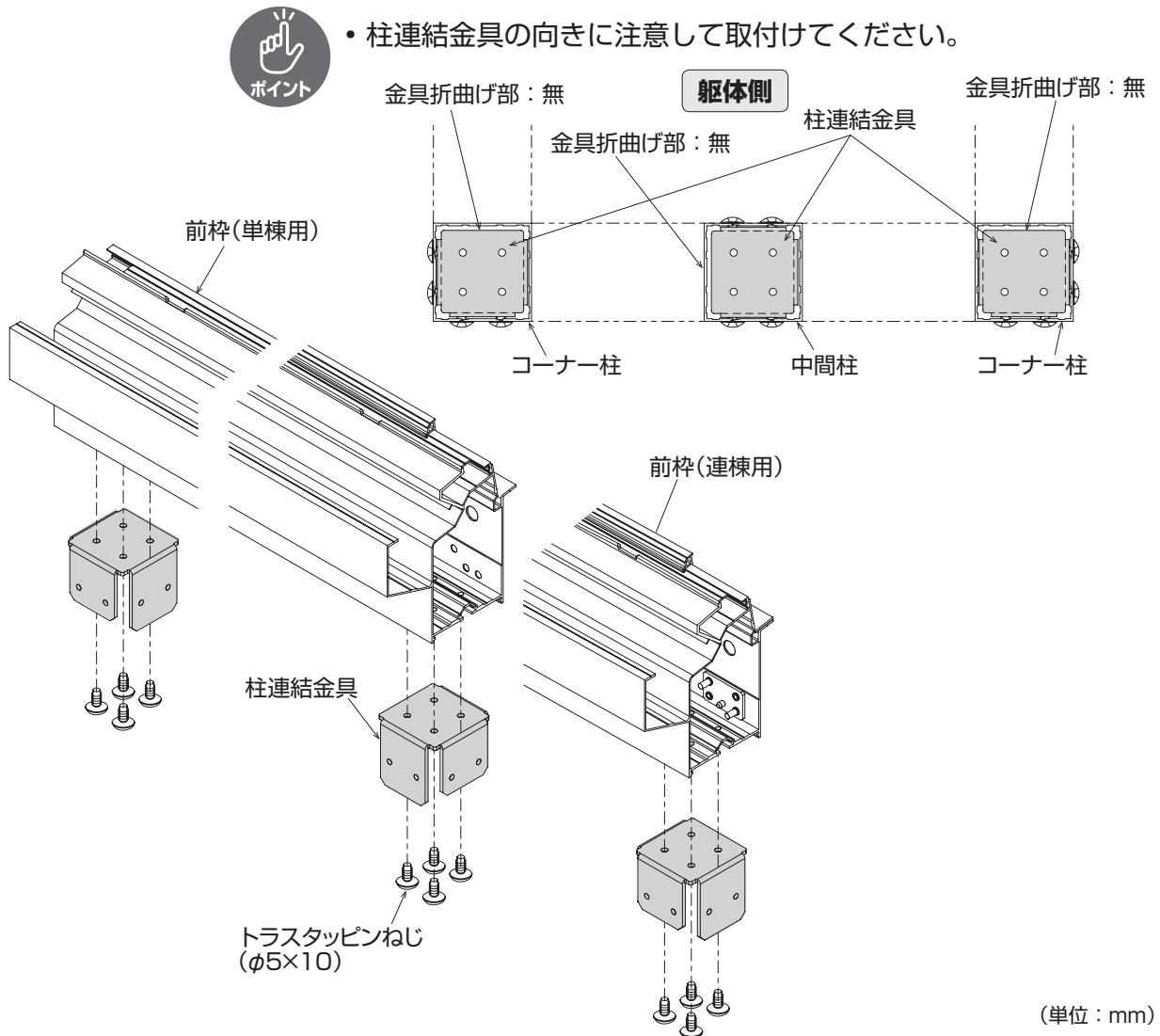


(単位：mm)

- 4. ドレインを単棟用と連棟用の前枠に取付けてください。
- 5. 穴隠しを単棟用の前枠に取付けてください。

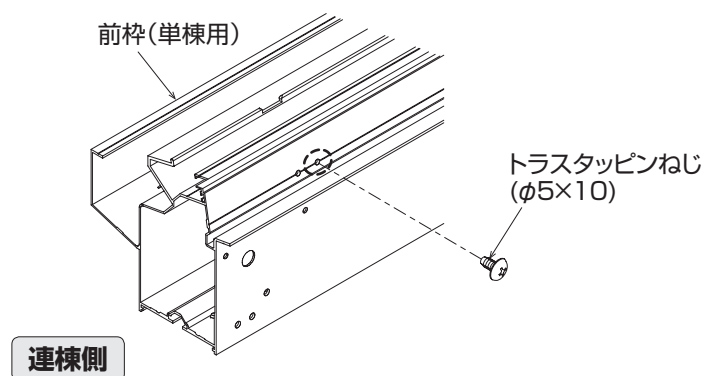


- 6. 柱連結金具を単棟用の前枠両端と連棟用の前枠外観右側に取付けてください。

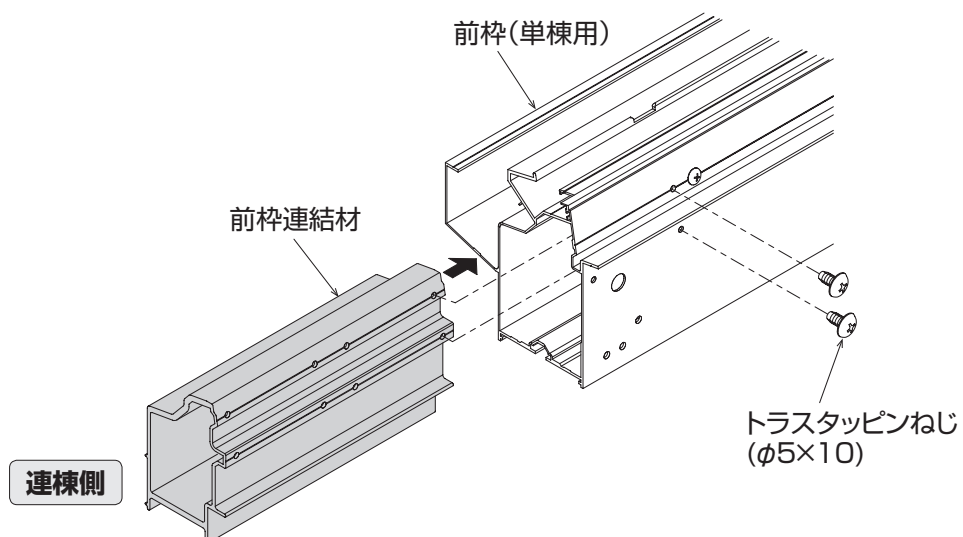


(単位：mm)

7. トラストッピンねじを単棟用の前枠連棟側の穴に取付けてください。

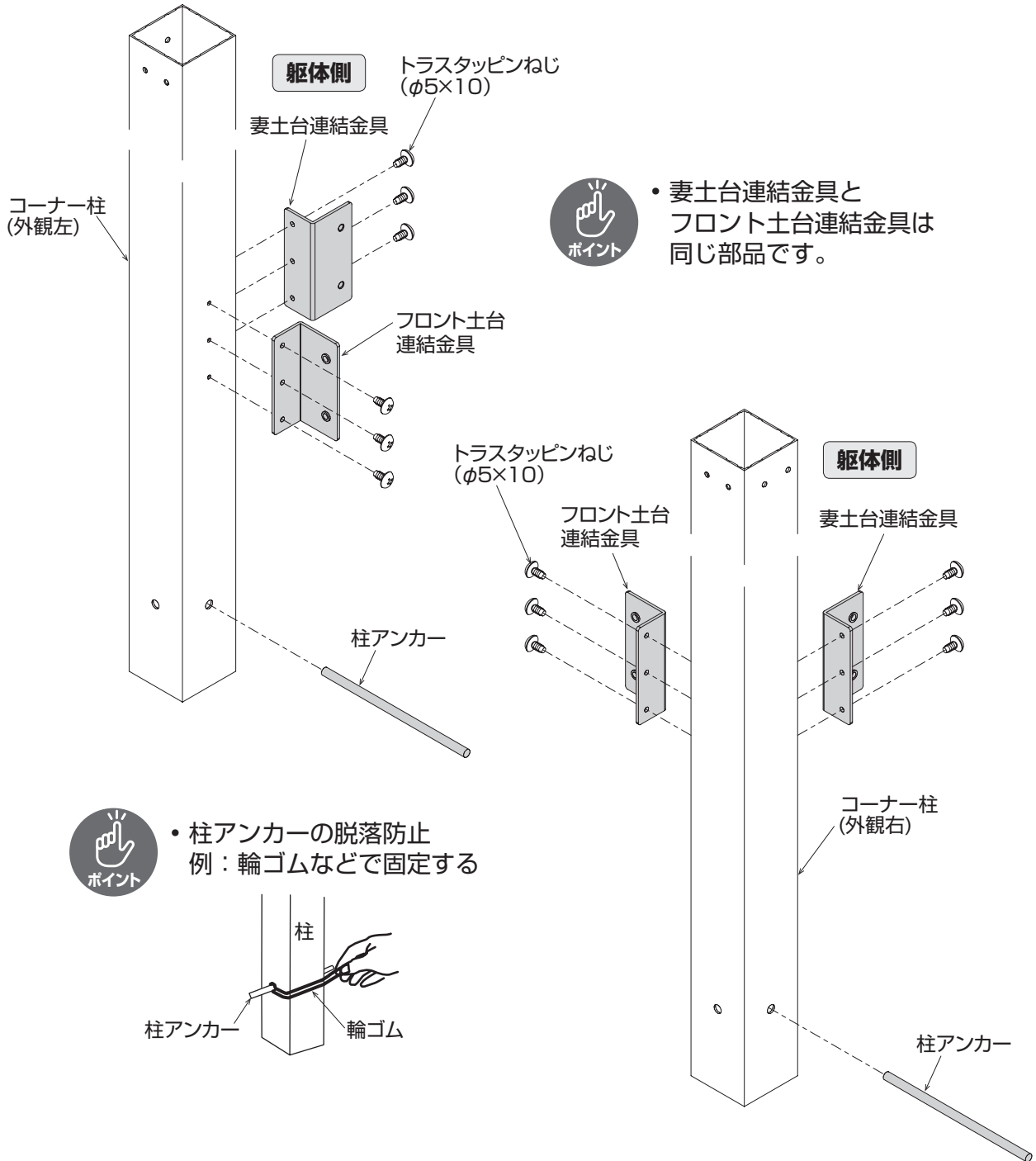


8. 前枠連結材を単棟用の前枠連棟側に取付けてください。



コーナー柱の部品付

1. 妻土台連結金具をコーナー柱に取付けてください。
2. フロント土台連結金具をコーナー柱に取付けてください。
3. 柱アンカーをコーナー柱に取付けてください。



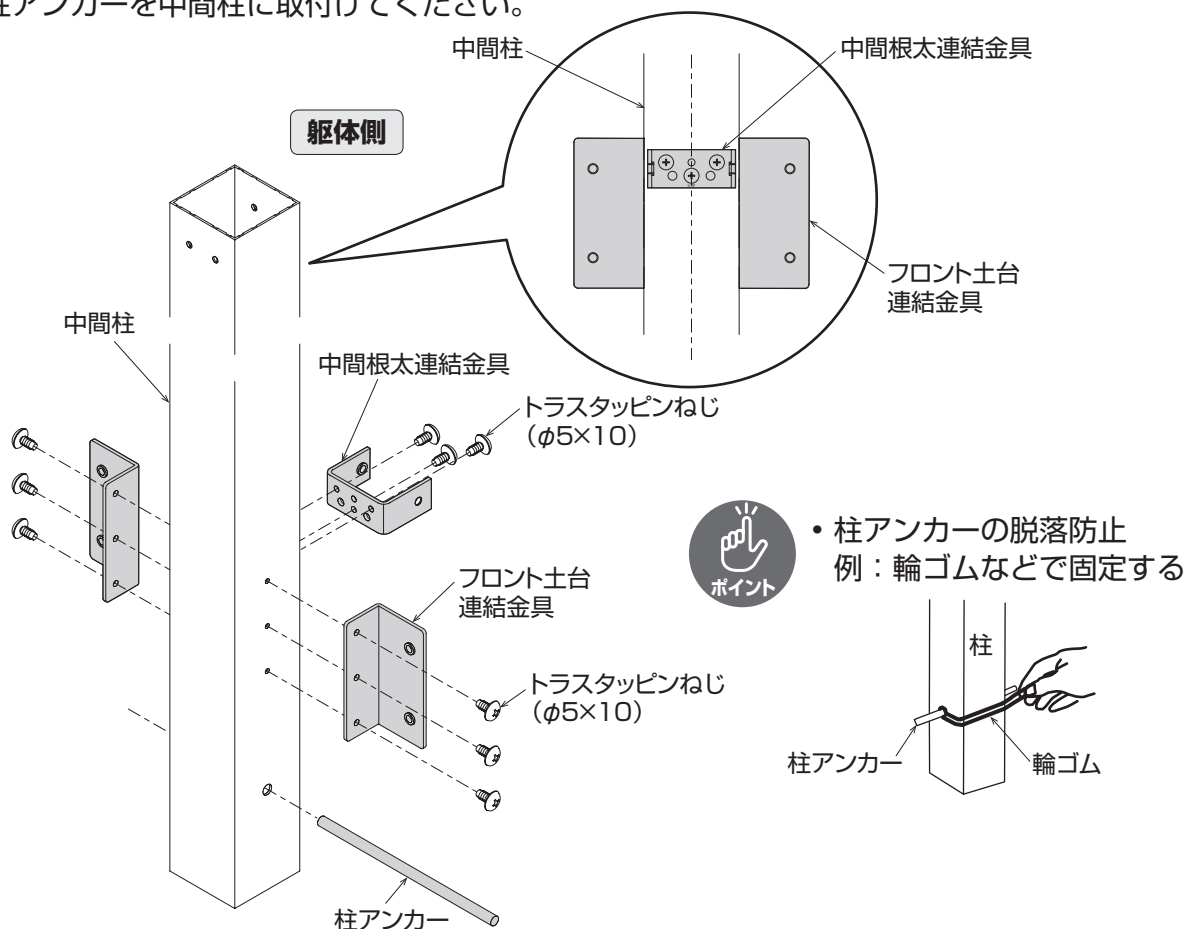
本体フレームの施工

(単位：mm)

中間柱の部品付

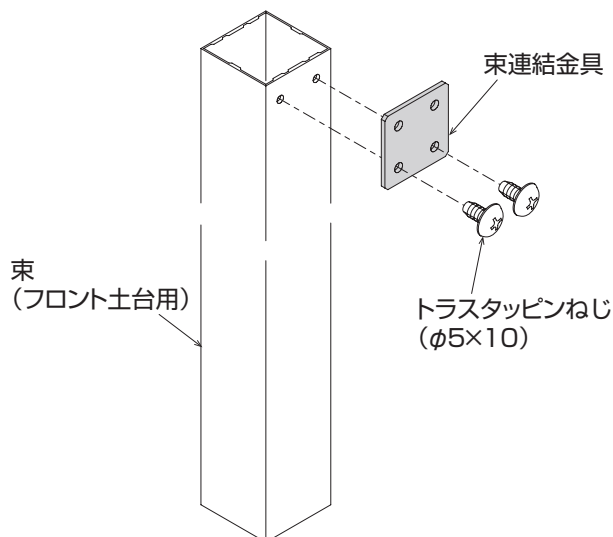
連棟の場合

1. 中間根太連結金具を中間柱に取付けてください。
2. フロント土台連結金具を中間柱に取付けてください。
3. 柱アンカーを中間柱に取付けてください。



束（フロント土台用）の部品付

1. 束連結金具を束に取付けてください。

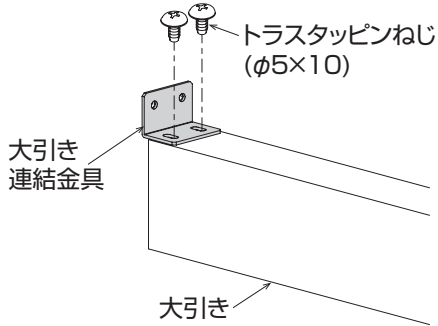


(単位：mm)

大引きの部品付

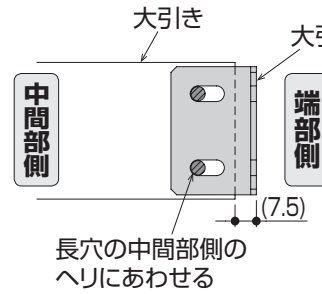
根太掛けセット（基本仕様） 出幅 7～9 尺／大引きセット（オプション仕様）の場合

1.大引き連結金具を大引き両端に取付けてください。

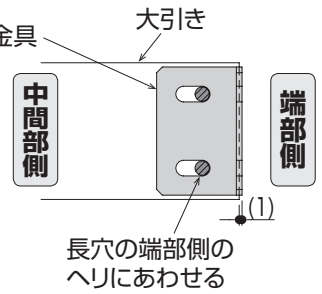


・大引きを妻土台に取付ける場合と中間根太に取付ける場合で大引き連結金具の取付位置が異なります。

《妻土台に取付ける場合》



《中間根太に取付ける場合》

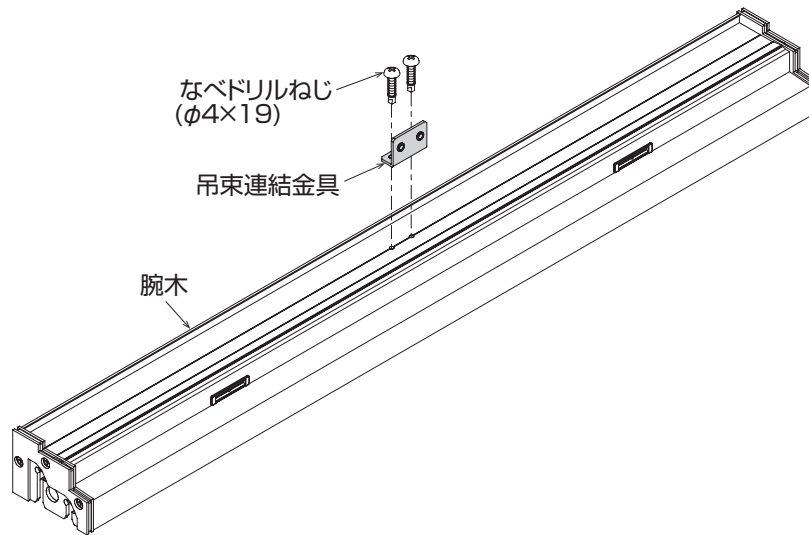


本体フレームの施工

腕木の部品付

出幅 7～9 尺の場合

1.吊束連結金具を腕木に取付けてください。

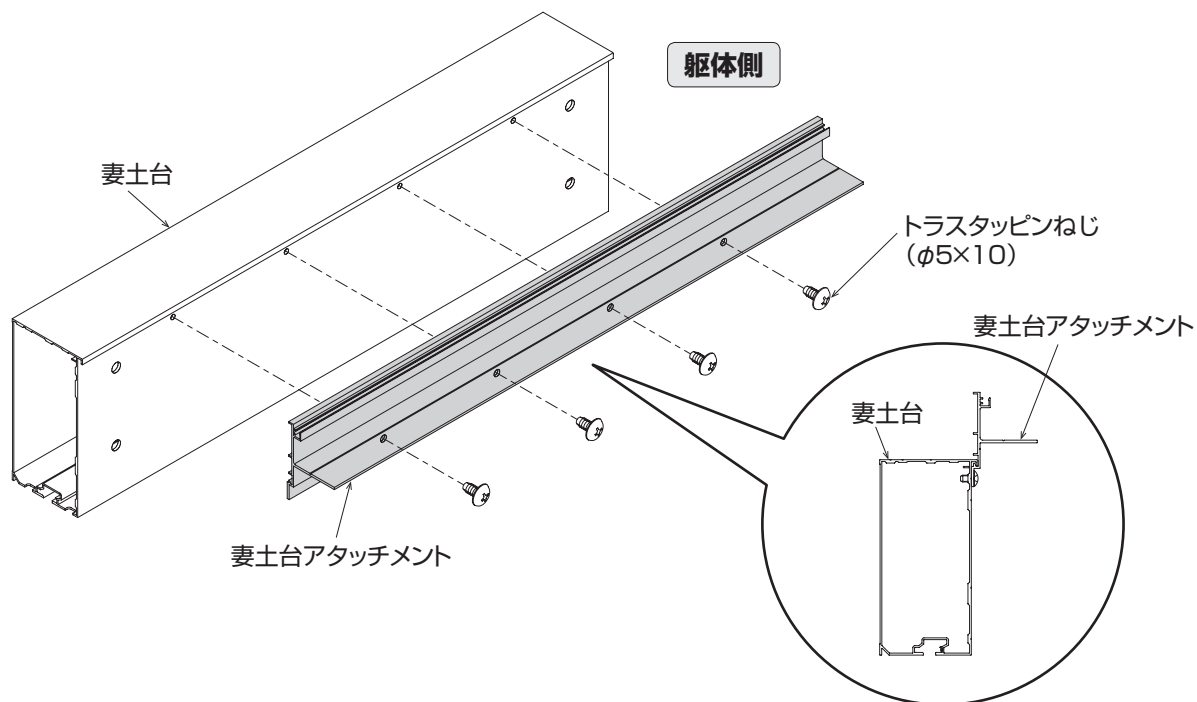


(単位：mm)

妻土台・フロント土台・大引きの組立

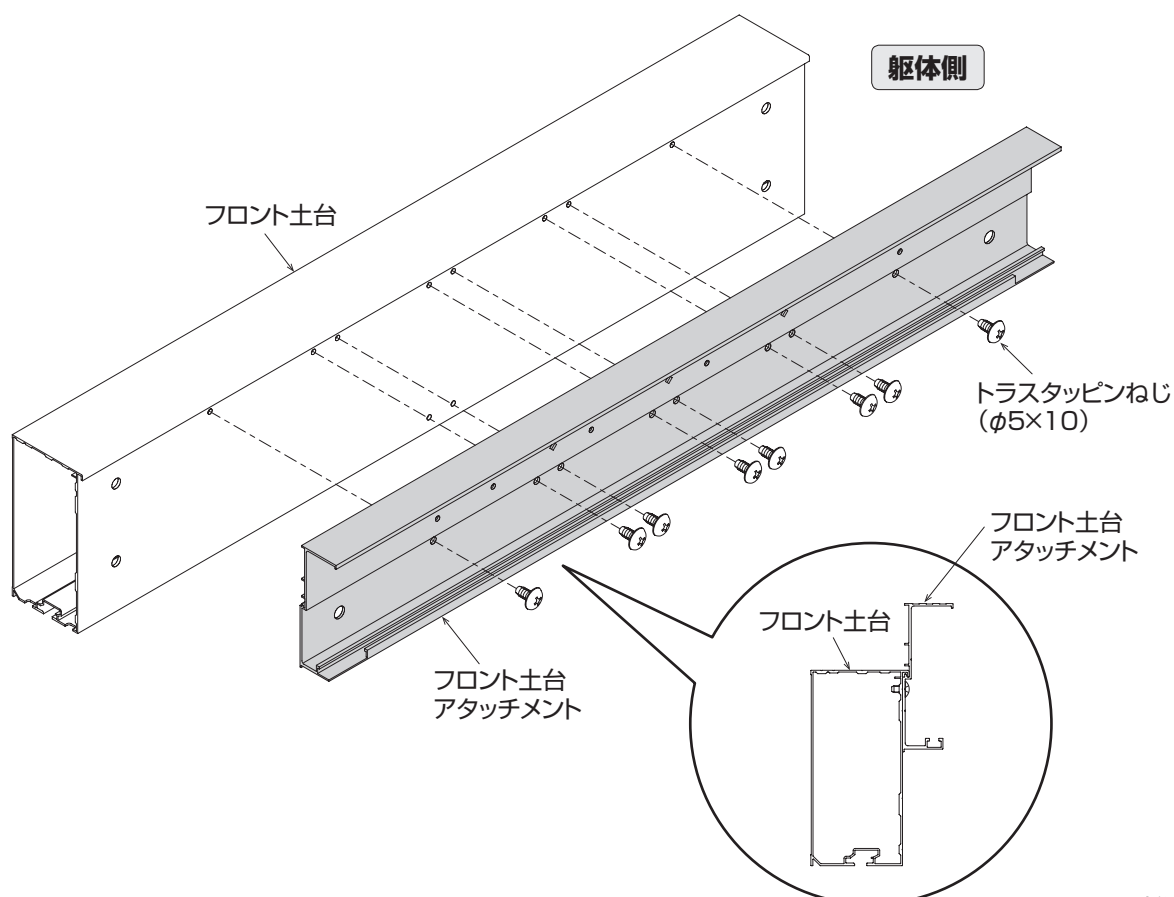
妻土台の組立

1. 妻土台アタッチメントを妻土台に取付けてください。



フロント土台の組立

1. フロント土台アタッチメントをフロント土台に取付けてください。

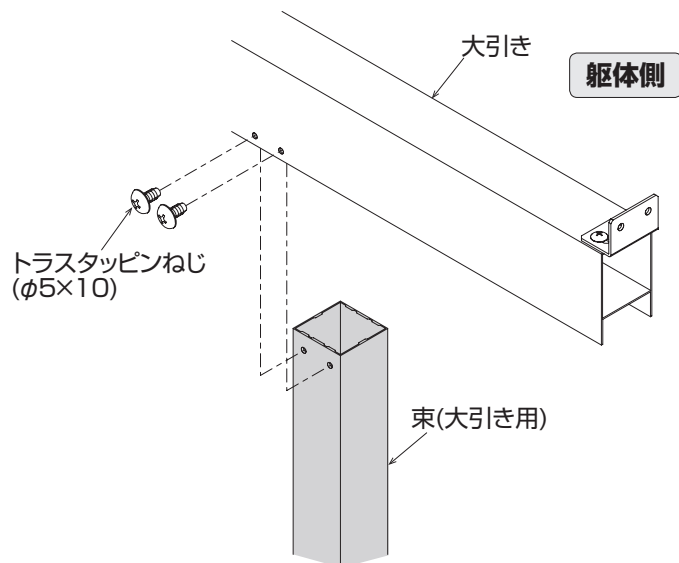


(単位 : mm)

大引きの組立

根太掛けセット (基本仕様) 出幅 7 ~ 9 尺 / 大引きセット (オプション仕様) の場合

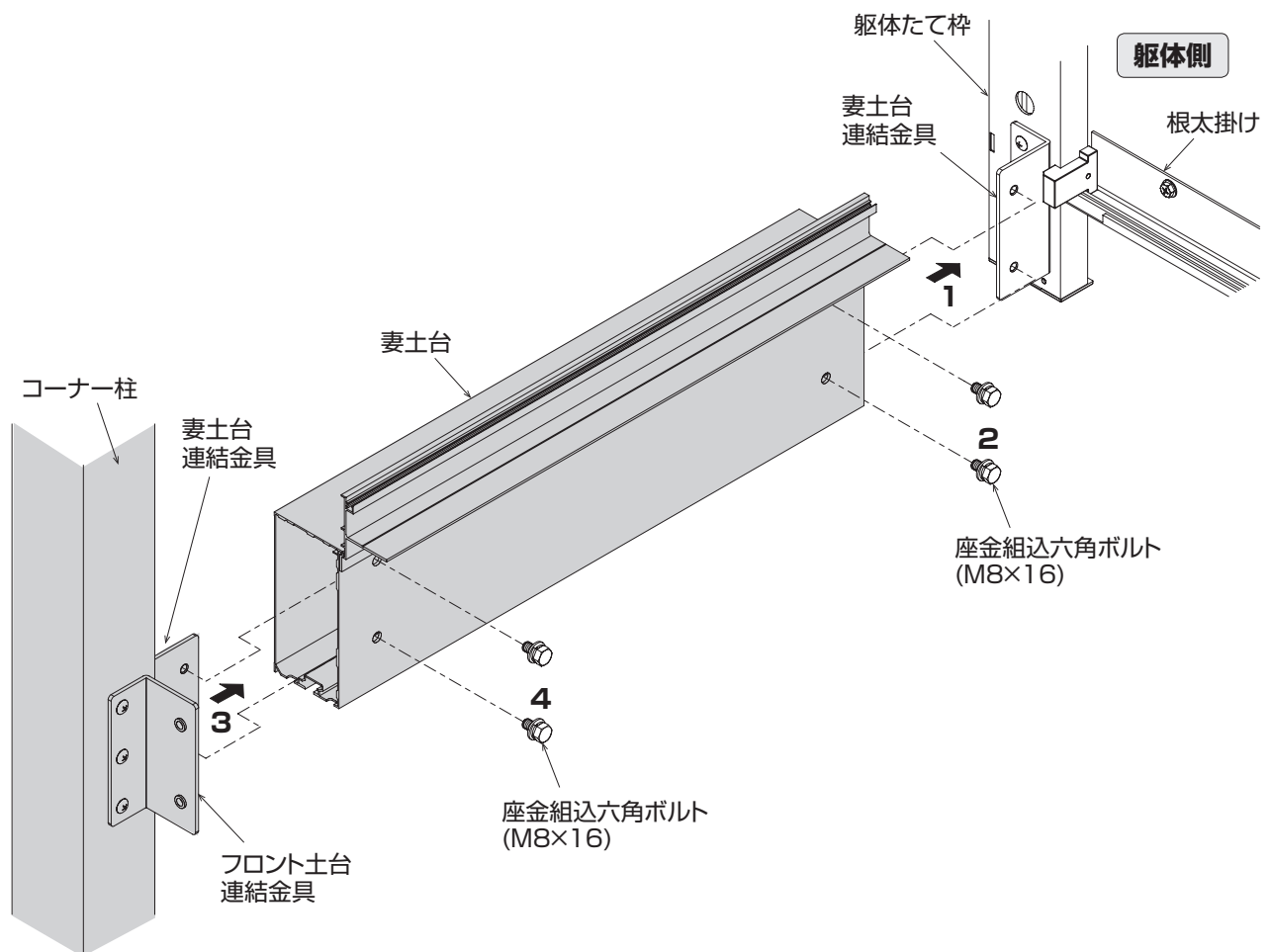
1. 束(大引き用)を大引きに取付けてください。



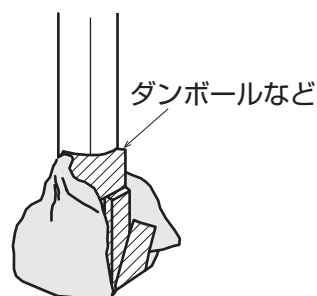
本体フレームの取付

妻土台・コーナー柱の取付

1. 妻土台を躯体たて枠の妻土台連結金具に挿入してください。
2. 妻土台を躯体たて枠に取付けてください。
3. コーナー柱の妻土台連結金具を妻土台に挿入してください。
4. コーナー柱を妻土台に取付けてください。



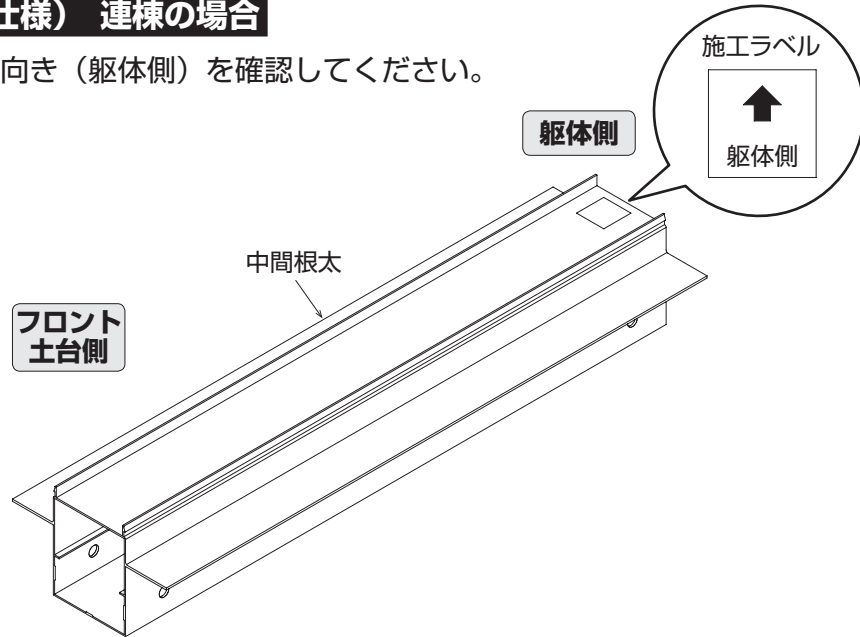
5. 土のう袋、木片などの固定具を利用して柱を仮固定してください。



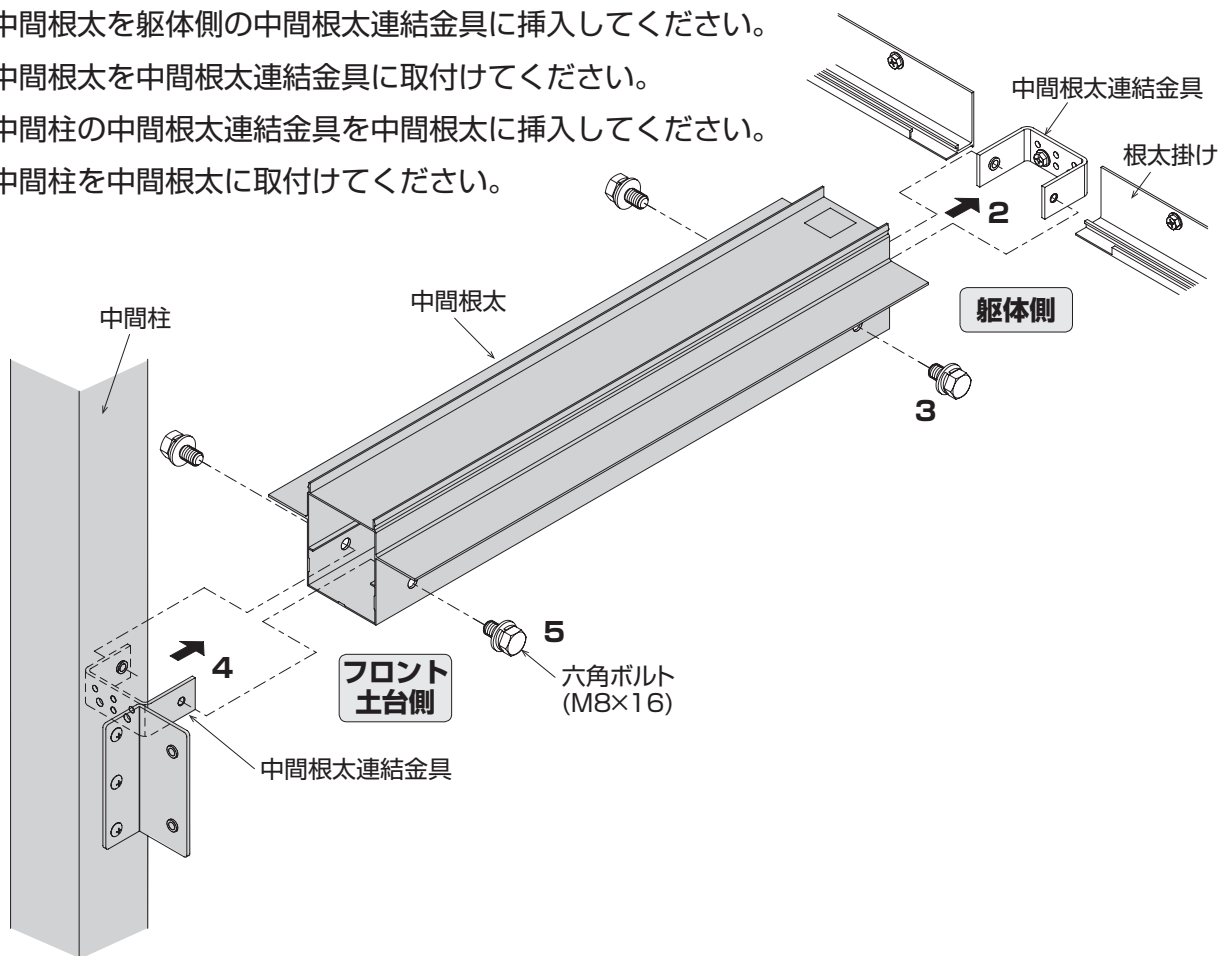
中間根太・中間柱の取付

根太掛けセット（基本仕様） 連棟の場合

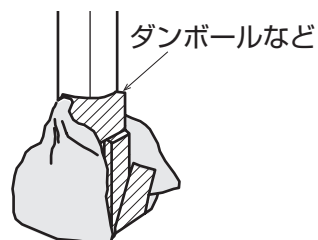
1. 中間根太を取付ける向き（躯体側）を確認してください。
（施工ラベルに記載）



2. 中間根太を躯体側の中間根太連結金具に挿入してください。
3. 中間根太を中間根太連結金具に取付けてください。
4. 中間柱の中間根太連結金具を中間根太に挿入してください。
5. 中間柱を中間根太に取付けてください。



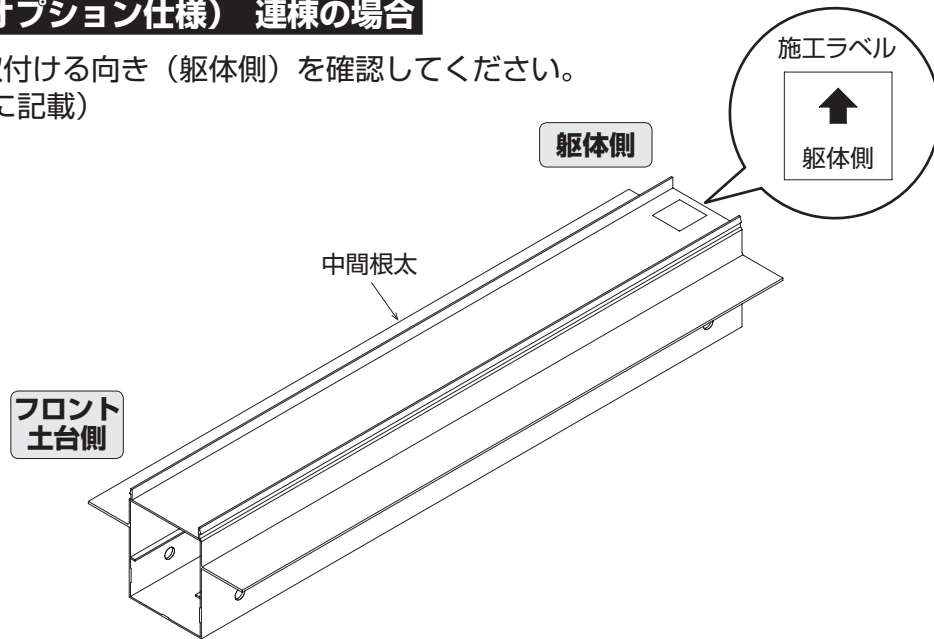
6. 土のう袋、木片などの固定具を利用して柱を仮固定してください。



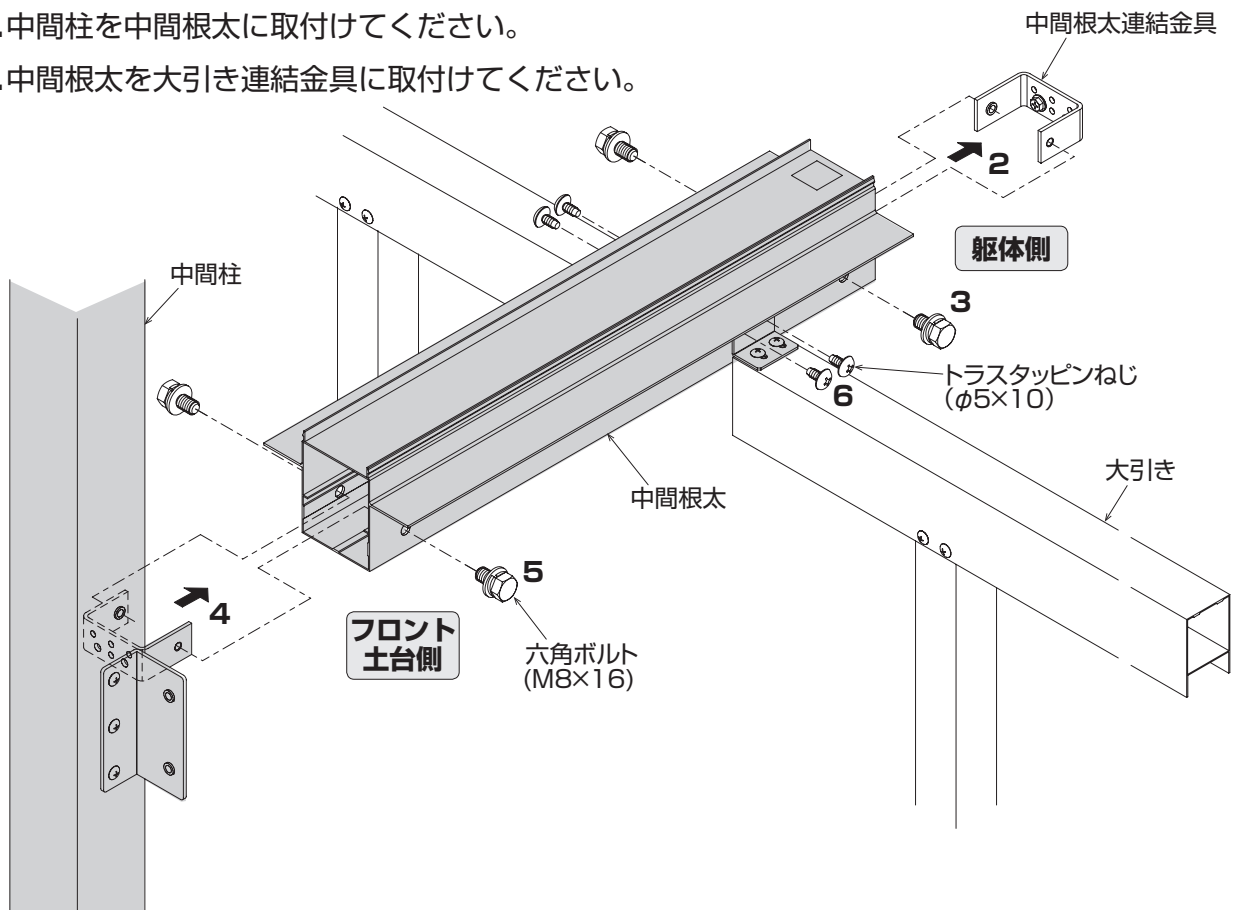
（単位：mm）

大引きセット (オプション仕様) 連棟の場合

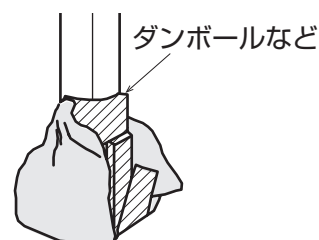
1. 中間根太を取付ける向き (躯体側) を確認してください。
(施工ラベルに記載)



2. 中間根太を躯体側の中間根太連結金具に挿入してください。
3. 中間根太を中間根太連結金具に取付けてください。
4. 中間柱の中間根太連結金具を中間根太に挿入してください。
5. 中間柱を中間根太に取付けてください。
6. 中間根太を大引き連結金具に取付けてください。



7. 土のう袋、木片などの固定具を利用して柱を仮固定してください。

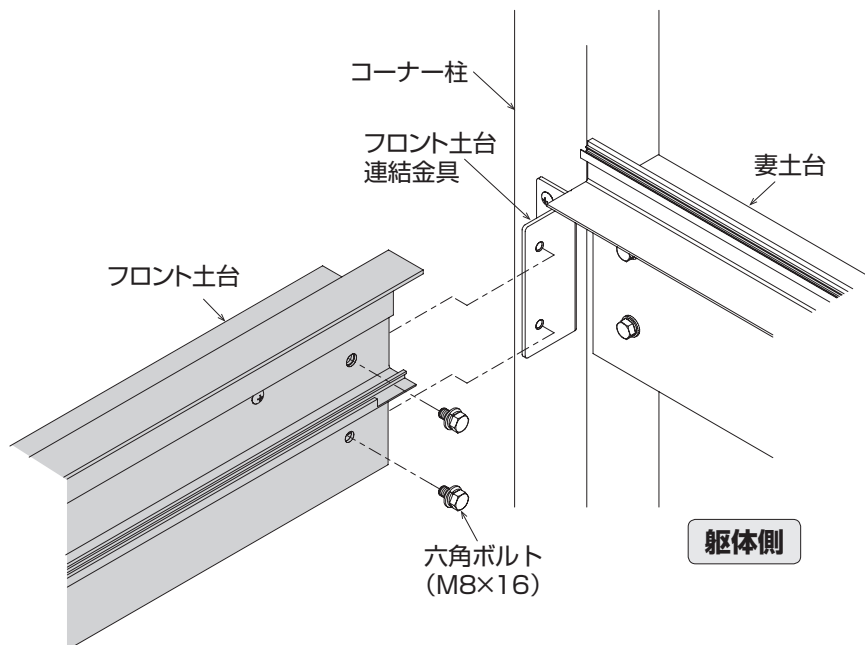


(単位 : mm)

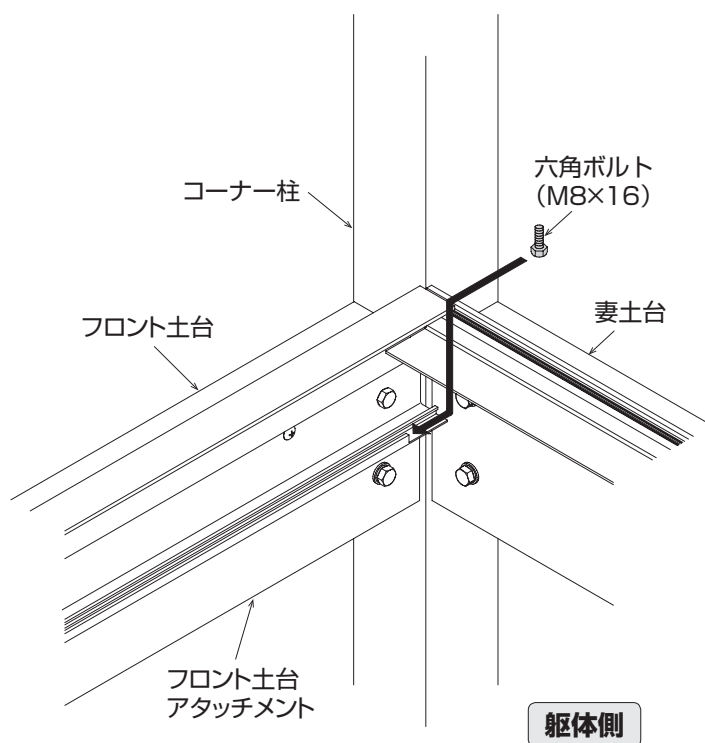
フロント土台の取付

単棟の場合

1. フロント土台をコーナー柱のフロント土台連結金具に挿入してください。
2. フロント土台をコーナー柱に取付けてください。

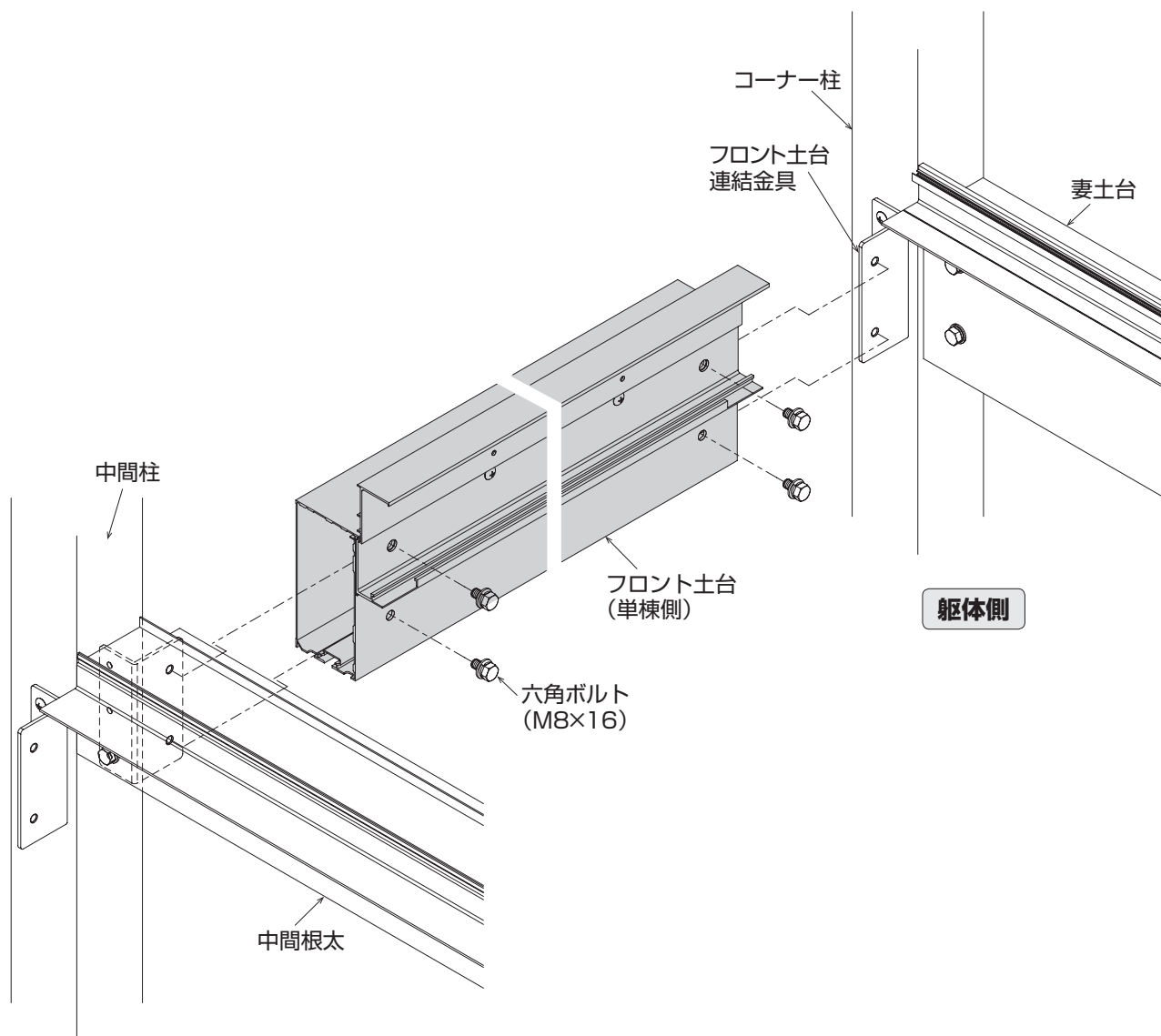


3. 六角ボルト（根太固定用）をフロント土台アタッチメントに挿入してください。

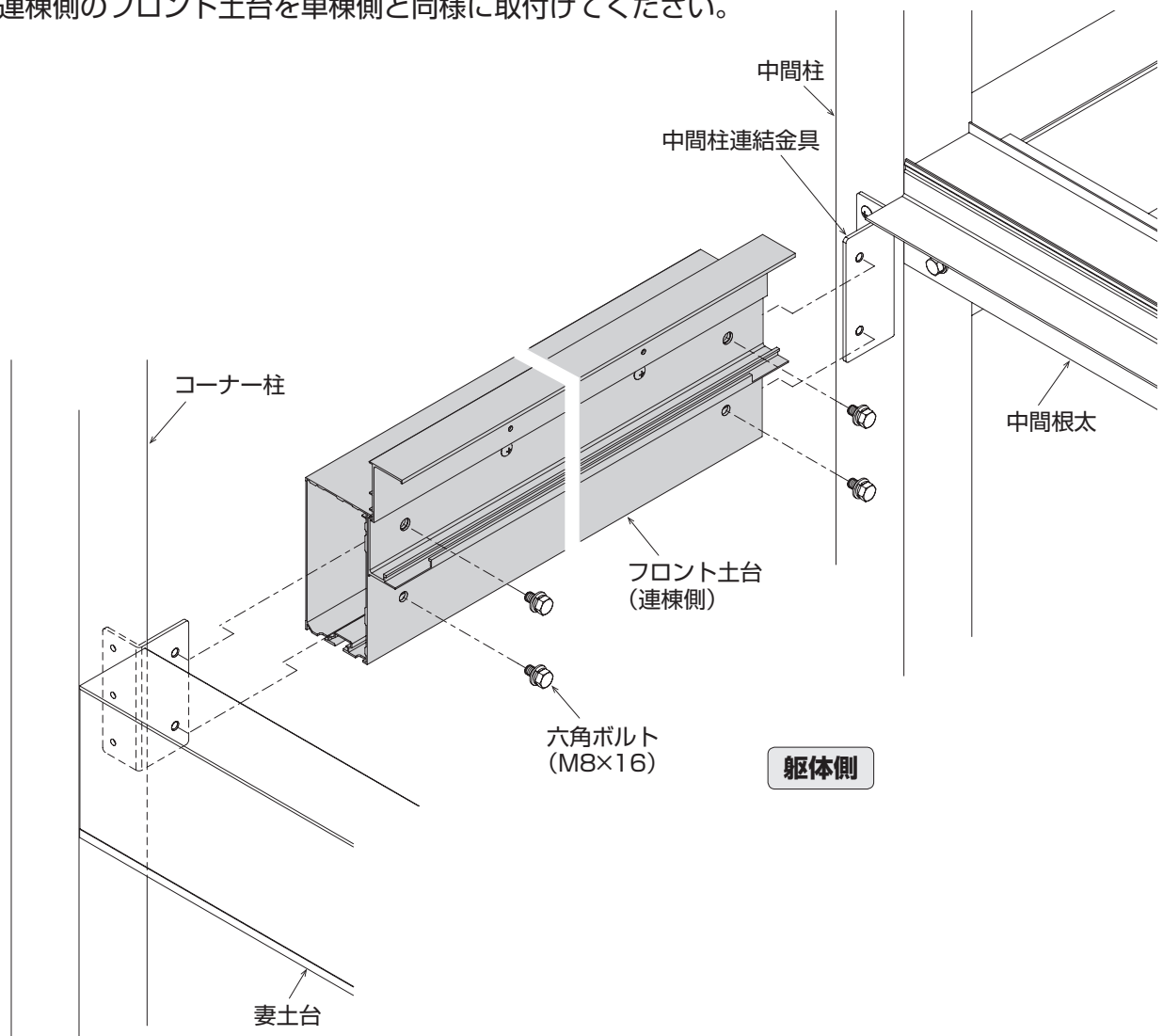


連棟の場合

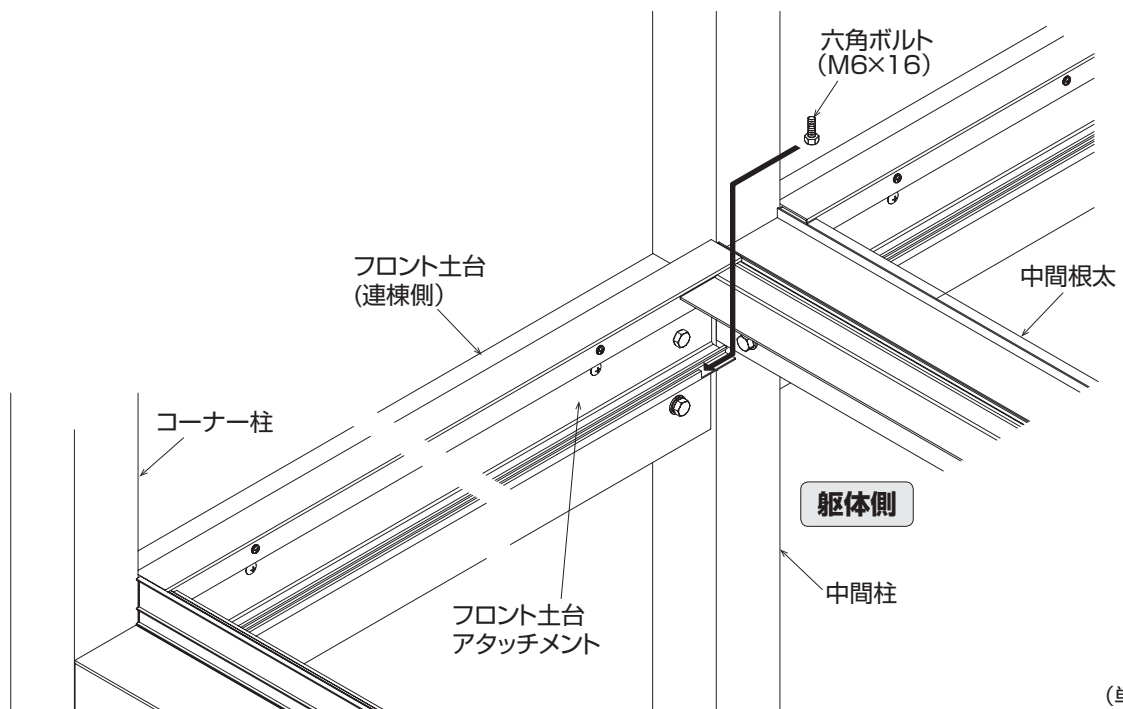
1. 単棟側のフロント土台をコーナー柱と中間柱のフロント土台連結金具に挿入してください。
2. 単棟側のフロント土台をコーナー柱と中間柱に取付けてください。



3. 連棟側のフロント土台を単棟側と同様に取付けてください。



4. 六角ボルト（根太固定用）をフロント土台アタッチメントに挿入してください。

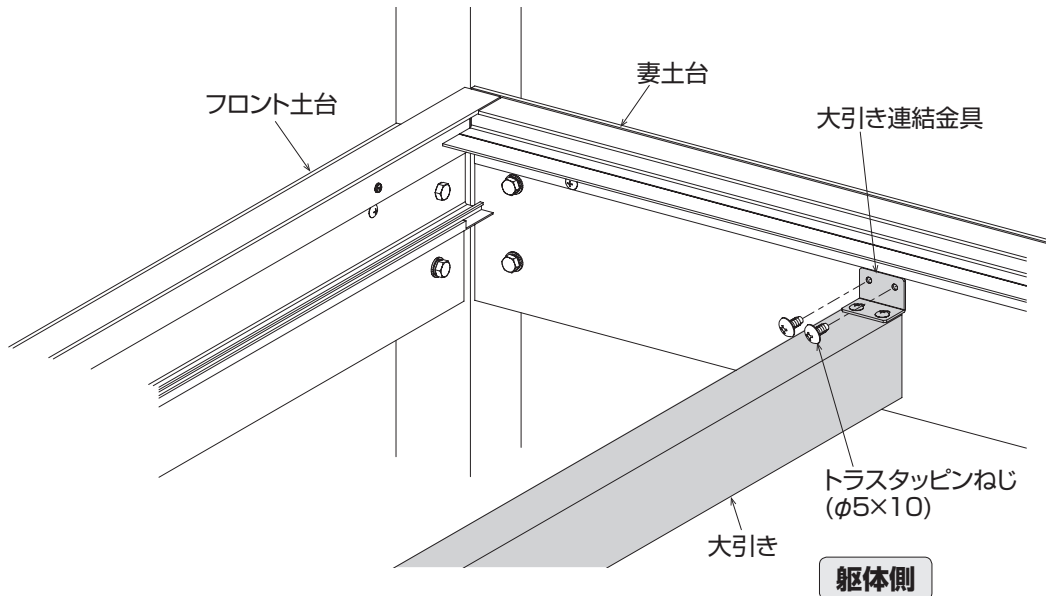


(単位：mm)

大引きの取付

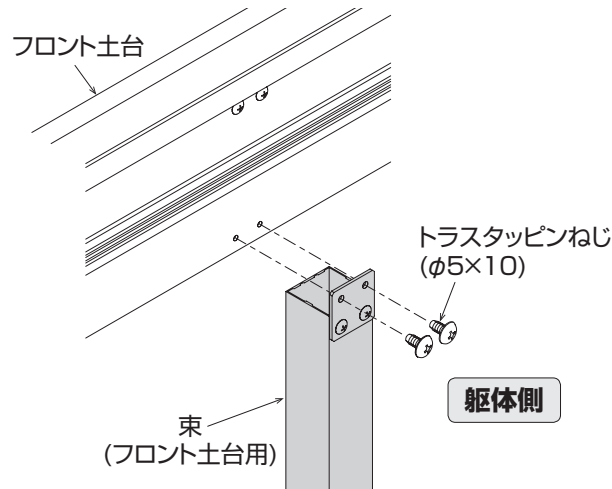
根太掛けセット（基本仕様） 出幅 7～9 尺／大引きセット（オプション仕様）の場合

1. 大引きを妻土台に取付けてください。



束（フロント土台用）の取付

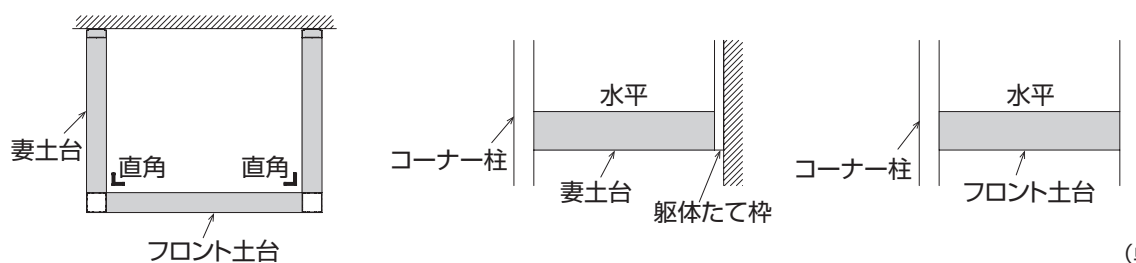
1. 束(フロント土台用)をフロント土台に取付けてください。



フレーム寸法の確認

1. フロント土台・妻土台の直角を確認してください。

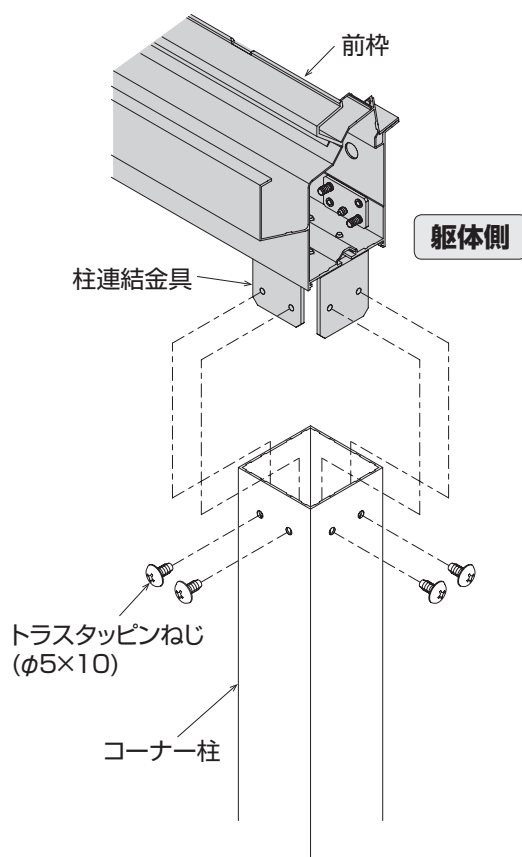
2. フロント土台・妻土台の水平を確認してください。



前枠の取付

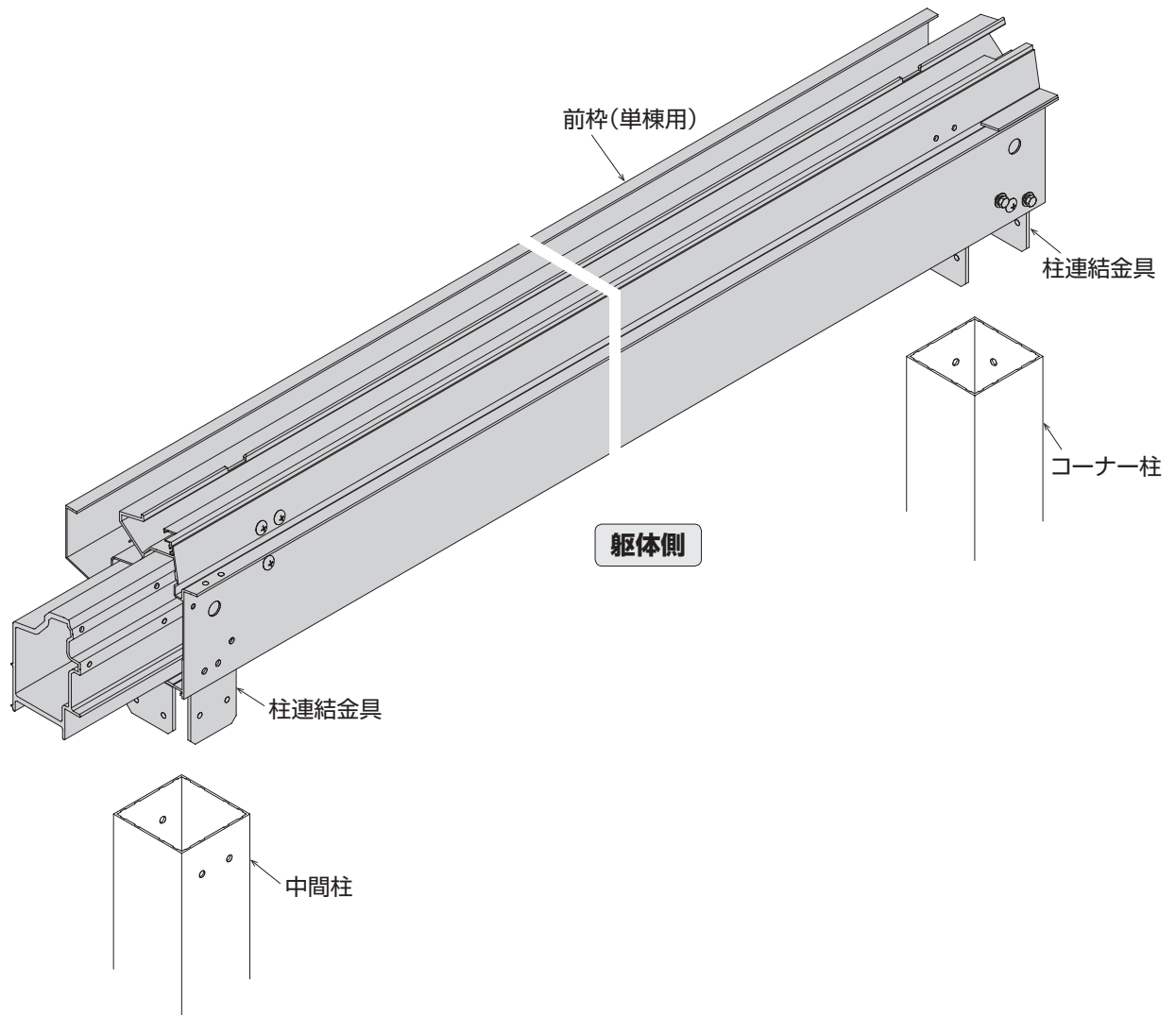
単棟の場合

1. 前枠の柱連結金具をコーナー柱に挿入してください。
2. 前枠をコーナー柱に取付けてください。

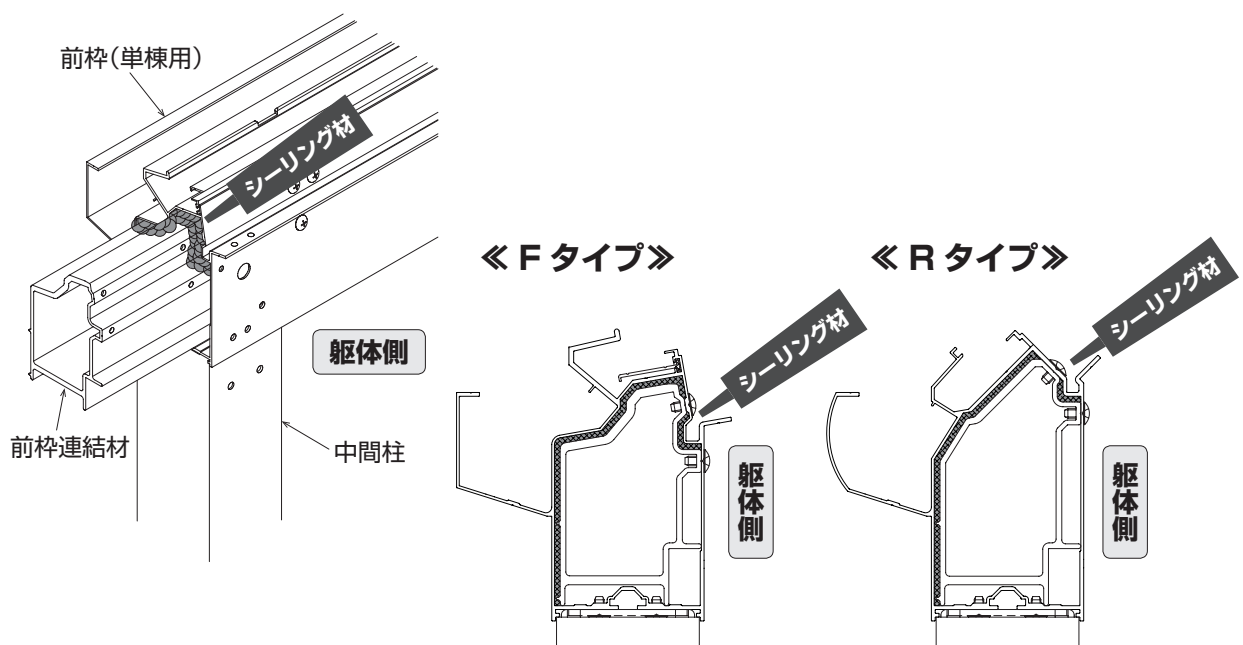


連棟の場合

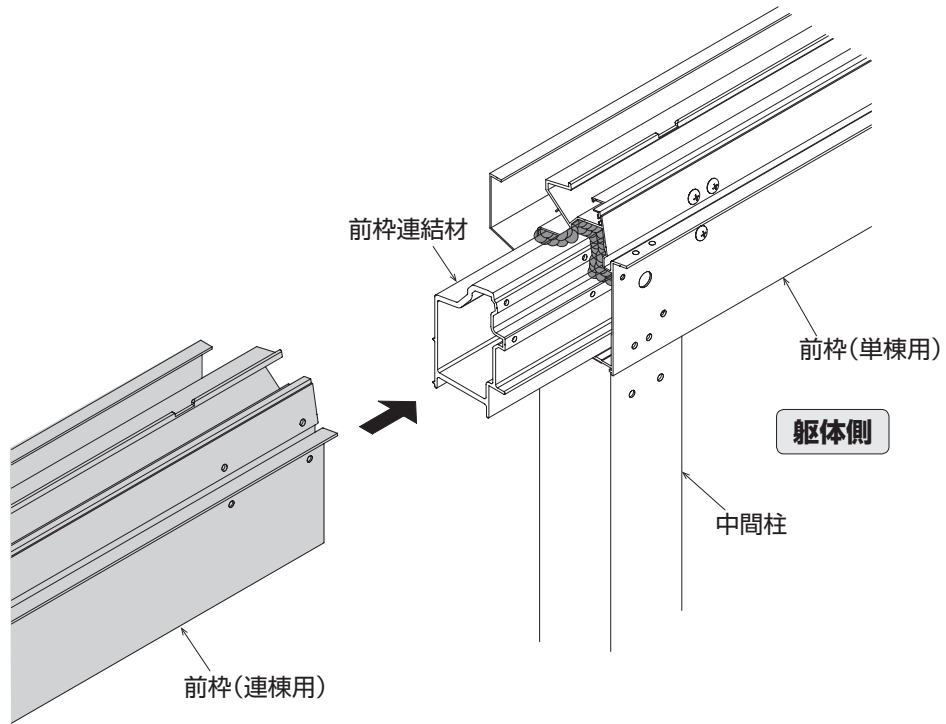
1. 単棟用の前枠の柱連結金具をコーナー柱と中間柱に挿入してください。



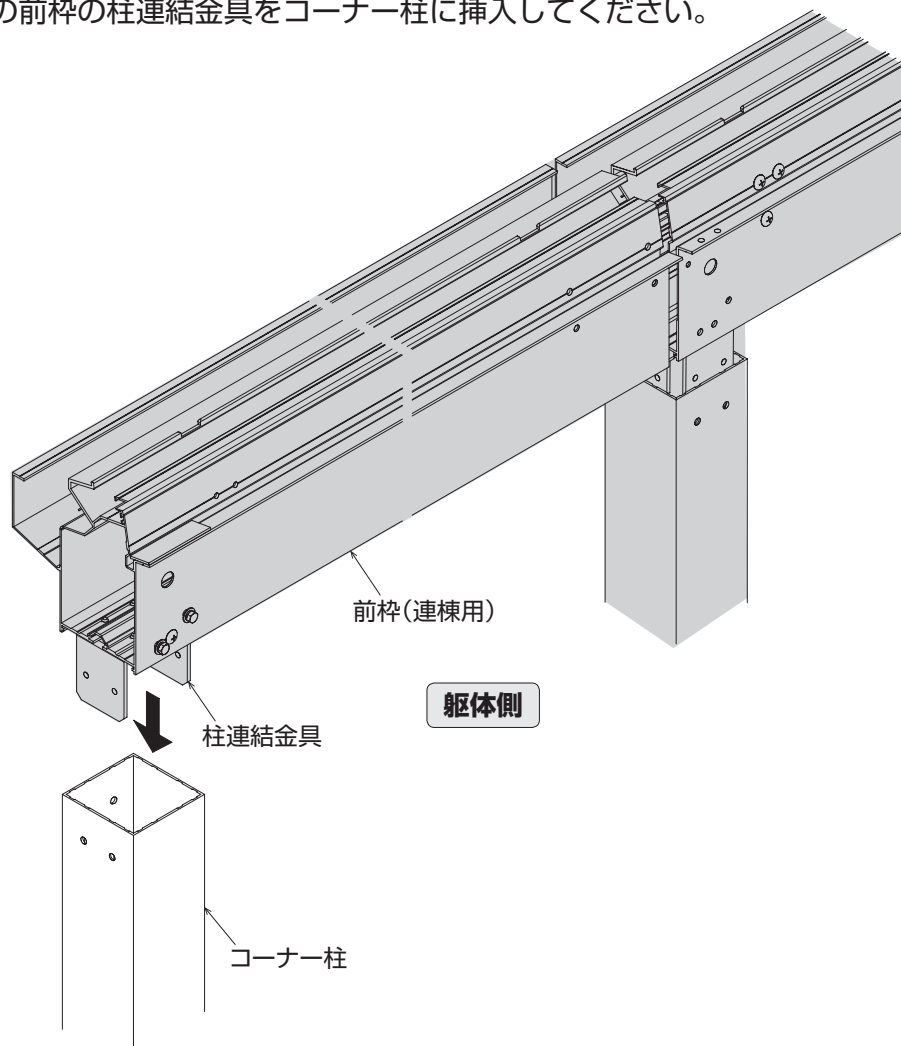
2. 単棟用の前枠連結材にシーリング材を充てんしてください。



3. 連棟用の前枠を単棟用の前枠連結材に挿入してください。



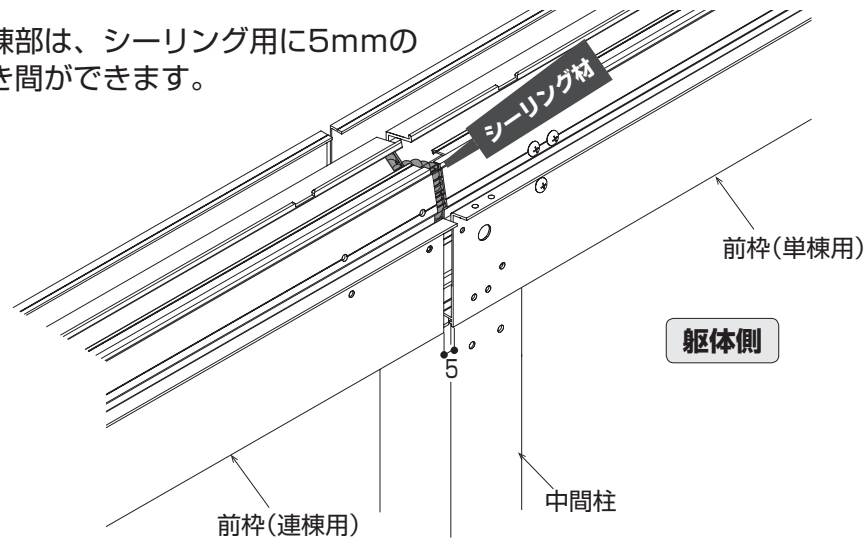
4. 連棟用の前枠の柱連結金具をコーナー柱に挿入してください。



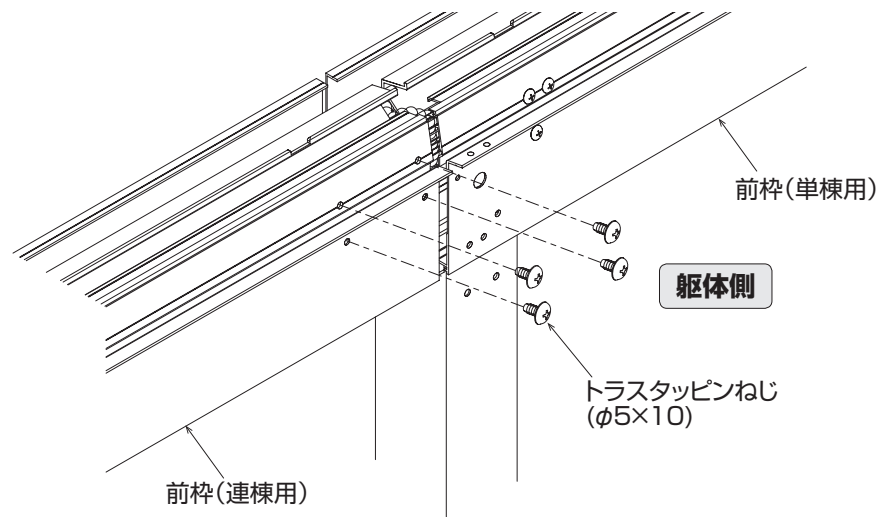
5. 連棟用の前枠ホロー内部にシーリング材を充てんしてください。



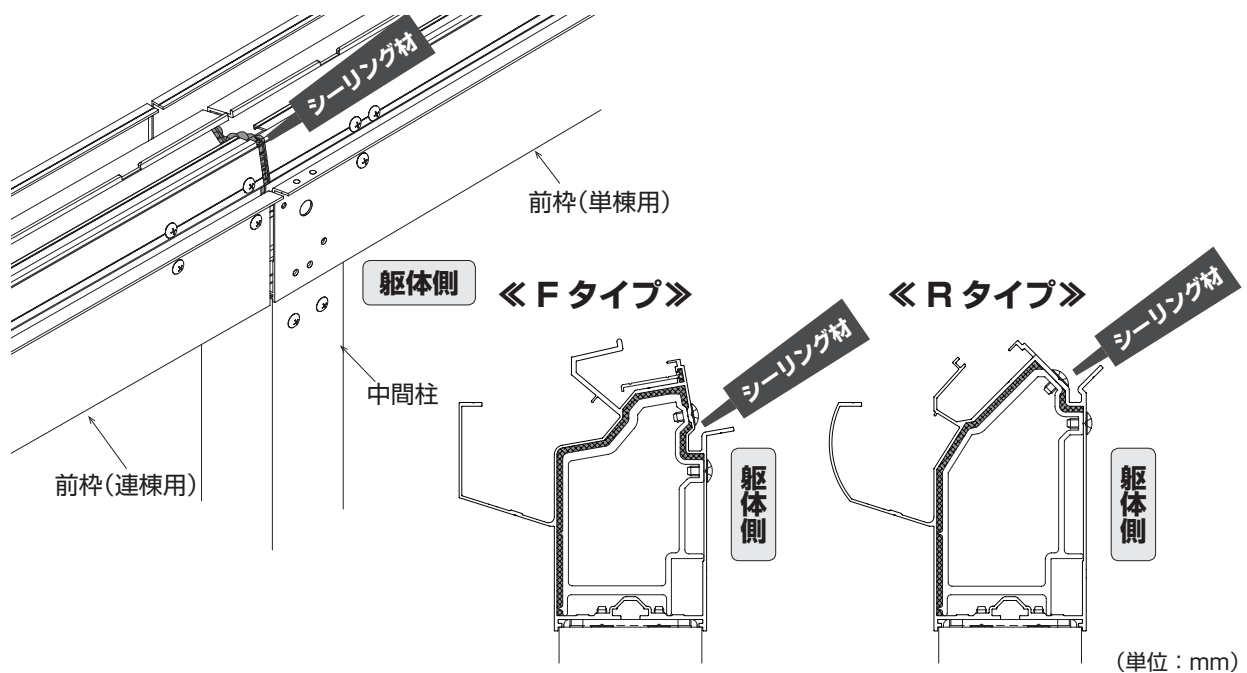
- 連棟部は、シーリング用に5mmのすき間ができます。



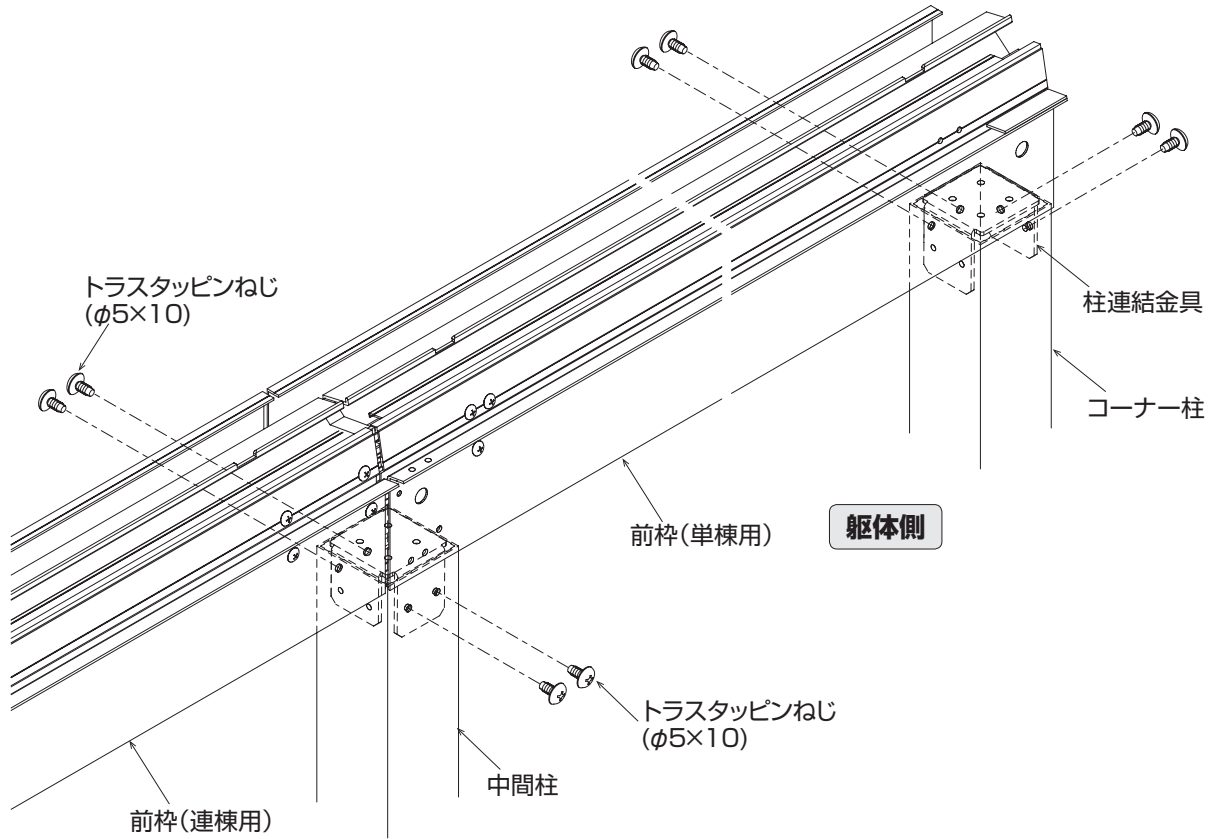
6. 連棟用の前枠を単棟用の前枠連結材に取付けてください。



7. 前枠連棟部にシーリングを増し打ちしてください。

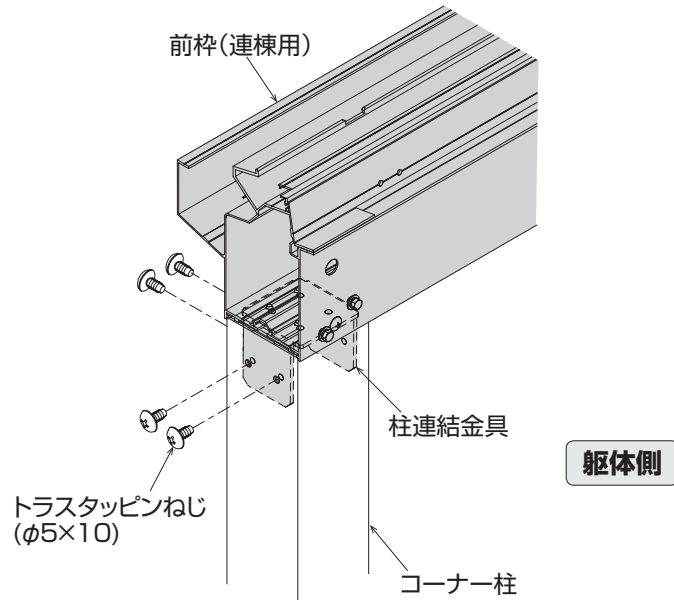


8. 単棟用の前枠をコーナー柱と中間柱に取付けてください。



本体フレームの施工

9. 連棟用の前枠をコーナー柱に取付けてください。



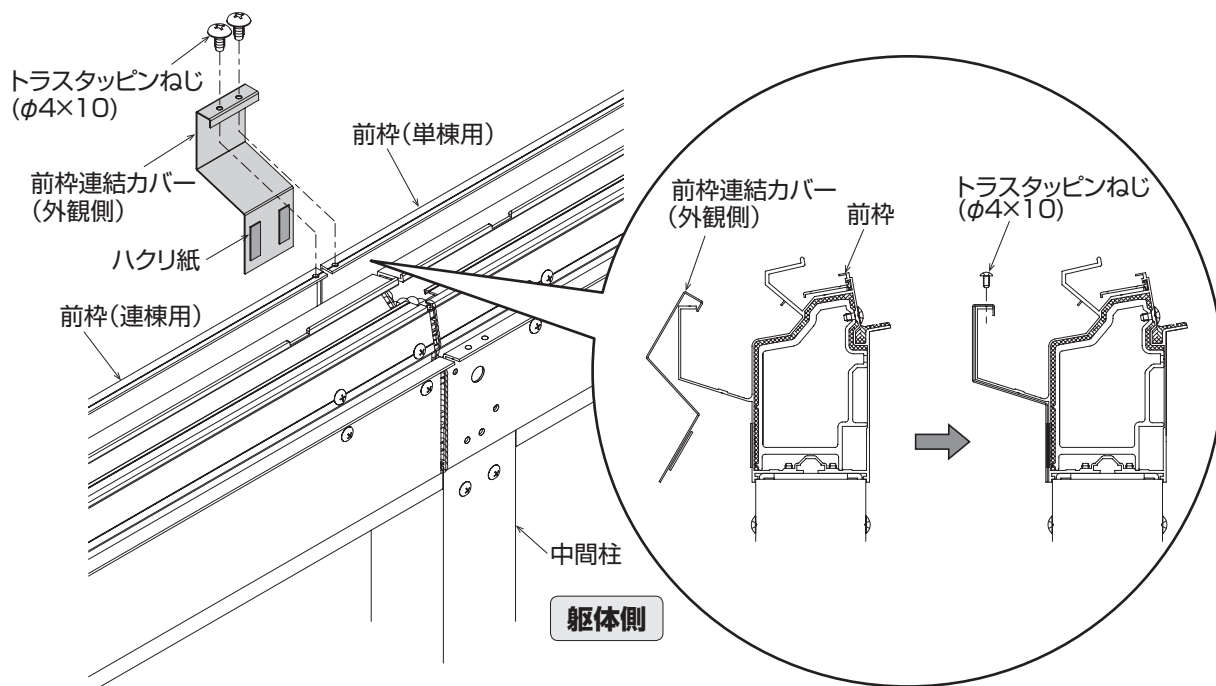
(単位 : mm)

前枠連棟部のシーリング（連棟の場合）

1. 外観側前枠連結カバーの両面テープのハクリ紙をはがし、前枠連棟部に貼付けてください。
2. 外観側前枠連結カバーを前枠に取付けてください。
3. 内観側前枠連結カバーの両面テープのハクリ紙をはがし、前枠連棟部に貼付けてください。

お願い

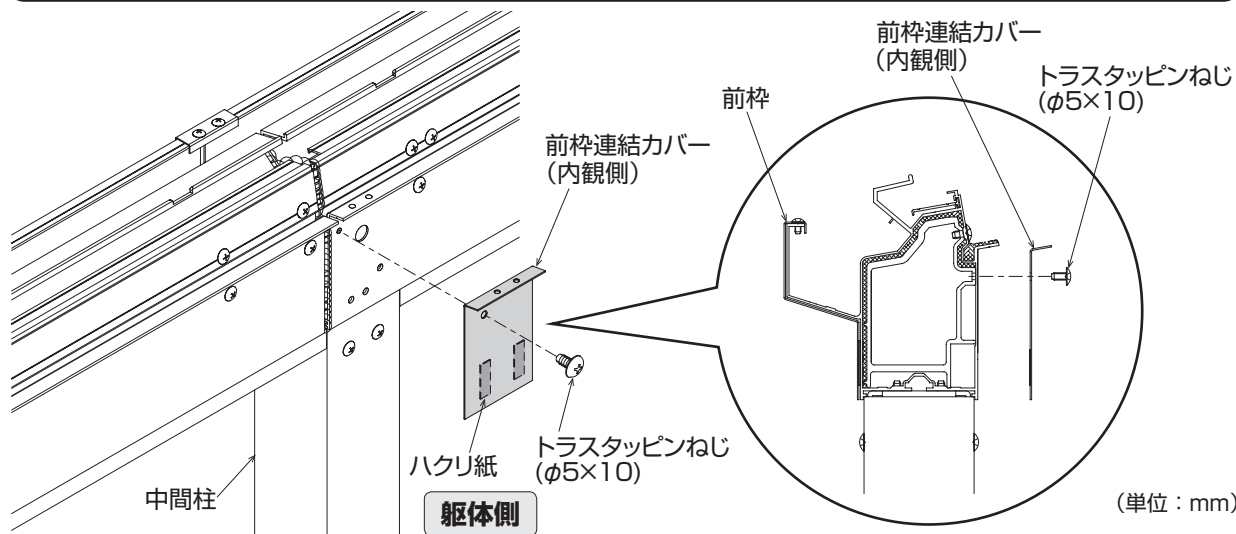
- あらかじめ両面テープ貼付け部の汚れや油分などを落としてください。貼付け後、しっかりと押えつけ、テープを確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



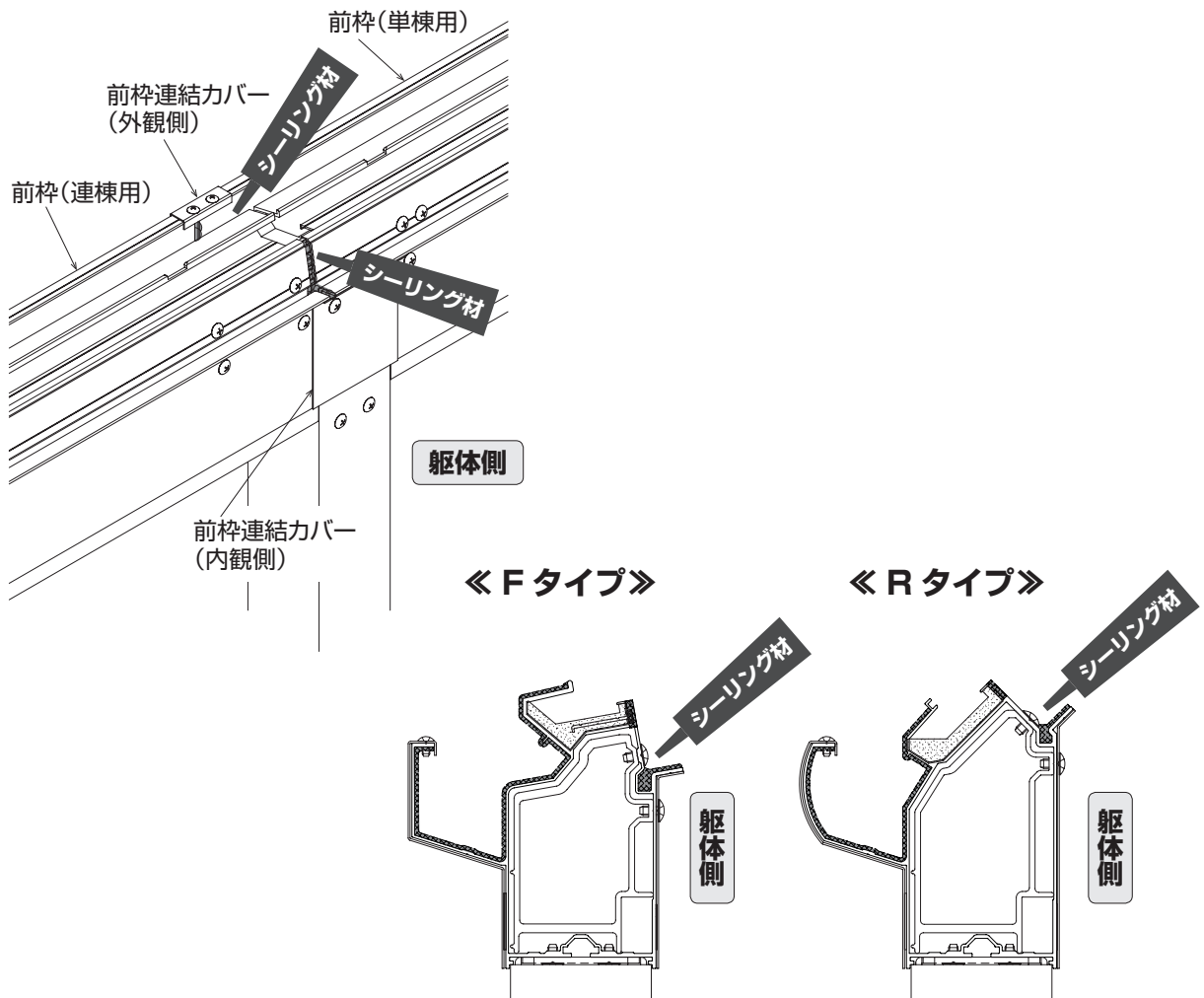
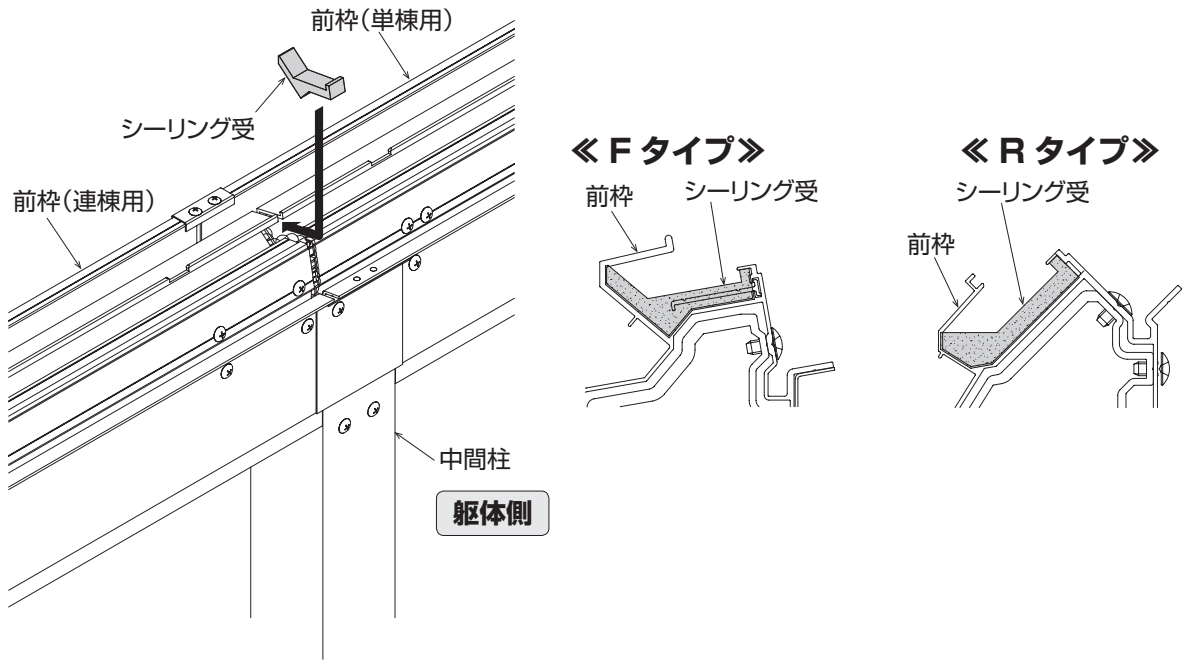
4. 内観側前枠連結カバーを前枠に取付けてください。
5. シーリング受を前枠連棟部に挿入してください。

お願い

- あらかじめ両面テープ貼付け部の汚れや油分などを落としてください。貼付け後、しっかりと押えつけ、テープを確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。

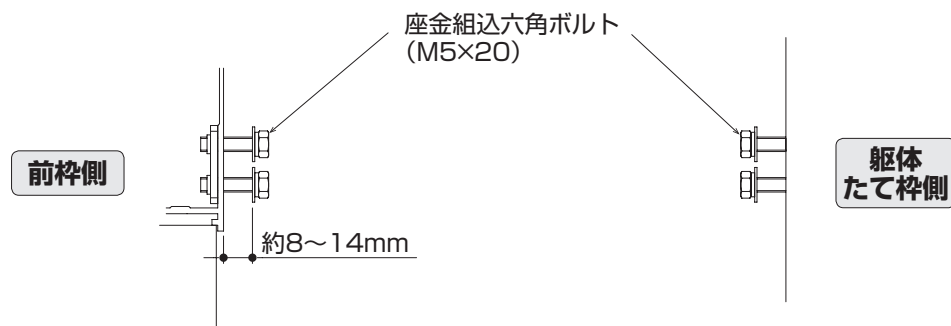


6. 前枠連棟部にシーリング材を充てんしてください。



腕木の取付

1. 座金組込六角ボルトが8~14mm程浮かせて取付いていることを確認してください。

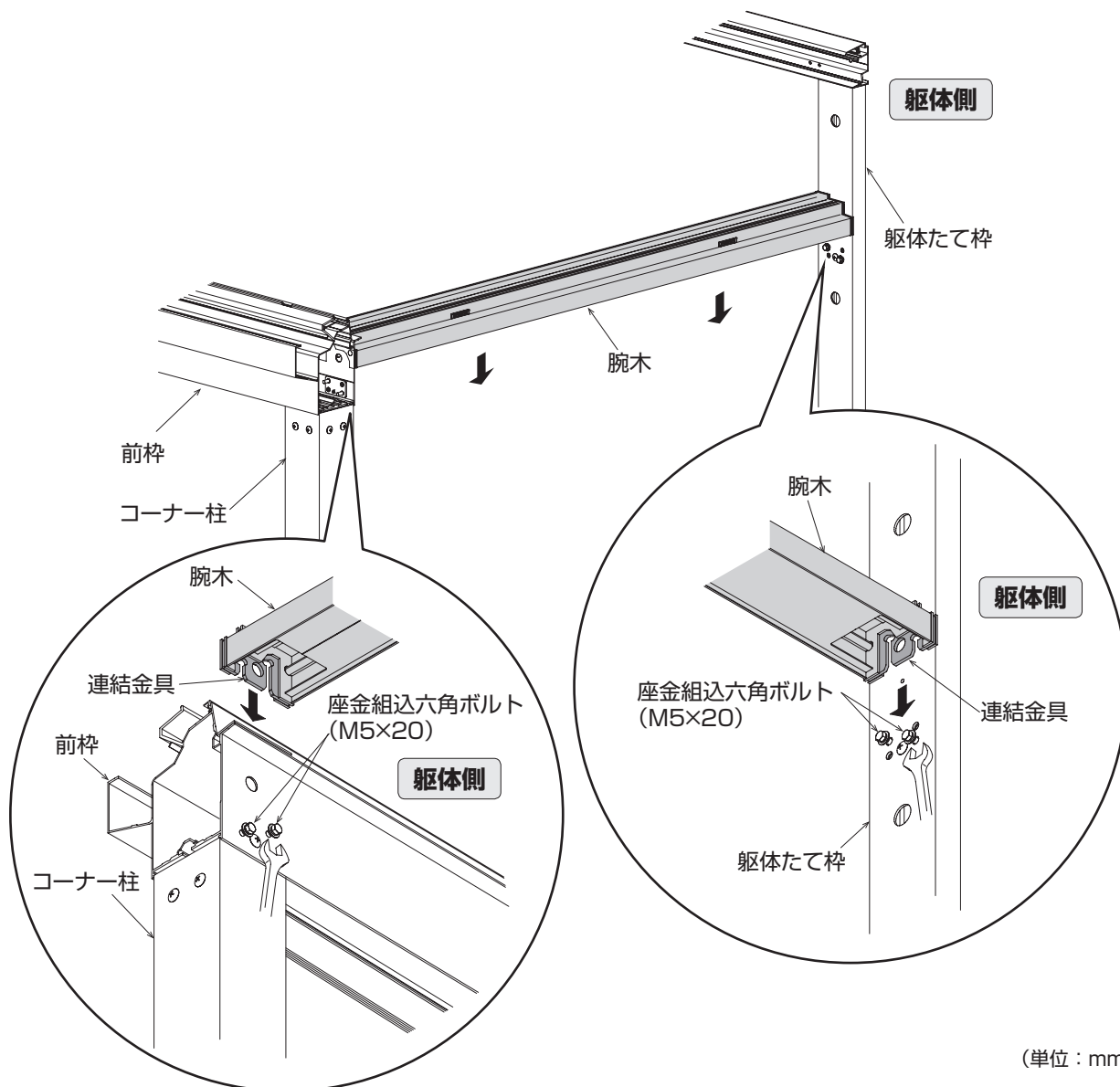


2. 腕木の連結金具を座金組込六角ボルトに引っ掛けてください。

3. 腕木を躯体たて枠と前枠に取付けてください。

お願い

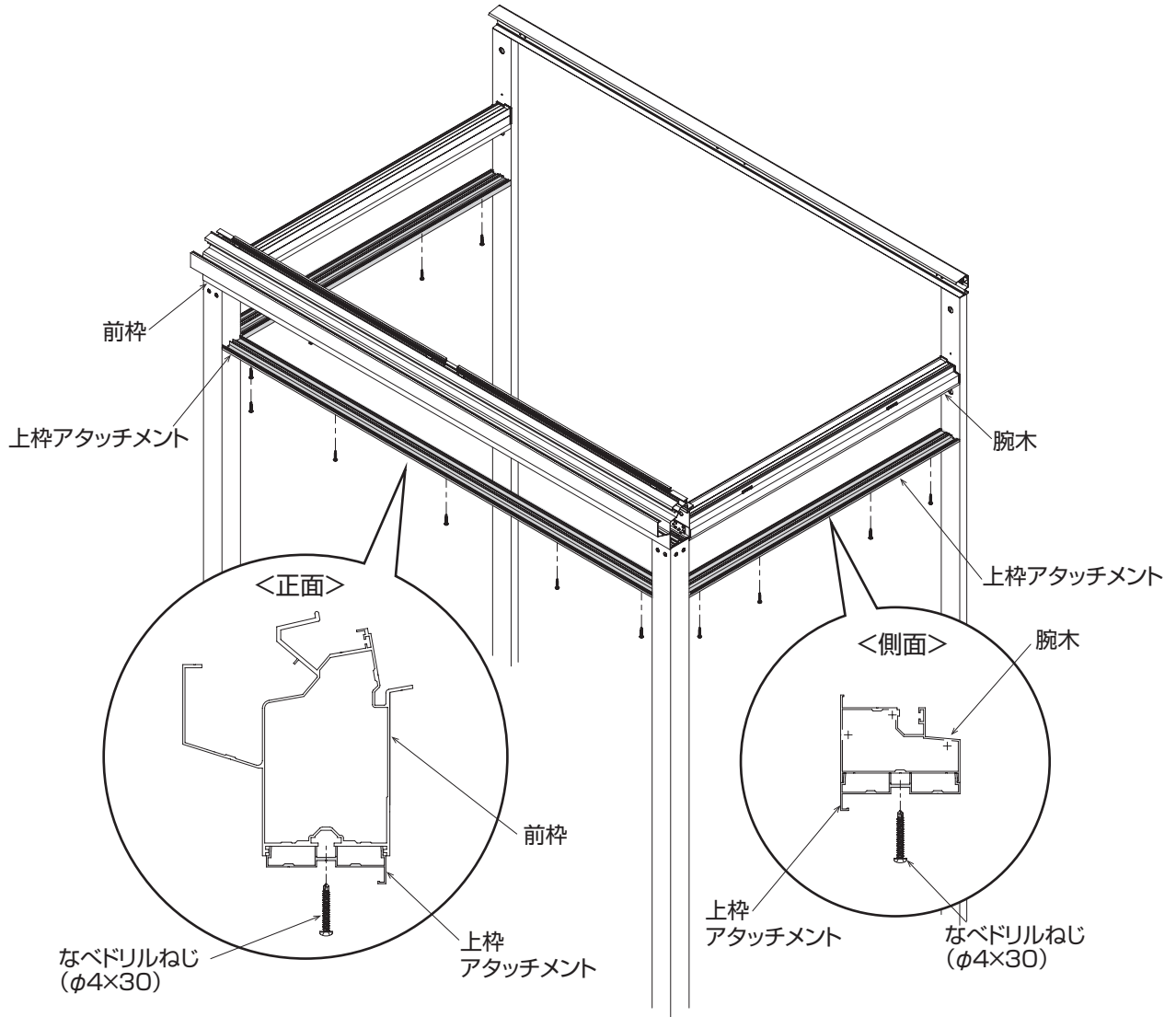
- 腕木連結金具のシーラーが確実につぶれるまでスパナなどでボルトを締めつけてください。



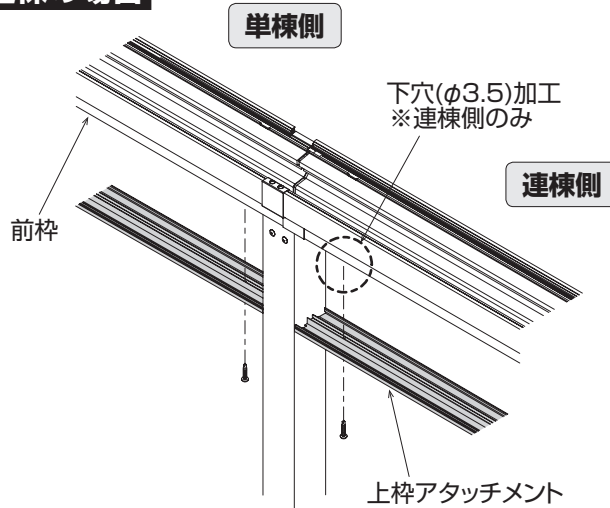
(単位：mm)

上枠アタッチメントの取付

1. 上枠アタッチメント(正面)を前枠に取付けてください。
2. 上枠アタッチメント(側面)を腕木に取付けてください。



連棟の場合



(単位: mm)

屋根部の施工

屋根部の施工（上から施工の場合）……………P.60

- 妻垂木の加工…………… P.60
- 妻垂木・垂木の部品付…………… P.61
- 妻垂木の組立…………… P.63
- 屋根部の取付…………… P.64

屋根部の施工（下から施工の場合）……………P.73

- 妻垂木の加工…………… P.73
- 妻垂木・垂木の部品付…………… P.74
- 妻垂木の組立…………… P.76
- 屋根部の取付…………… P.77

妻 FIX 部の施工……………P.85

- 前枠・妻 FIX パネル（面材）・吊束の部品付…………… P.85
- 吊束の組立…………… P.87
- 妻 FIX 部の取付…………… P.88

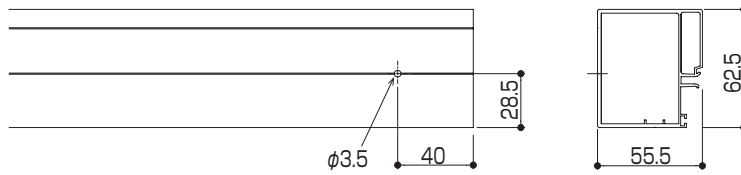
屋根部の施工（上から施工の場合）

妻垂木の加工

1. 妻垂木の見切り線に穴をあけてください。

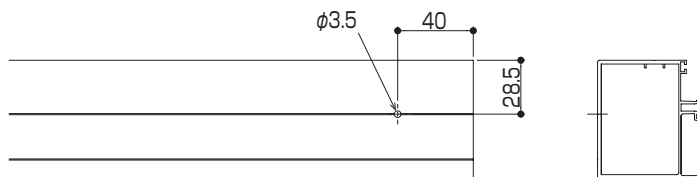
外觀右

躯体側



外觀左

躯体側



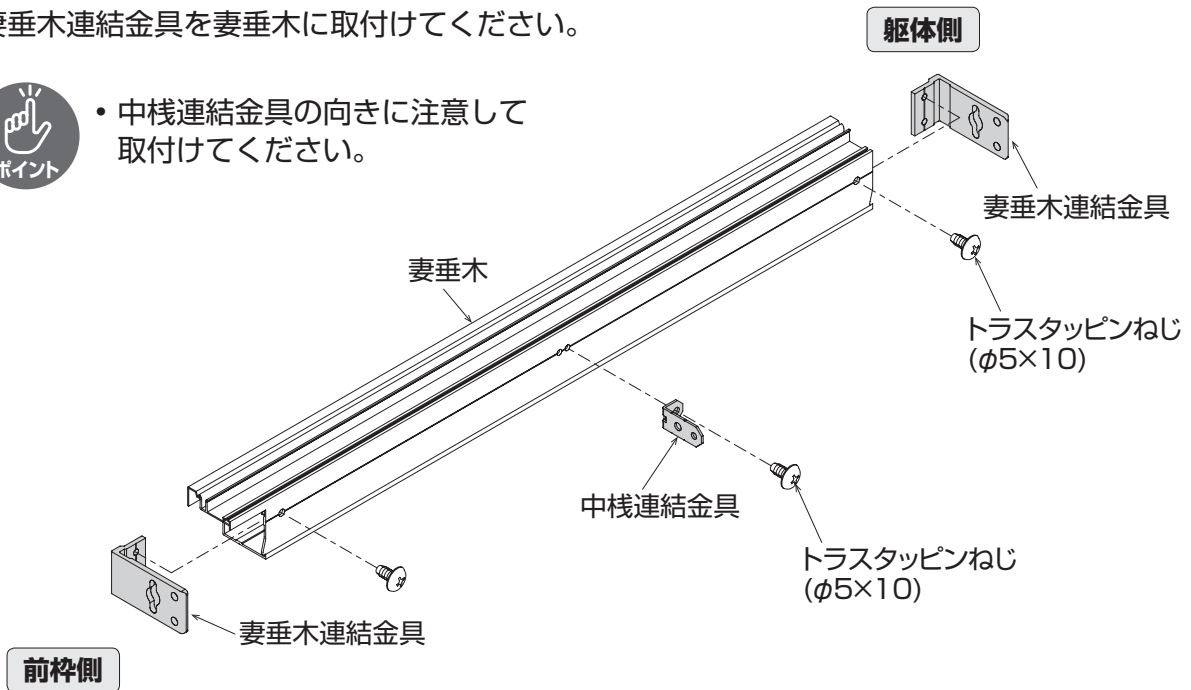
妻垂木・垂木の部品付

妻垂木の部品付

1. 中棧連結金具を妻垂木に取付けてください。
2. 妻垂木連結金具を妻垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

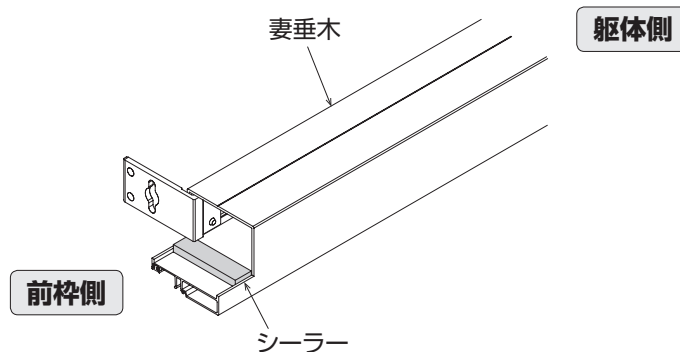


3. シーラーを妻垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用	下から施工用
妻垂木		
シーラー		



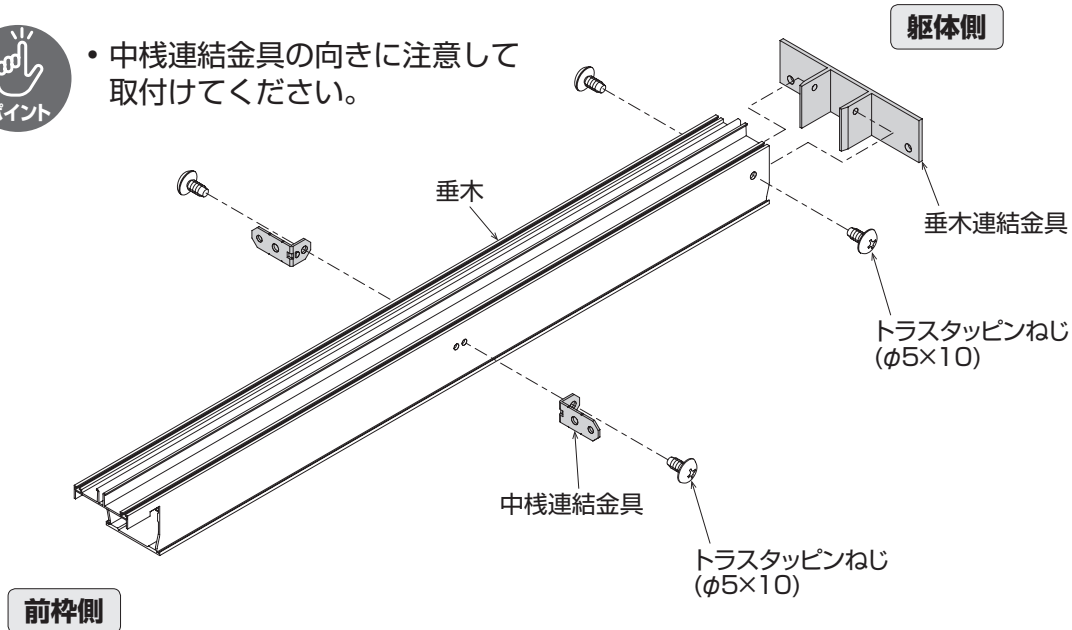
(単位：mm)

垂木の部品付

1. 中棧連結金具を垂木に取付けてください。
2. 垂木連結金具を垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

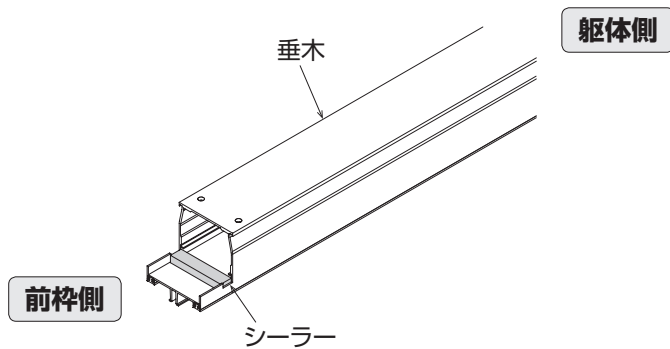


3. シーラーを垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用		下から施工用	
	薄肉	厚肉	薄肉	厚肉
垂木				
シーラー				



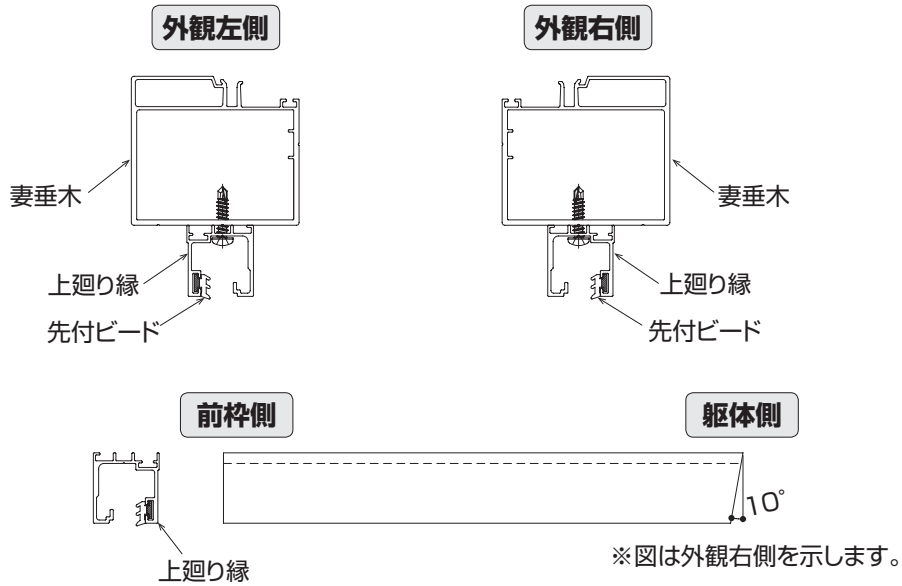
(単位：mm)

妻垂木の組立

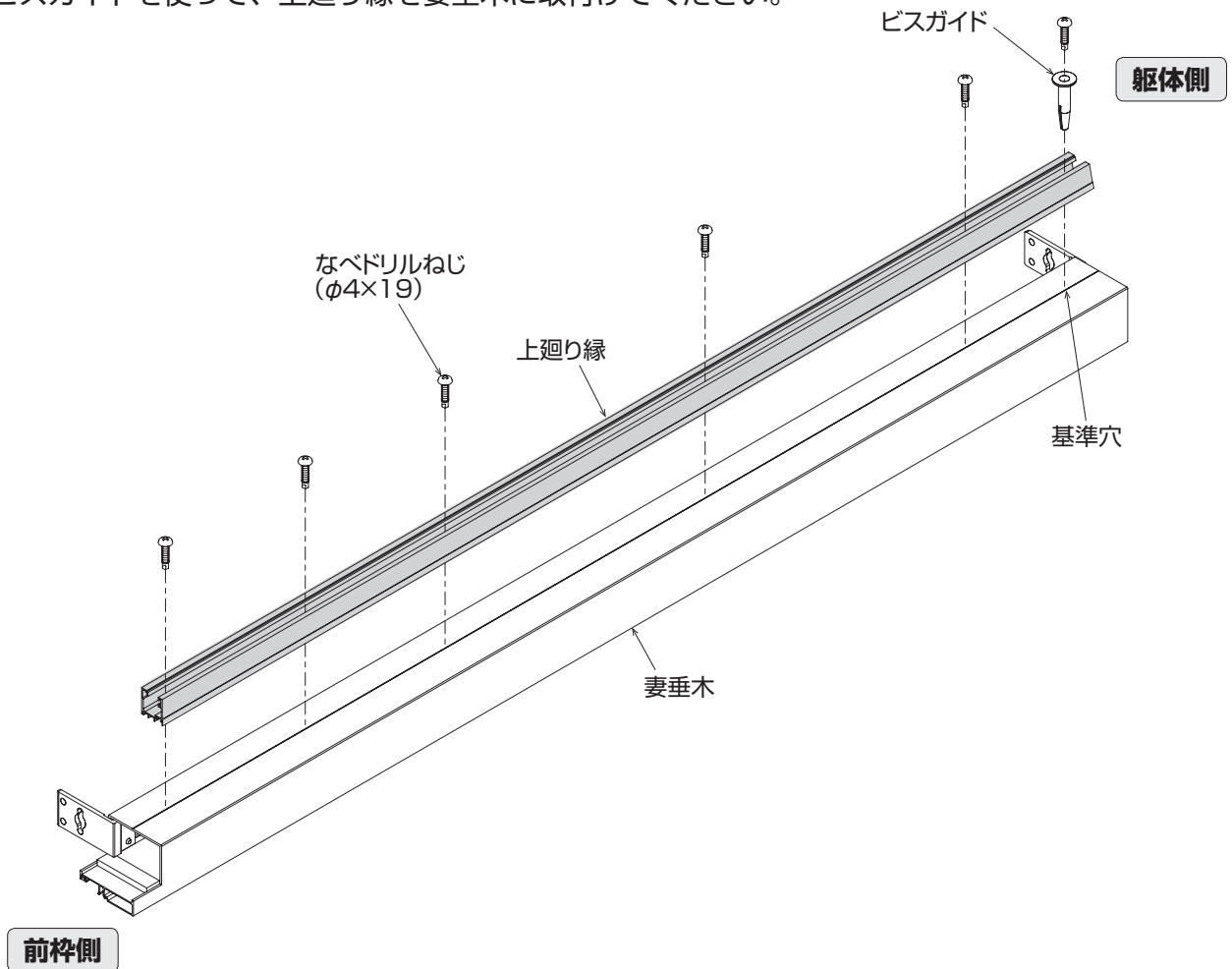
1. 上廻り縁の向きを確認してください。



• 先付ビード側が外観側、角度切断側が躯体側になります。



2. ビスガイドを使って、上廻り縁を妻垂木に取付けてください。

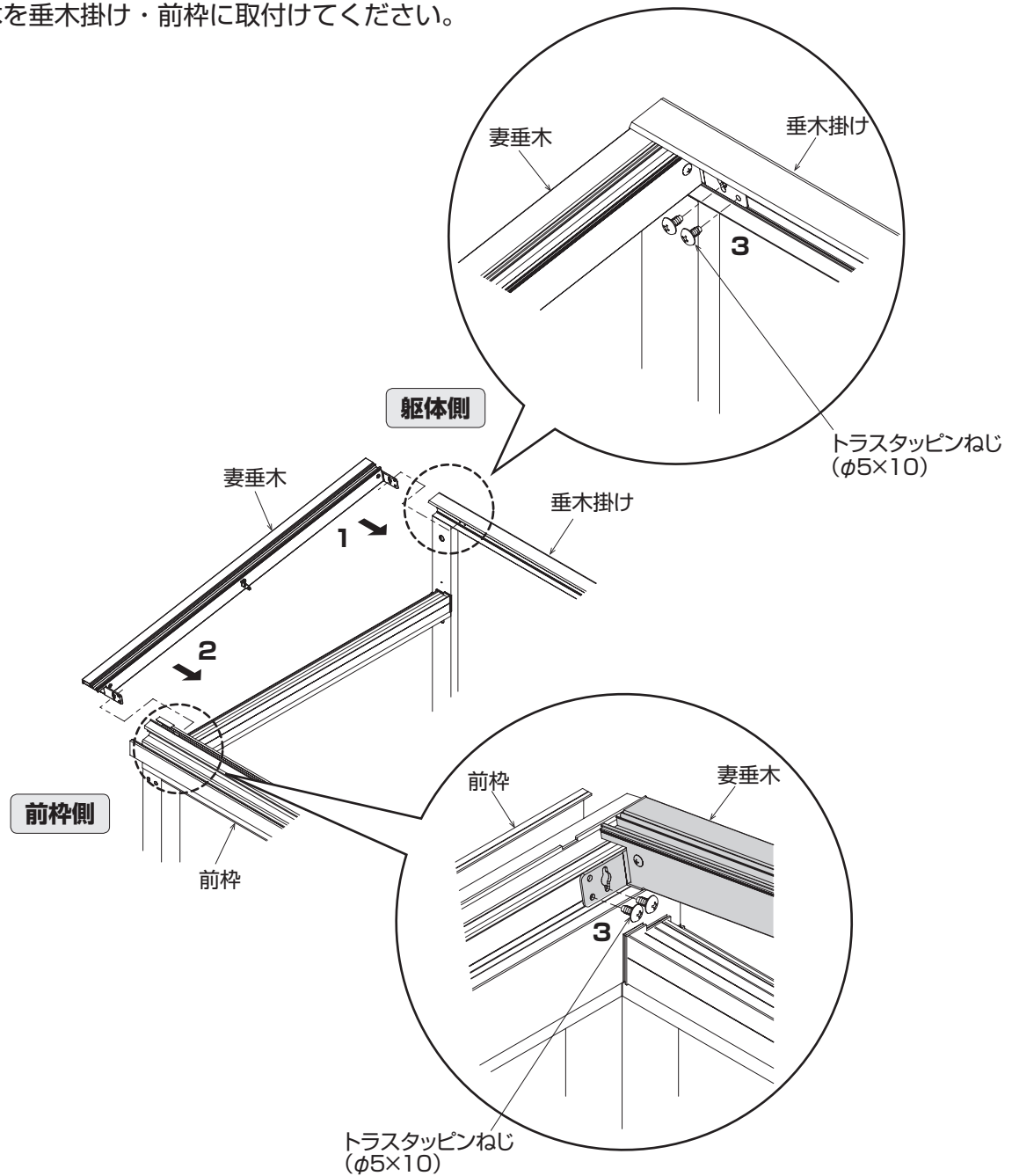


(単位：mm)

屋根部の取付

妻垂木の取付

1. 妻垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 妻垂木を前枠に挿入してください。
3. 妻垂木を垂木掛け・前枠に取付けてください。

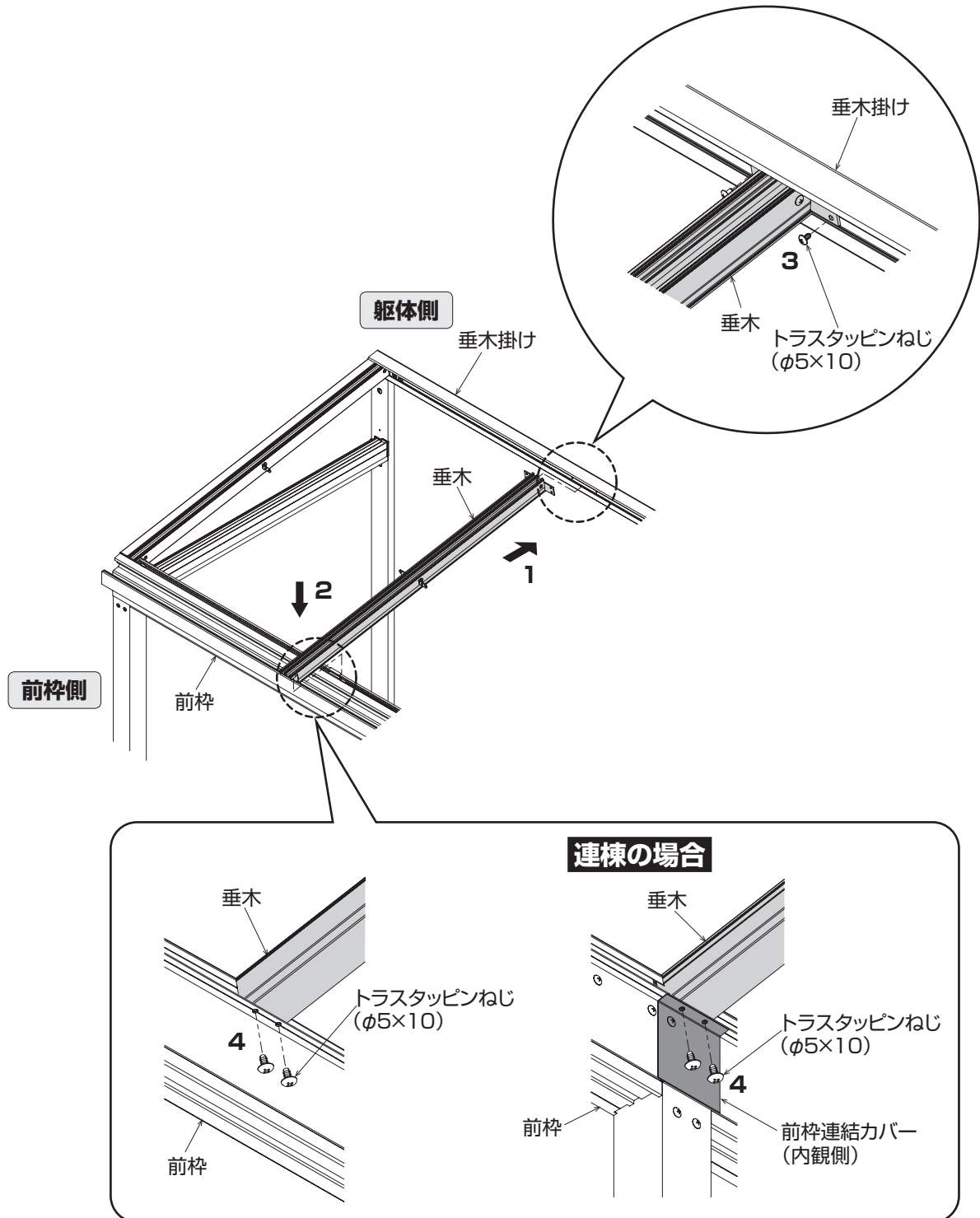


垂木の取付

1. 垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 垂木を前枠に挿入してください。
3. 垂木を垂木掛けに取付けてください。
4. 垂木を前枠に取付けてください。

連棟の場合

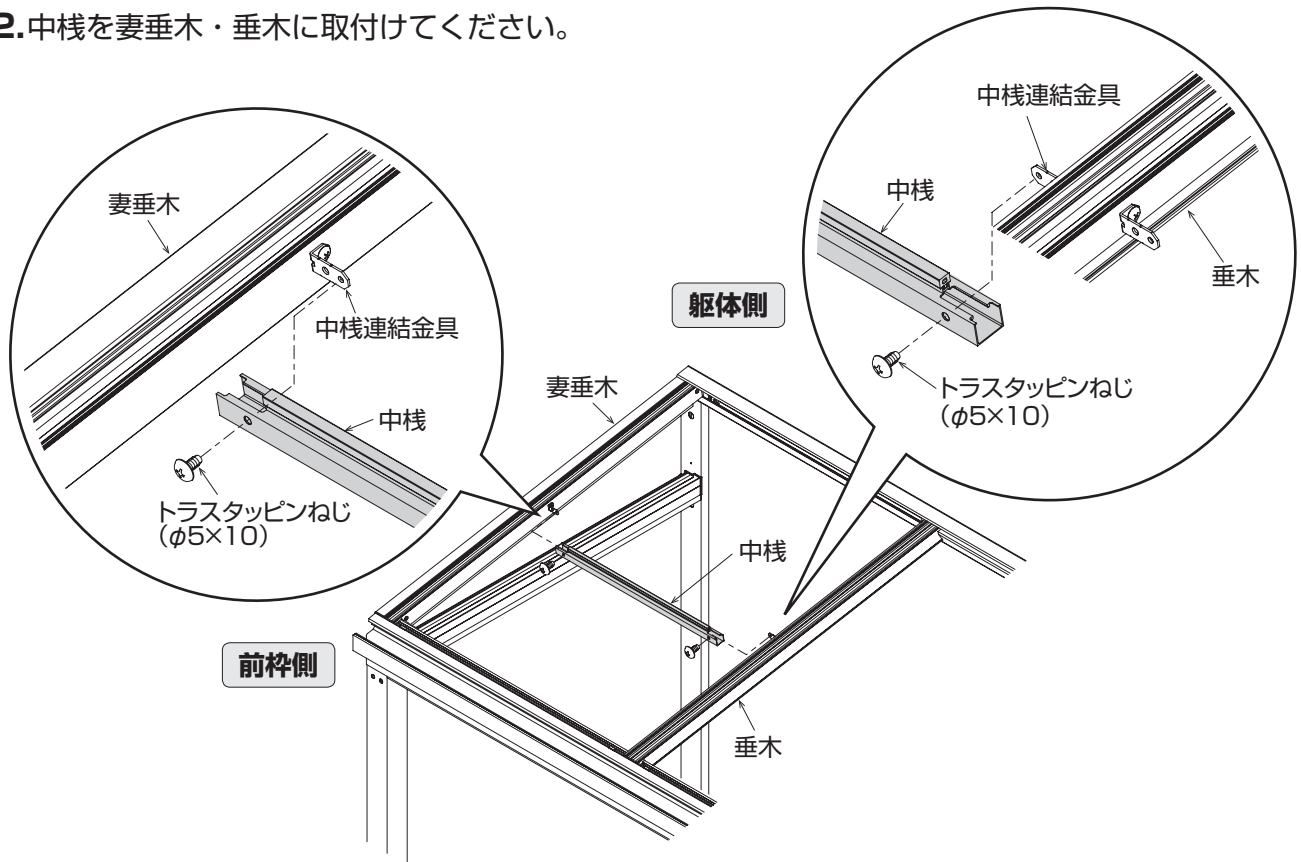
連棟部の垂木は、前枠連結カバー(内観側)と共締めしてください。



(単位：mm)

中棧の取付

1. 中棧を妻垂木・垂木の中棧連結金具に挿入してください。
2. 中棧を妻垂木・垂木に取付けてください。

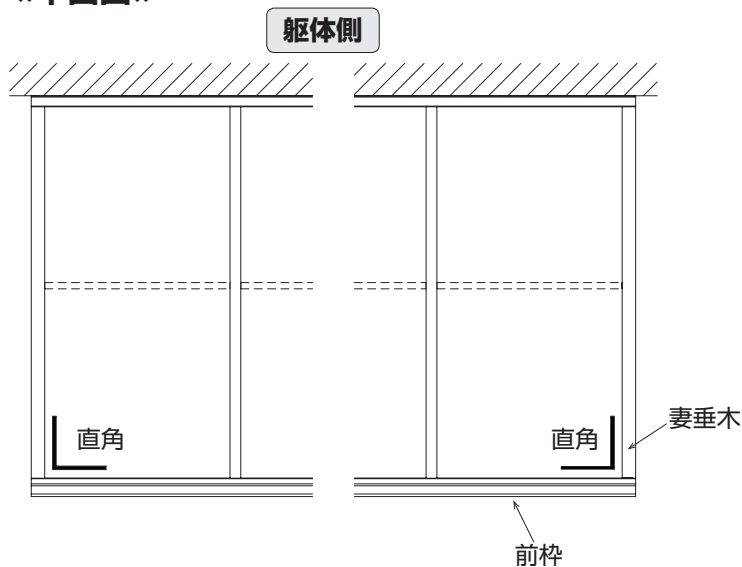


屋根部の施工

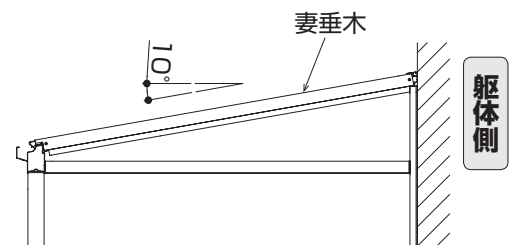
フレームの寸法確認

1. 前枠・妻垂木の直角を確認してください。
2. 妻垂木の勾配（10°）を確認してください。

《平面図》



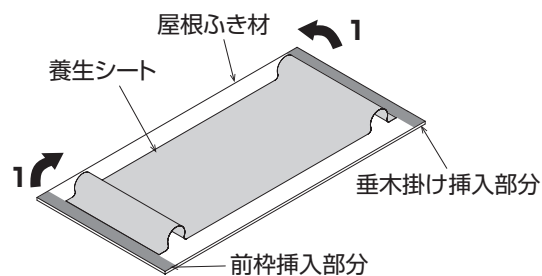
《側面図》



(単位：mm)

屋根ふき材の取付

1. 屋根ふき材養生シートの前枠・垂木掛け挿入部分をはがしてください。

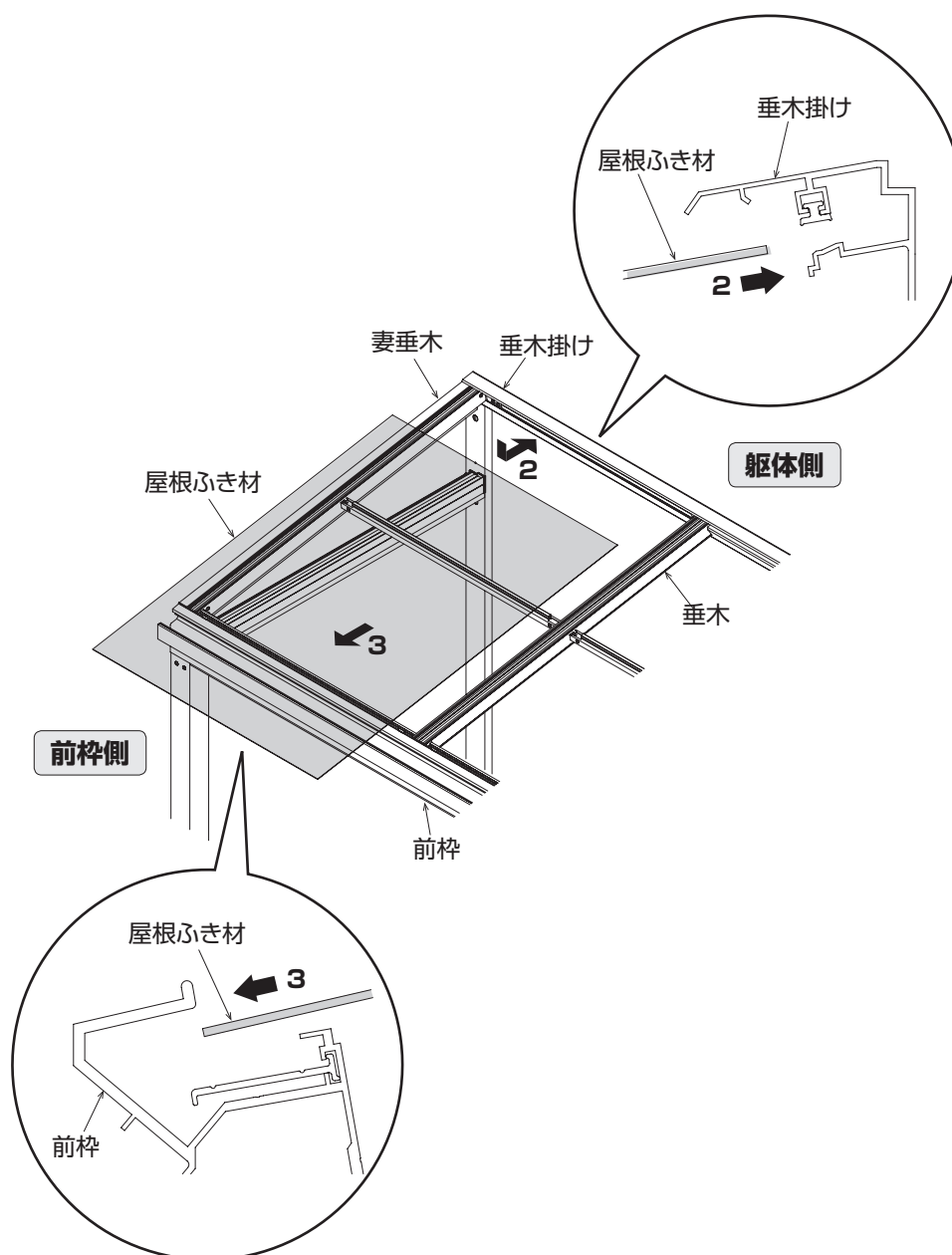


2. 屋根ふき材を垂木掛けに挿入してください。

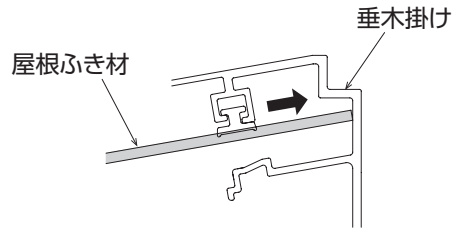
3. 屋根ふき材を前枠に挿入してください。



• 屋根ふき材がマット調の場合、マット面（凹凸面）を屋根下面にして取付けてください。



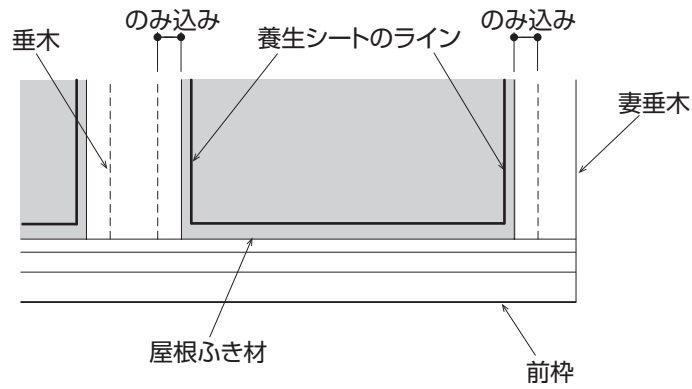
4. 屋根ふき材を垂木掛けにあたるまで、寄せてください。



5. 屋根ふき材の左右のみ込みをあわせてください。

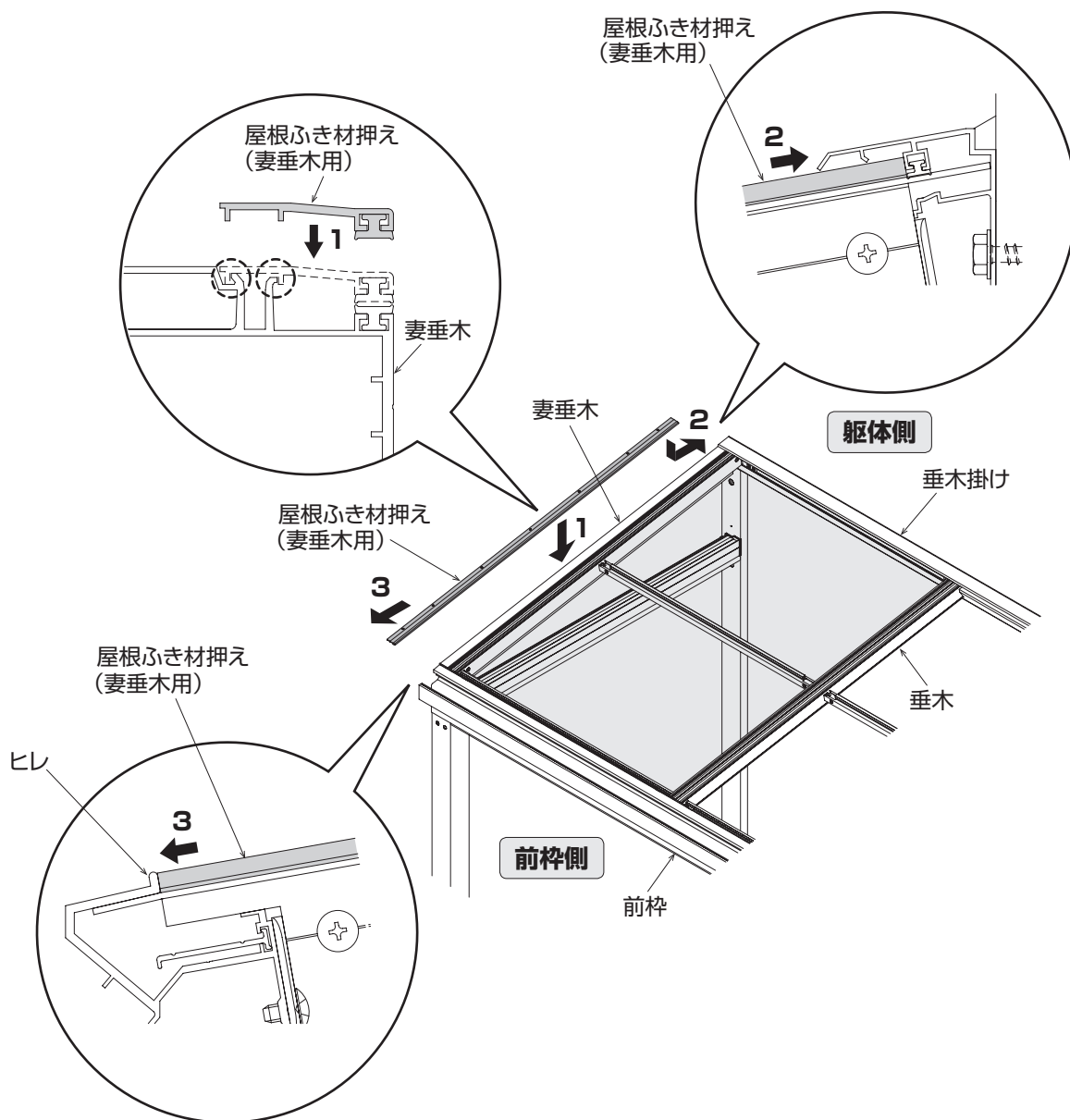
お願い

- 養生シートのラインを参考にし、屋根ふき材のみ込みが左右同じになるように調整してください。屋根ふき材の耐荷重性能低下の原因となります。



屋根ふき材押えの取付

1. 屋根ふき材押えを妻垂木の上ののせてください。
2. 屋根ふき材押えを垂木掛け側に挿入してください。
3. 屋根ふき材押えを前枠のヒレにあててください。



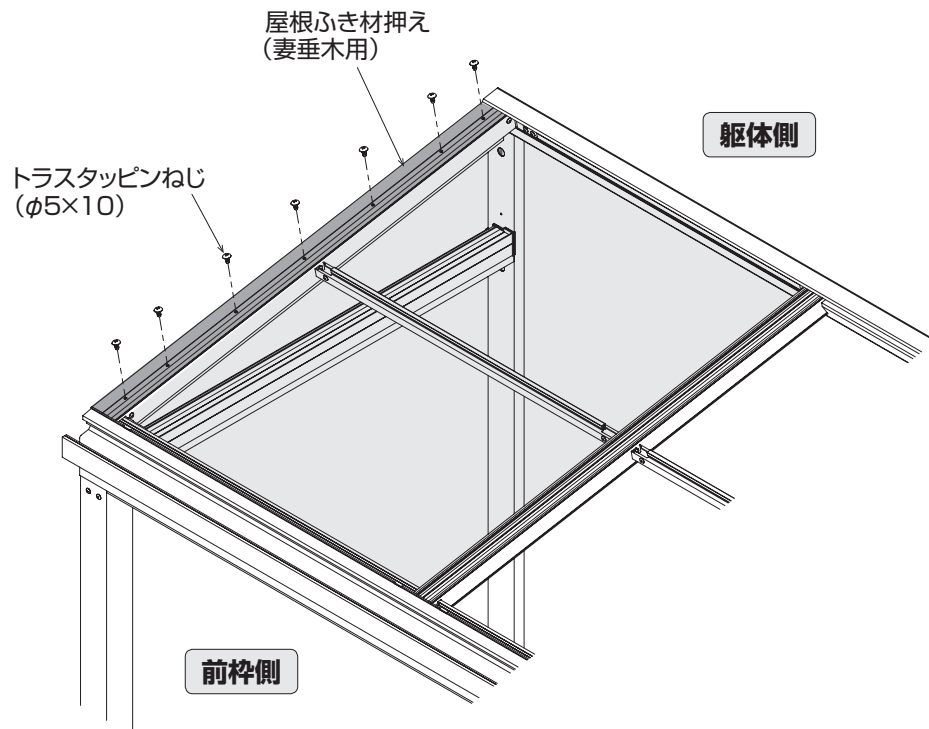
4. 屋根ふき材押えを妻垂木に取り付けてください。

お願い

- 前枠側→垂木掛けの順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えのねじは、垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、および斜めの取付けは雨漏りの原因となります。

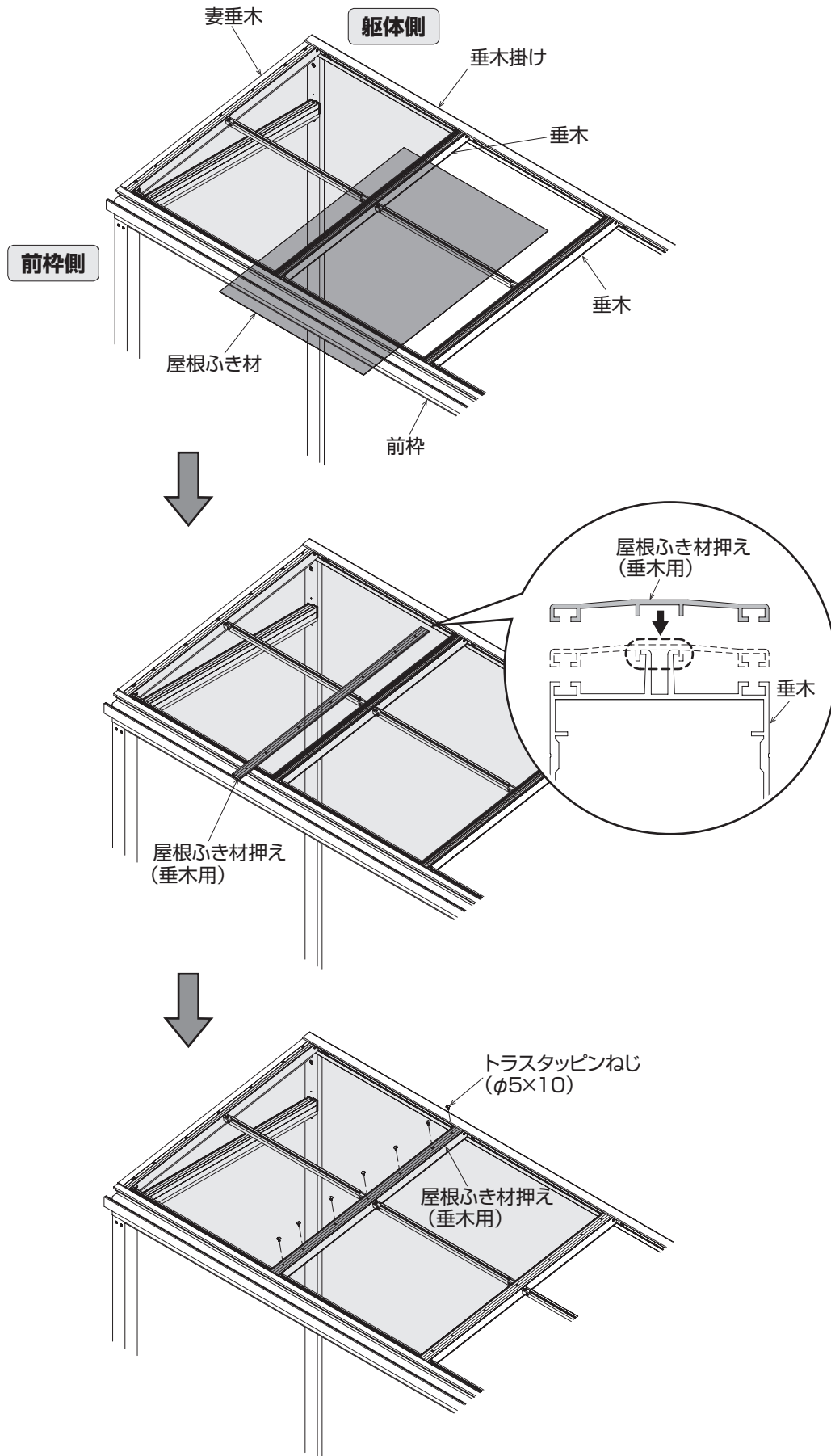


- 屋根ふき材押えと前枠にすき間がないことを確認してください。
- 屋根ふき材押えと妻垂木にズレがないことを確認してください。



「屋根ふき材の取付～屋根ふき材押えの取付」の繰返し

1.上記の作業（屋根ふき材の取付～屋根ふき材押えの取付）を繰返してください。



後付ビードの取付

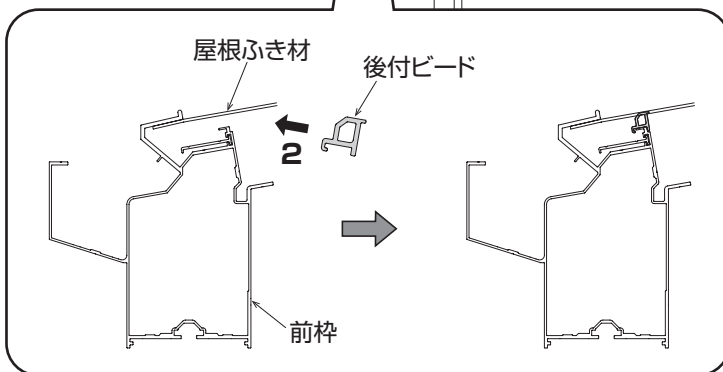
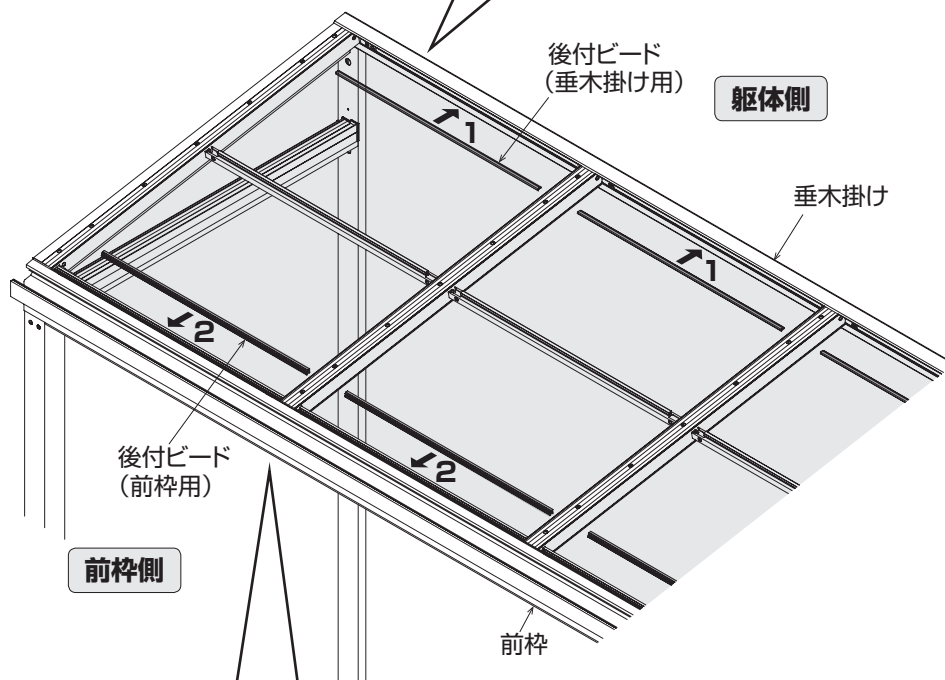
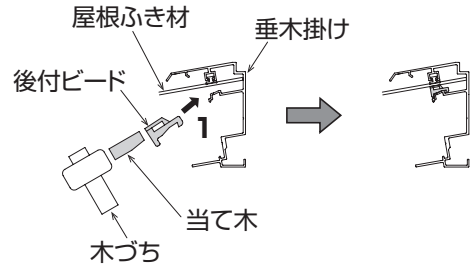
- 1.後付ビードを垂木掛けに取付けてください。
- 2.後付ビードを前枠に取付けてください。

お願い

- 後付ビードの向きと押込み量に注意し、取付けてください。
屋根ふき材の固定強度が著しく低下し、外れの原因となります。



- 後付ビードを取付ける際、当て木を使用すると作業がしやすくなります。



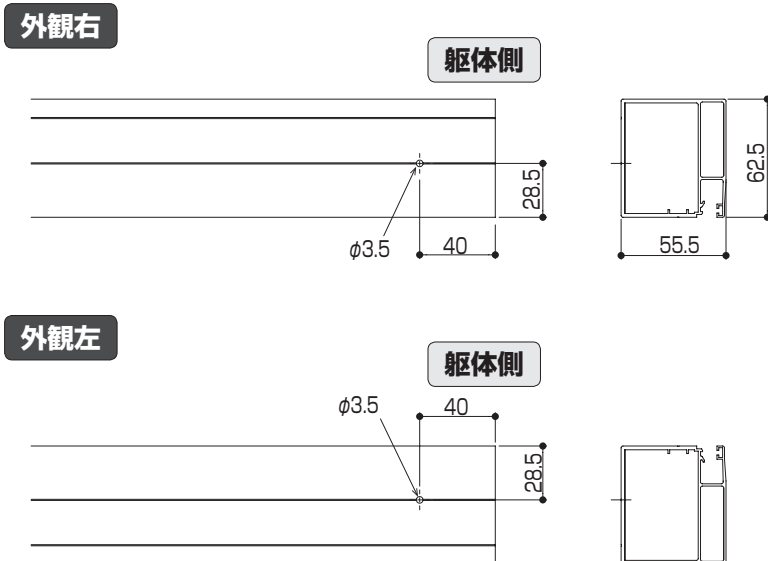
屋根ふき材養生シートの取外し

- 1.養生シートを屋根ふき材からすべてはがしてください。

屋根部の施工（下から施工の場合）

妻垂木の加工

1. 妻垂木の見切り線に穴をあけてください。



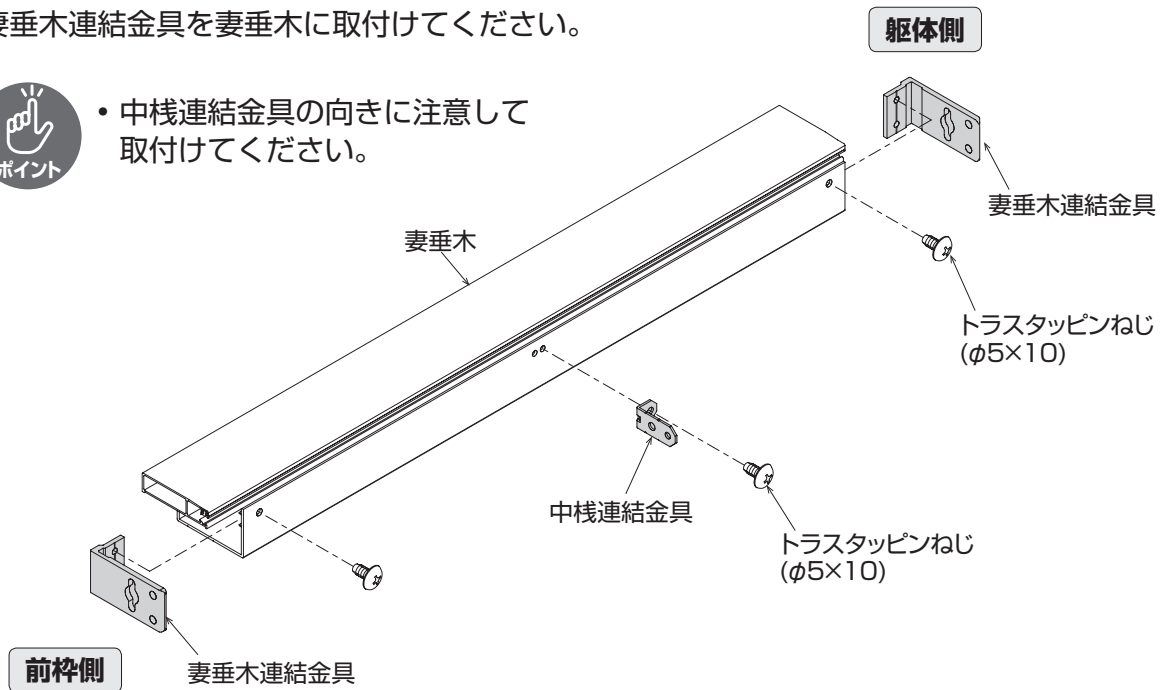
妻垂木・垂木の部品付

妻垂木の部品付

1. 中棧連結金具を妻垂木に取付けてください。
2. 妻垂木連結金具を妻垂木に取付けてください。



• 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

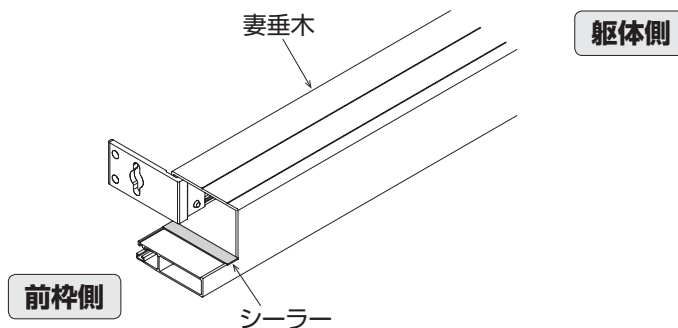


3. シーラーを妻垂木に貼付けてください。



• 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用	下から施工用
妻垂木		
シーラー		



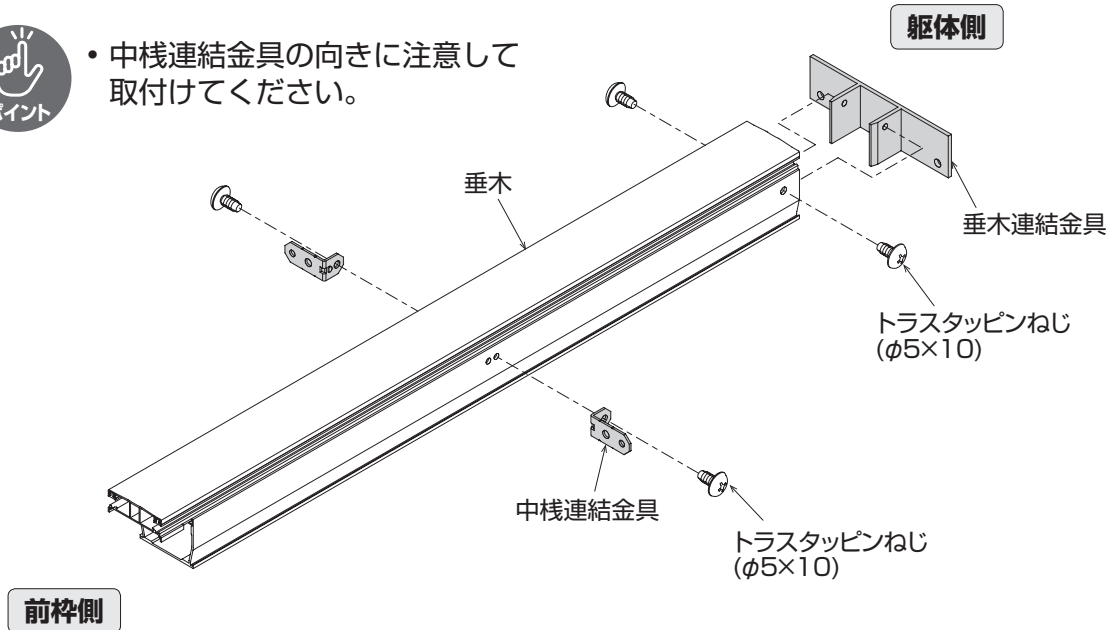
(単位：mm)

垂木の部品付

1. 中棧連結金具を垂木に取付けてください。
2. 垂木連結金具を垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

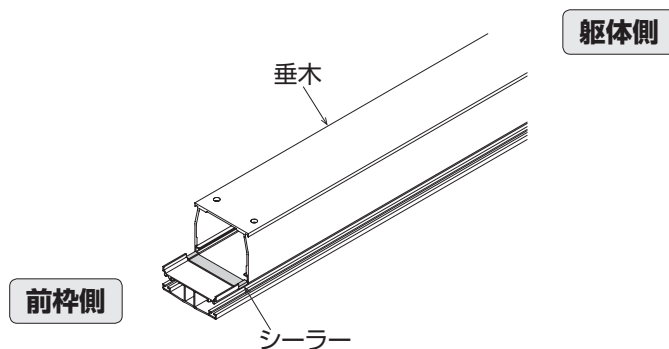


3. シーラーを垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用		下から施工用	
	薄肉	厚肉	薄肉	厚肉
垂木				
シーラー				



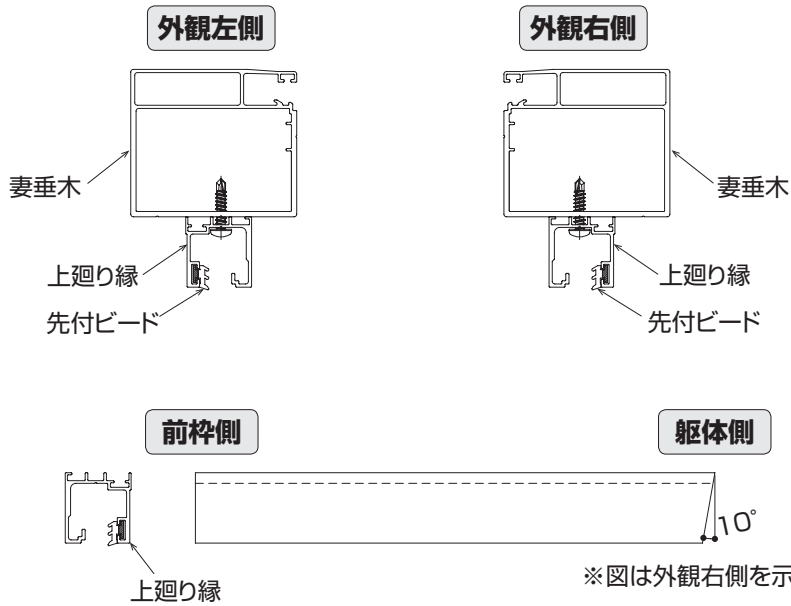
(単位：mm)

妻垂木の組立

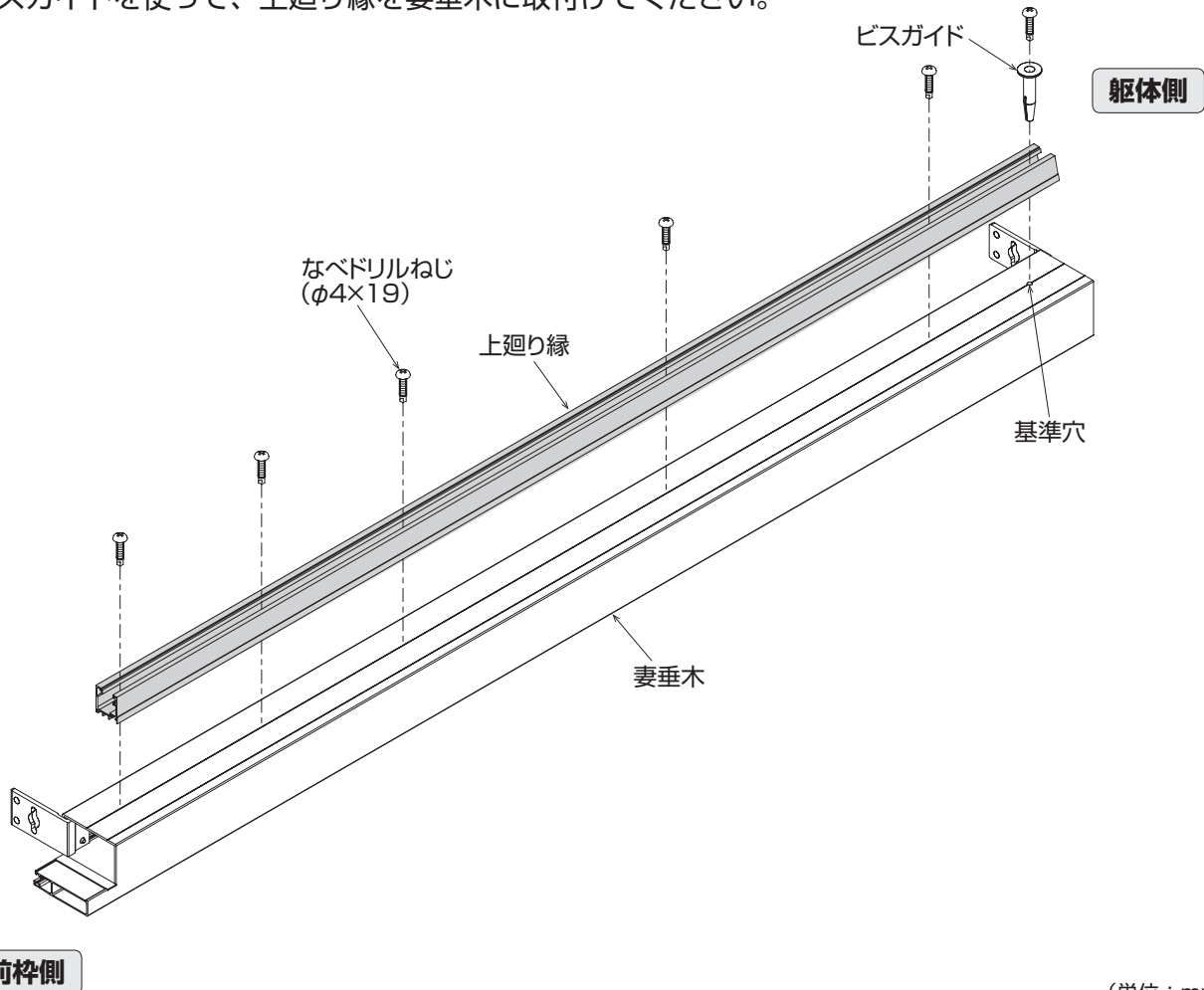
1. 上廻り縁の向きを確認してください。



• 先付ビード側が外観側、角度切断側が躯体側になります。



2. ビスガイドを使って、上廻り縁を妻垂木に取付けてください。

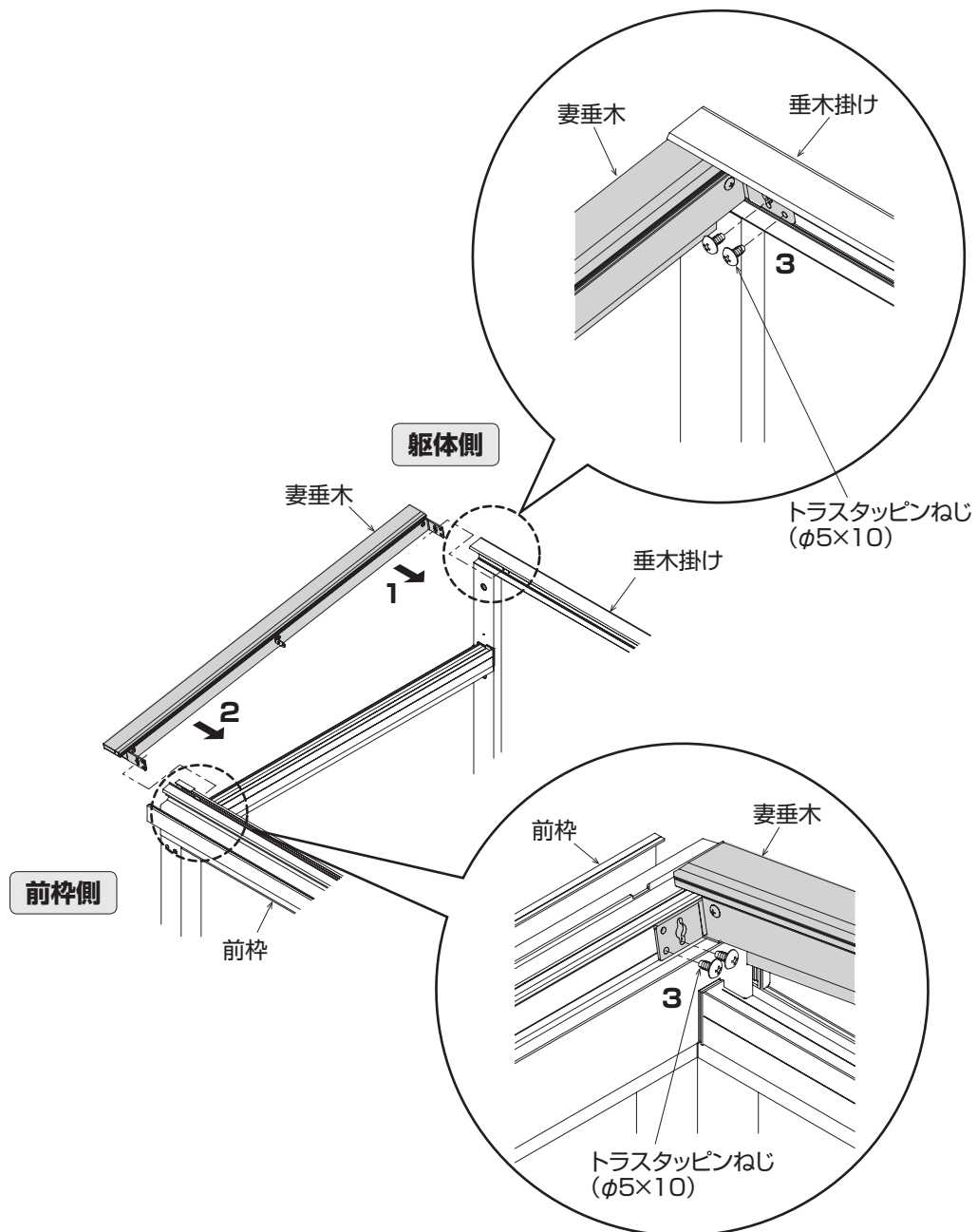


(単位：mm)

屋根部の取付

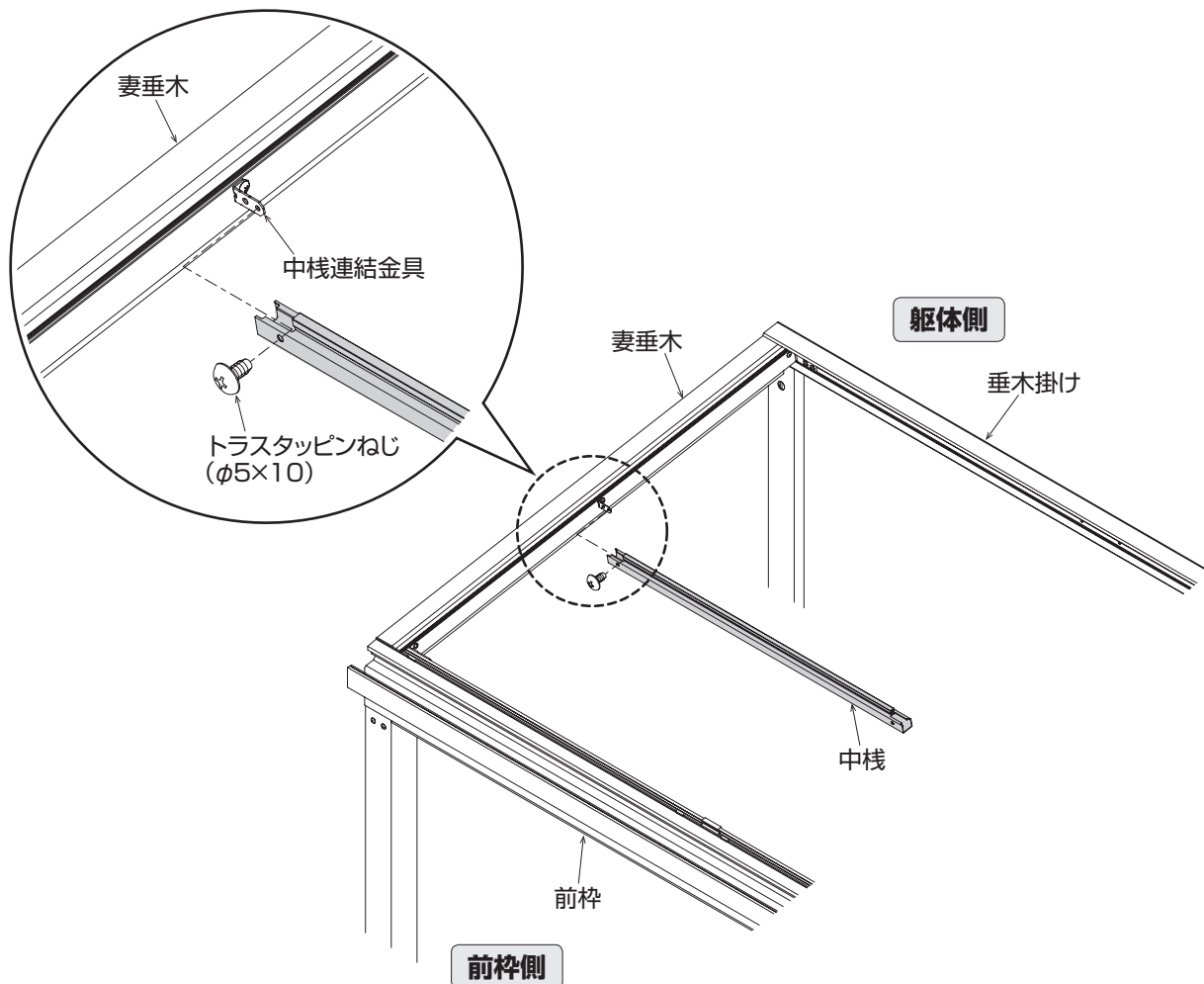
妻垂木の取付

1. 妻垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 妻垂木を前枠に挿入してください。
3. 妻垂木を垂木掛け・前枠に取付けてください。



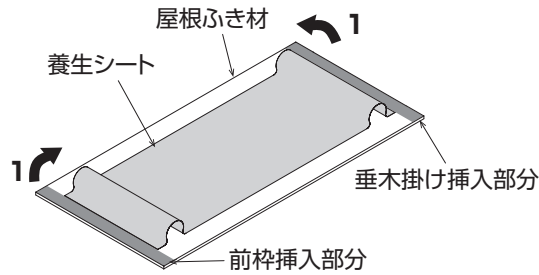
中棧の取付

1. 中棧を妻垂木の中棧連結金具に挿入してください。
2. 中棧を妻垂木に取付けてください。



屋根ふき材の取付

1. 屋根ふき材養生シートの前枠・垂木掛け挿入部分をはがしてください。



2. 屋根ふき材を垂木掛けに挿入してください。

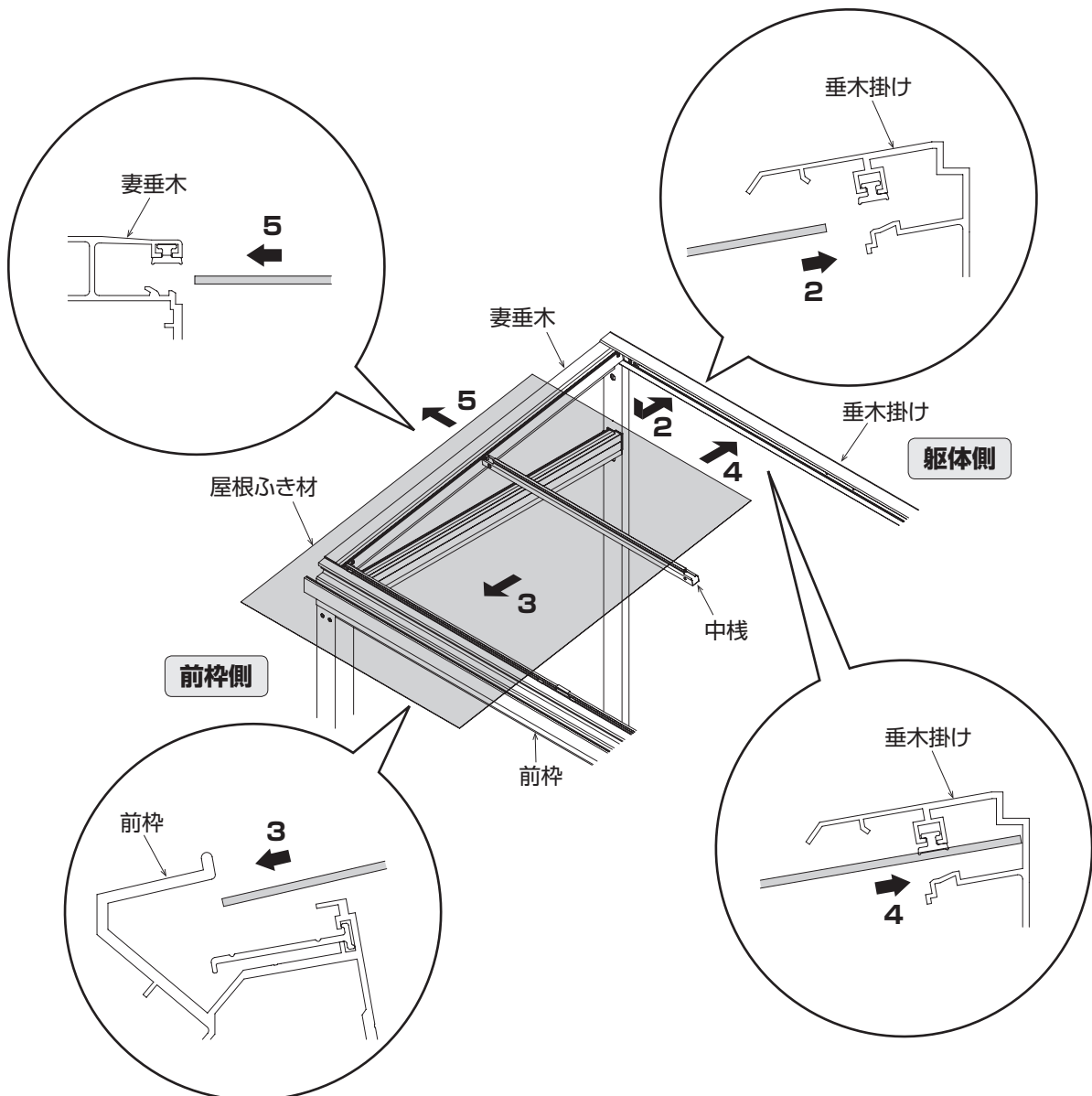
3. 屋根ふき材を前枠に挿入してください。

4. 屋根ふき材を垂木掛けにあたるまで、寄せてください。

5. 屋根ふき材を妻垂木に挿入してください。

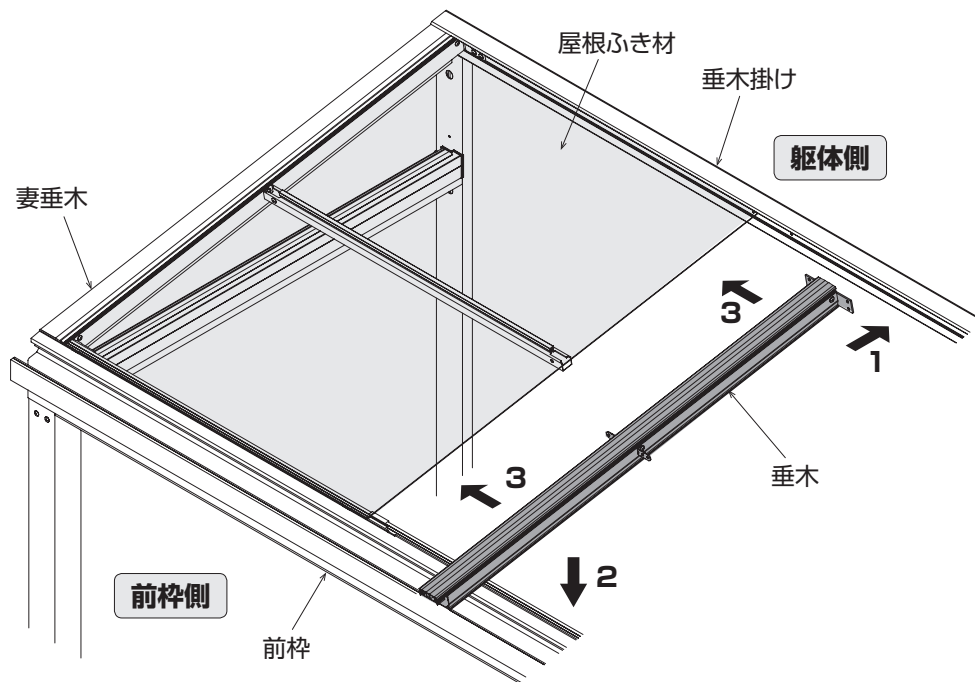


• 屋根ふき材がマット調の場合、マット面（凹凸面）を屋根下面にして取付けてください。



垂木の取付

1. 垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 垂木を前枠に挿入してください。
3. 垂木を横にスライドさせ、屋根ふき材に挿入してください。



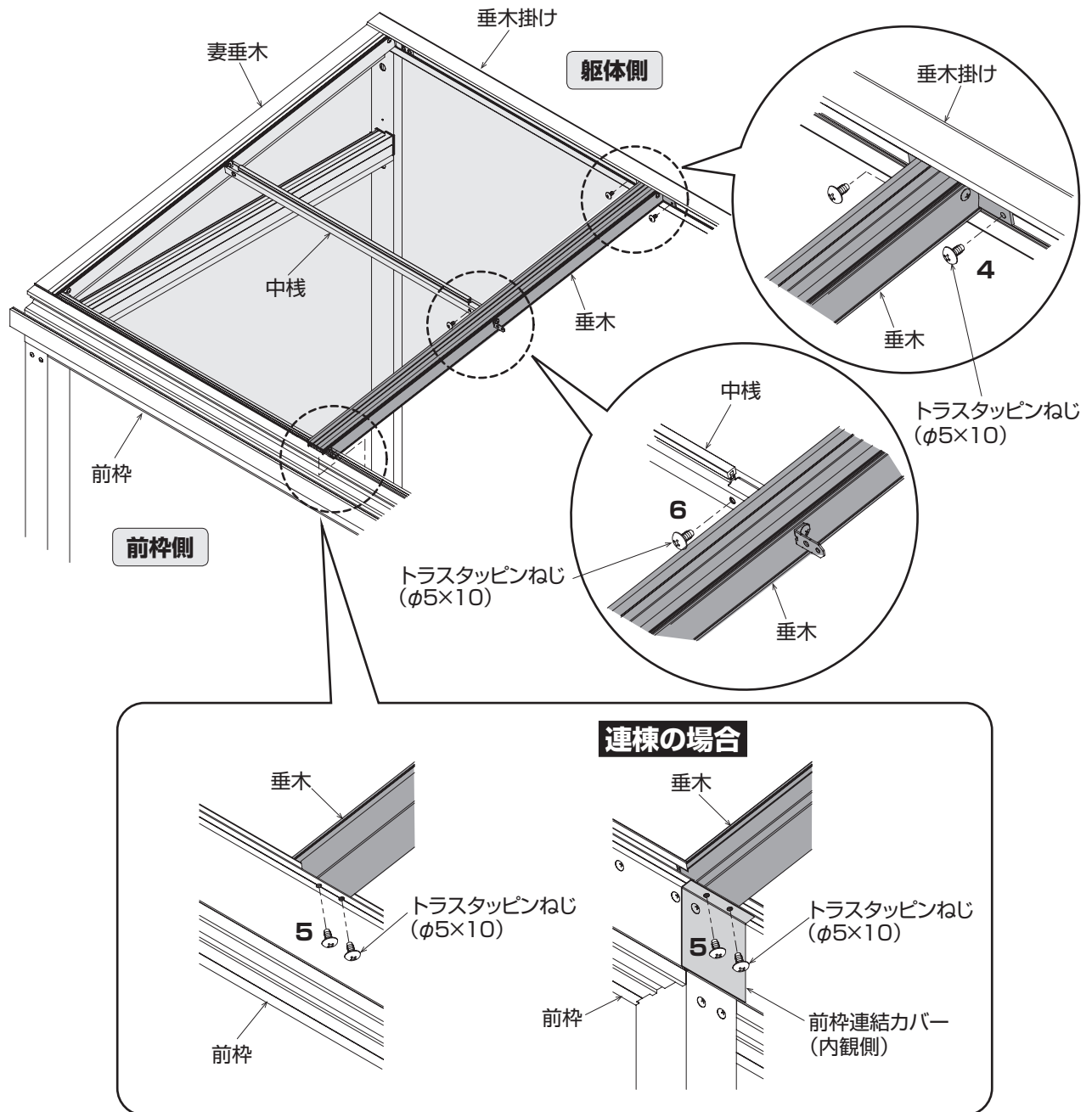
4.垂木を垂木掛けに取付けてください。

5.垂木を前枠に取付けてください。

連棟の場合

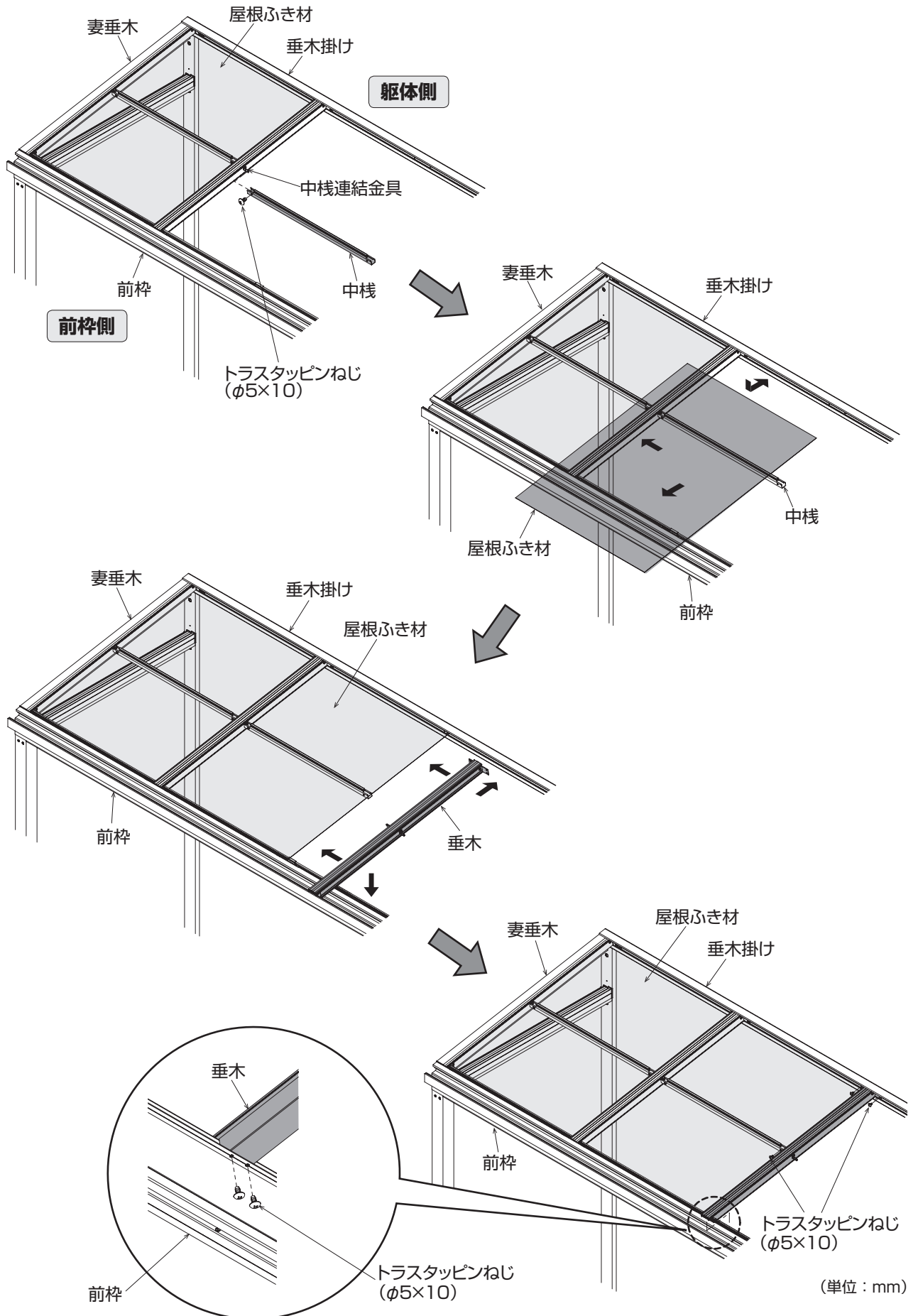
連棟部の垂木は、前枠連結カバー(内観側)と共締めしてください。

6.垂木を中棧に取付けてください。



「中棧の取付～垂木の取付」の繰返し

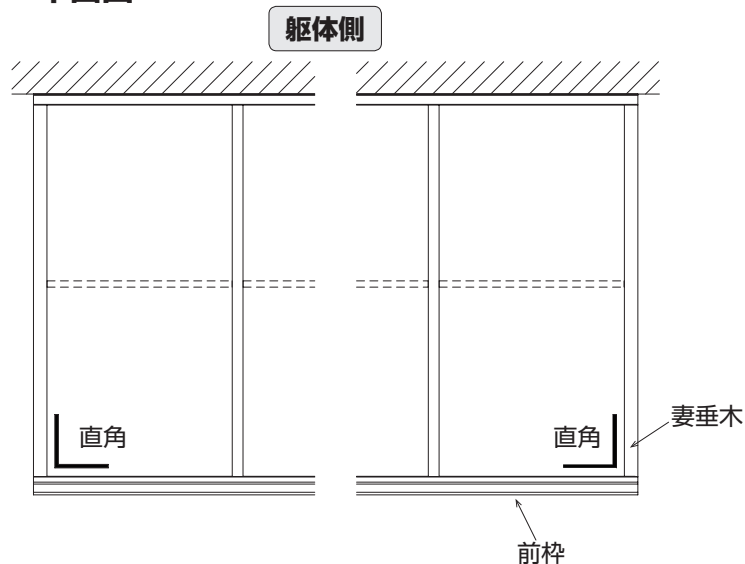
1.上記の作業（中棧の取付～垂木の取付）を繰返してください。



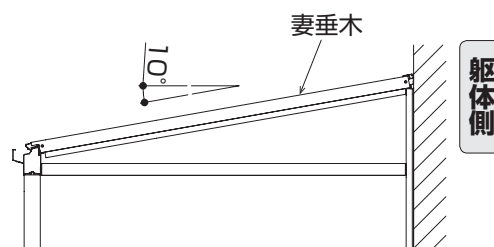
フレームの寸法確認

- 1.前枠・妻垂木の直角を確認してください。
- 2.妻垂木の勾配（10°）を確認してください。

《平面図》



《側面図》

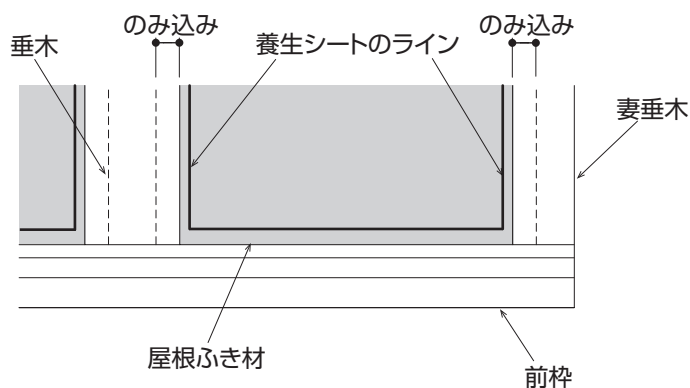


後付ビードの取付

- 1.屋根ふき材の左右ののみ込みをあわせてください。

お願い

- 養生シートのラインを参考にし、屋根ふき材ののみ込みが左右同じになるように調整してください。屋根ふき材の耐荷重性能低下の原因となります。



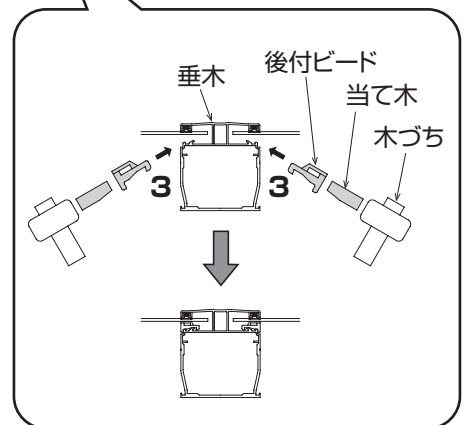
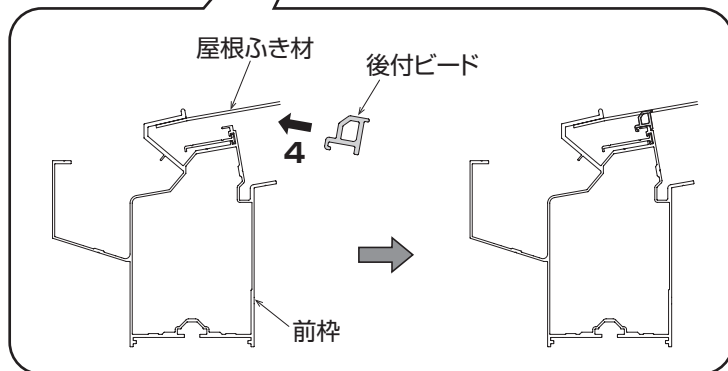
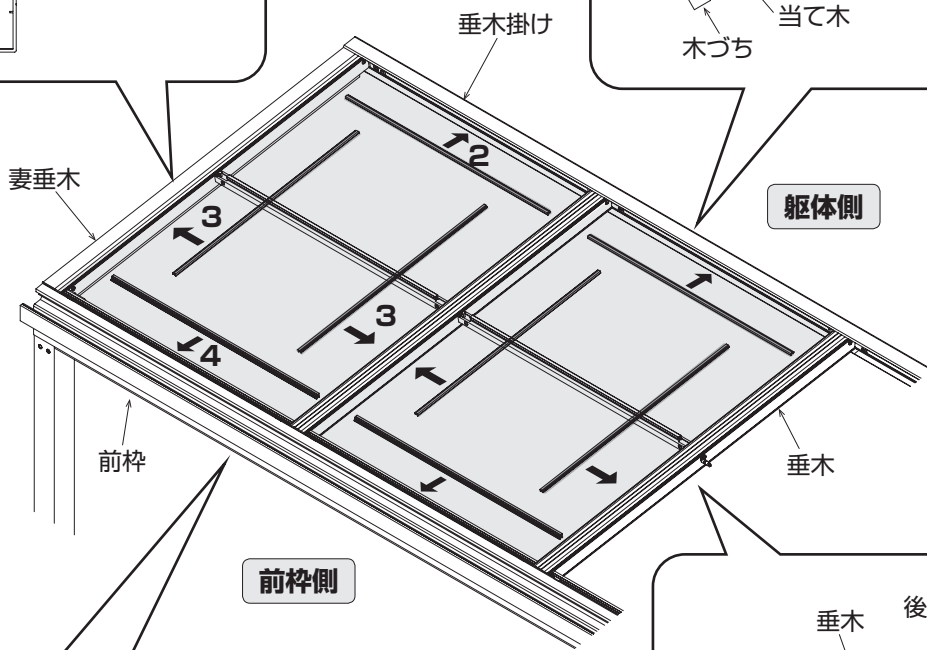
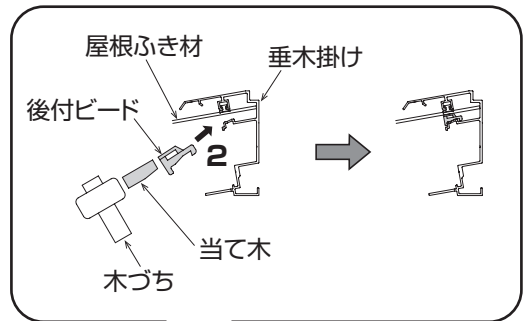
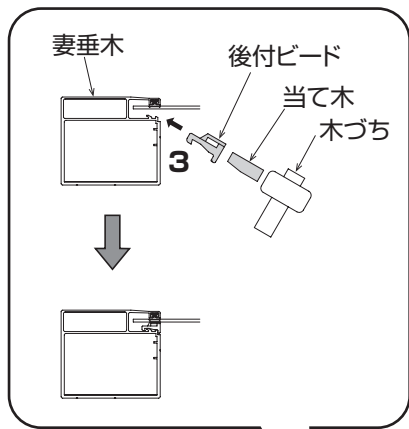
2. 後付ビードを垂木掛けに取付けてください。
3. 後付ビードを妻垂木・垂木に取付けてください。
4. 後付ビードを前枠に取付けてください。

お願い

- 後付ビードの向きと押込み量に注意し、取付けてください。
屋根ふき材の固定強度が著しく低下し、外れの原因となります。
- 妻垂木・垂木の後付ビードは切断せずに、妻垂木・垂木の先端までのみ込ませてください。



- 後付ビードを取付ける際、当て木を使用すると作業がしやすくなります。



屋根ふき材養生シートの取外し

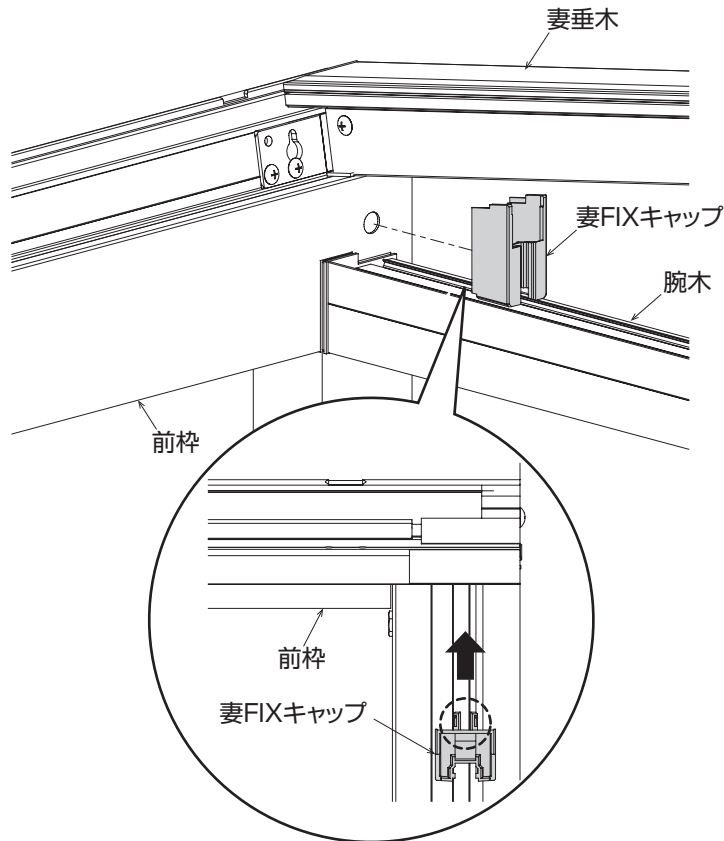
1. 養生シートを屋根ふき材からすべてはがしてください。

妻 FIX 部の施工

前枠・妻 FIX パネル (面材)・吊束の部品付

前枠の部品付 (妻 FIX キャップの取付)

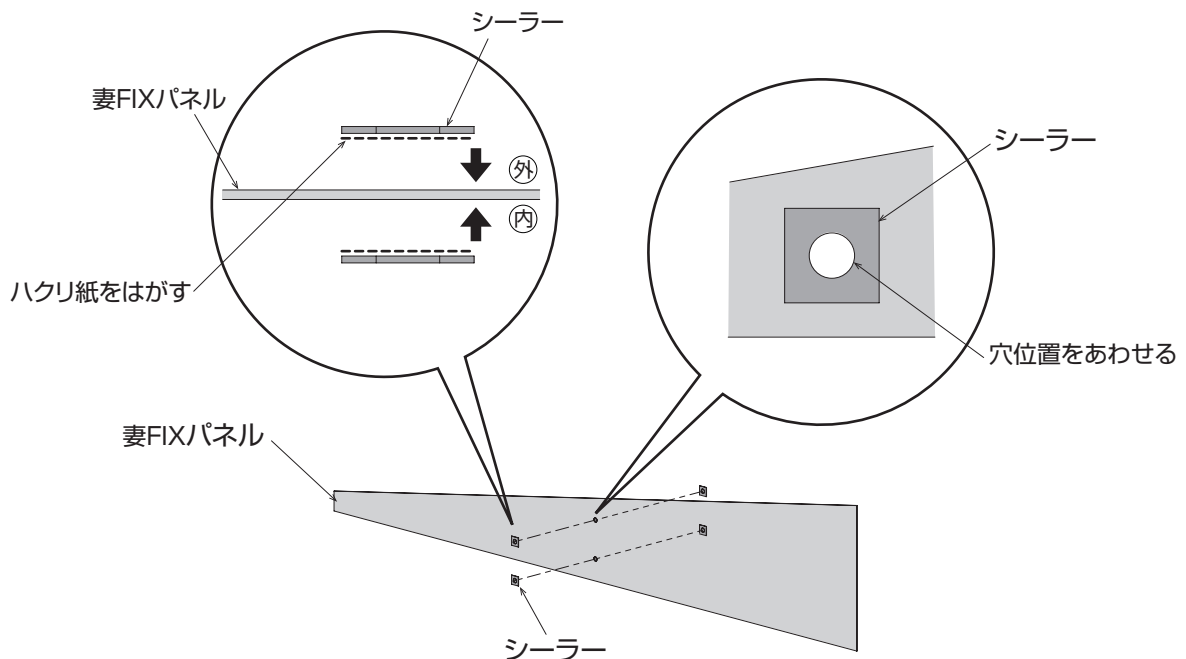
1. 妻FIXキャップを前枠の穴に挿入して取付けてください。



妻 FIX パネル (面材) の部品付

出幅 7 ~ 9 尺の場合

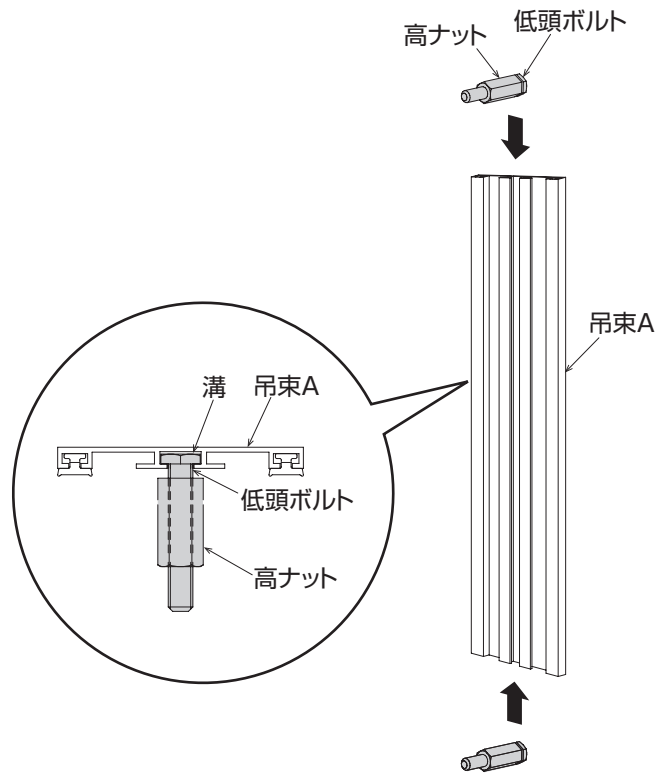
1. 妻FIXパネルの養生シートをはがしてください。
2. シーラーを妻FIXパネルの穴にあわせて貼付けてください。



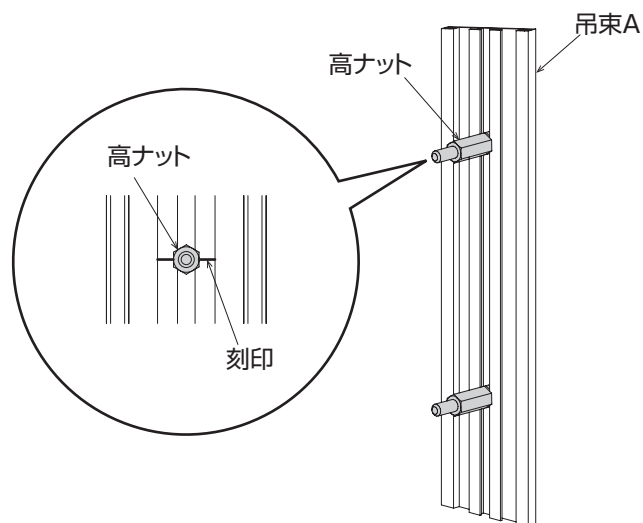
吊束 A の部品付

出幅 7 ~ 9 尺の場合

1. 低頭ボルトの高ナットをゆるめ、吊束Aの溝に低頭ボルトを挿入してください。



2. 低頭ボルトを吊束Aの刻印位置にあわせ、高ナットを締めてください。

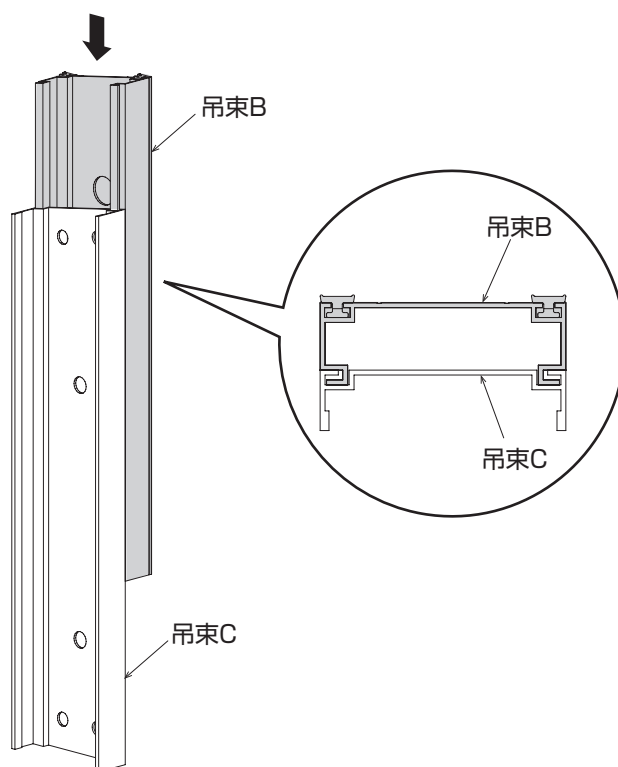


吊束の組立

吊束 B、C の組立

出幅 7 ～ 9 尺の場合

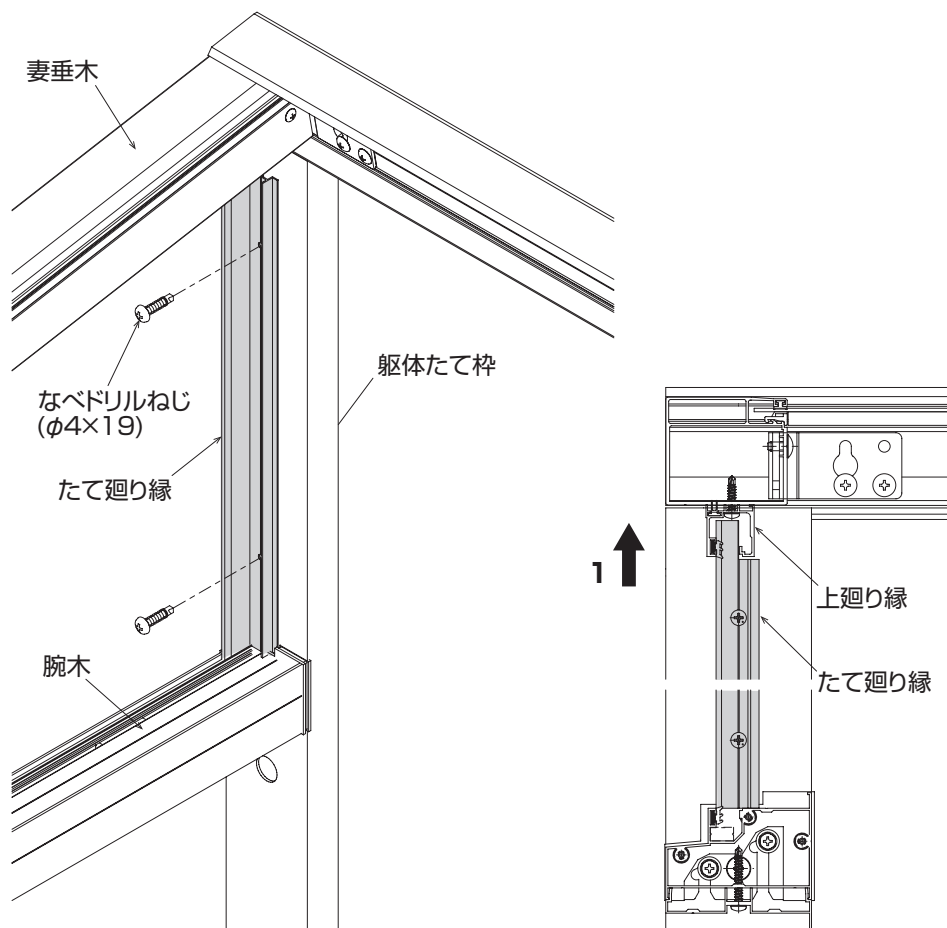
1. 吊束 B を吊束 C に挿入してください。



妻 FIX 部の取付

たて廻り縁の取付

1. たて廻り縁を上廻り縁の溝に挿入してください。
2. たて廻り縁を躯体たて枠に取付けてください。



妻FIXパネル（面材）の取付

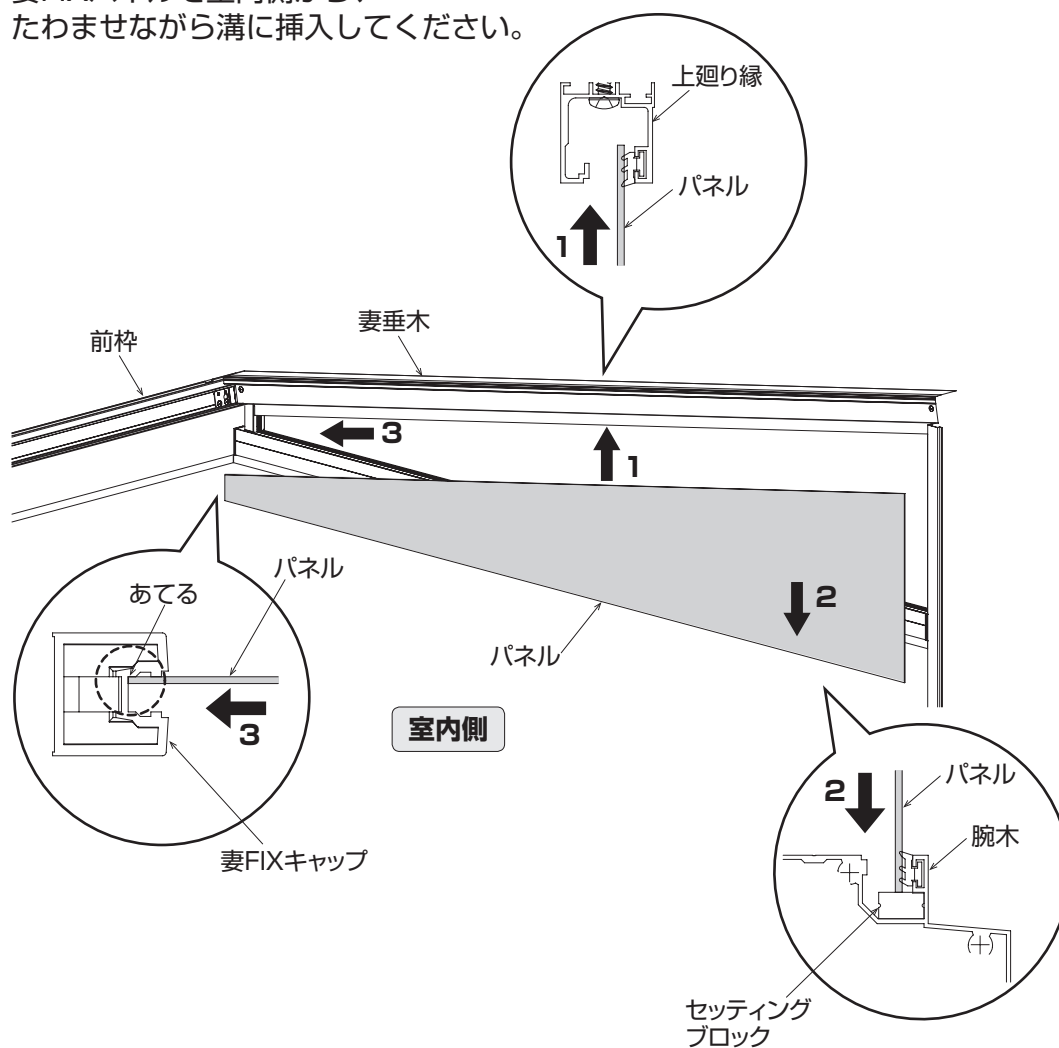


• マット面（凹凸面）を内観側にして取付けてください。

1. 妻FIXパネルを上廻り縁の溝に挿入してください。
2. 妻FIXパネルを腕木の溝に挿入してください。
3. 妻FIXパネルを妻FIXキャップにあたるまで、引寄せてください。



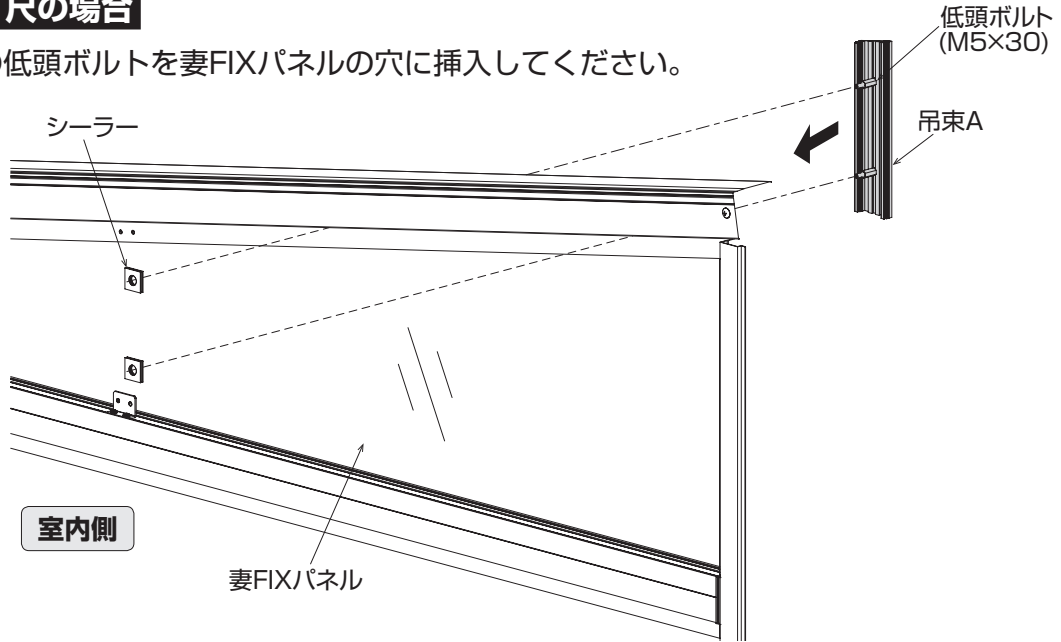
• 妻FIXパネルを室内側から、たわませながら溝に挿入してください。



吊束の取付

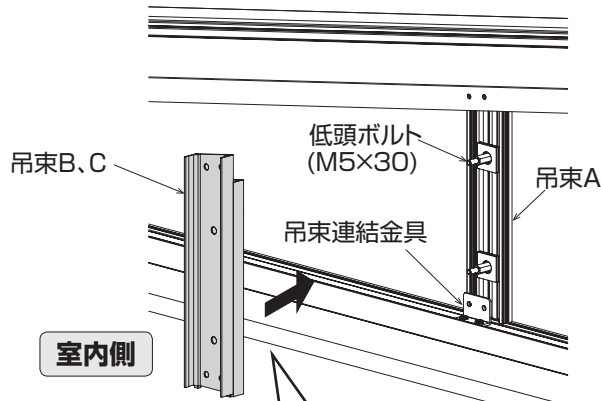
出幅 7 ~ 9 尺の場合

1. 吊束Aの低頭ボルトを妻FIXパネルの穴に挿入してください。

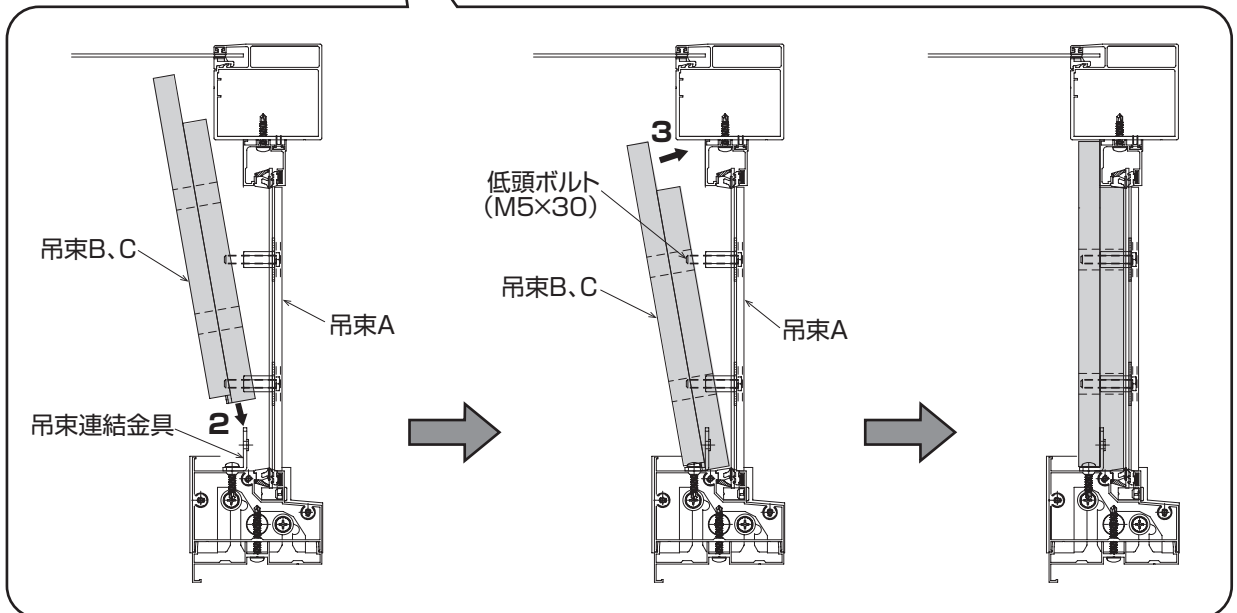
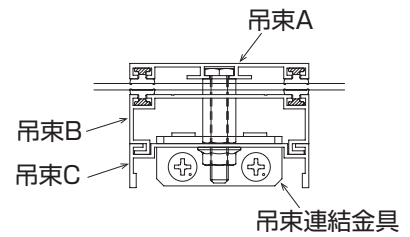


2. 吊束B、Cを吊束連結金具に挿入してください。

3. 吊束B、Cを吊束Aの低頭ボルトに挿入してください。

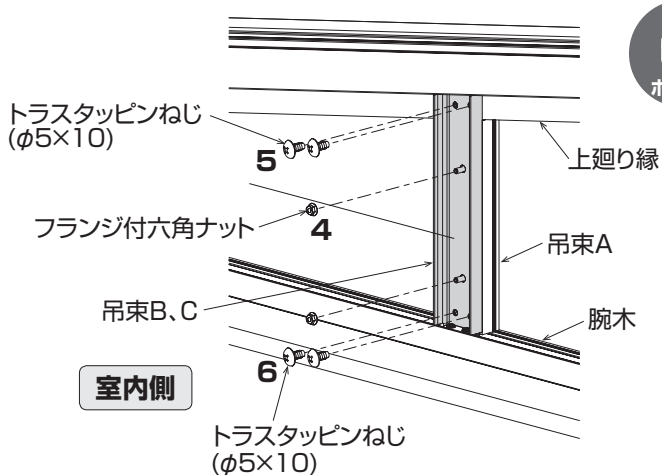


《挿入位置》



(単位：mm)

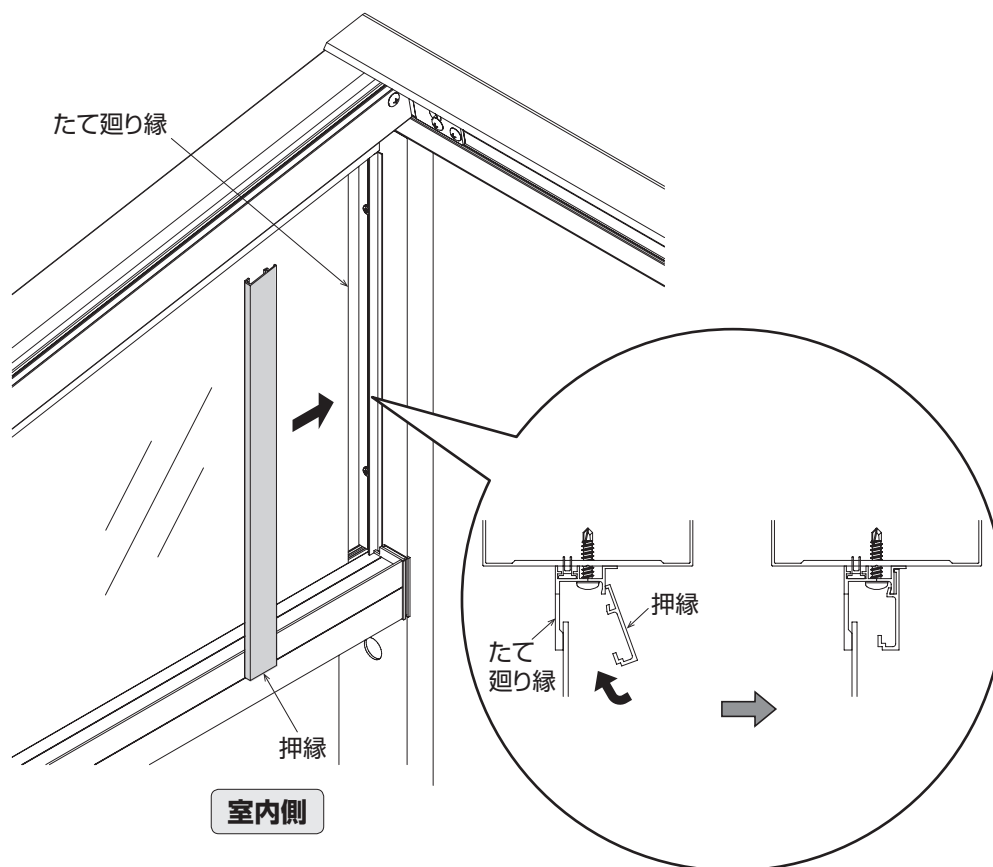
4. 吊束B、Cを吊束Aに仮留めしてください。
5. 吊束B、Cを上廻り縁に取付けてください。
6. 吊束B、Cを腕木に取付けてください。



- 吊束B,Cと腕木の間ですき間が出ないように腕木を持ち上げながら取付けてください。

押縁の取付

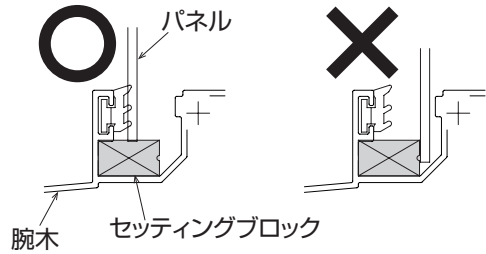
1. 押縁をたて廻り縁に取付けてください。



後付ビードの取付

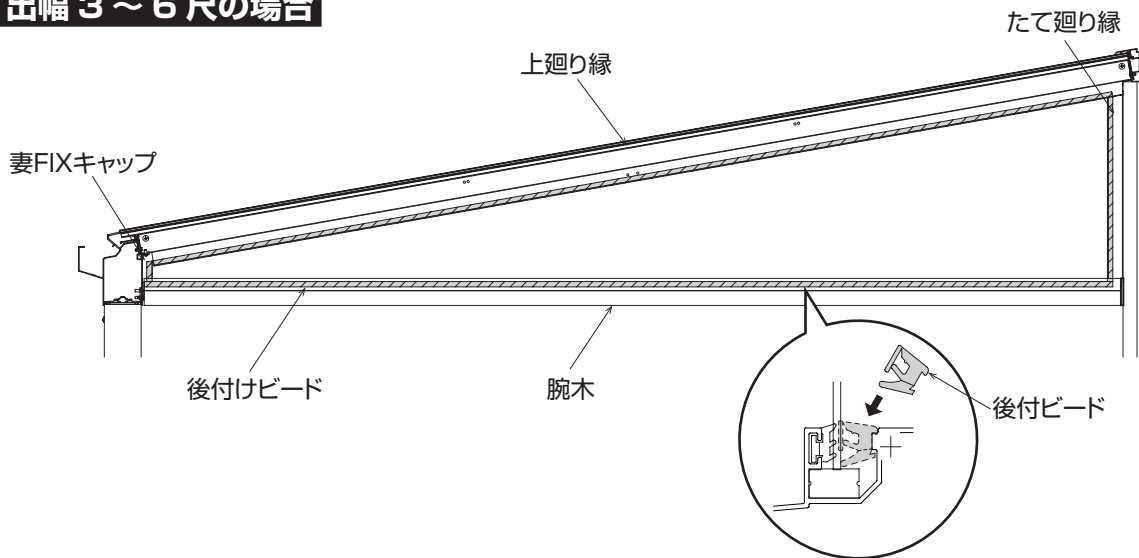


- 妻FIXパネルがセッティングブロックの上のっていることを確認し、後付ビードを取付けてください。



1. 後付ビードを上廻り縁、妻FIXキャップ、腕木、たて廻り縁を取付けてください。

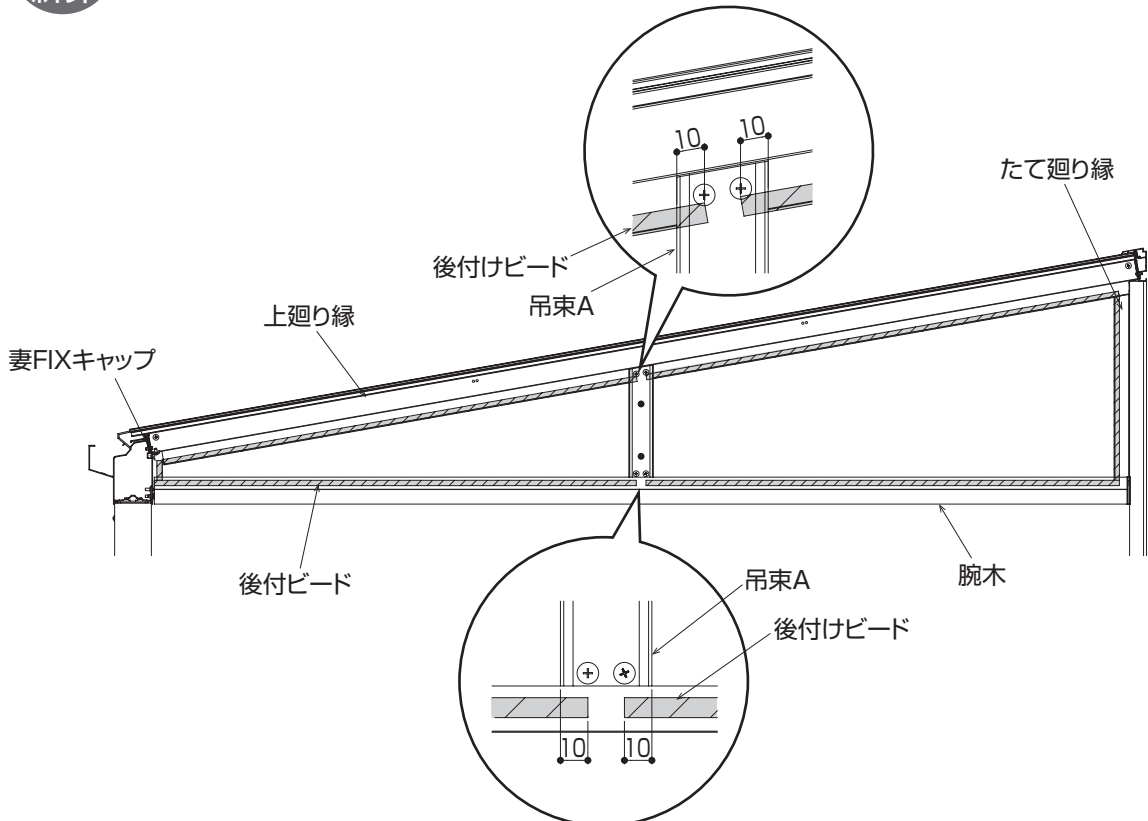
出幅 3 ~ 6 尺の場合



出幅 7 ~ 9 尺の場合



- 吊束の前後で分割して取付けてください。
後付ビードの先端を吊束上下に10mm程挿入してください。

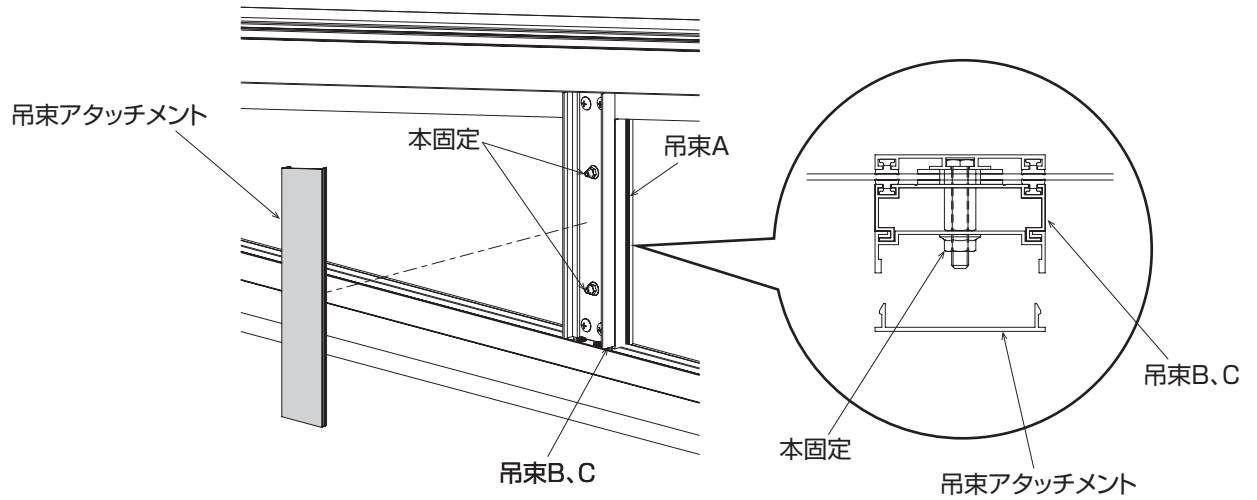


(単位 : mm)

吊束アタッチメントの取付

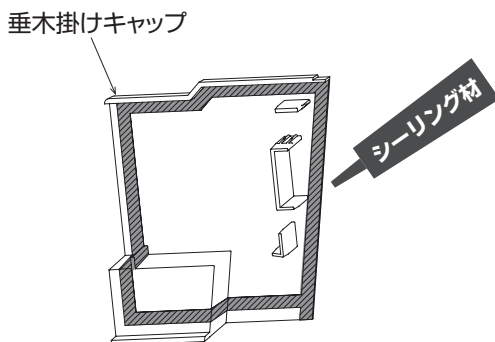
出幅 7 ~ 9 尺の場合

1. 吊束 B、C を吊束 A に本固定してください。
2. 吊束アタッチメントを吊束 B、C に取付けてください。



垂木掛けキャップの取付

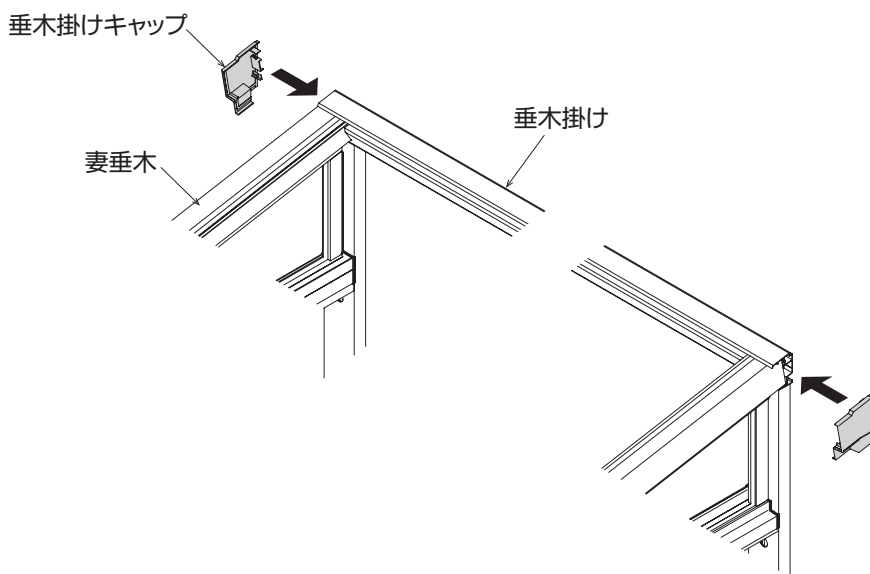
1. 垂木掛けキャップにシーリングを行ってください。



2. 垂木掛けキャップを垂木掛けに取付けてください。

お願い

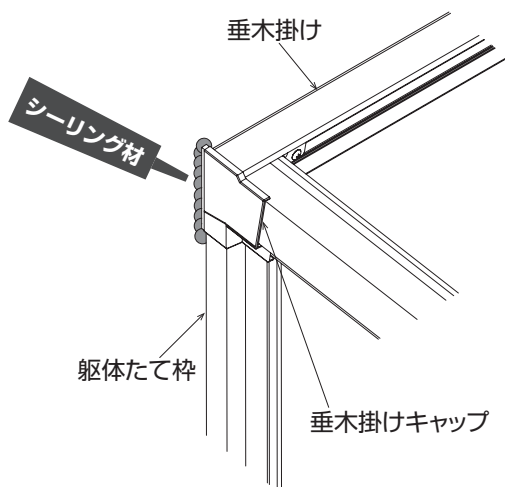
• 確実に挿入されていることを確認してください。



3. 垂木掛けキャップの壁面にマスキングテープを貼付けてください。

4. シーリング溝に沿って垂木掛けキャップにシーリングを行ってください。

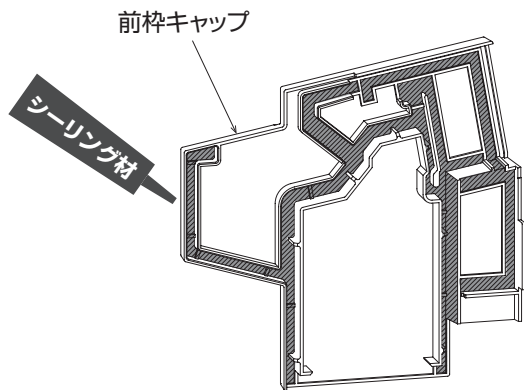
5. マスキングテープをはがしてください。



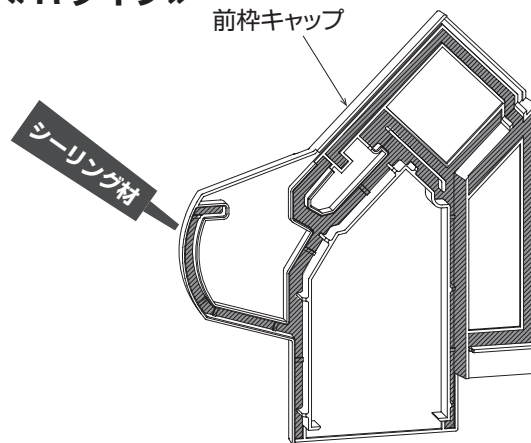
前枠キャップの取付

1. 前枠キャップにシーリング材を充てんしてください。

《 F タイプ 》



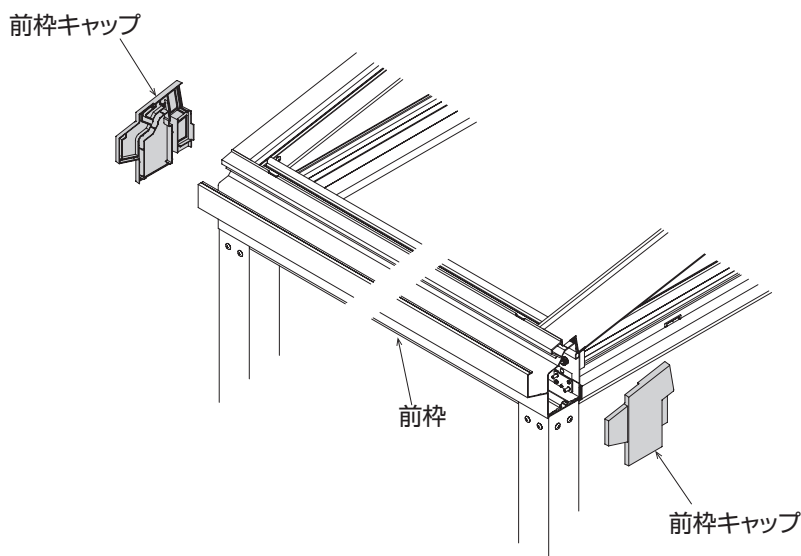
《 R タイプ 》

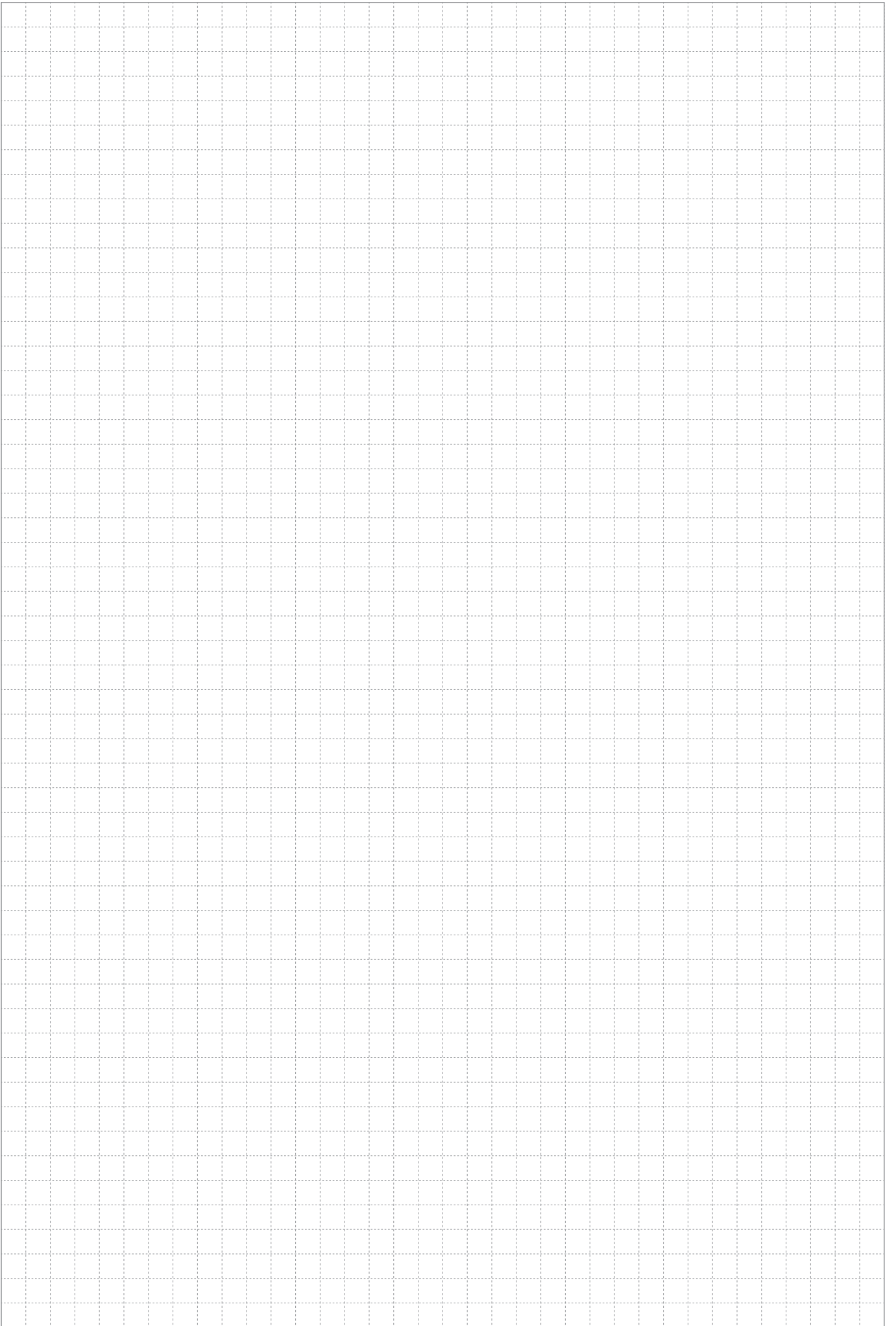


2. 前枠キャップを前枠に取付けてください。

お願い

- 確実に挿入されていることを確認してください。





基礎工事

基礎（柱・束）の固定.....	P.98
基礎コンクリートの打込み.....	P.98

基礎（柱・束）の固定

⚠ 注意

- アルミ柱を建ててからコンクリートを打設してください。アルミ柱内部にコンクリートが入り、水が溜まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎コンクリートには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。

お願い

- コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。（目安：4日～7日）
- コンクリートなどが製品に付着した場合はすみやかに拭取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。

基礎コンクリートの打込み

柱の寸法確認

1. 柱の垂直を確認してください。

基礎コンクリートの打込み

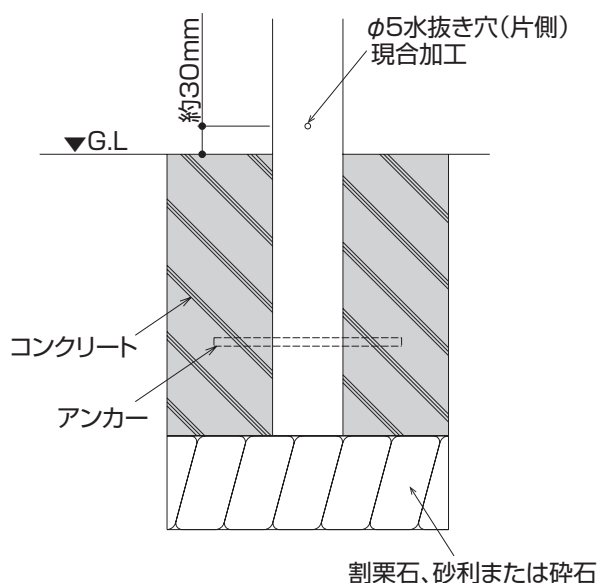
1. 柱・束に水抜き穴をあけてください。（穴位置は図を参照）
2. 基礎穴に基礎コンクリートを打込んでください。

⚠ 注意

- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

お願い

- コンクリートは十分に締固めてください。ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。



開口部の施工

作業前の確認	P.100
作業前の確認.....	P.100
掃出しサッシ（床）・高窓の施工	P.101
枠の組立.....	P.101
障子組立前の確認.....	P.127
障子の組立.....	P.129
枠の取付.....	P.133
ガラスの組込み.....	P.137
障子の吊込み.....	P.139
障子の建付調整.....	P.140
障子はずれ止めのセット.....	P.142
補助錠の作動確認.....	P.143
網戸の吊込み.....	P.144
網戸の建付調整.....	P.147
網戸の取外し方法.....	P.149
連窓の施工	P.151
アタッチメントの加工.....	P.151
方立の取付.....	P.152
壁 FIX の施工	P.153
枠の組立.....	P.153
枠の取付.....	P.157
ガラスの組込み.....	P.158
ドアの施工	P.160
枠の組立.....	P.160
ドアの組立.....	P.162
錠の取付.....	P.163
枠の取付.....	P.164
ガラスの組込み.....	P.165
ドアの吊込み.....	P.167
ドアの建付調整.....	P.168
ドアクローザーの取付.....	P.170

作業前の確認

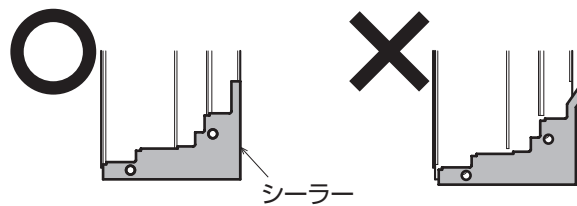
作業前の確認

⚠ 注意

- 落下防止のため、障子・網戸のはずれ止め部品の調整は必ず行ってください。

お願い

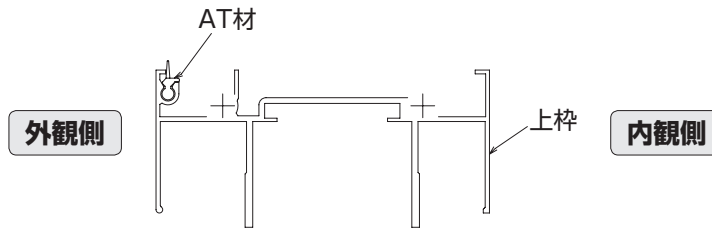
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。
組立不良は漏水につながるおそれがあります。
- シーラーの位置ずれ・折曲がりがないことを確認してください。



- 枠・障子組立時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締付けトルクは以下を目安に設定してください。
2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度



- 上枠の取付向きに注意してください。



掃出しサッシ（床）・高窓の施工

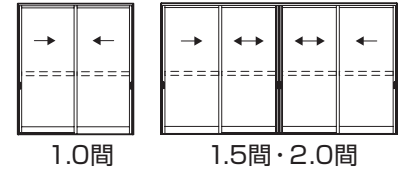
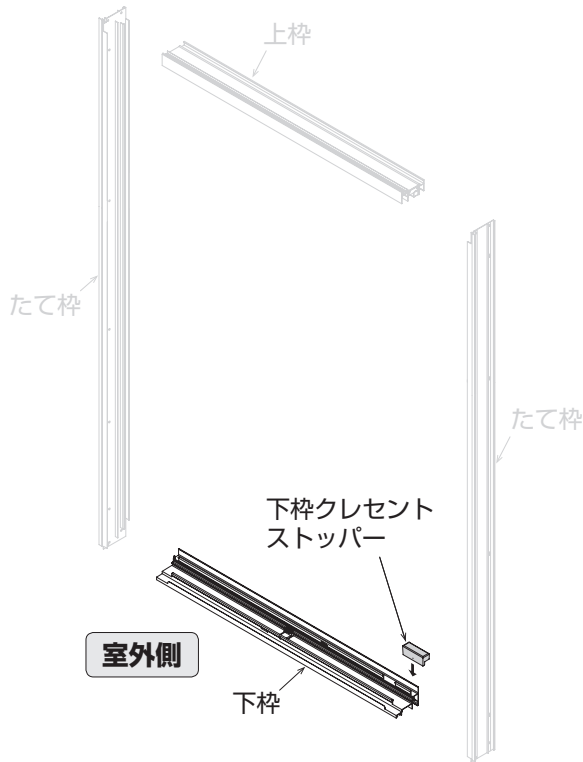
枠の組立

枠の組立

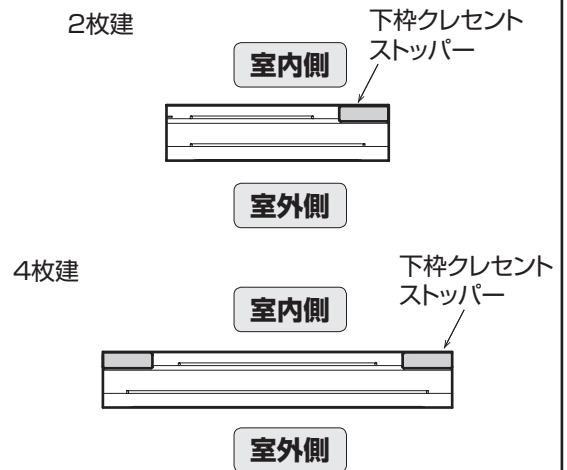
掃出しサッシ（床）の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

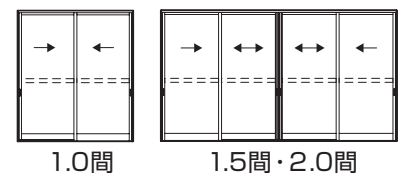
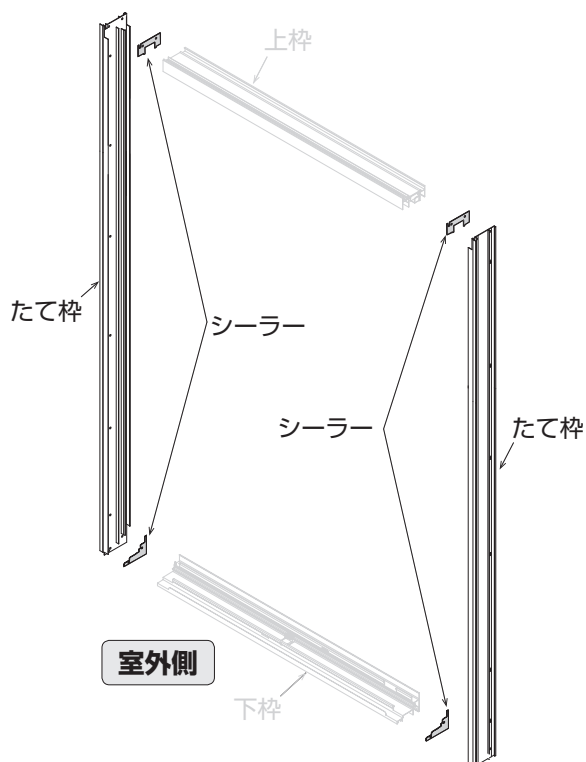
1. クレセントストッパーを取付けてください。



【クレセントストッパー取付位置】

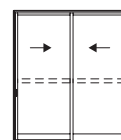
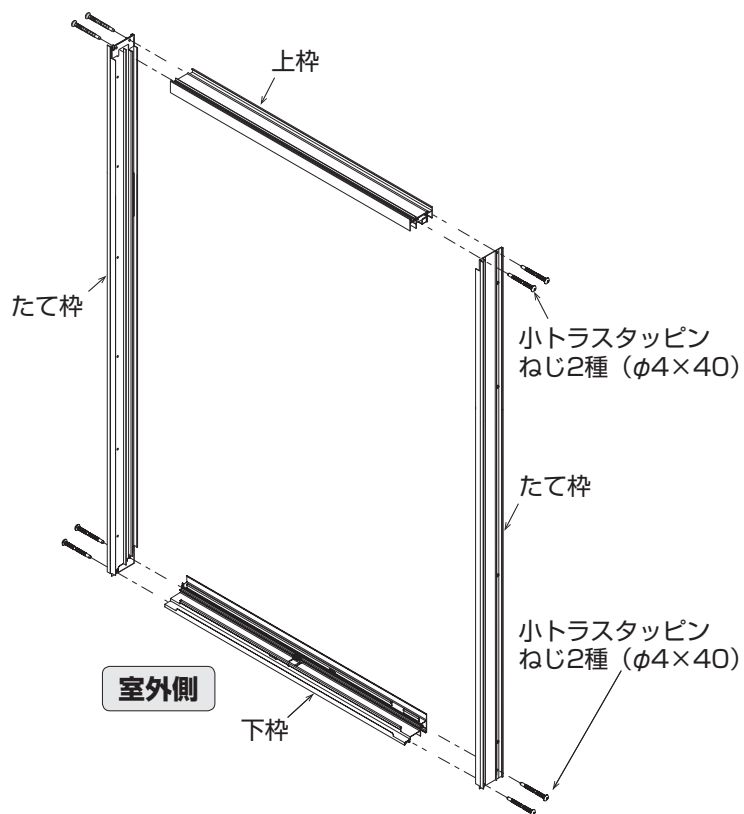


2. シーラーを取付けてください。

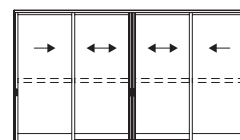


3. 枠を組立ててください。

組立て後、P.126「枠組立後の確認」に進んでください。



1.0間

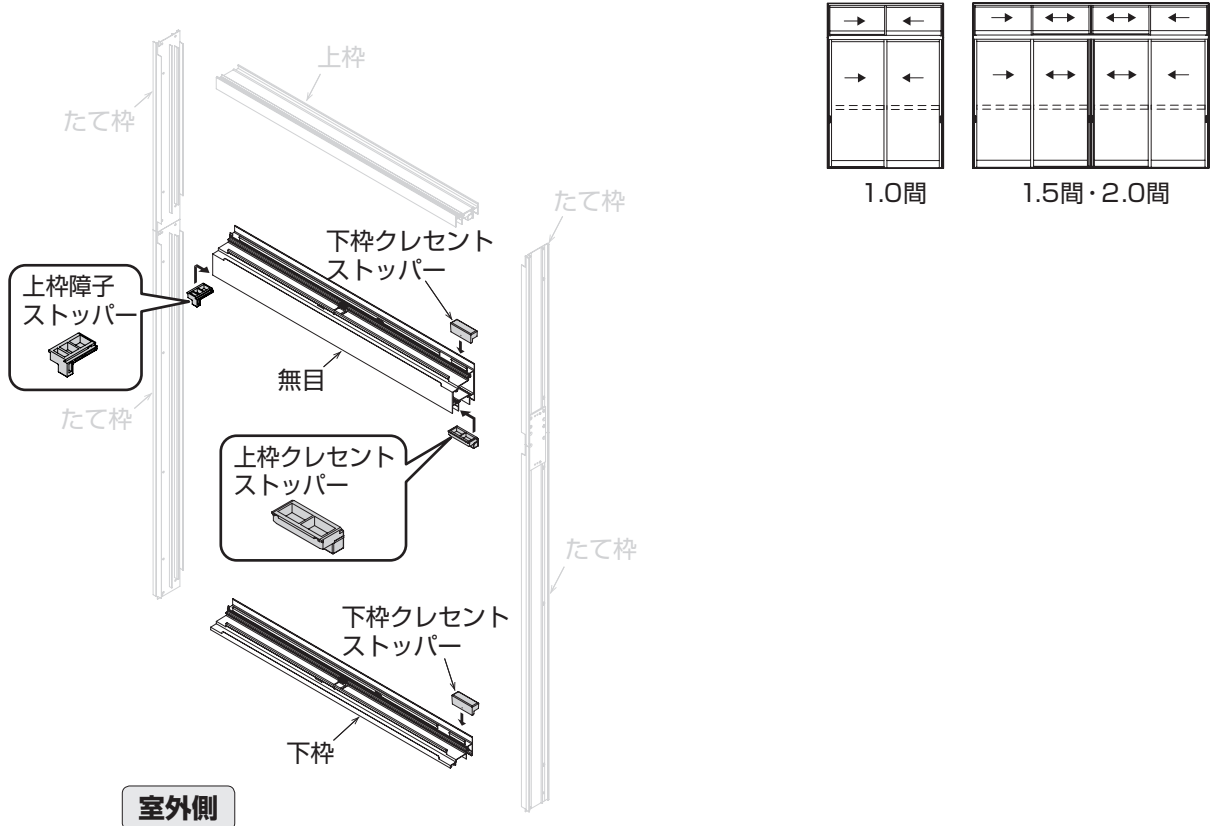


1.5間・2.0間

掃出しサッシ (床) +ランマ引違い窓の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

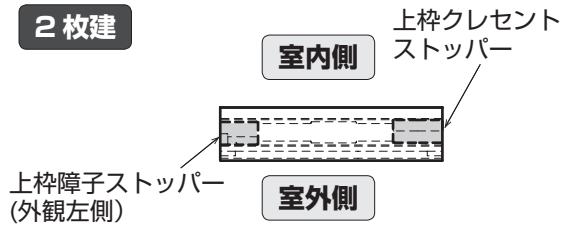
1.クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを下枠・無目に取り付けてください。



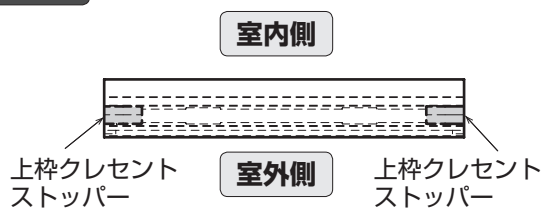
【クレセントストッパー取付位置】

《上枠クレセントストッパー》

2 枚建

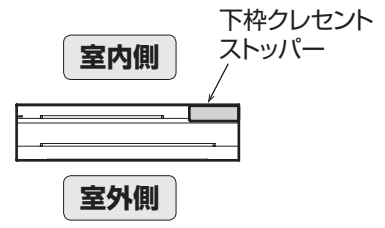


4 枚建

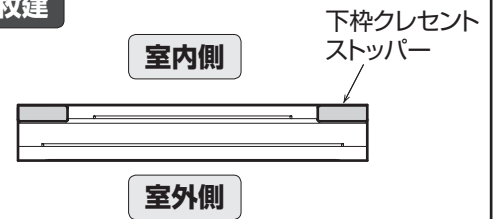


《下枠クレセントストッパー》

2 枚建



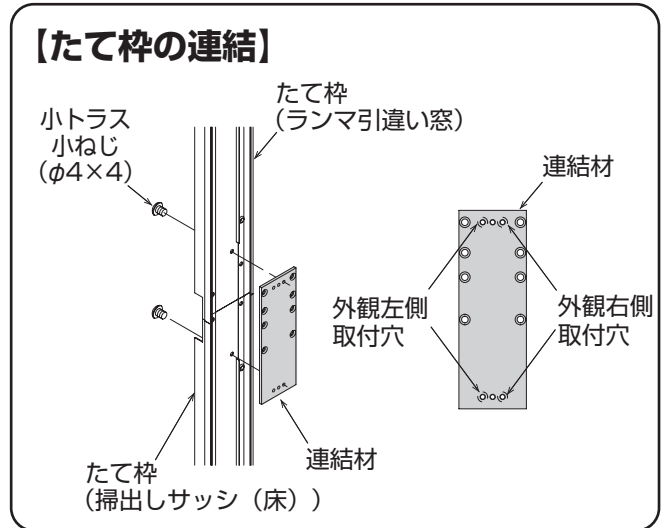
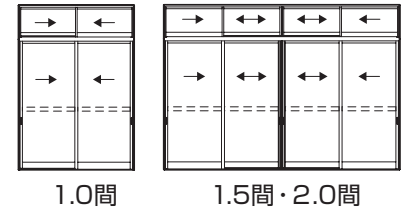
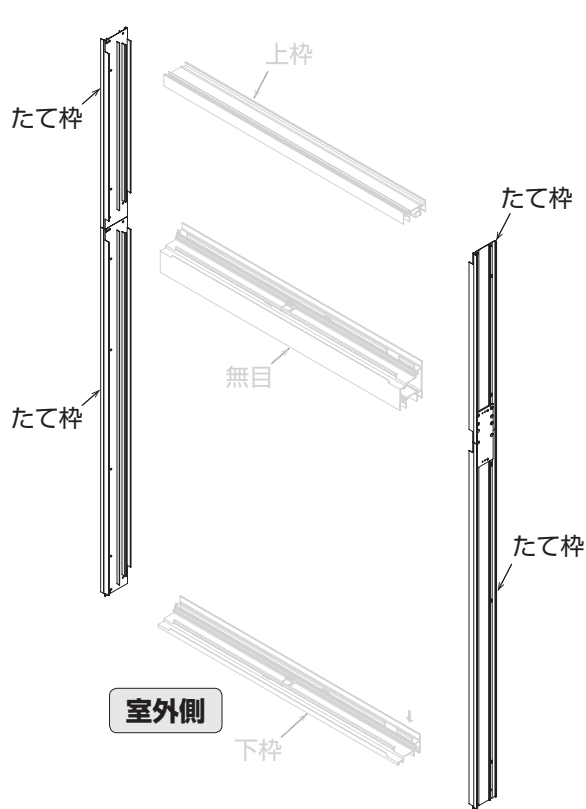
4 枚建



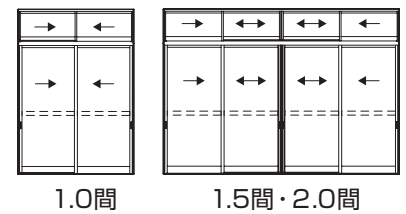
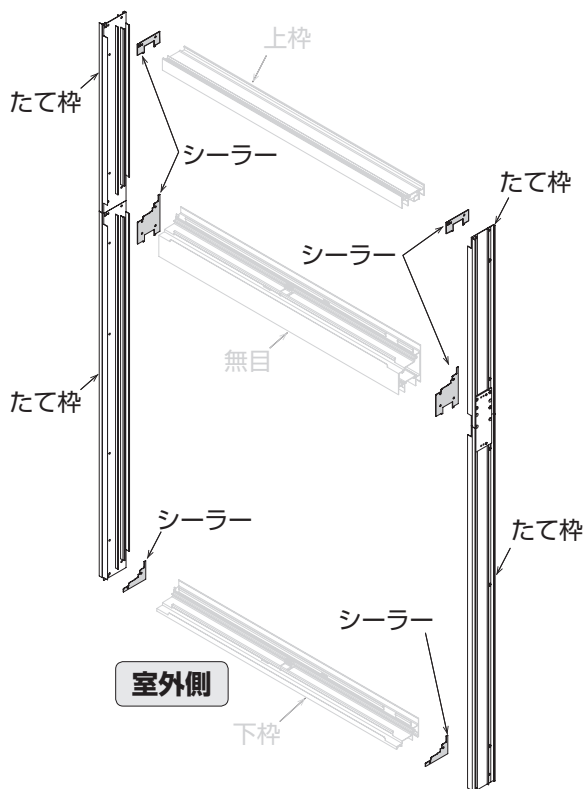
開口部の施工

2. たて枠を連結してください。

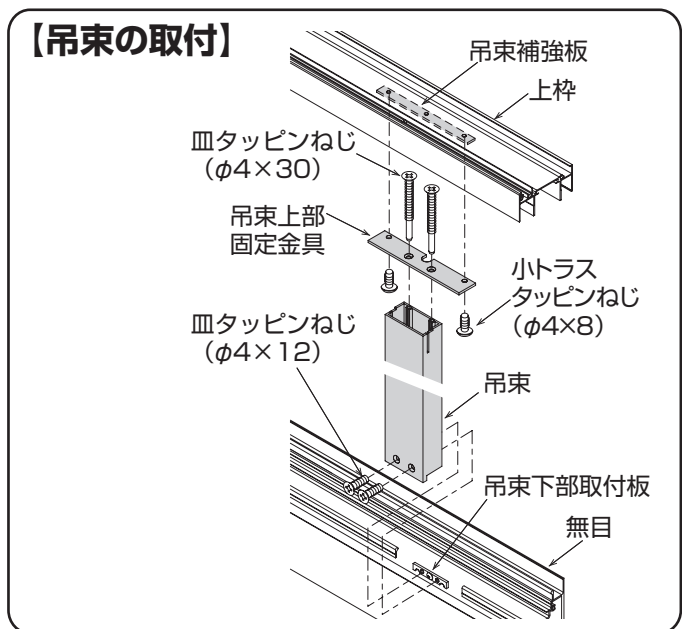
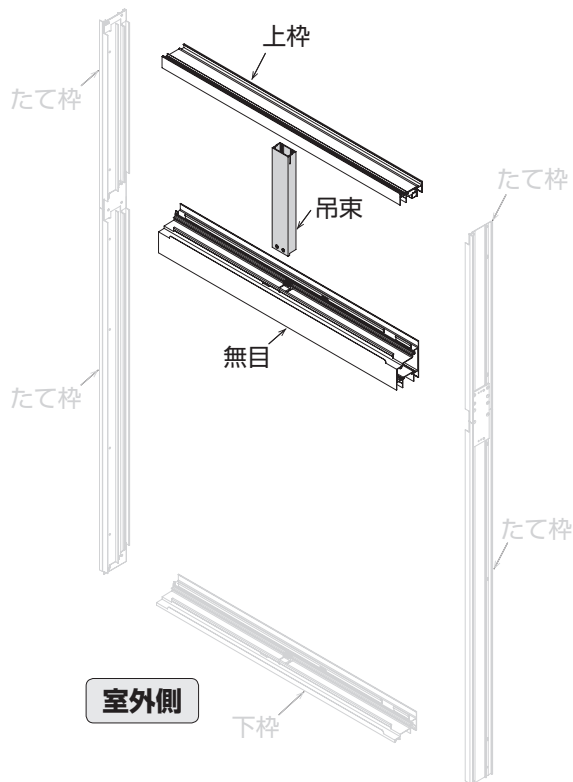
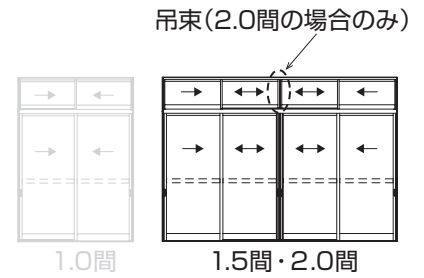
連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。



3. シーラーを取付けてください。

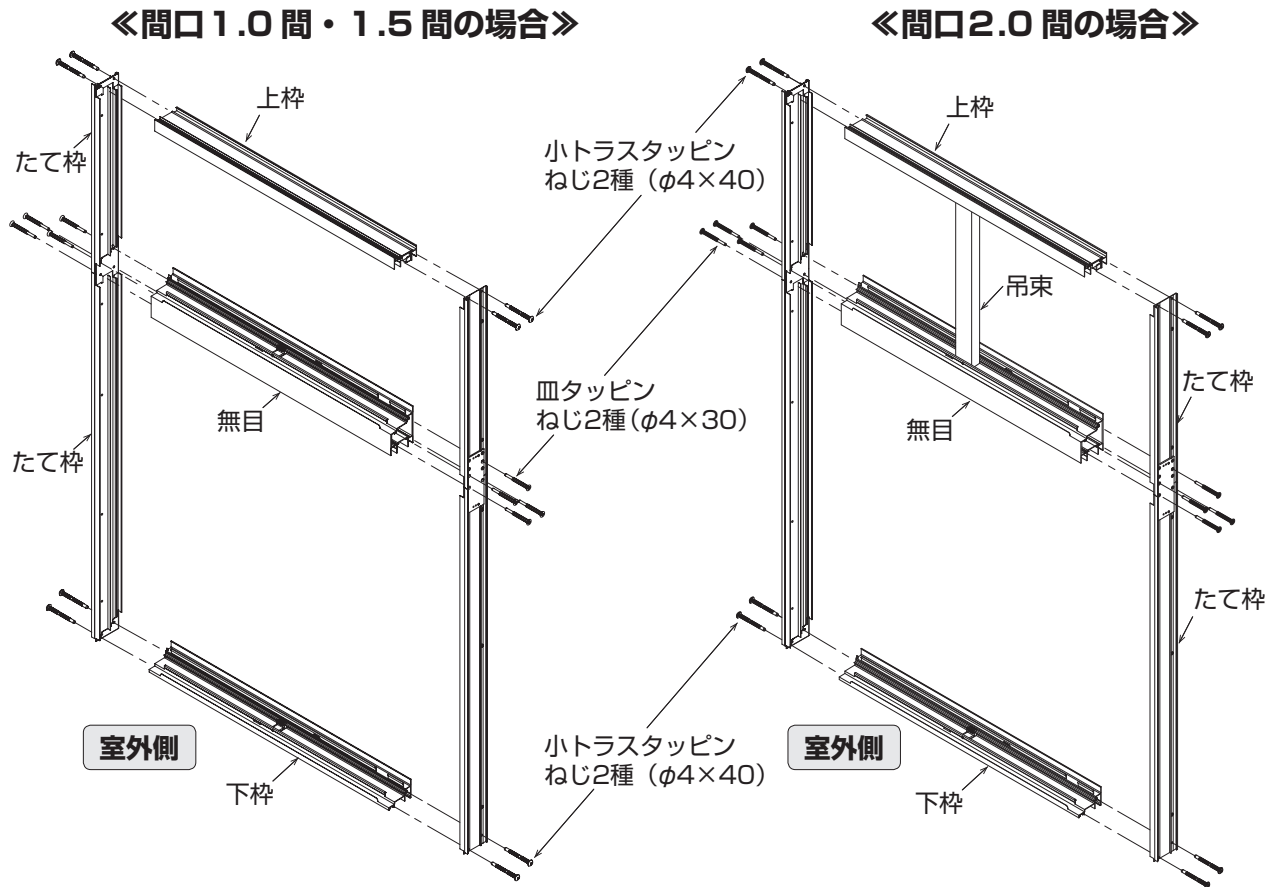
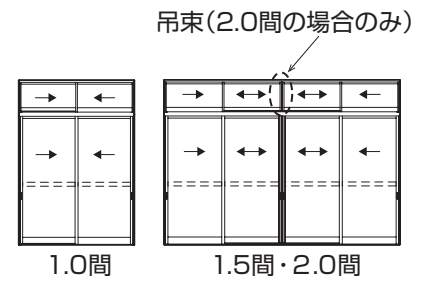


4. 間口2.0間の場合は、吊束を取付けてください。
 間口1.0間・1.5間の場合は、手順5に進んでください。

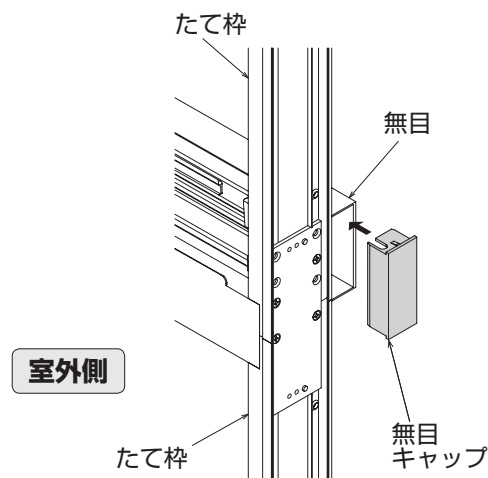


(単位 : mm)

5. 枠を組立ててください。



6. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。
取付後、P.126「枠組立後の確認」に進んでください。

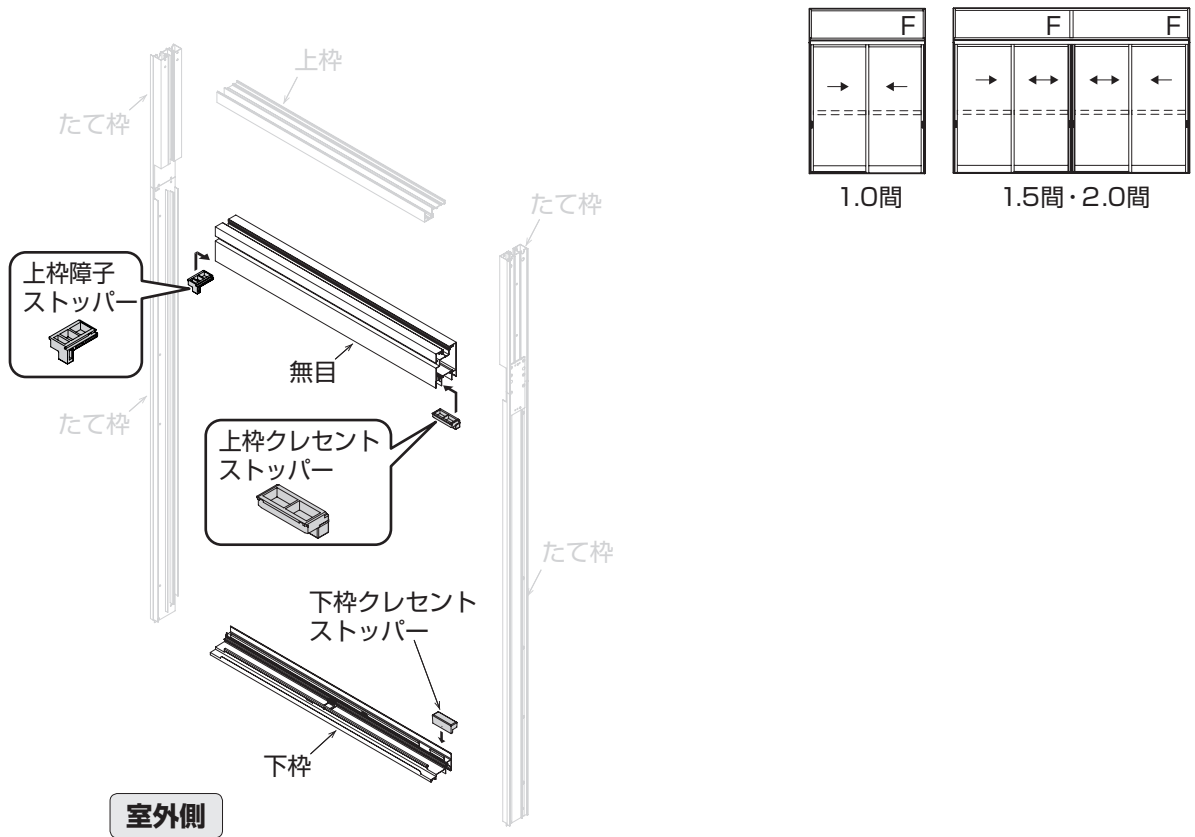


(単位：mm)

掃出しサッシ (床) + ランマ FIX の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

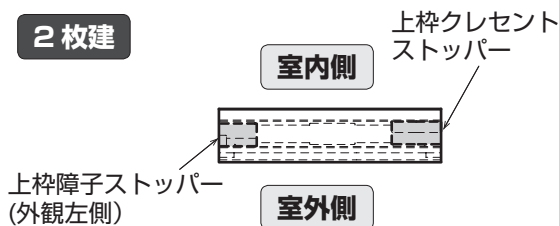
1. クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを下枠・無目に取り付けてください。



【クレセントストッパー取付位置】

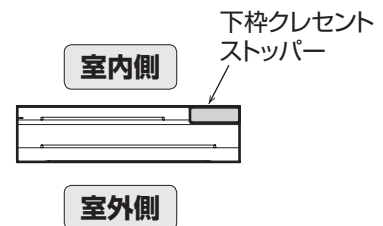
《上枠クレセントストッパー》

2枚建

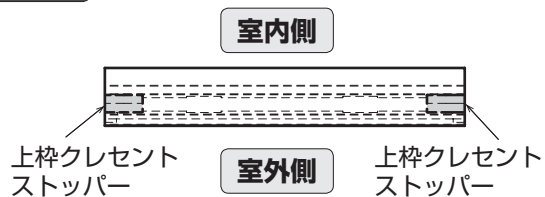


《下枠クレセントストッパー》

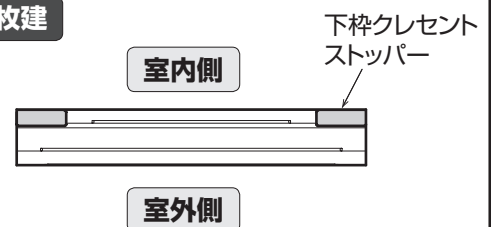
2枚建



4枚建

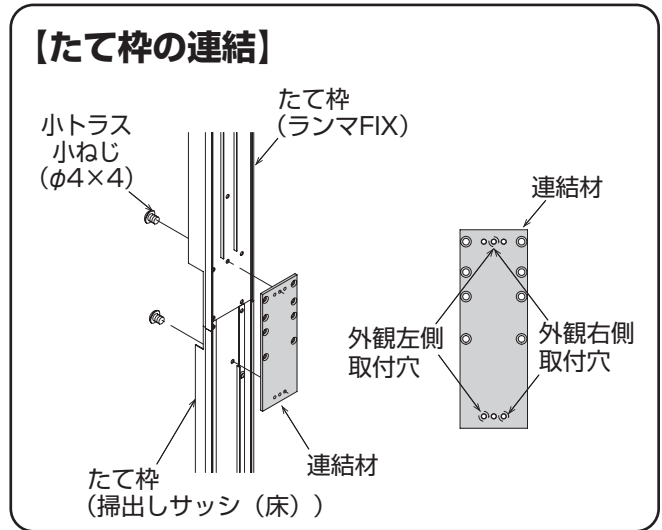
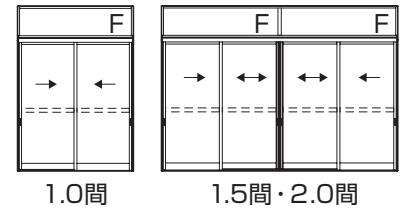
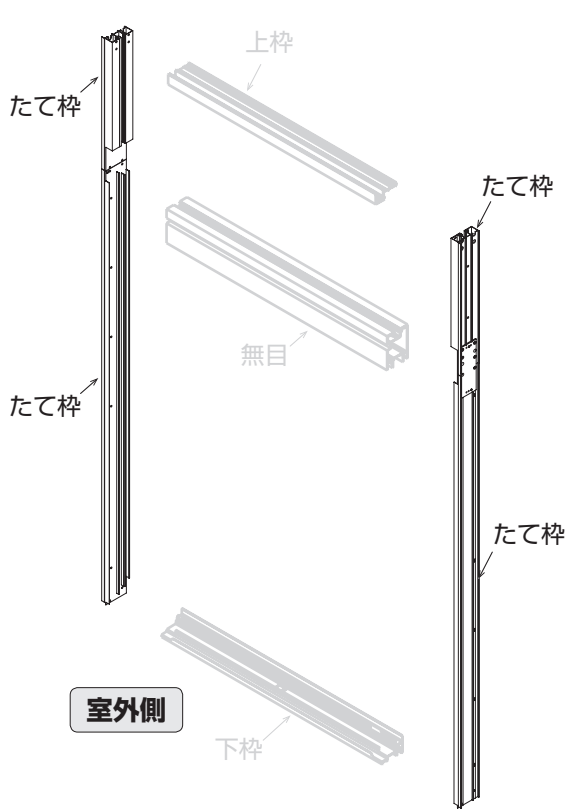


4枚建

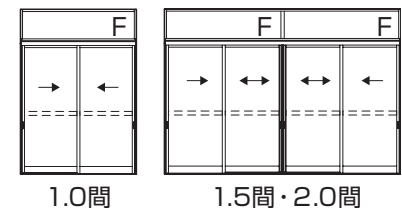
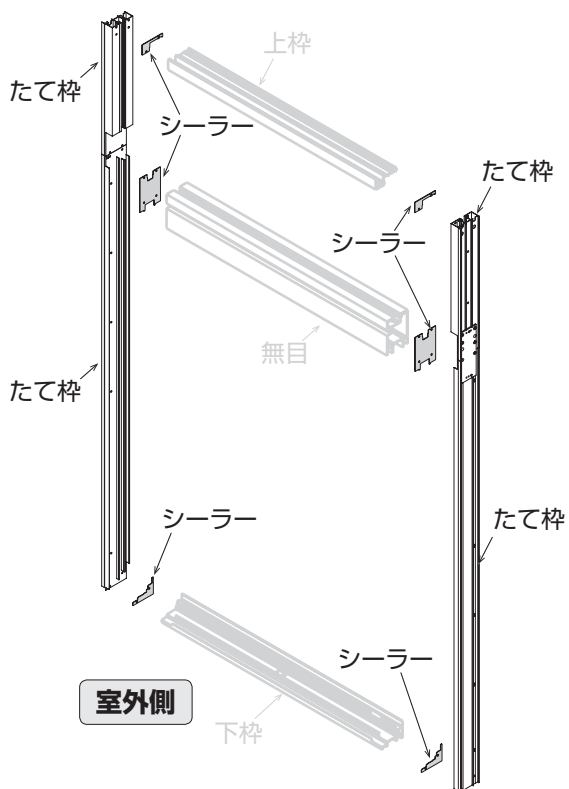


2. たて枠を連結してください。

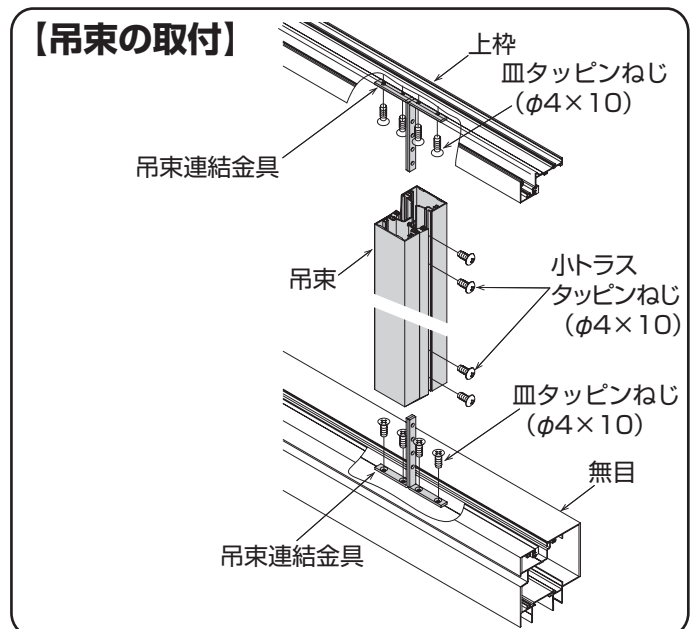
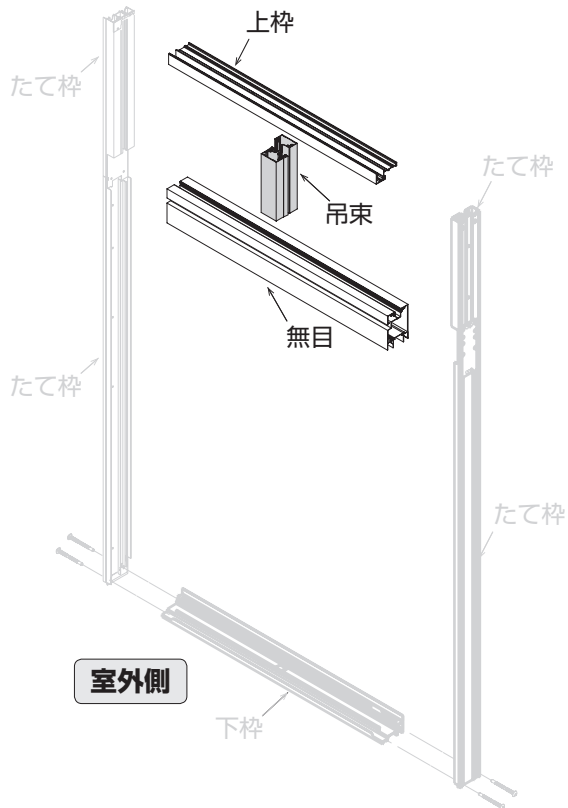
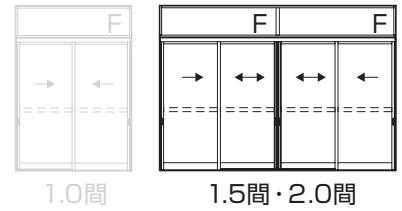
連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。



3. シーラーを取付けてください。

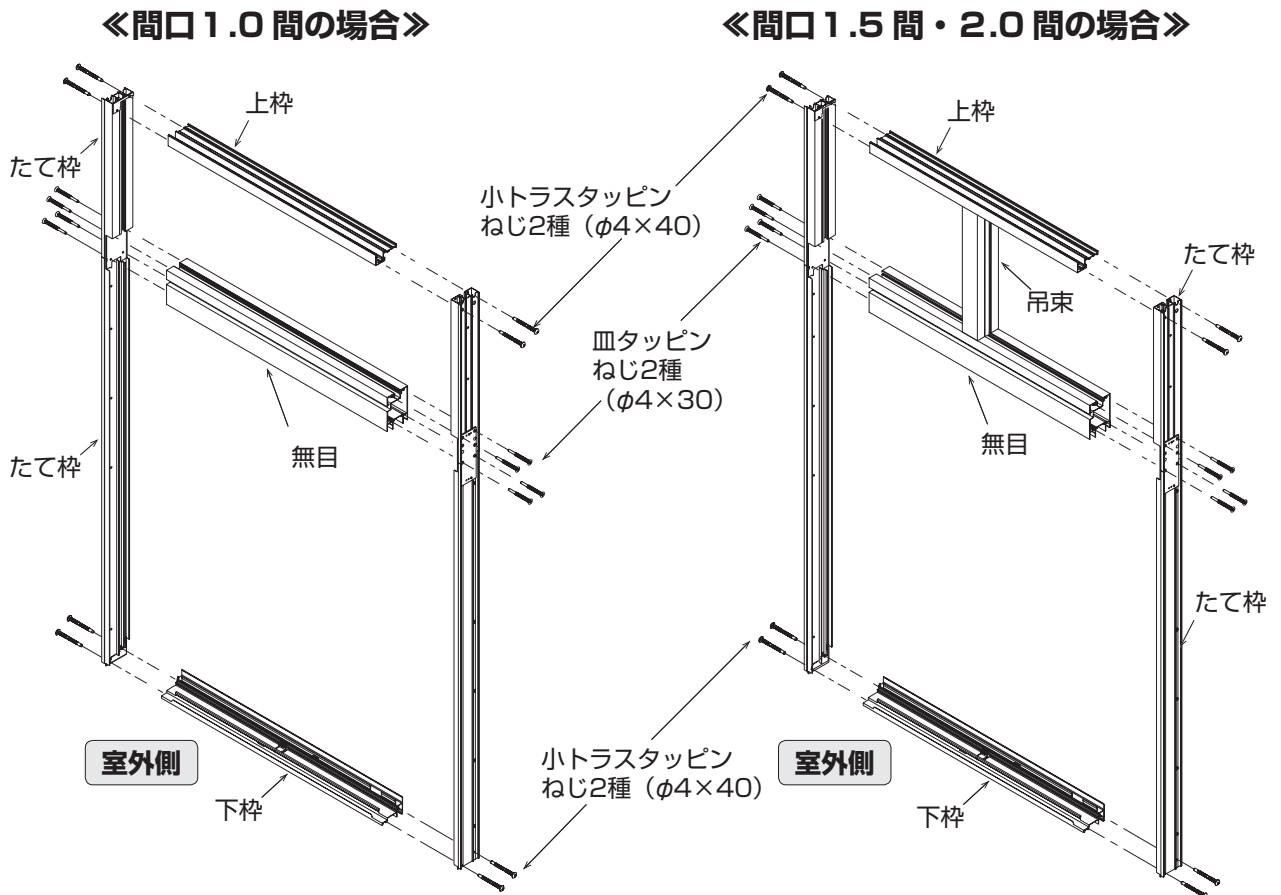
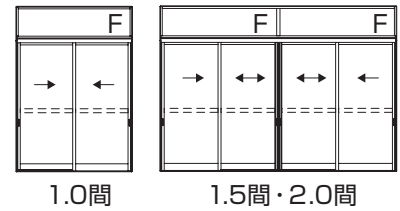


4. 間口1.5間・2.0間の場合は、吊束を取付けてください。
 間口1.0間の場合は、手順5に進んでください。

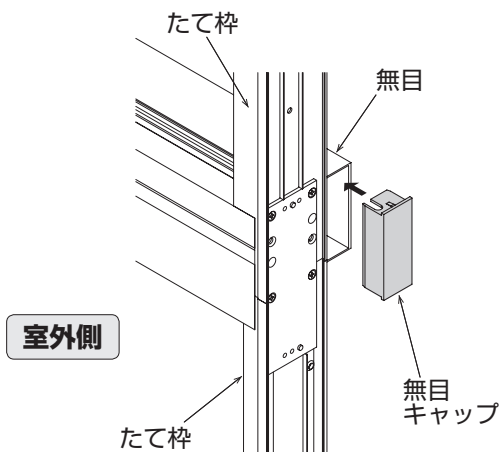


(単位：mm)

5. 枠を組立ててください。



6. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。
取付後、P.126「枠組立後の確認」に進んでください。



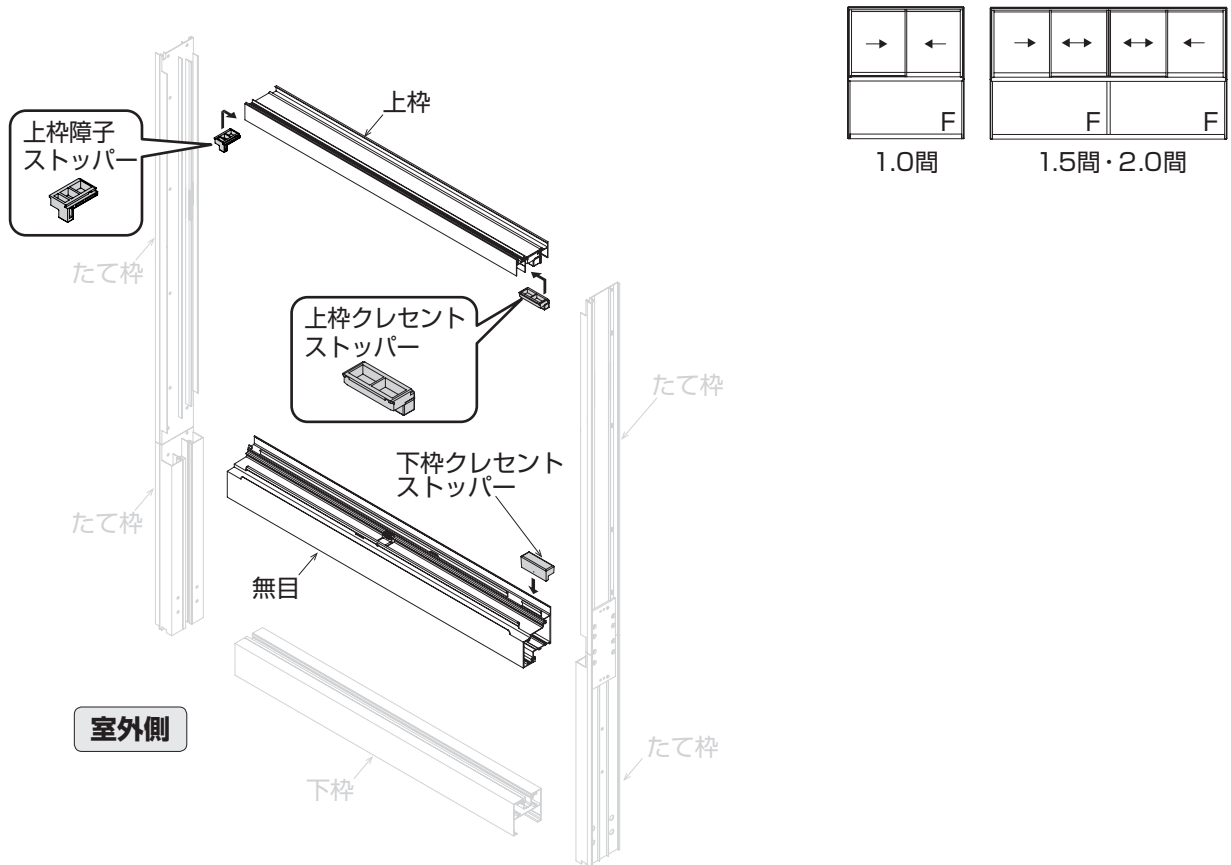
(単位：mm)

高窓の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。切欠きがないと室内側に漏水します。P.195「高さ方向の切詰め」を参照してください。

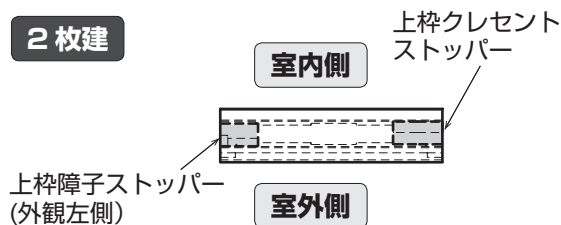
2. クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを上枠・無目に取付けてください。



【クレセントストッパー取付位置】

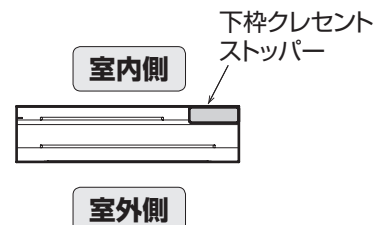
《上枠クレセントストッパー》

2枚建

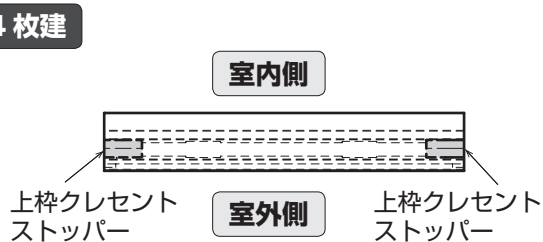


《下枠クレセントストッパー》

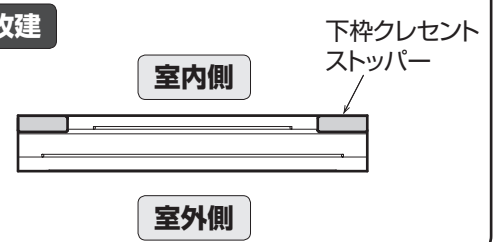
2枚建



4枚建

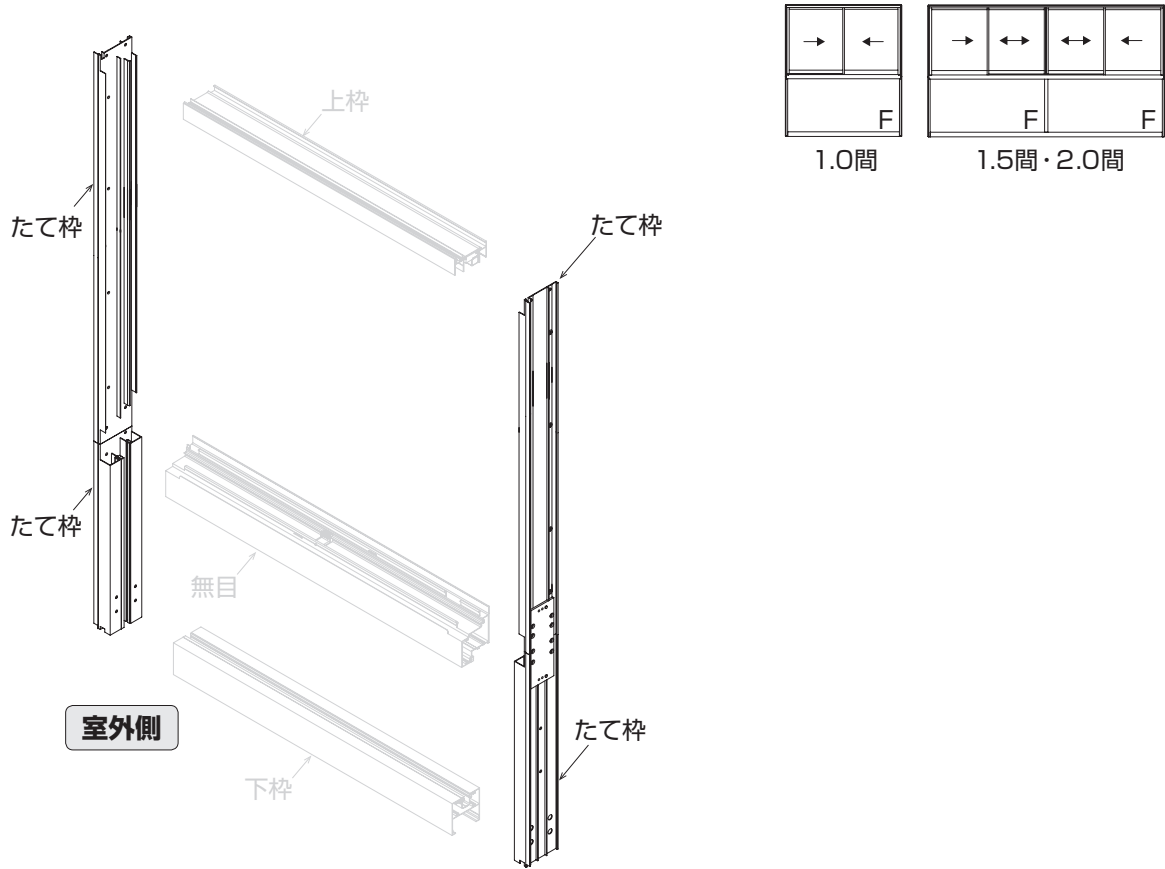


4枚建

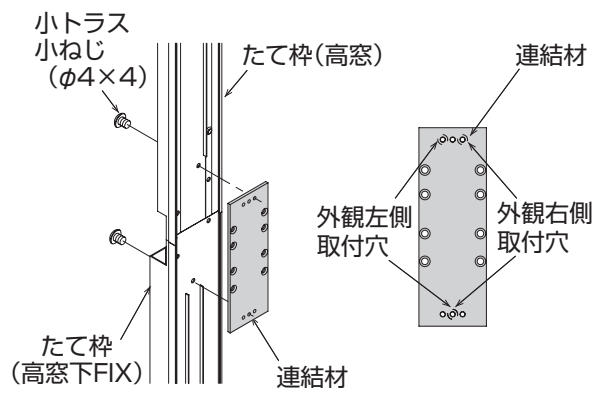


3. たて枠を連結してください。

連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。

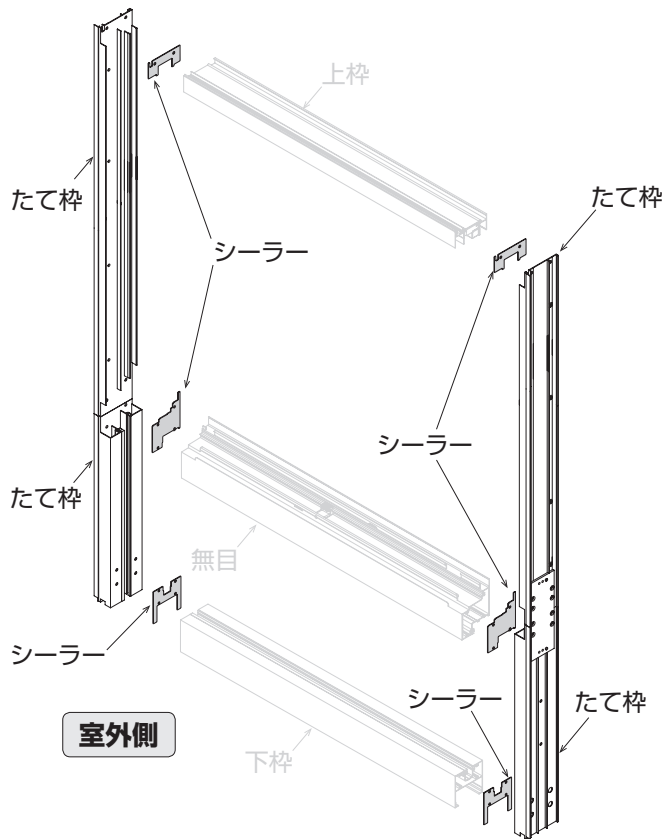


【たて枠の連結】

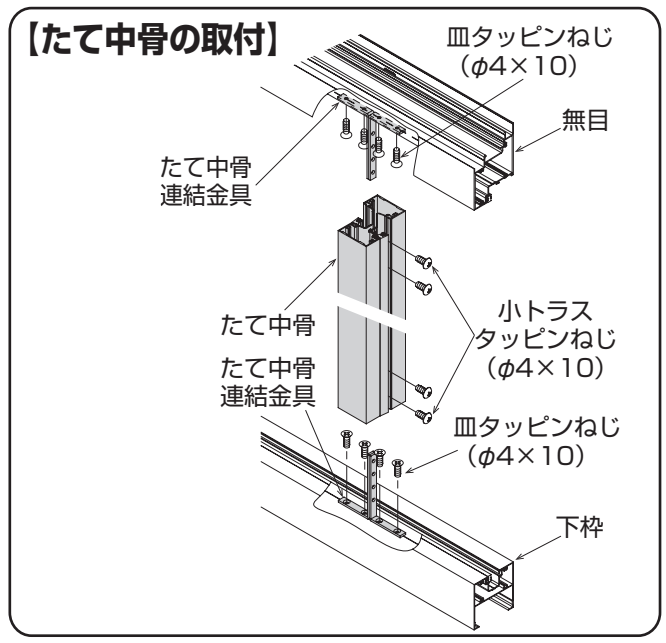
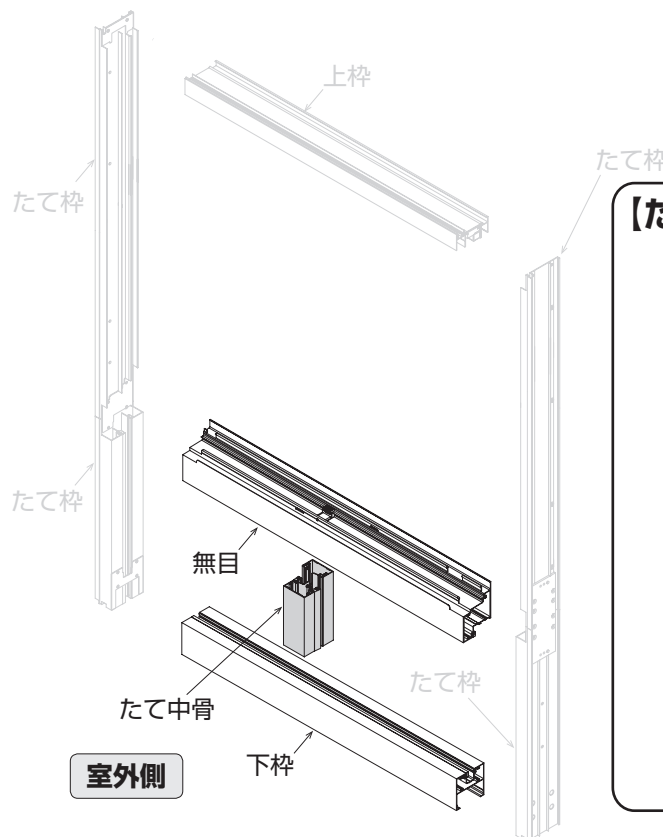


(単位：mm)

4.シーラーを取付けてください。

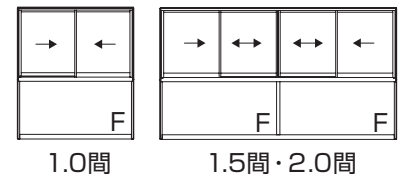


5.間口1.5間・2.0間の場合は、たて中骨を取付けてください。
間口1.0間の場合は、手順6に進んでください。



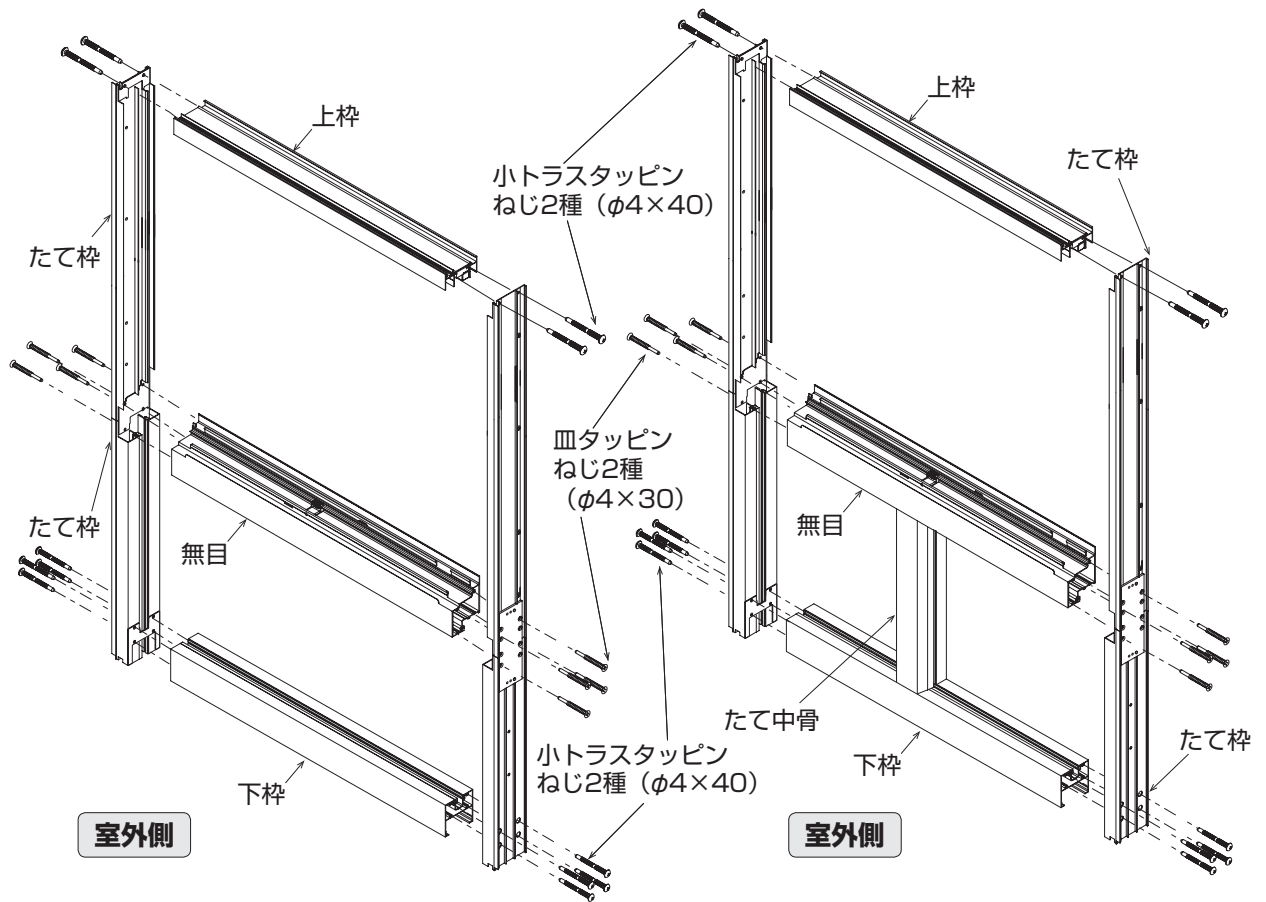
(単位：mm)

6. 枠を組立ててください。



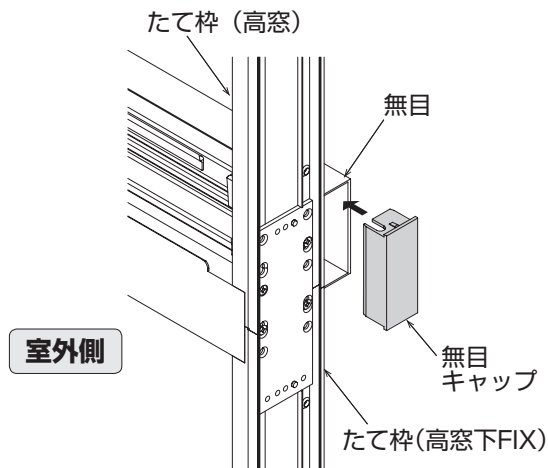
《間口 1.0 間の場合》

《間口 1.5 間・2.0 間の場合》



開口部の施工

7. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。
取付後、P.126「枠組立後の確認」に進んでください。



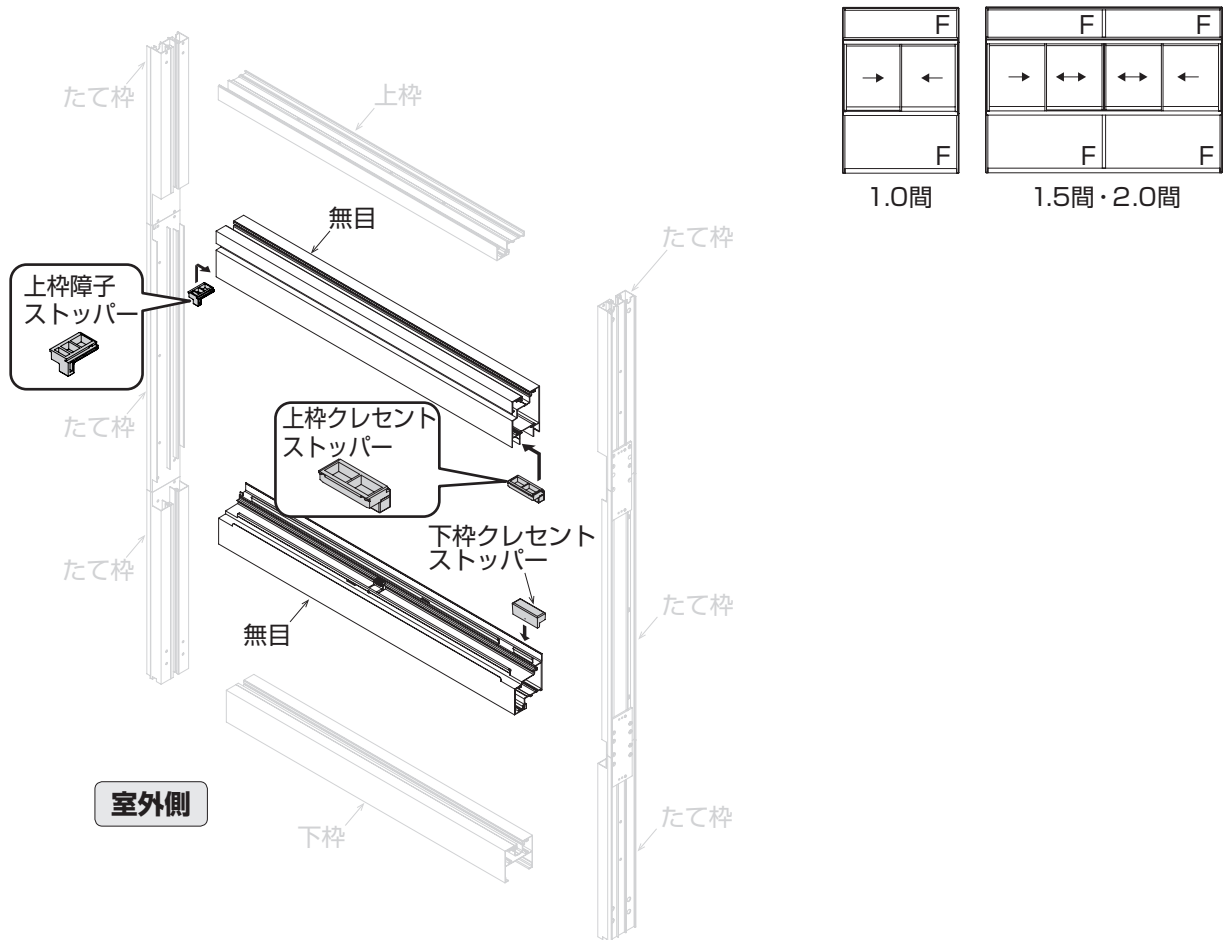
(単位：mm)

高窓 + ランマ FIX の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。切欠きがないと室内側に漏水します。P.195 「高さ方向の切詰め」を参照してください。

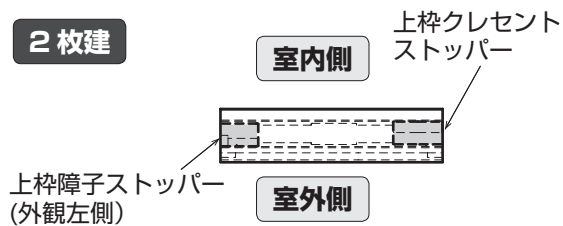
2. クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを無目に取り付けてください。



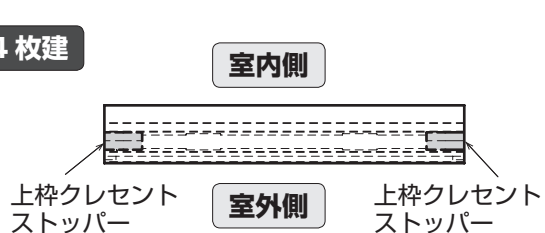
【クレセントストッパー取付位置】

《上枠クレセントストッパー》

2枚建

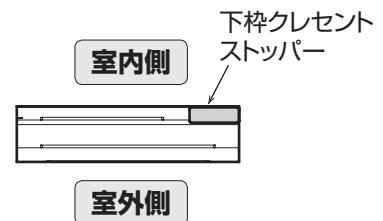


4枚建

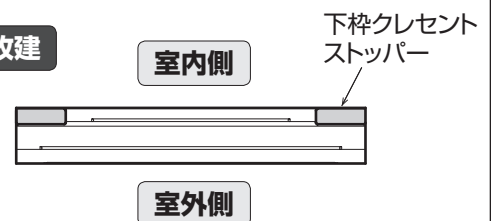


《下枠クレセントストッパー》

2枚建

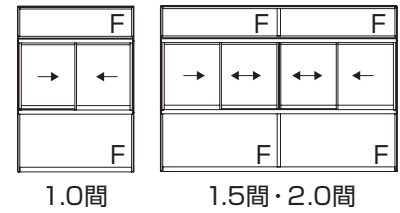


4枚建

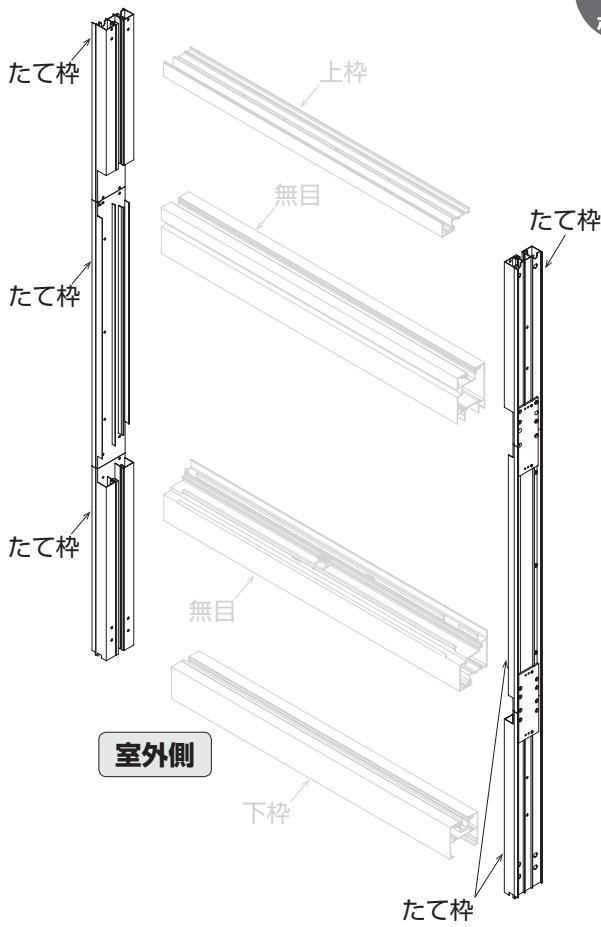


3. たて枠を連結してください。

連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。

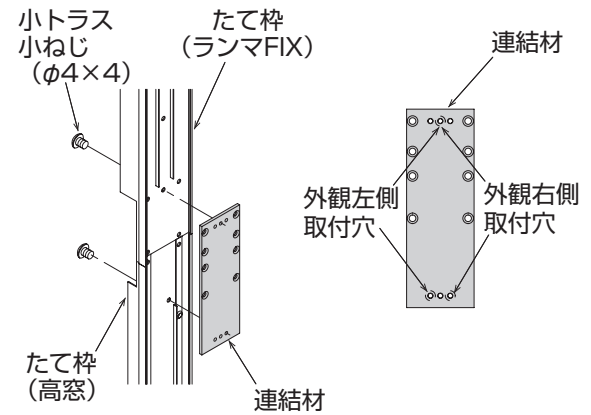


• 連結材は上部・下部で形状が異なります。穴位置に注意してください。

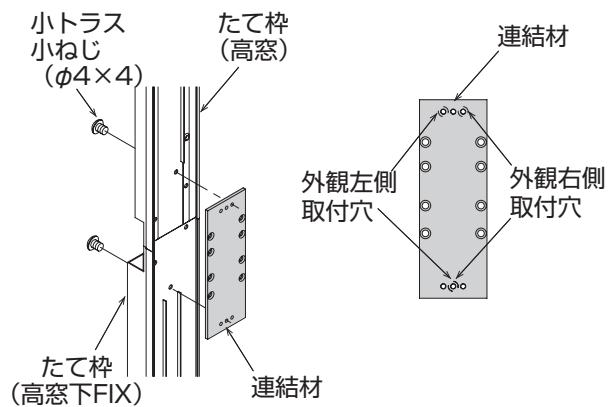


【たて枠の連結】

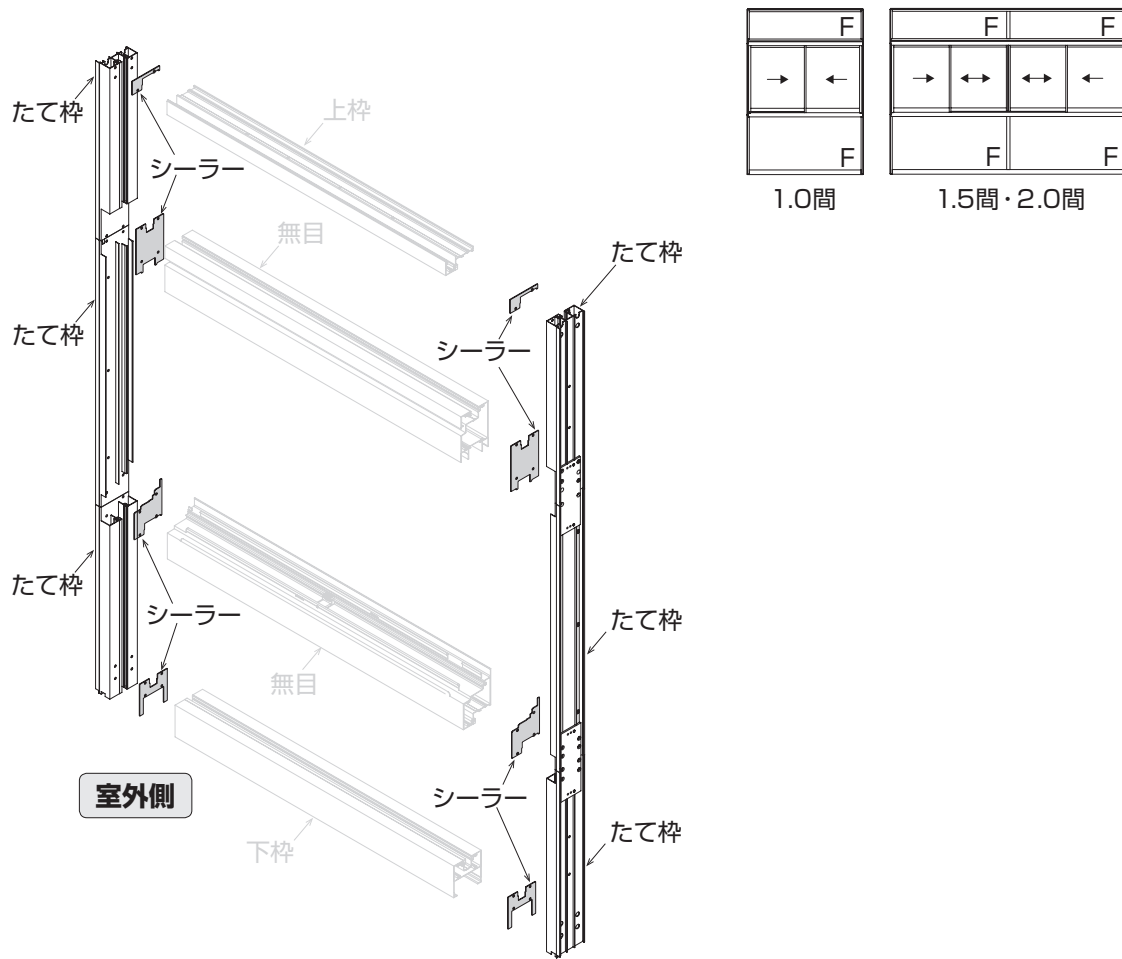
上部



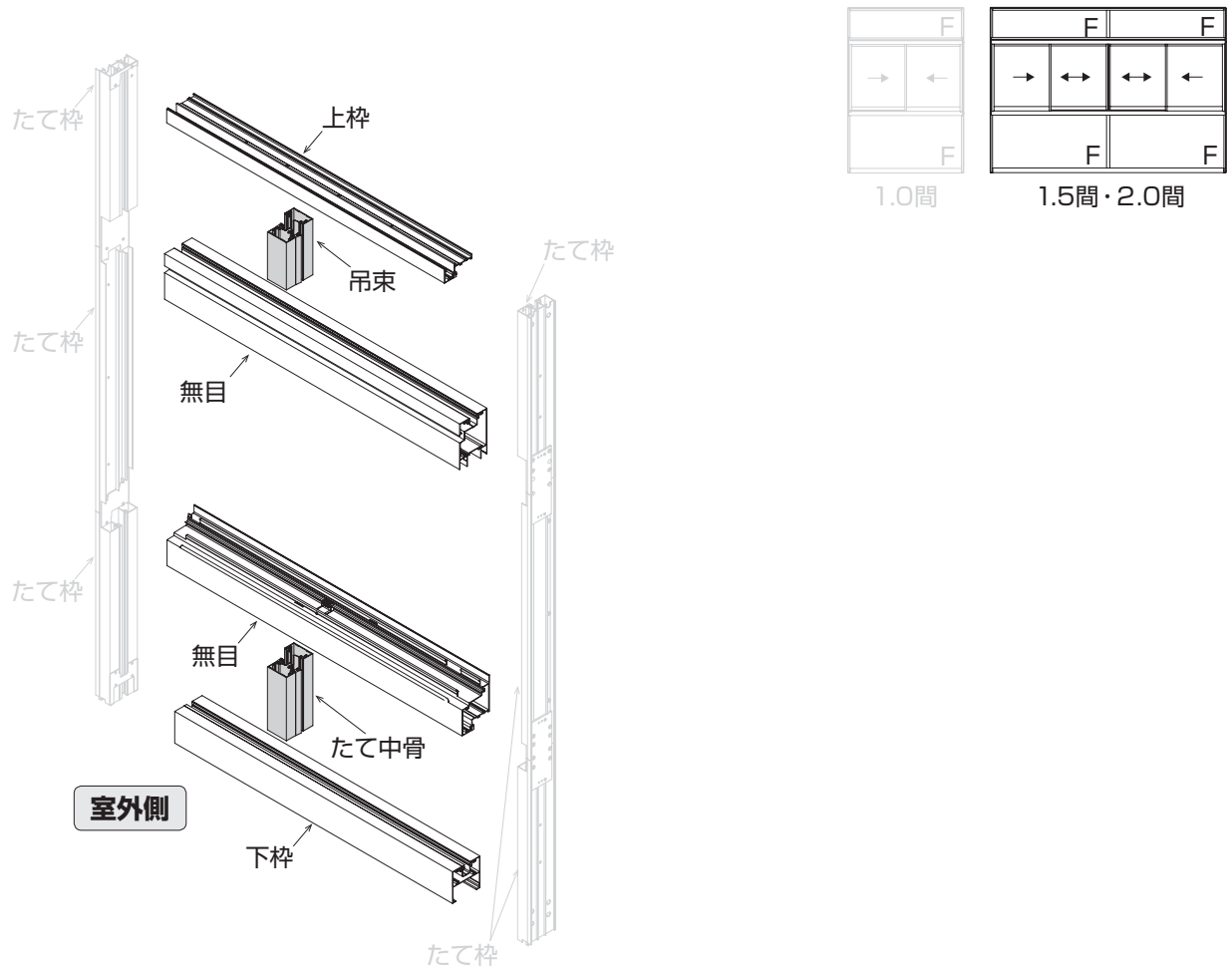
下部



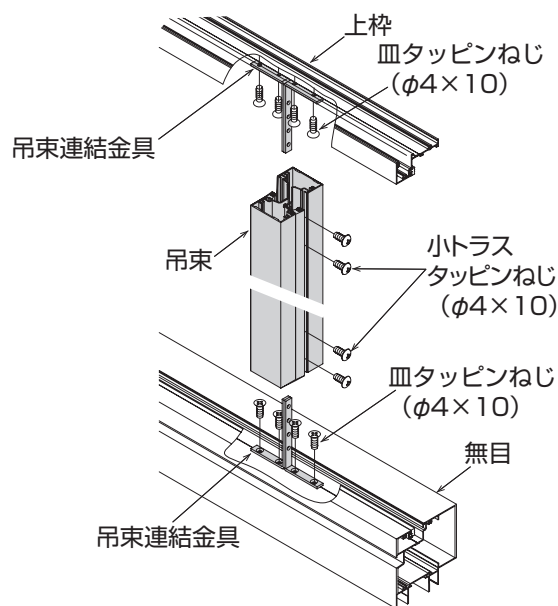
4.シーラーを取付けてください。



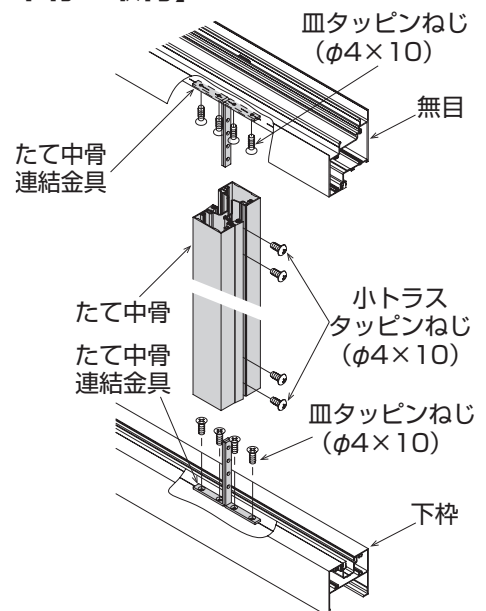
5. 間口1.5間・2.0間の場合は、吊束、たて中骨を取付けてください。
 間口1.0間の場合は、手順6に進んでください。



【吊束の取付】

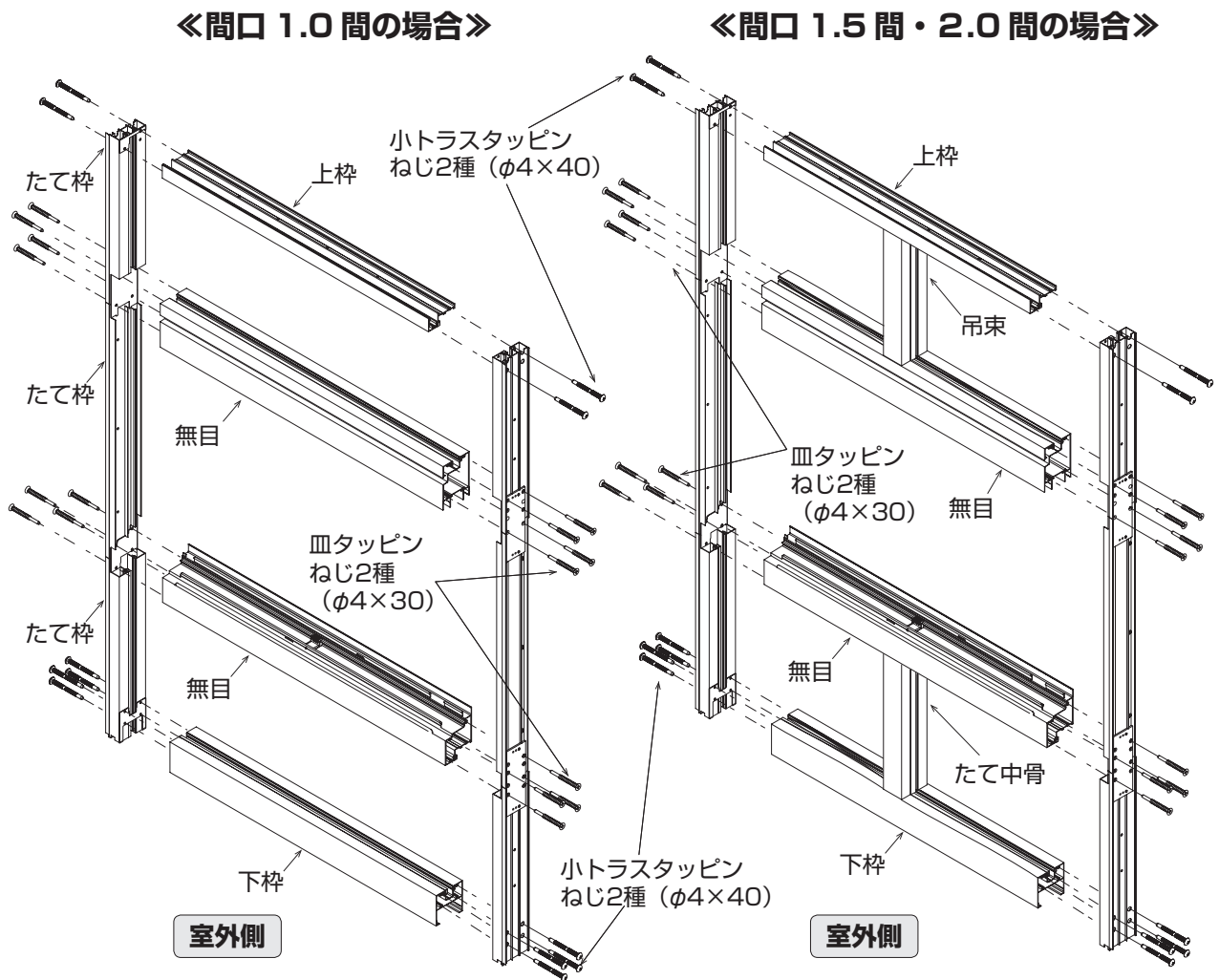
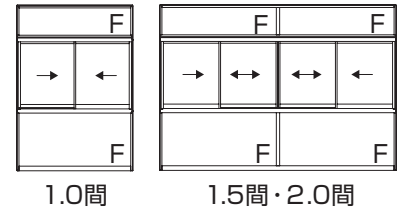


【たて中骨の取付】



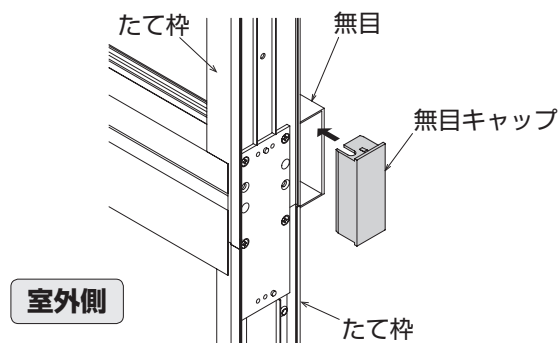
(単位 : mm)

6. 枠を組立ててください。



開口部の施工

7. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。
取付後、P.126「枠組立後の確認」に進んでください。



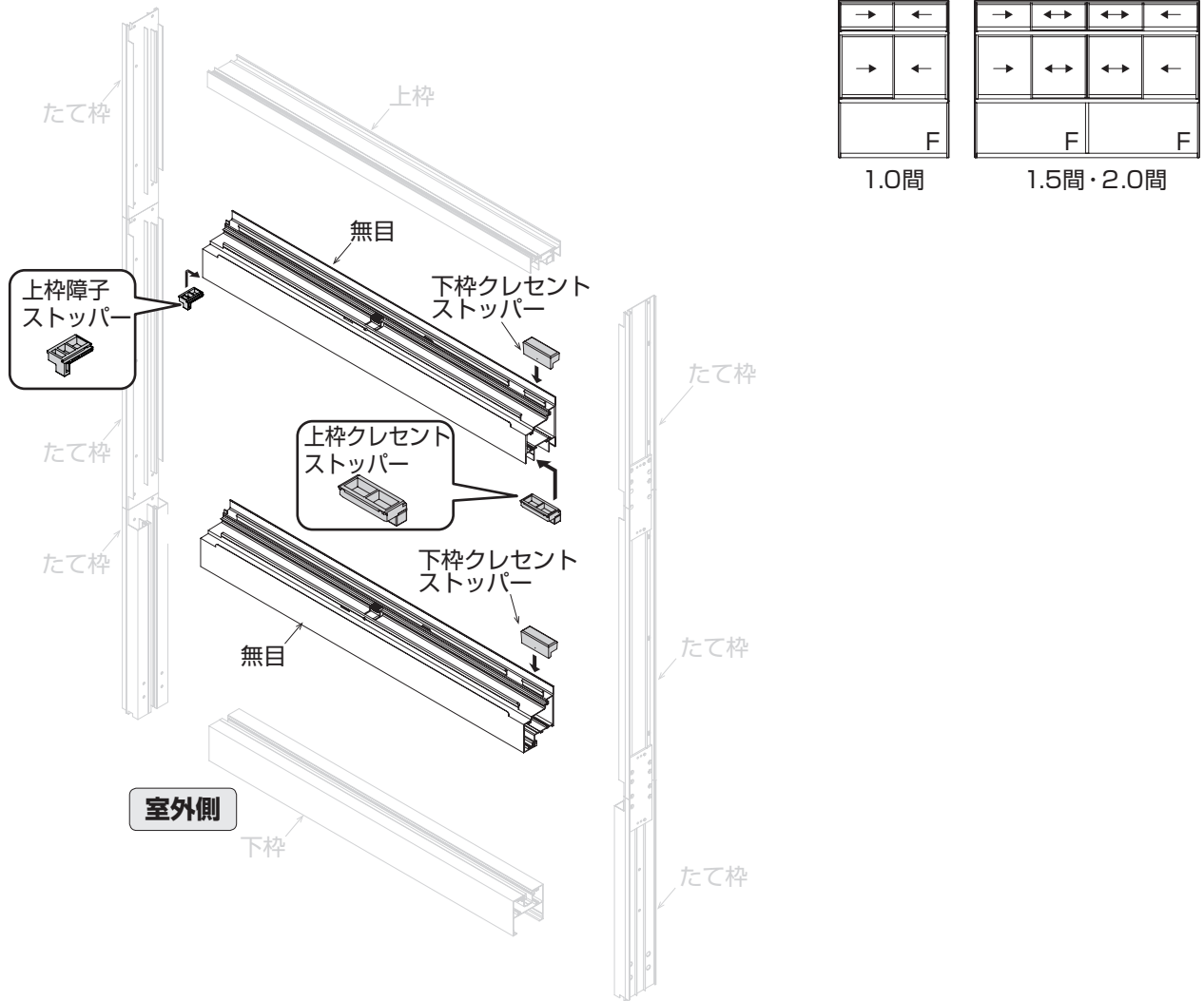
(単位：mm)

高窓 + ランマ引違い窓の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。切欠きがないと室内側に漏水します。P.195「高さ方向の切詰め」を参照してください。

2. クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを無目に取り付けてください。

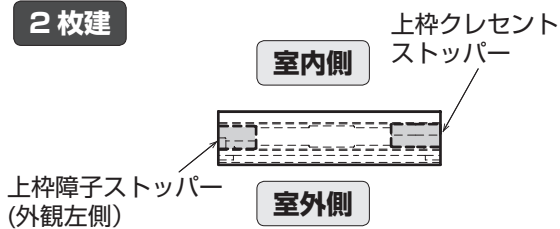


開口部の施工

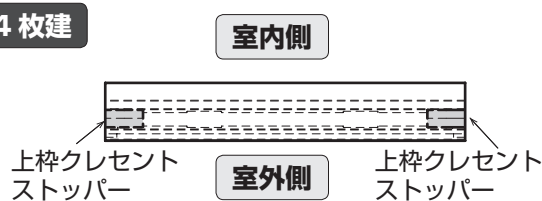
【クレセントストッパー取付位置】

《上枠クレセントストッパー》

2枚建

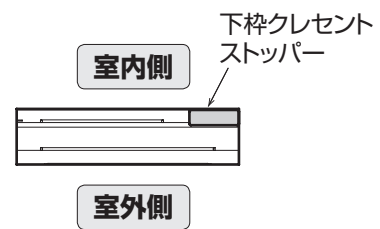


4枚建

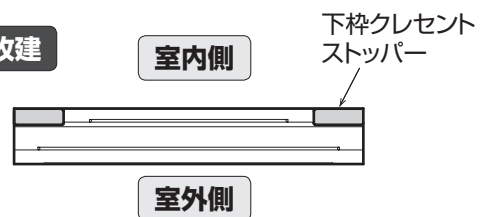


《下枠クレセントストッパー》

2枚建

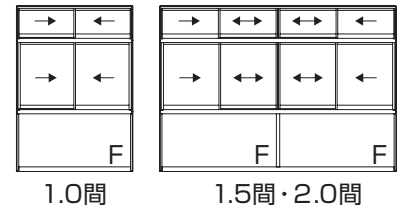


4枚建

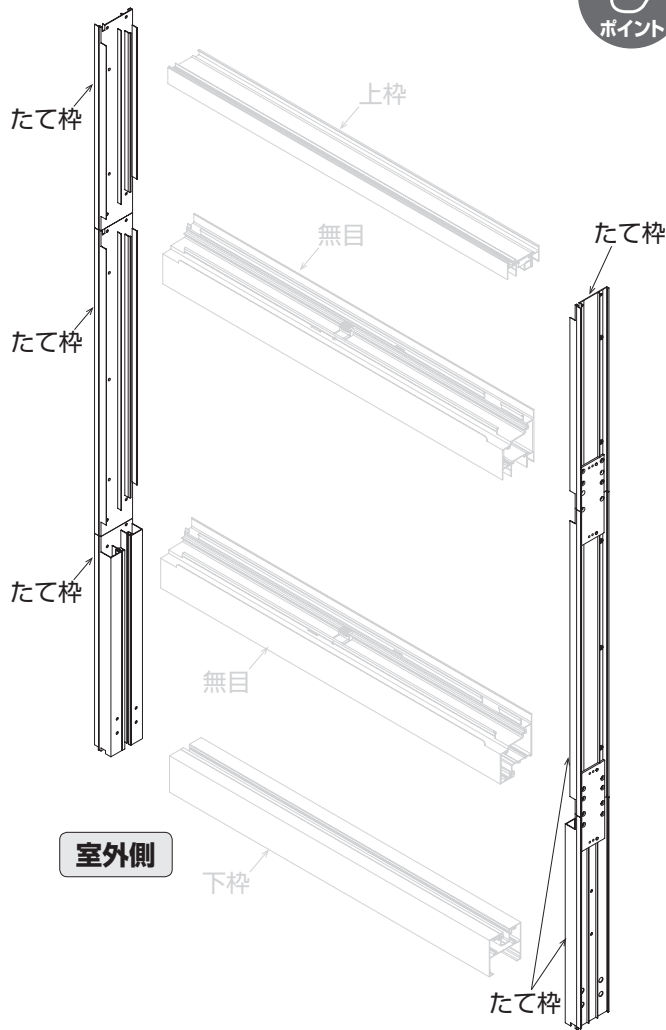


3. たて枠を連結してください。

連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。

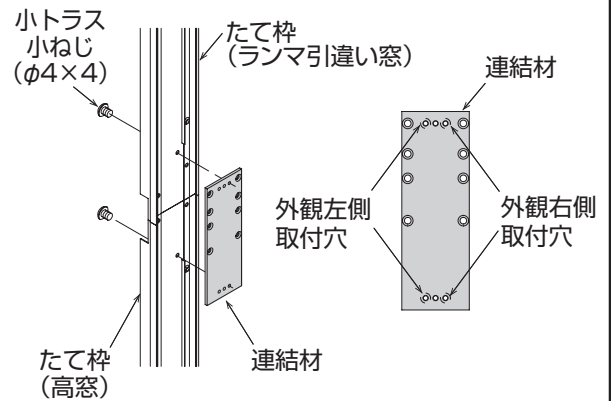


• 連結材は上部・下部で形状が異なります。
穴位置に注意してください。

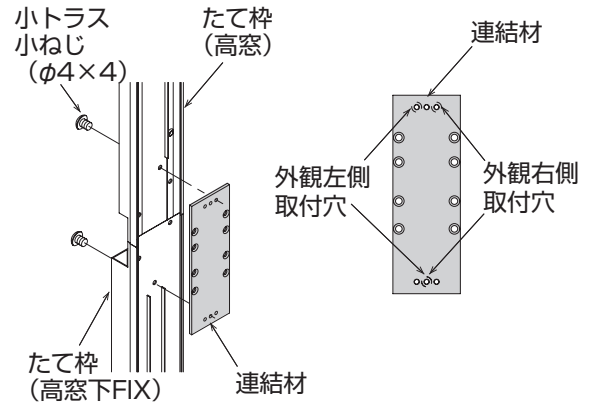


【たて枠の連結】

上部



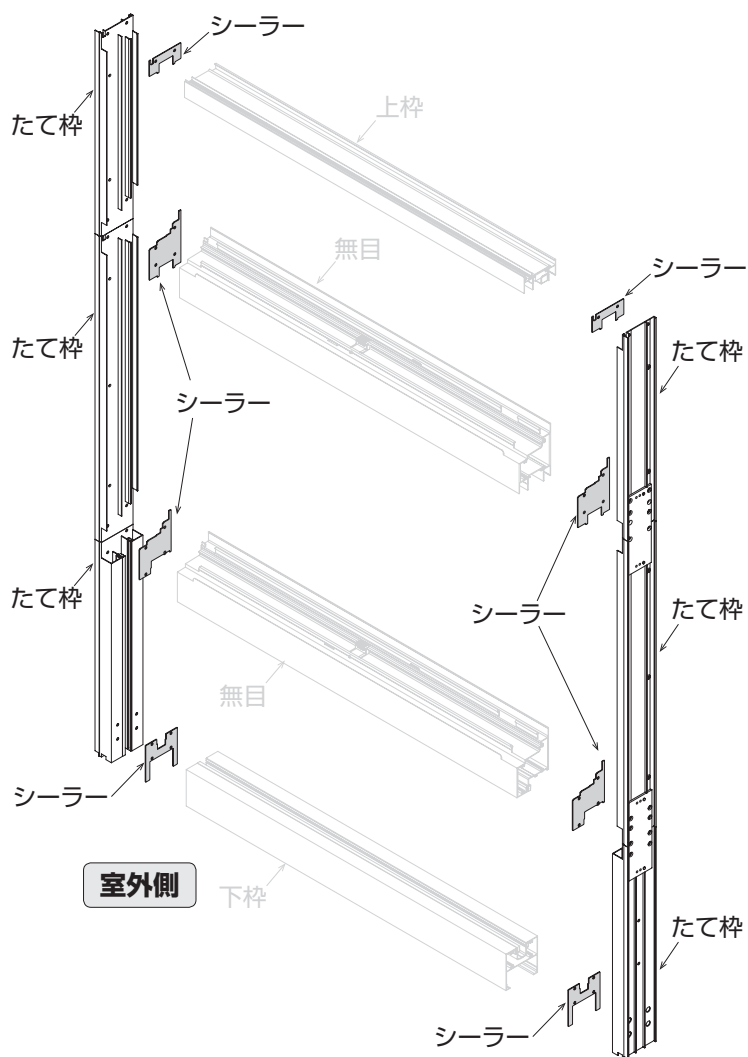
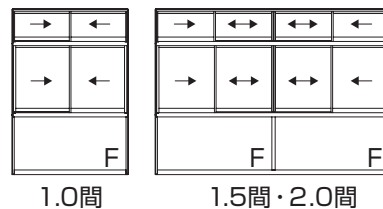
下部



開口部の施工

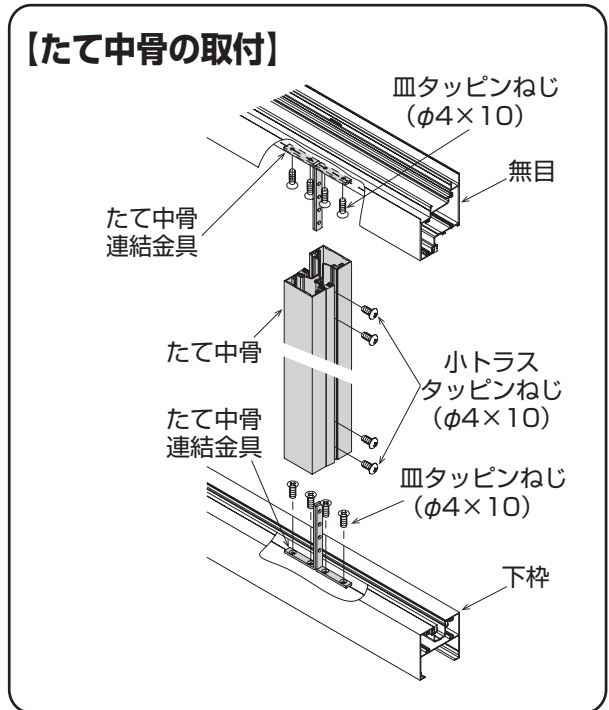
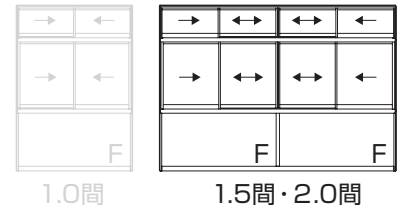
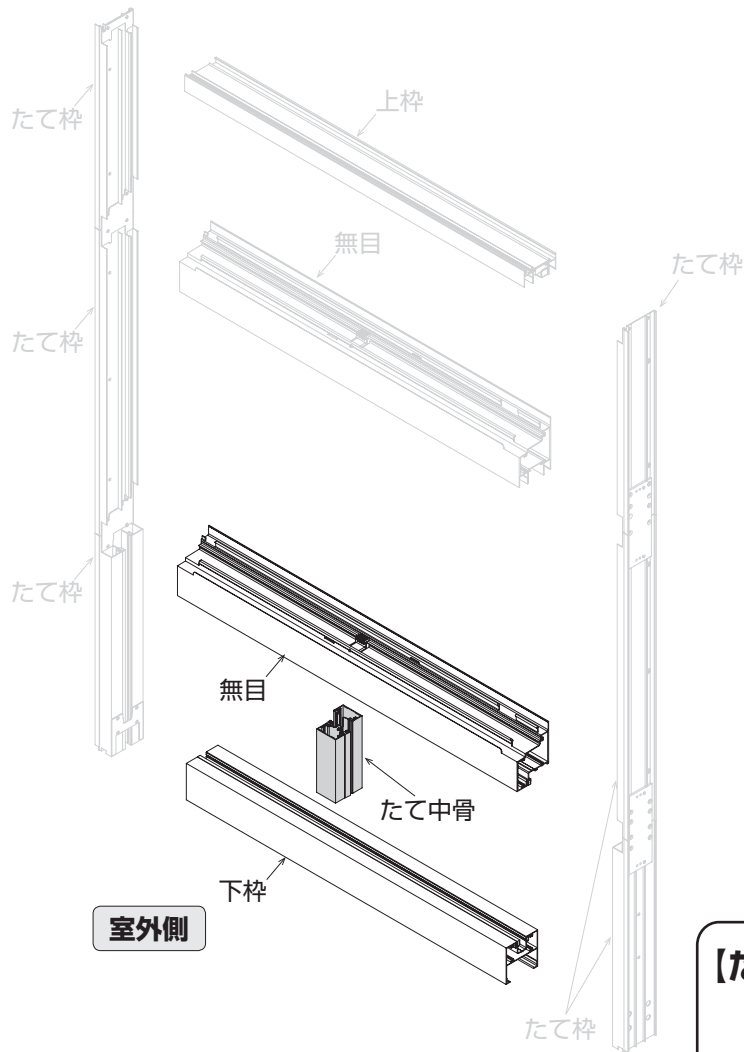
(単位：mm)

4.シーラーを取付けてください。



開口部の施工

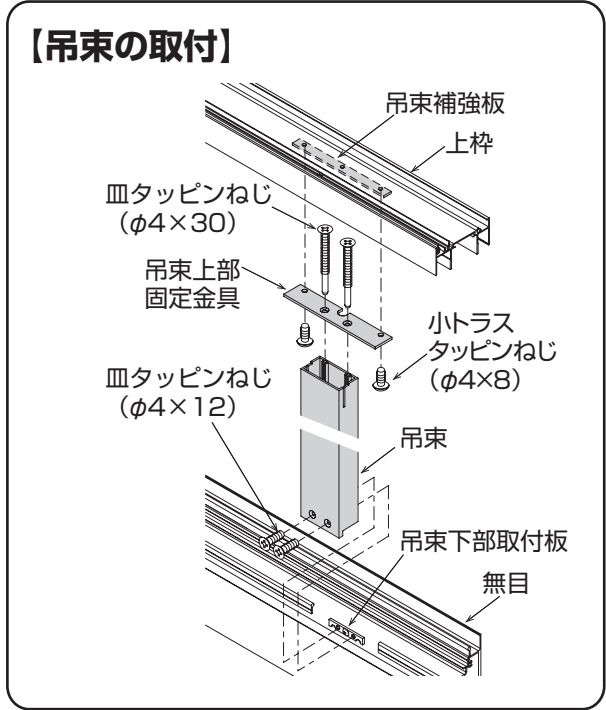
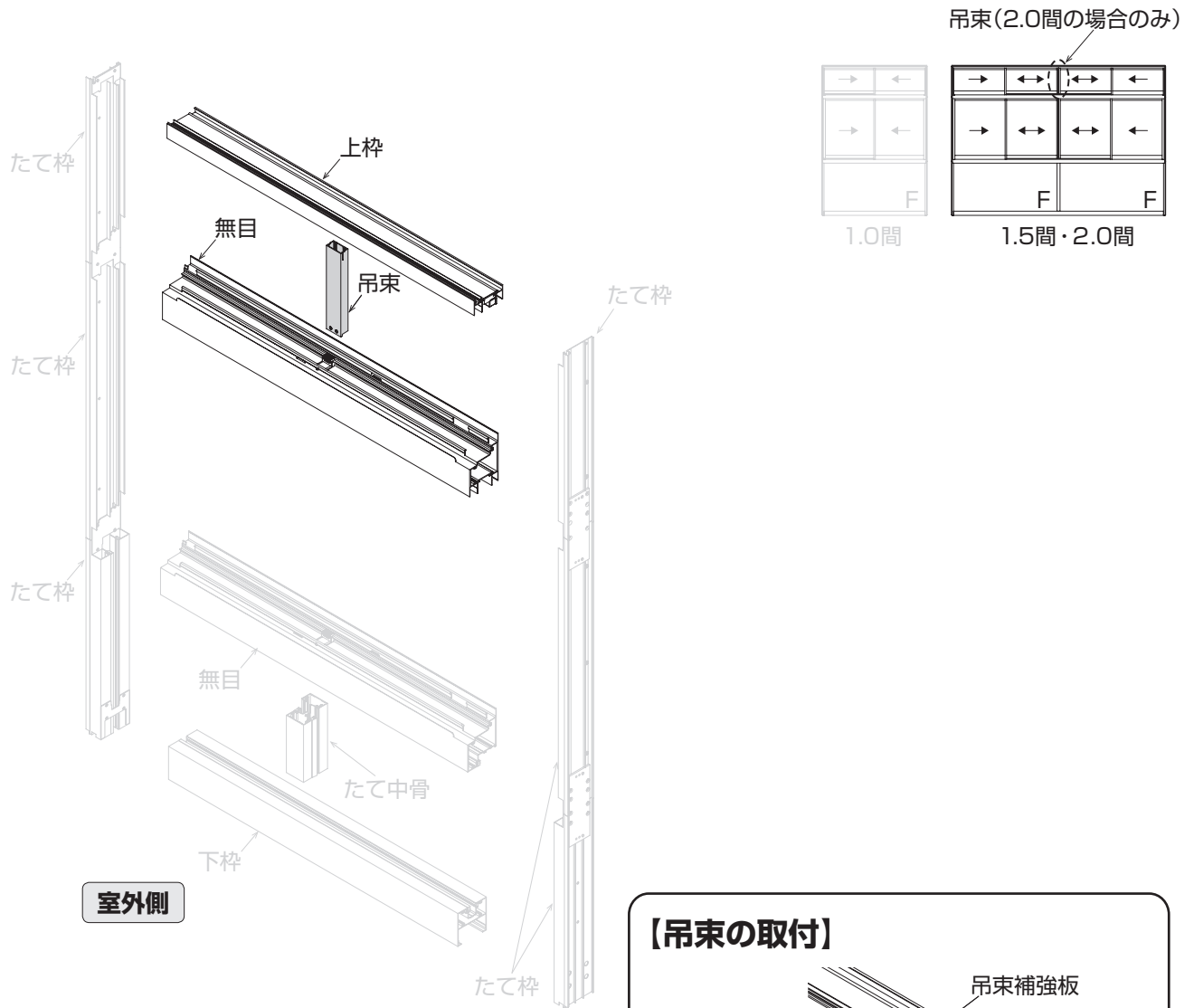
5. 間口1.5間・2.0間の場合は、たて中骨を取付けてください。
 間口1.0間の場合は、手順7に進んでください。



開口部の施工

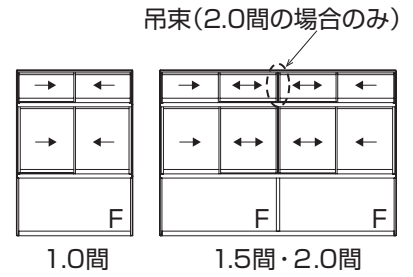
(単位 : mm)

6. 間口2.0間の場合は、吊束を取付けてください。
 間口1.5間の場合は、手順7に進んでください。



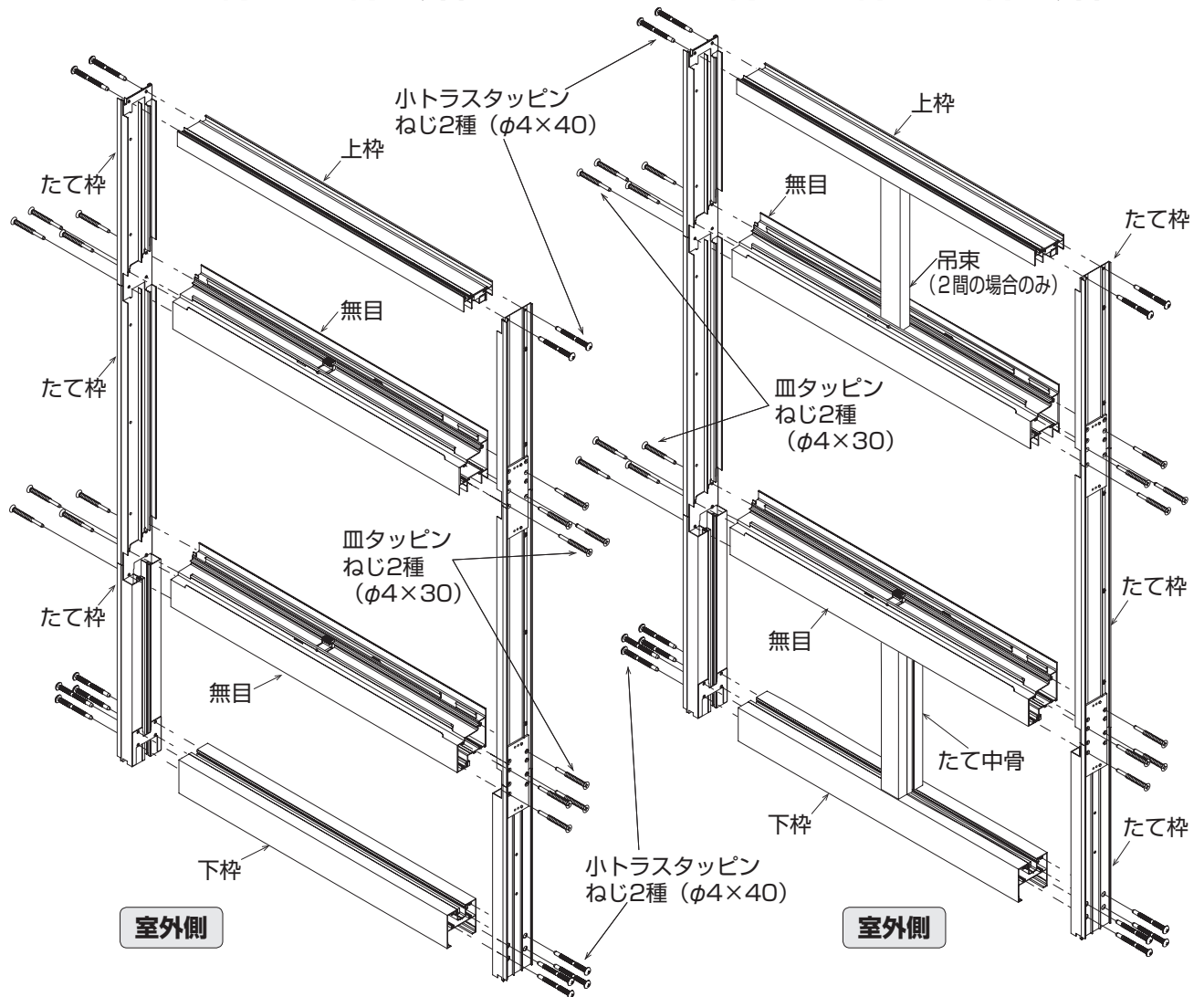
(単位：mm)

7. 枠を組立ててください。



《間口1.0間の場合》

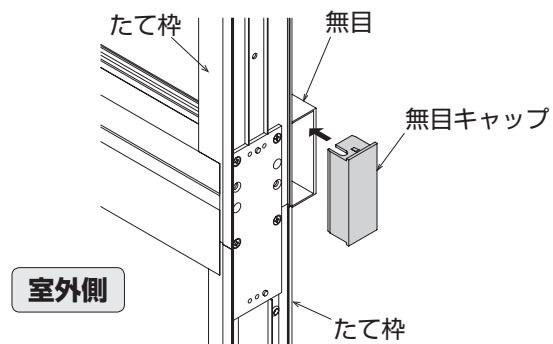
《間口1.5間・2.0間の場合》



開口部の施工

(単位: mm)

8. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。
取付後、「枠組立後の確認」に進んでください。



枠組立後の確認

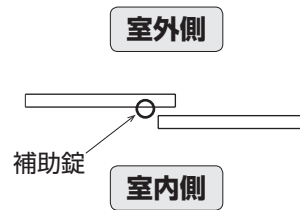
1. 上下枠・無目まわりからシーラーがはみ出していることを確認してください。

障子組立前の確認

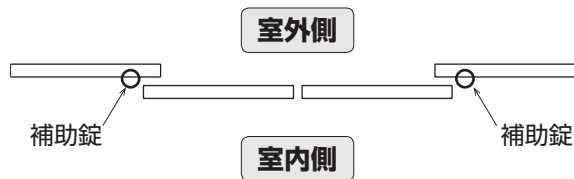
補助錠の確認

1. 補助錠の位置を確認して組立ててください。

《2枚建》

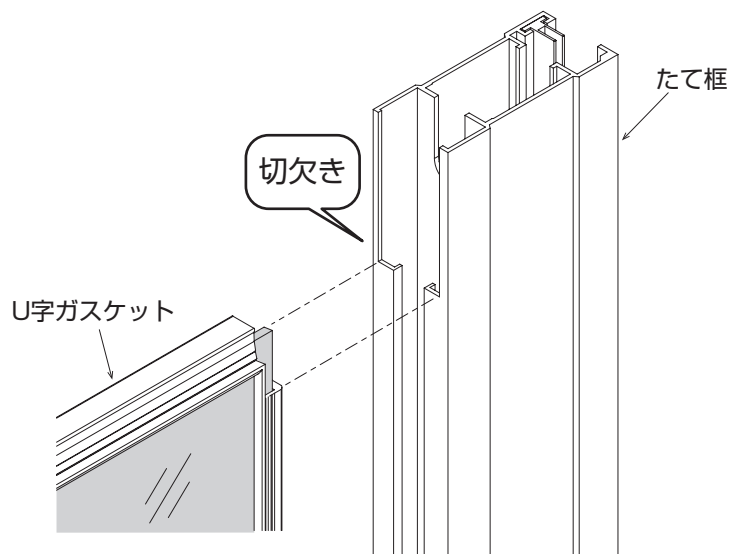


《4枚建》

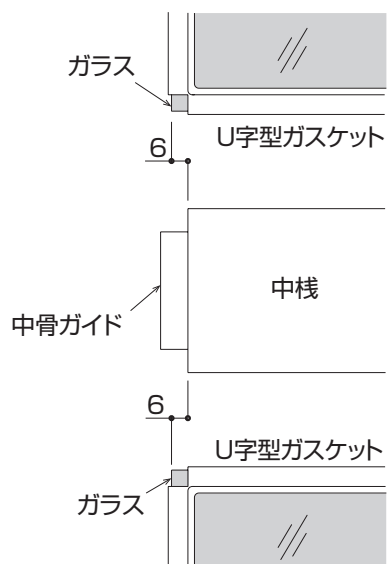


ガラス位置の確認

1. 図のようにU字ガスケットと枠の切欠きをあわせて組立ててください。



《中棧付の場合》







障子の組立

お願い

• 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

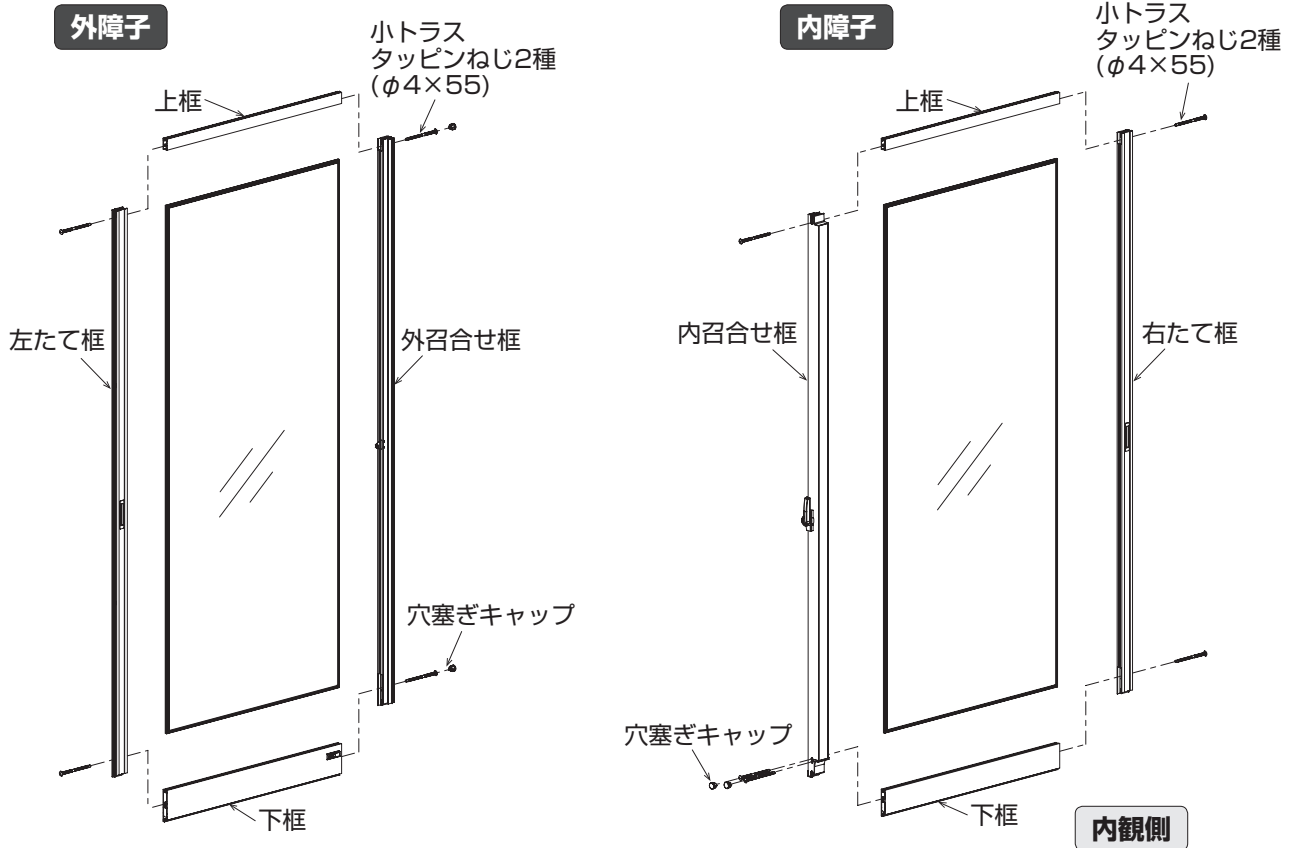
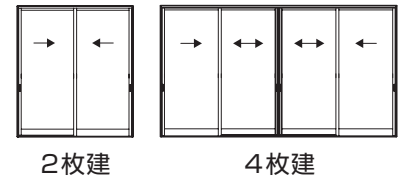
■U字ガスケット一覧

ガラス厚	3.4mm用	5mm用	6mm用	6.8mm用
姿 図				
品 番	K-6426	K-20358	K-20866	K-6413

障子の組立

掃出しサッシ (床)・中棧無の場合

1. たて框をガラスにはめ込んでください。
2. 上下框をガラスにはめ込んでください。
3. 障子を組立ててください。

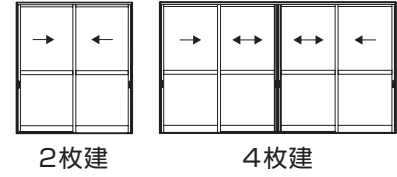
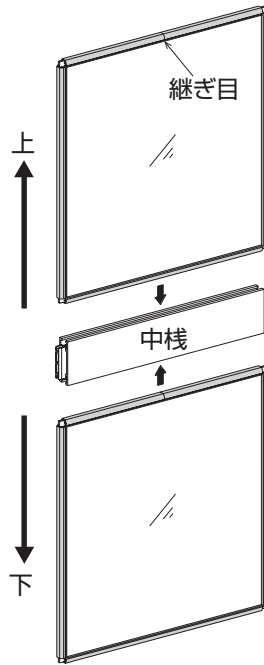


開口部の施工

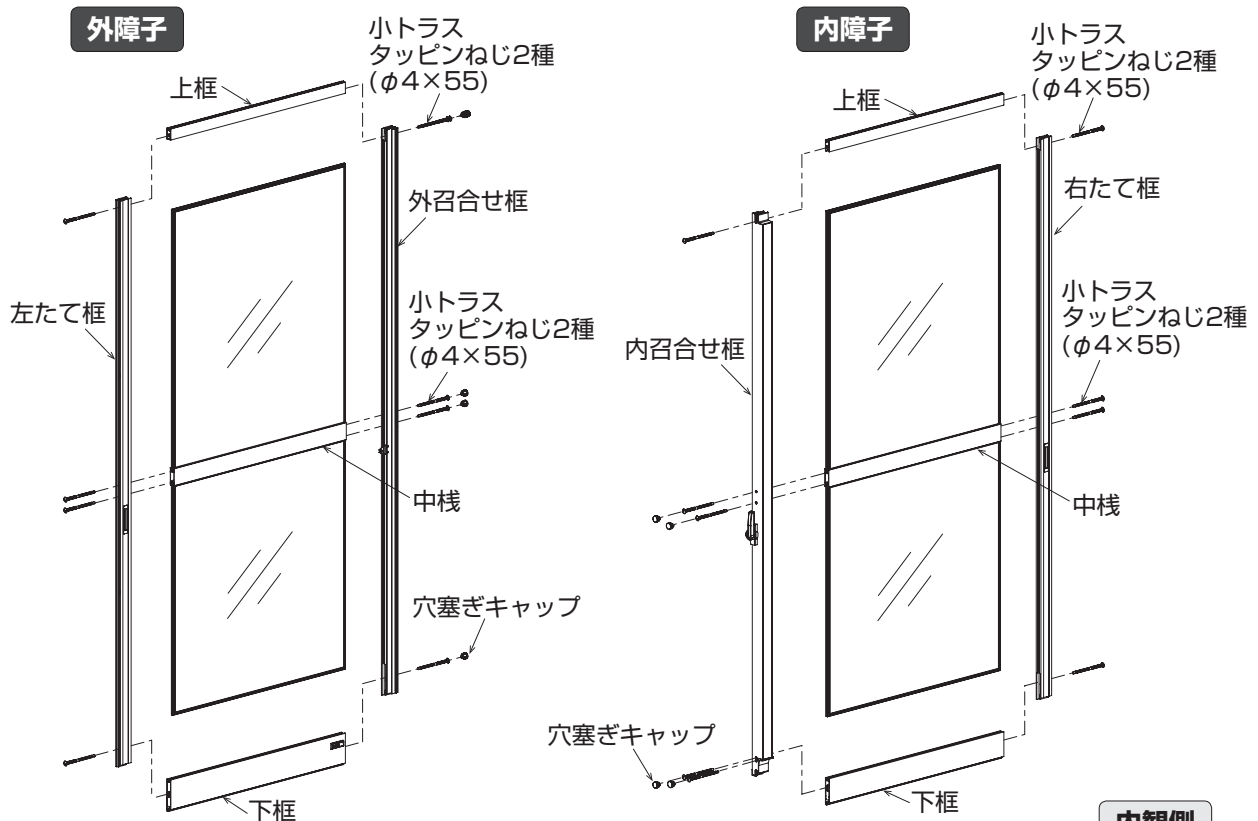
(単位 : mm)

掃出しサッシ (床)・中棧付の場合

1. 中棧をガラスにはめ込んでください。



- 2. たて框をガラスにはめ込んでください。
- 3. 上下框をガラスにはめ込んでください。
- 4. 障子を組立ててください。

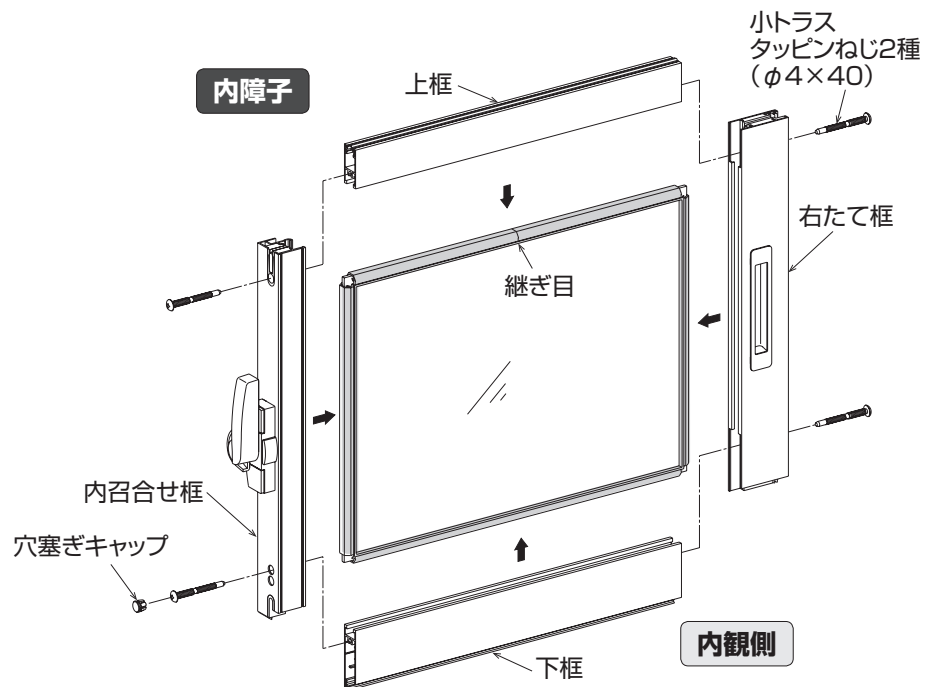
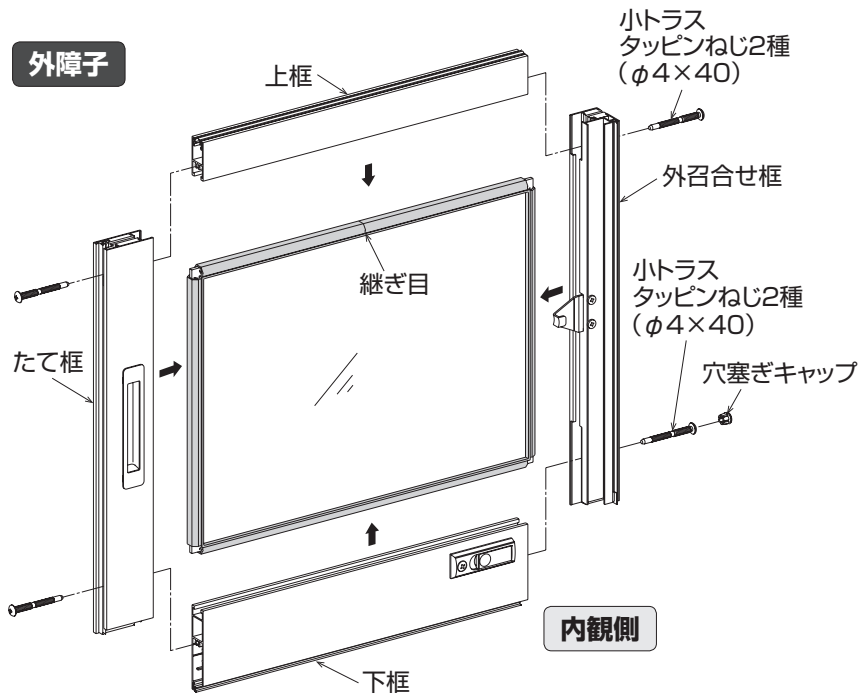
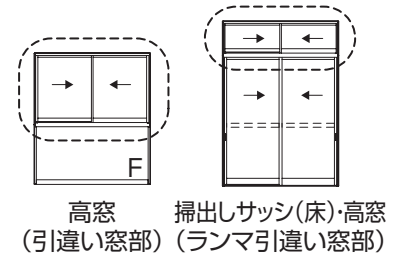


内観側

(単位：mm)

高窓・ランマ引違い窓の場合

1. たて框をガラスにはめ込んでください。
2. 上下框をガラスにはめ込んでください。
3. 障子を組立ててください。

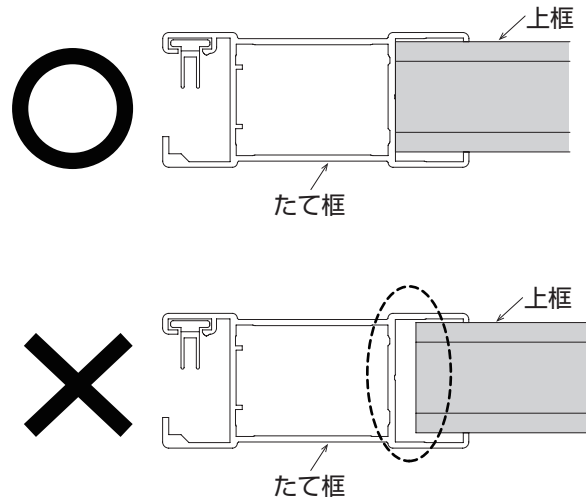


開口部の施工

(単位：mm)

ねじ締め前の確認

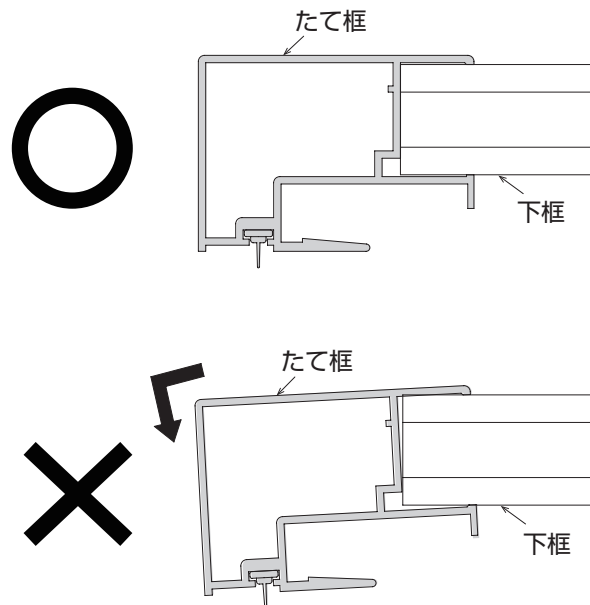
1. たて框に上下框がしっかりとみこまれていることを確認してください。



障子組立後の確認

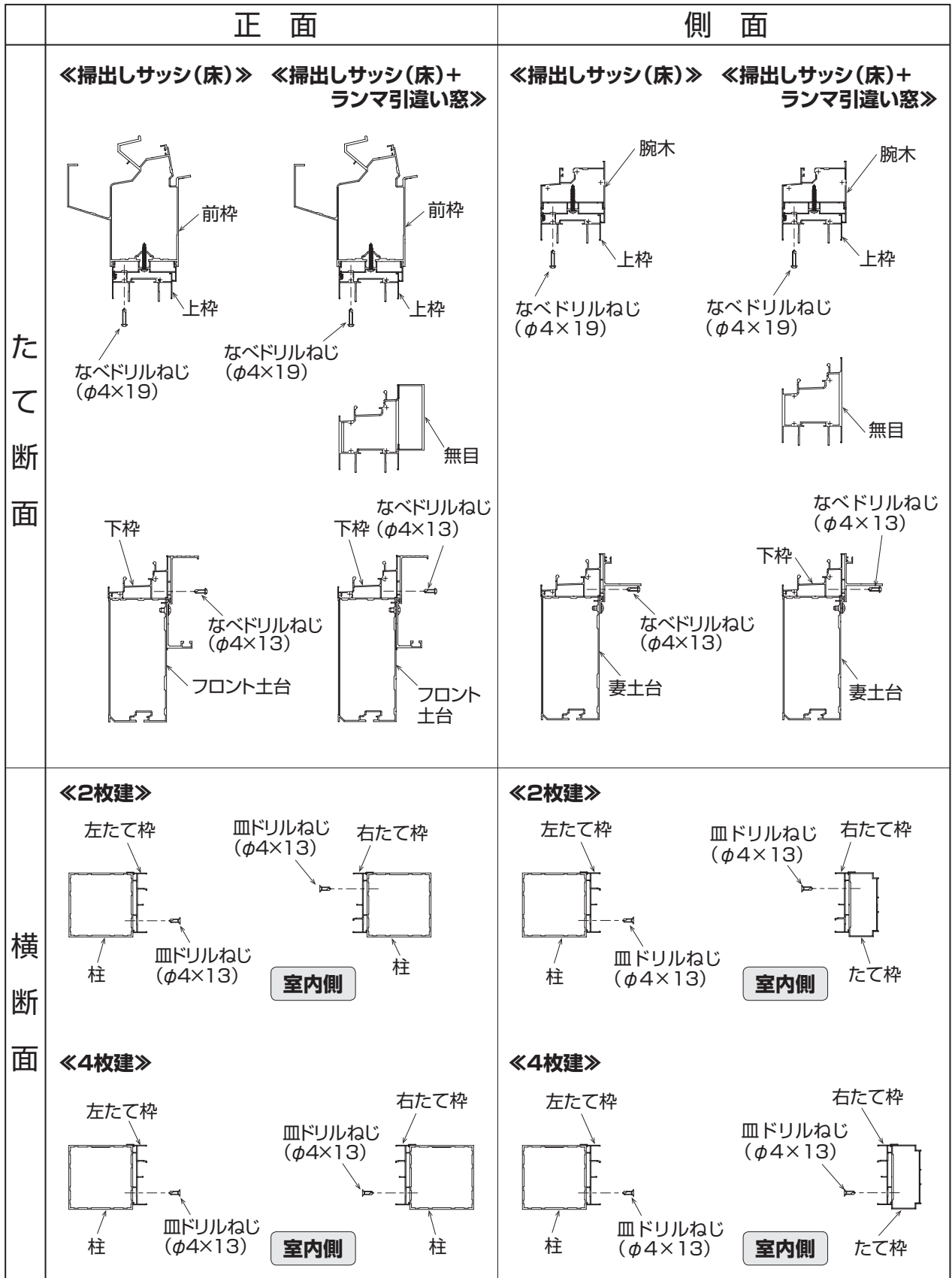
1. 上下框とたて框の接合部にすき間が無いことを確認してください。

2. 框の転びが無いことを確認してください。



枠の取付

1. 枠を取付けてください。



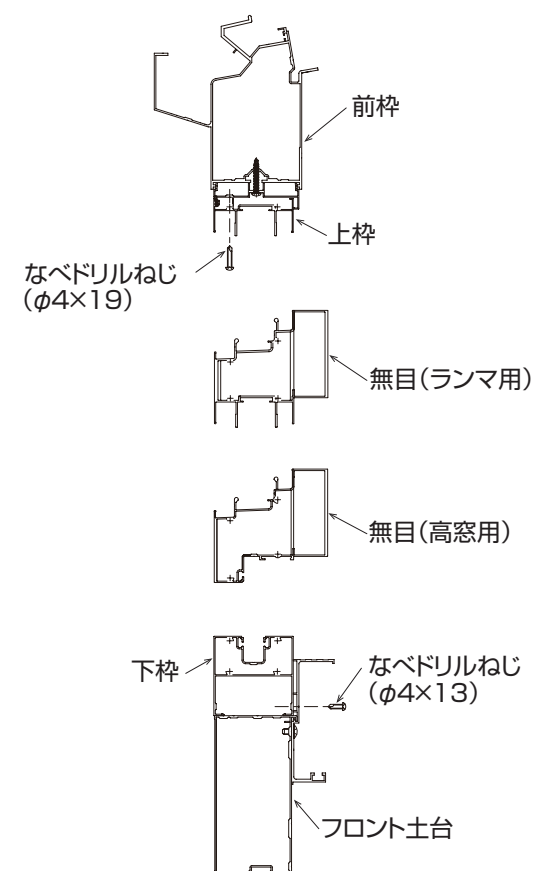
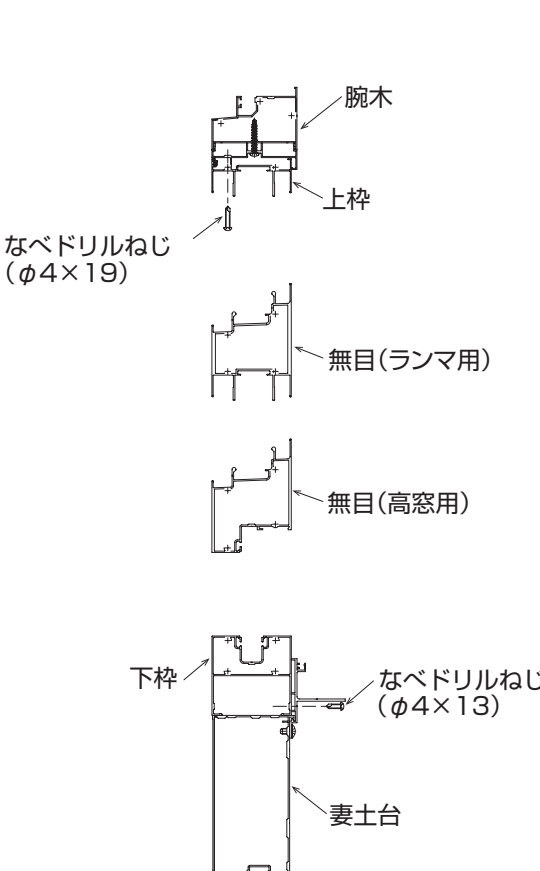
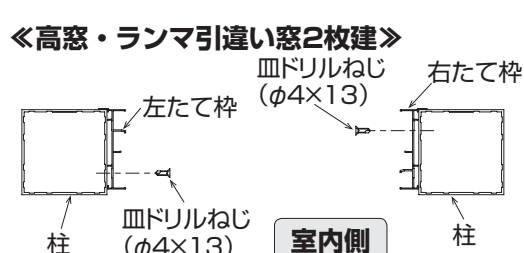
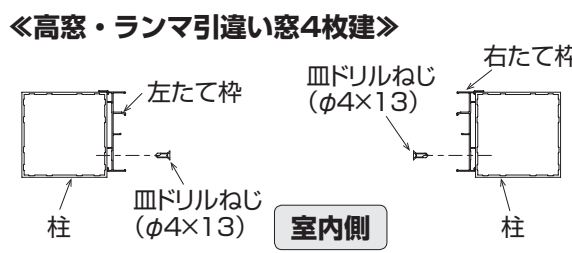
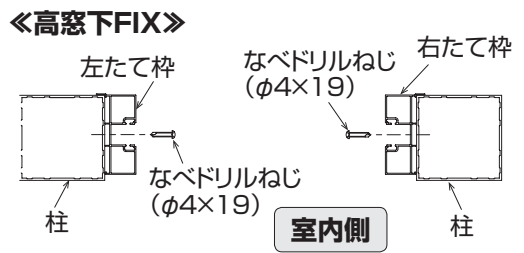
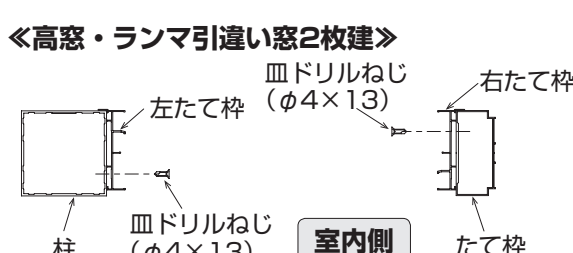
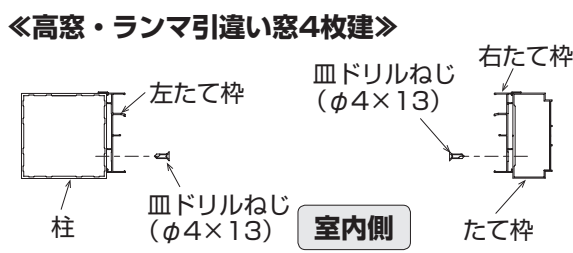
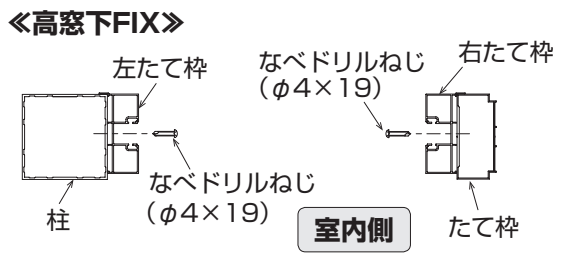
横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位：mm)

	正面	側面
た て 断 面	<p>《掃出しサッシ(床)+ランマFIX》</p>	<p>《掃出しサッシ(床)+ランマFIX》</p>
	<p>《ランマFIX》</p> <p>《掃出しサッシ(床)2枚建》</p> <p>《掃出しサッシ(床)4枚建》</p>	<p>《ランマFIX》</p> <p>《掃出しサッシ(床)2枚建》</p> <p>《掃出しサッシ(床)4枚建》</p>
横 断 面		

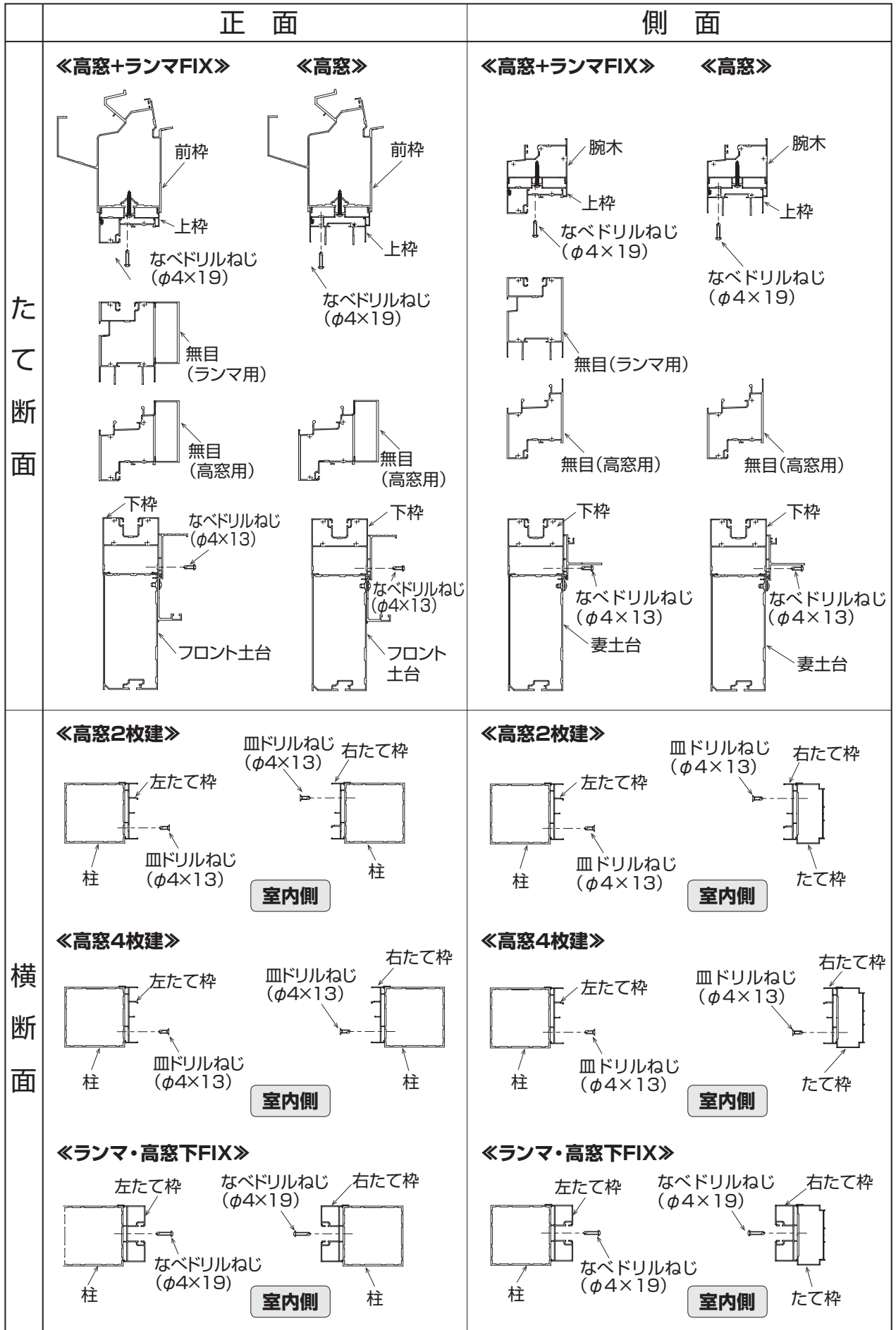
横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位：mm)

	正面	側面
たて断面	<p>《高窓+ランマ引違い窓》</p> 	<p>《高窓+ランマ引違い窓》</p> 
	<p>《高窓・ランマ引違い窓2枚建》</p>  <p>《高窓・ランマ引違い窓4枚建》</p>  <p>《高窓下FIX》</p> 	<p>《高窓・ランマ引違い窓2枚建》</p>  <p>《高窓・ランマ引違い窓4枚建》</p>  <p>《高窓下FIX》</p> 

横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位：mm)



横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位: mm)

ガラスの組込み

お願い

- 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

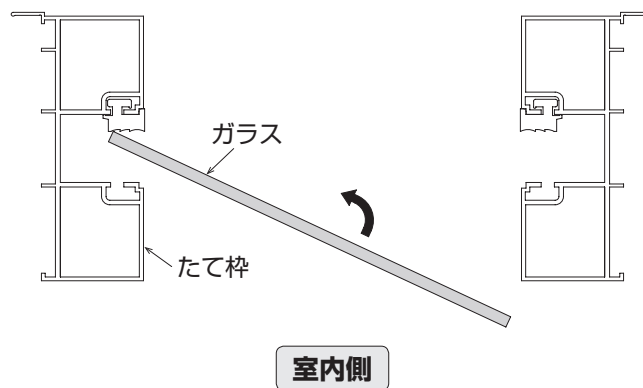
掃出しサッシ (床) + ランマ FIX の場合

高窓の場合

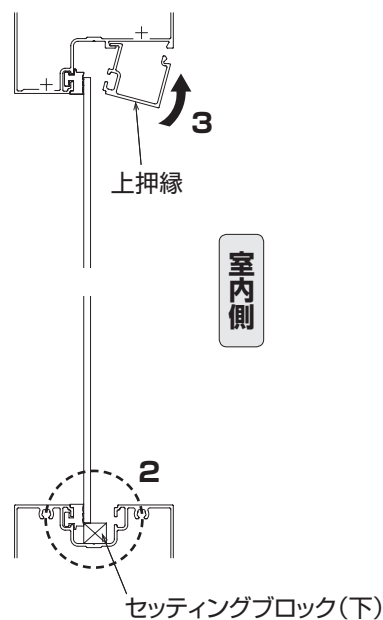
高窓 + ランマ FIX の場合

高窓 + ランマ引違い窓の場合

1. ガラスを左右ケンドン式でたて枠にのみ込ませてください。



2. ガラスをセッティングブロック(下)の上のせてください。
3. 上押縁を取付けてください。



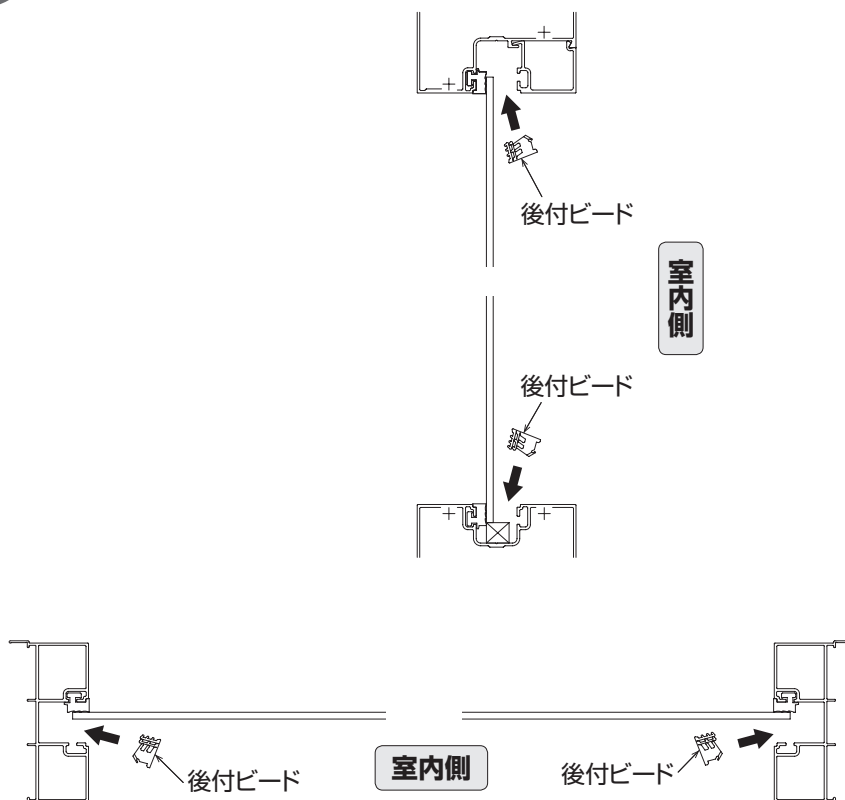
4. ガラス厚に応じて、室内側より後付ビードを押し込んでください。



- 型板ガラス使用の場合は、後付ビード取付け側（室内側）に型板ガラス特有の表面凹凸があるため、通常の板ガラスとは後付ビードの接地条件が異なり、外れやすくなる可能性があります。後付ビードの外れ防止として、数ピッチごとに先打シールを施す方法をお勧めします。



- 後付ビードのコーナー部は切れ目を入れて取付けてください。



開口部の施工

■後付ビード一覧

ガラス厚	3mm用	4mm用（型板ガラス）	5mm用	6.8mm用
姿 図		 ※3mm用と同じ状態	 切取り ハクリ線	 切取り ハクリ線
品 番	2K-22467			

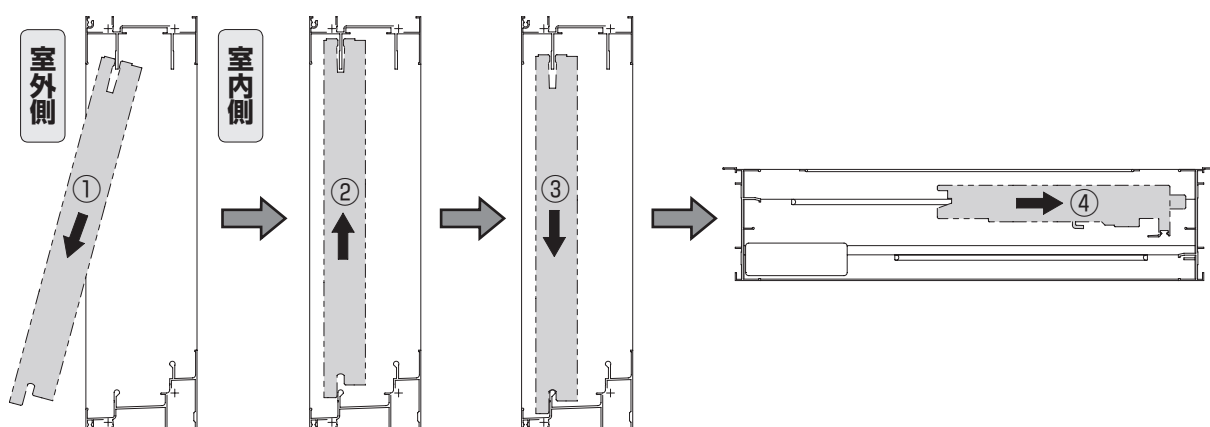
障子の吊込み

1. 障子を吊込んでください。

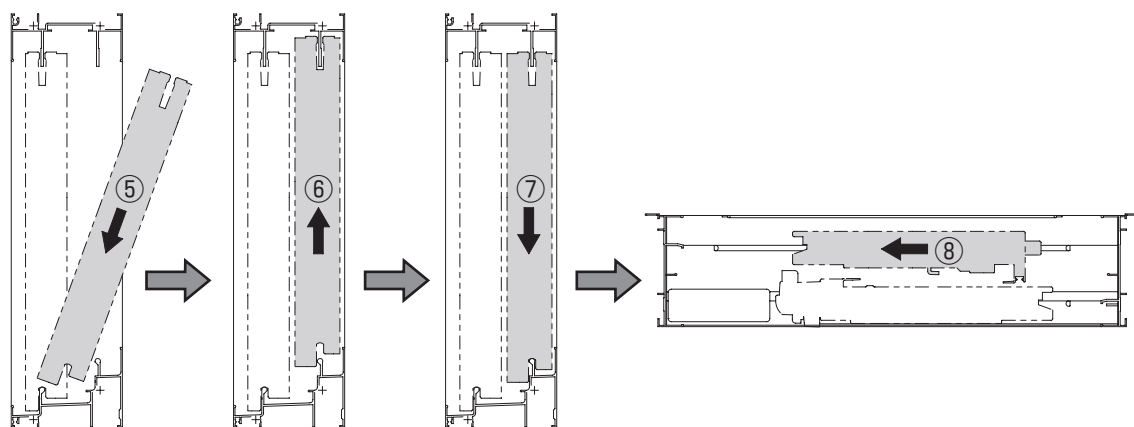
お願い

- レールにゴミが付着していないことを確認してください。
開閉の際、戸車にゴミがかみこんだりするおそれがあります。

《外障子》



《内障子》



障子吊込み後の確認

1. スムーズに開閉できることを確認してください。

障子の建付調整

戸車・下部摺動片の調整



• すき間風や雨水が入ってくるおそれがあるため、戸車の調整を行い、障子の傾きを修正してください。

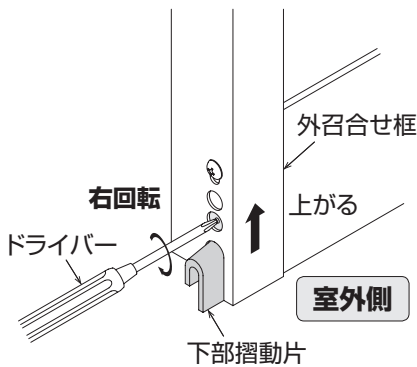
障子を閉じた状態で、障子がガタつく場合 (たて枠と障子にすき間がある場合)

1. 下側の穴塞ぎキャップを外してください。
2. ねじ穴にドライバーを差込み、調整ねじをまわして戸車を調整してください。
右回転で障子が上がります。

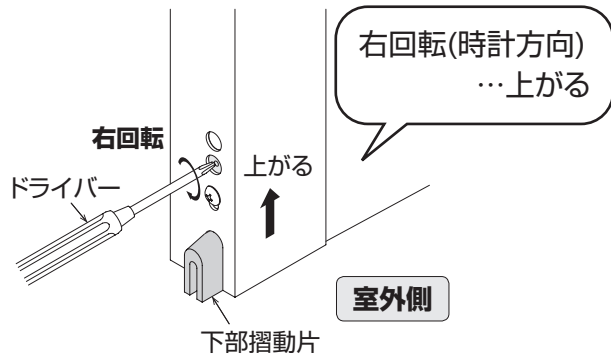


• 出荷時、障子は下がった状態にしてあります。
それ以上は下がりません。上げたい場合のみ、戸車を調整してください。

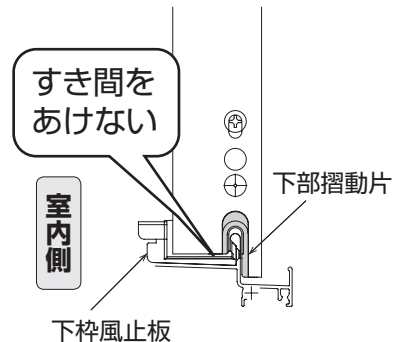
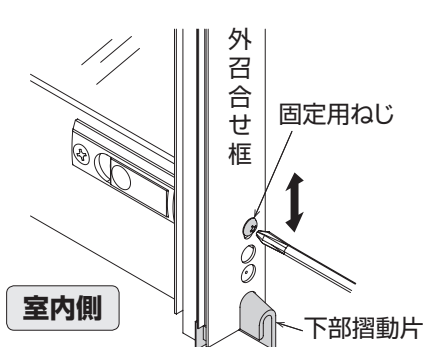
《高窓・ランマ引違い窓》



《掃出しサッシ (床)》



3. 手順1で取外した穴塞ぎキャップを取付けてください。
4. 下部摺動片のねじをゆるめて、下部摺動片と下枠風止板とのすき間がなくなるように調整してください。
5. 調整後、必ずねじを締めてください。



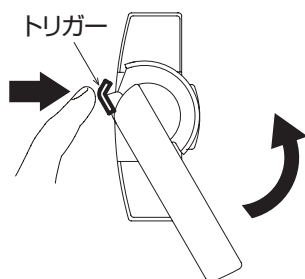
クレセント・クレセント受の調整

お願い

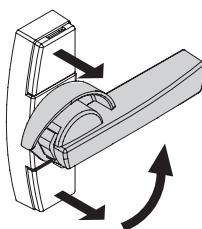
- 固定ねじは絶対に外さないでください。
ねじが紛失したり、部品が落下するおそれがあります。

クレセントを施錠した状態で障子がガタついたり、クレセントがかかりにくい場合

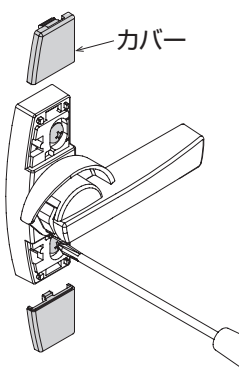
1. トリガーを指で押えながらクレセントを中間位置まで回してください。



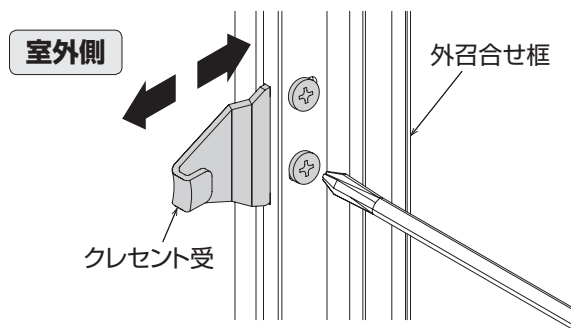
2. クレセントの上下カバーを外してください。
3. クレセントのねじをゆるめ、上下に動かして位置を調整してください。



4. 調整後、必ずねじを締めてカバーを元に戻してください。



5. クレセント受のねじを緩め、左右に動かしてください。
6. 調整後、必ずねじを締めてください。



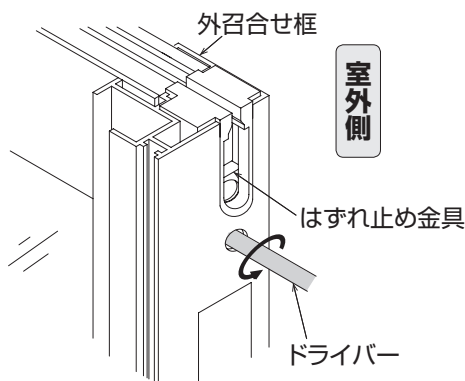
障子ははずれ止めのセット

障子ははずれ止めのセット

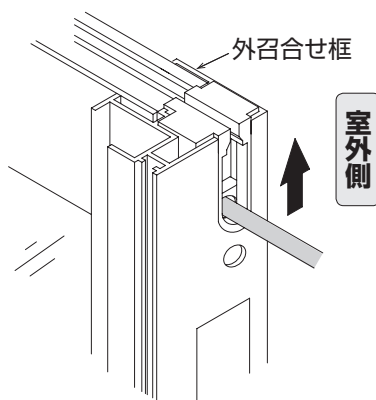
お願い

- はずれ止めをセットしないと障子が外れて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

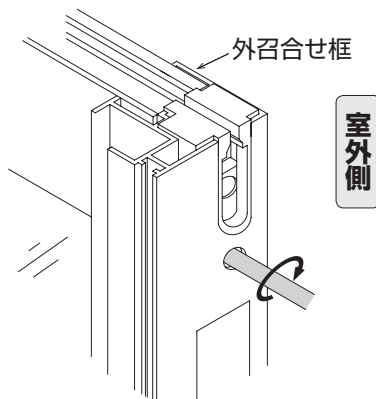
1.調整ねじをゆるめてください。



2.はずれ止めを障子の開閉に支障のない範囲でいっぱい上げてください。
調整ねじの動きに連動して、はずれ止めが上下に動きます。



3.調整後、ねじを締めてください。

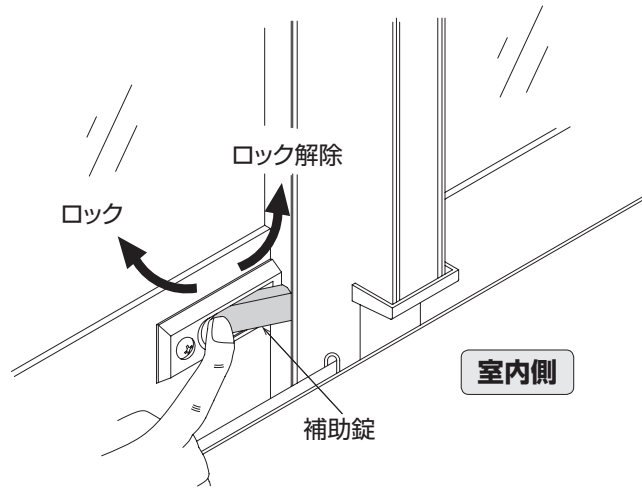


障子ははずれ止めセット後の確認

- 1.スムーズに開閉できることを確認してください。
開閉しにくい場合は、はずれ止めを少しずつ下げて調整してください。
窓を上げるようにして、窓がレールから外れないことを確認してください。

補助錠の作動確認

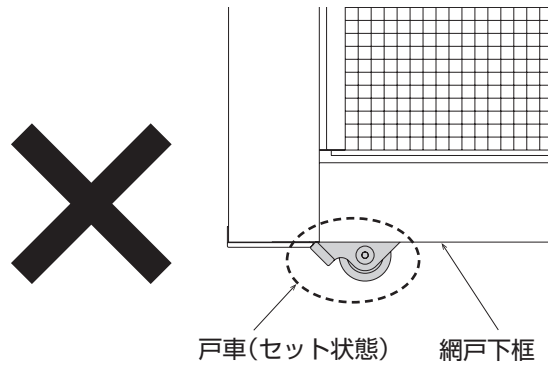
1. クレセントのほかに補助錠が装備されています。正常に作動することを確認してください。



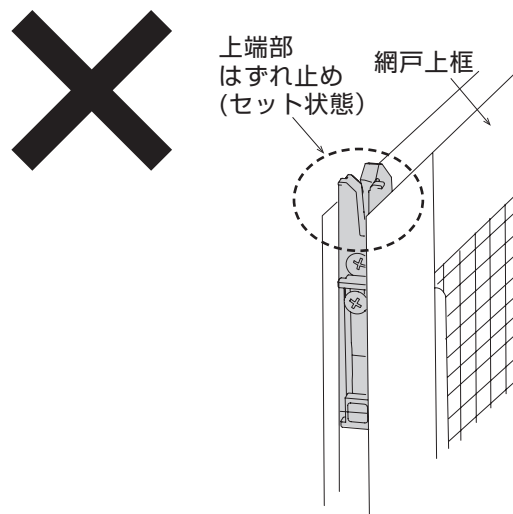
網戸の吊込み

網戸吊込み前の確認

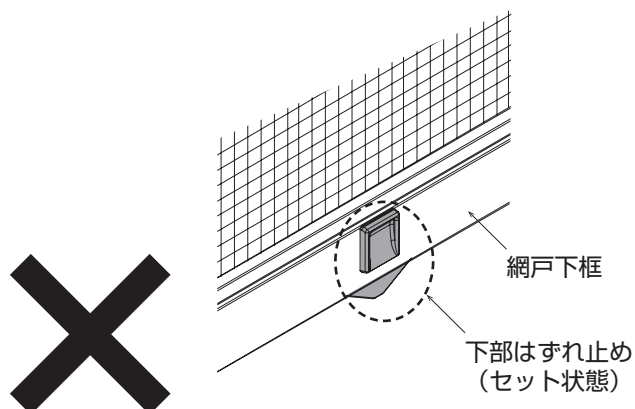
1. 網戸下框から戸車が飛出していないこと（解除状態）を確認してください。



2. 上端部はずれ止めが網戸上框から飛出していないこと（解除状態）を確認してください。

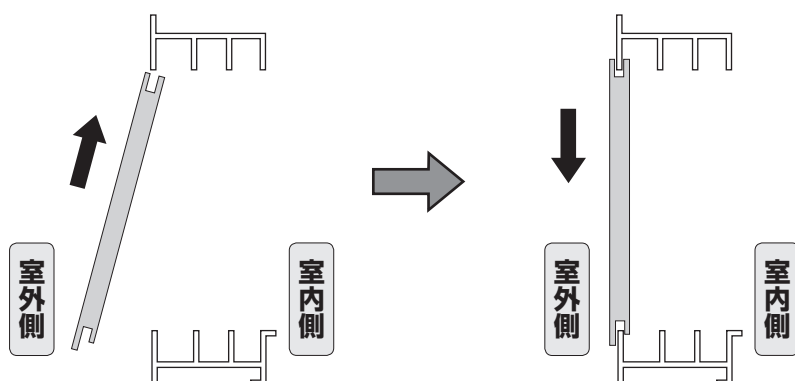


3. 下部はずれ止めが網戸下框から飛出していないこと（解除状態）を確認してください。



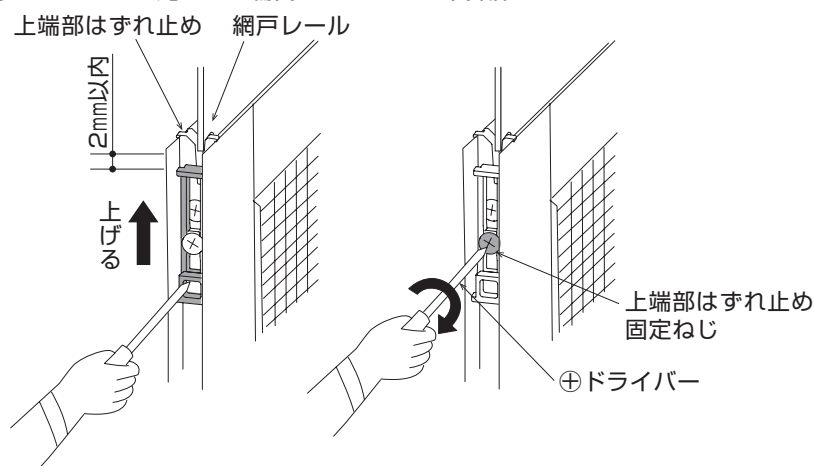
網戸の吊込み

1. 網戸を上ケンドン式に吊込んでください。

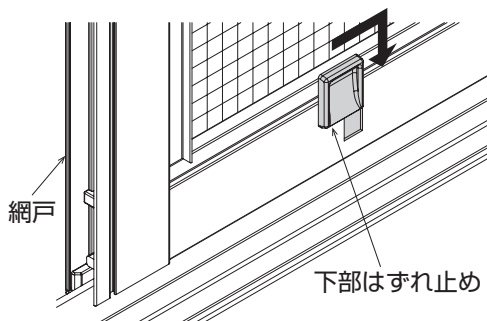


はずれ止めのセット

1. 上端部はずれ止め部品の固定ねじをゆるめてください。
2. 上端部はずれ止め部品を網戸レールとのすき間が2mm以内になるまで上げてください。
3. 上端部はずれ止め固定ねじをゆるまないよう、しっかり締めてください。
4. 手順1～3を行い、もう一方の上端部はずれ止め部品をセットしてください。



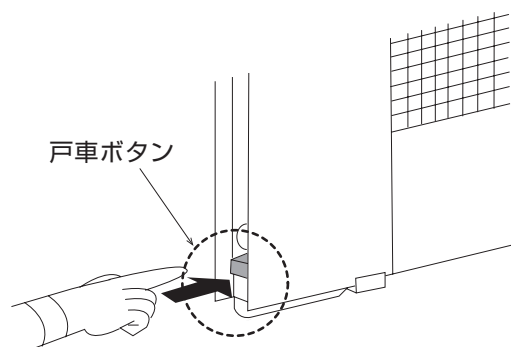
5. 高窓・ランマ引違い窓の場合、網戸が動かないよう支えながら下部はずれ止めを矢印方向に動かし、セットしてください。
掃出しサッシ (床) の場合は、手順6に進んでください。



6. 網戸を持上げながら内外にゆすり、枠から網戸が外れないことを必ず確認してください。

戸車の脱輪防止機構のセット

1. 左右2つの戸車ボタンを押し、脱輪防止機構をセットしてください。



網戸の建付調整

建付状態の確認

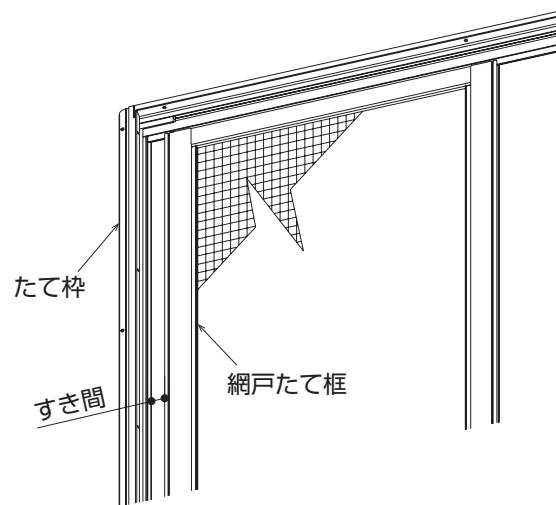
1. 網戸をたて枠にあたる位置まで動かしてください。
2. 網戸たて枠とたて枠のすき間が均一になっているか確認してください。

お願い

- 戸当たり部でガタつきやすき間が生じる原因となりますので、必ず建付調整を行ってください。



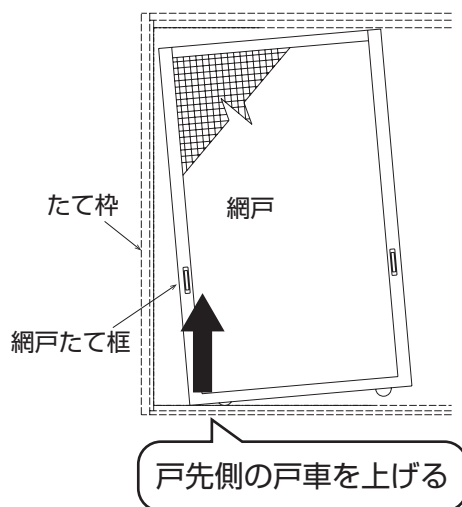
- すき間が均一ではない場合、建付調整が必要です。
戸車の調整ねじを回すことにより建付調整することができます。



戸車の調整

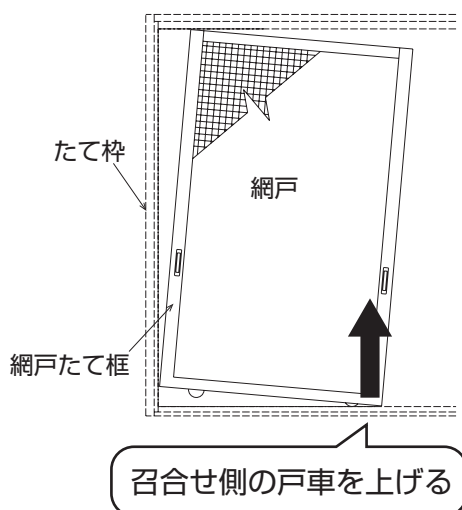
網戸たて枠とたて枠下部のすき間が大きい場合

1. 戸先側の上端部はずれ止め部品を解除してください。
(P.149「はずれ止めの解除」参照)
2. 戸先側の戸車を調整し、網戸たて枠とたて枠のすき間が均一となるよう調整してください。
3. 再度上端部はずれ止め部品をセットしてください。(P.145「はずれ止めのセット」参照)



網戸たて枠とたて枠上部のすき間が大きい場合

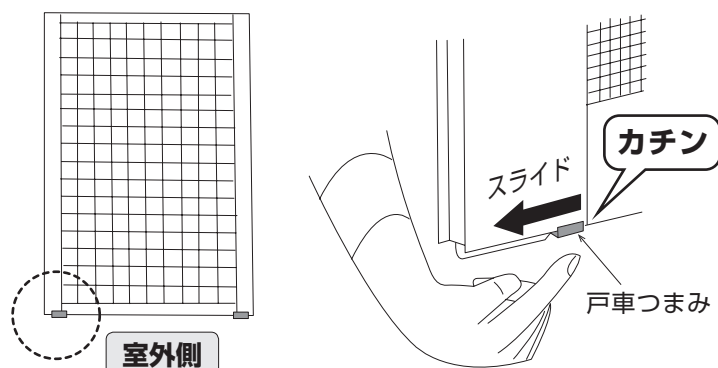
1. 召合せ側の上端部はずれ止め部品を解除してください。
(P.149「はずれ止めの解除」参照)
2. 召合せ側の戸車を調整し、網戸たて枠とたて枠のすき間が均一となるよう調整してください。
3. 再度上端部はずれ止め部品をセットしてください。(P.145「はずれ止めのセット」参照)



網戸の取外し方法

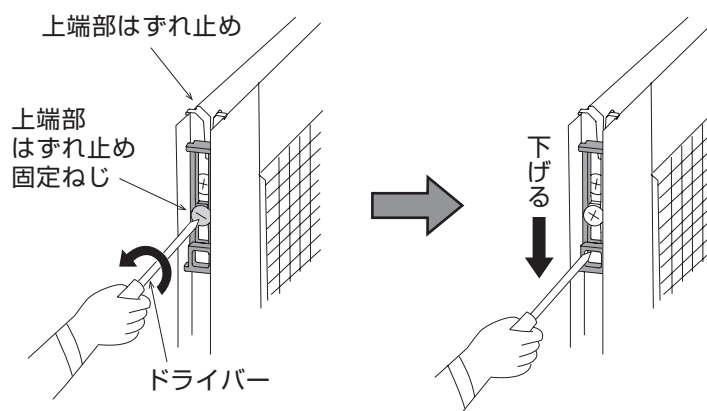
戸車の脱輪防止機構の解除

1. 室外側に戸車のつまみがあります。つまみを矢印の方向にカチンと音がするまで横にスライドして、脱輪防止機構を解除してください。

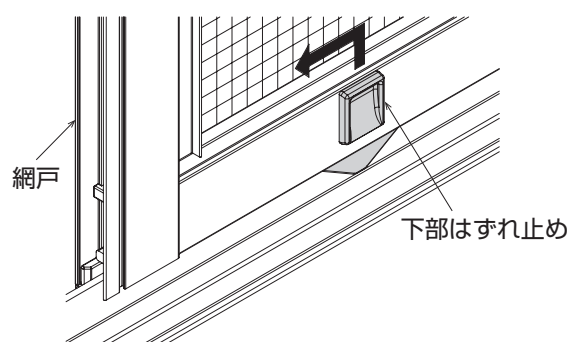


はずれ止めの解除

1. 上端部はずれ止め部品の固定ねじをゆるめてください。
2. 上端部はずれ止め部品を下げてください。

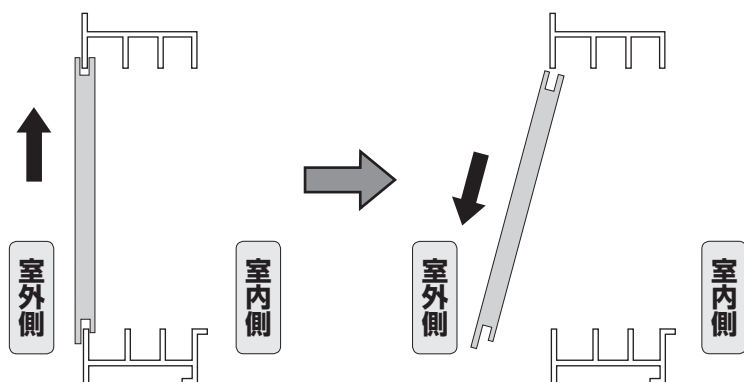


3. 高窓・ランマ引違い窓タイプの場合、網戸が動かないように支えながら下部はずれ止めを矢印方向に動かし、解除してください。



網戸の取外し

1. 網戸を上下ケンドン式で外してください。

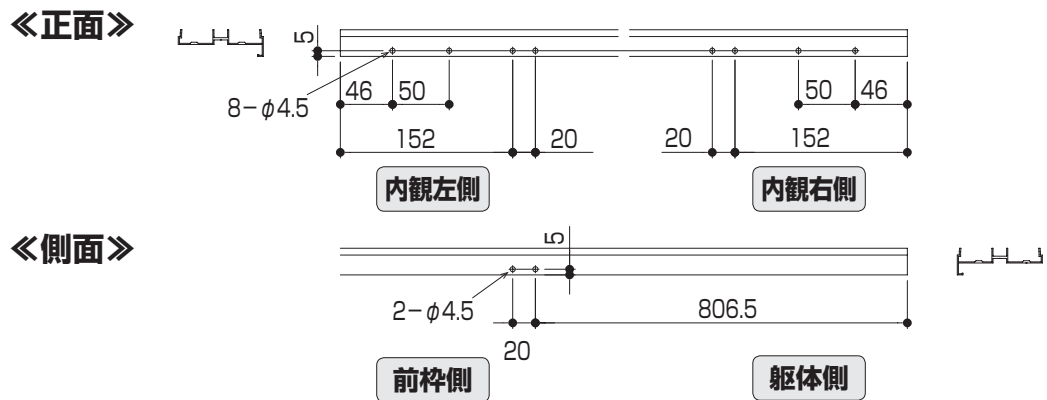


連窓の施工

アタッチメントの加工

上枠アタッチメントの加工

1. 上枠アタッチメントに穴をあけてください。

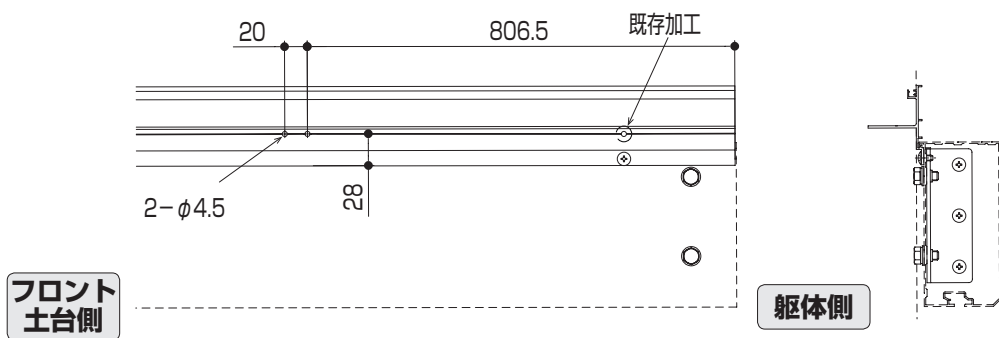


妻土台アタッチメントの加工

壁FIXの場合

ドアの場合

1. 妻土台アタッチメントに穴をあけてください。

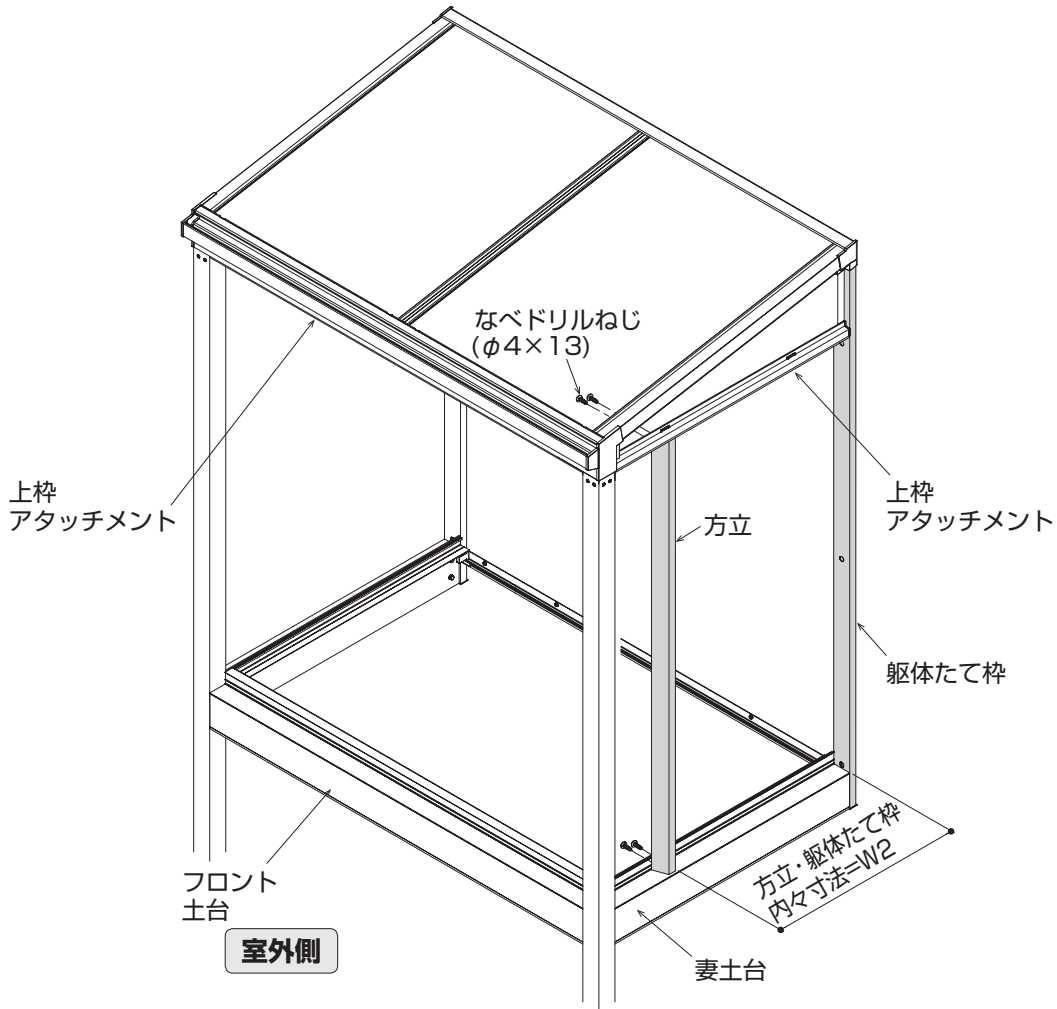


開口部の施工

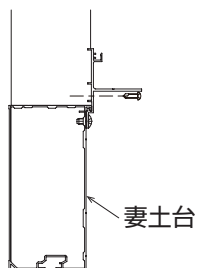
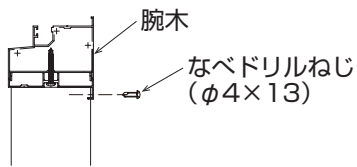
(単位：mm)

方立の取付

- 1.方立を取付けてください。
- 2.方立・躯体たて枠の内々寸法を測定し、開口部のW2寸法が確保されていることを確認してください。(W2寸法はP.214「姿図」参照)



《側面》



開口部の施工

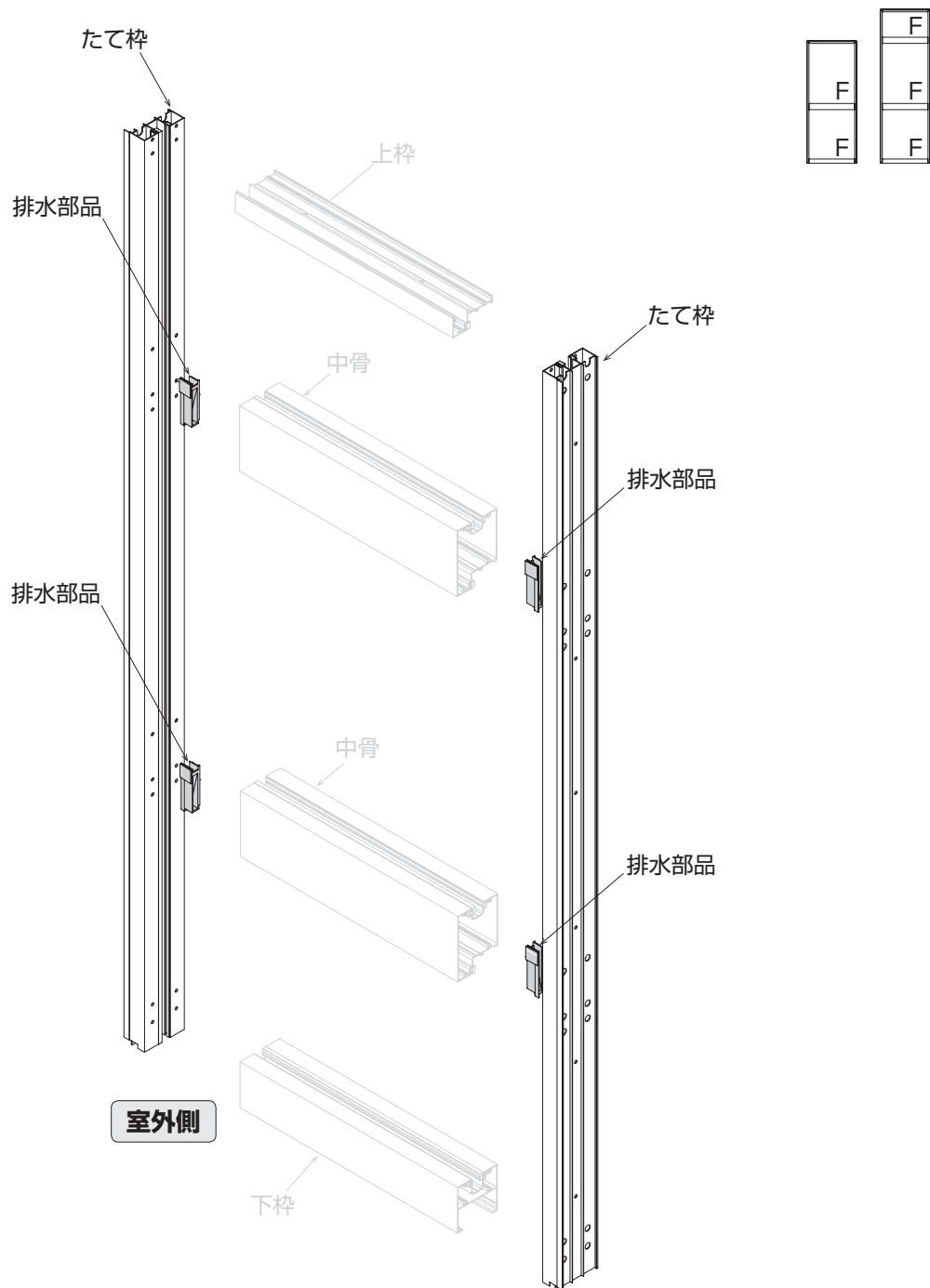
(単位：mm)

壁 FIX の施工

枠の組立

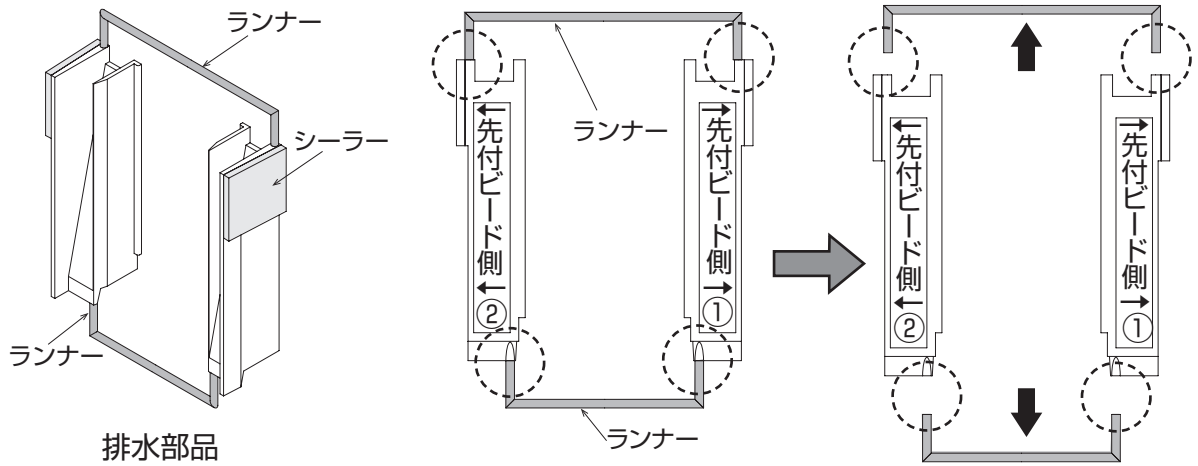
枠の組立

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。
切欠きがないと室内側に漏水します。P.195「高さ方向の切詰め」を参照してください。
2. 排水部品を取付けてください。
排水部品の取付け方は、P.154「【排水部品の取付】」を参照してください。

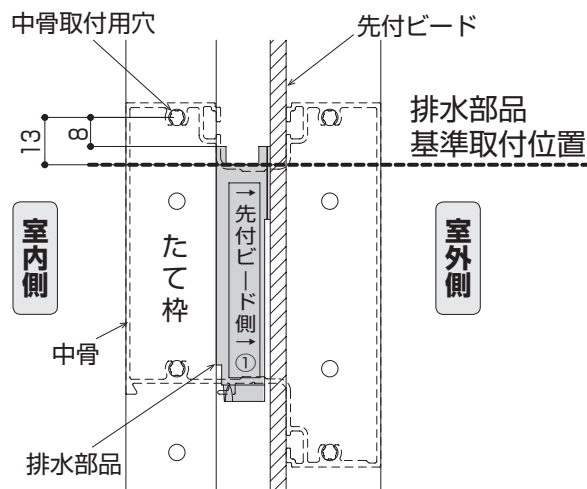


【排水部品の取付】

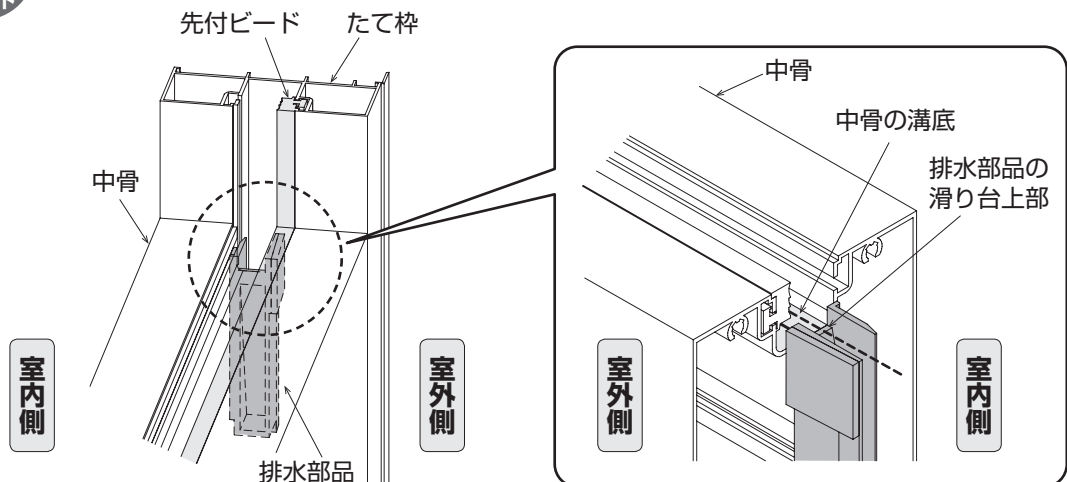
① 印部でランナーを切離してください。



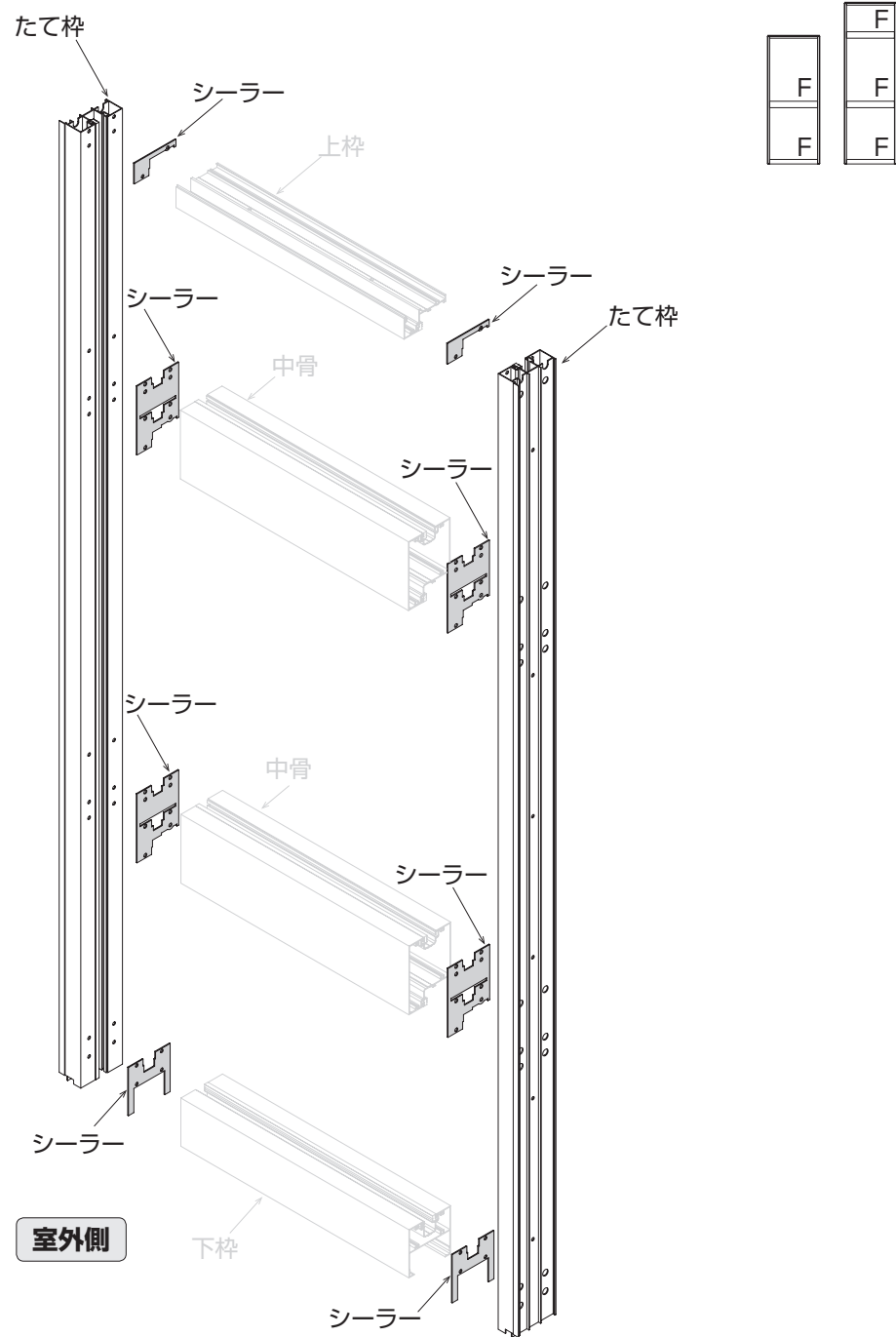
② たて枠の中骨取付用穴の中心から13mm下がった位置に部品の滑り台上部を配置して取付けてください。
部品裏面の刻印「先付ビード側」の→方向に先付ビードがあるように取付けてください。



・「中骨の溝底」と「排水部品の滑り台上部」の面が同じ位置になるように取付けてください。

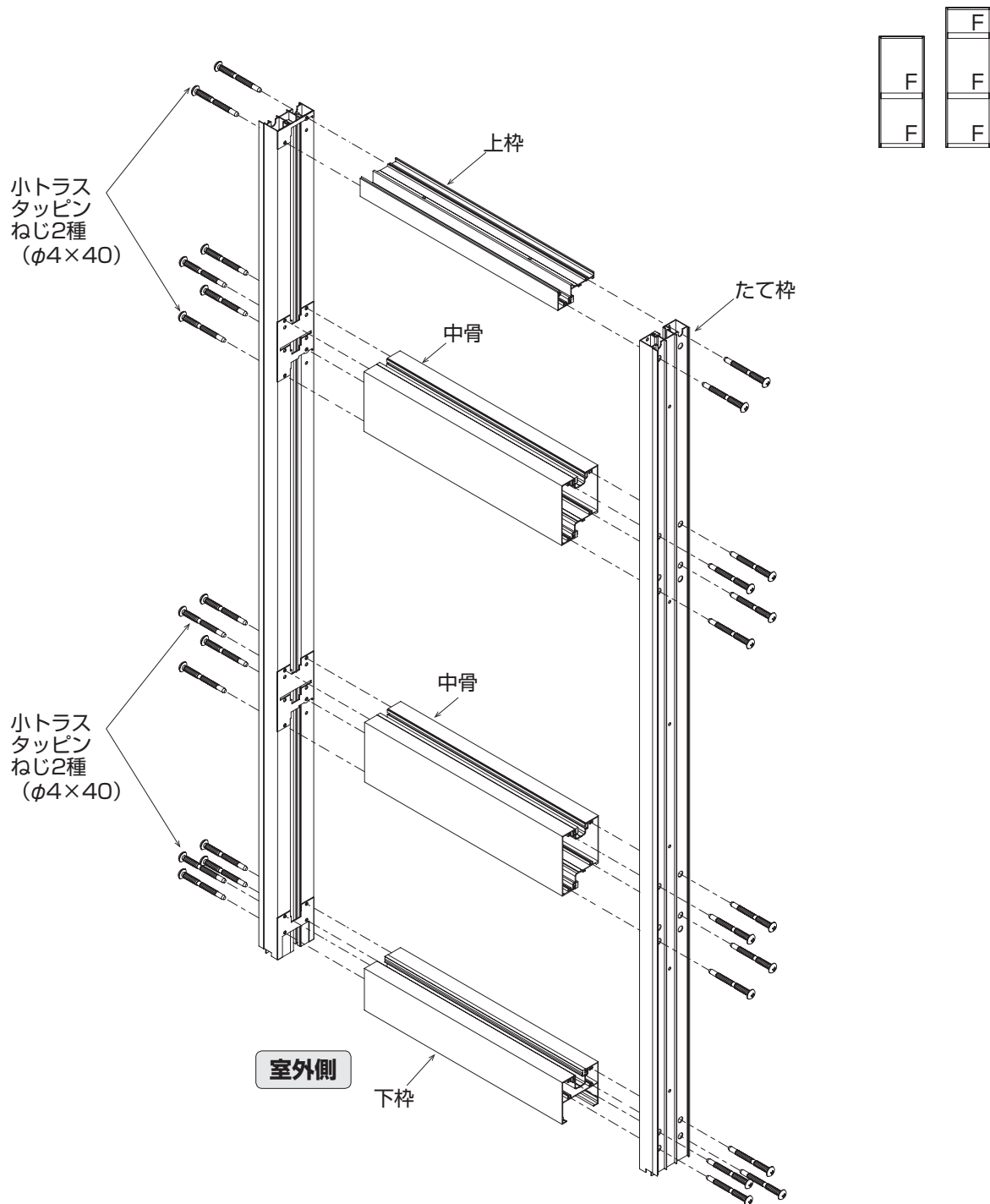


3.シーラーを取付けてください。



開口部の施工

4. 枠を組立ててください。



開口部の施工

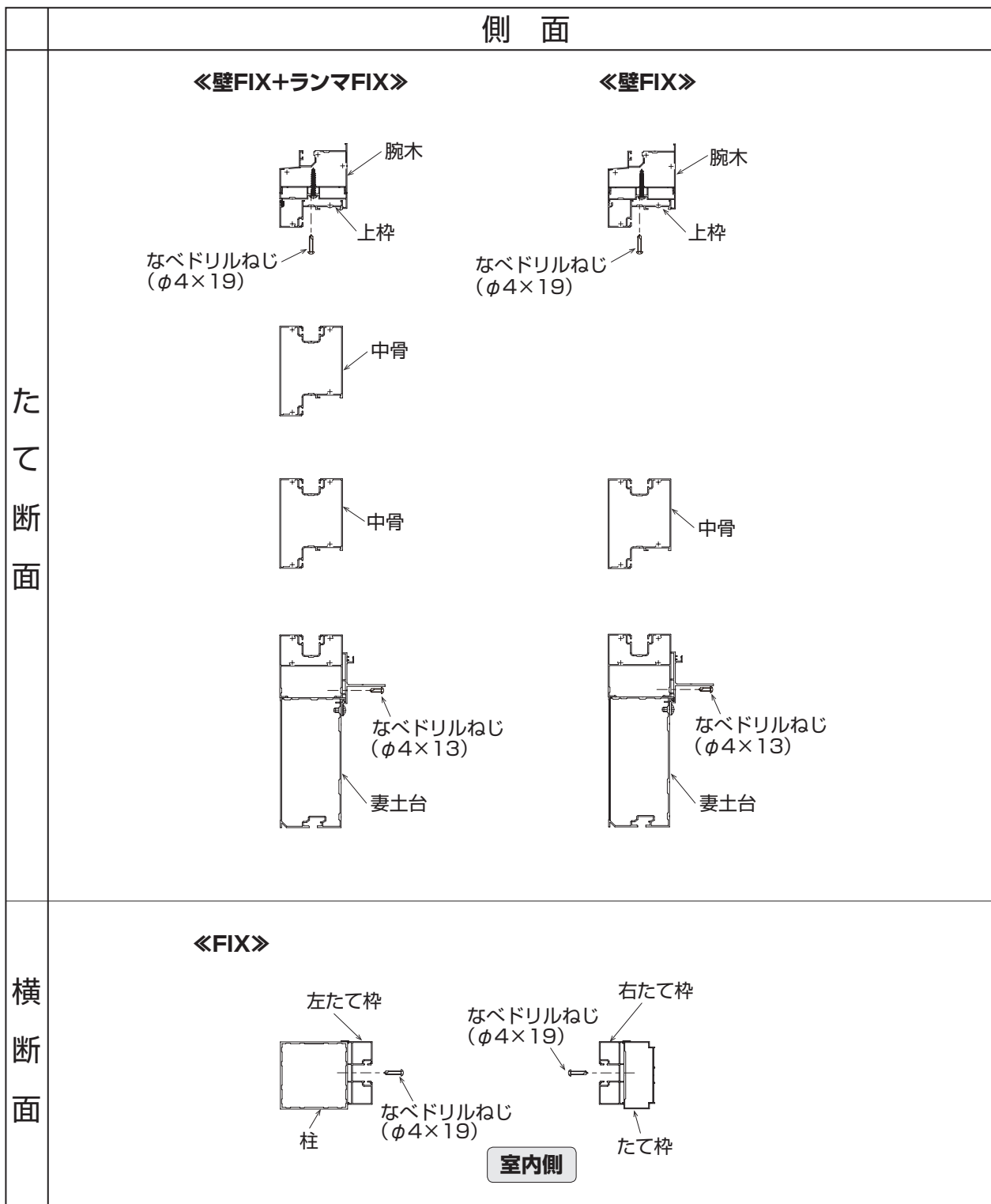
枠組立後の確認

1. 上下枠・中骨まわりからシーラーがはみ出していることを確認してください。

(単位：mm)

枠の取付

1. 枠を取付けてください。



横断面は室内側から見て左右を示します。

開口部の施工

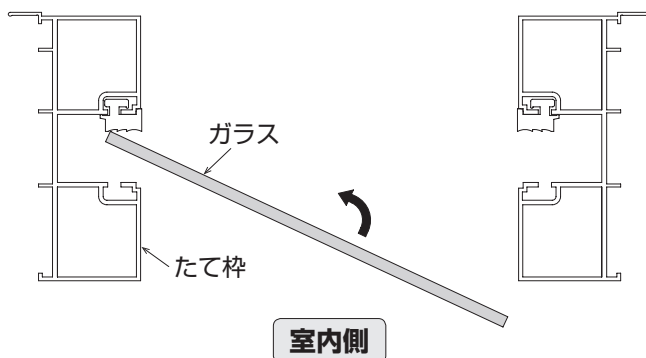
(単位 : mm)

ガラスの組み込み

お願い

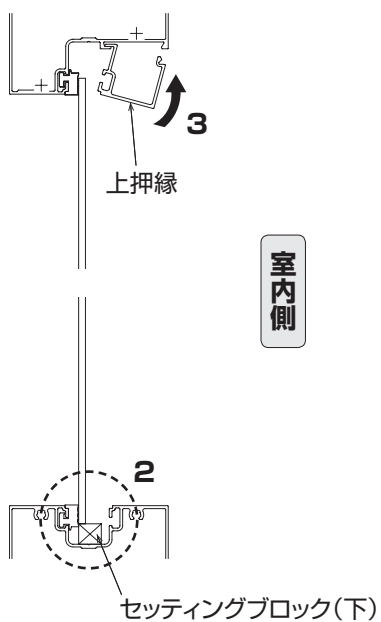
- 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

1. ガラスを左右ケンドン式でたて枠にのみ込ませてください。



2. ガラスをセッティングブロック(下)の上ののせてください。

3. 上押縁を取付けてください。



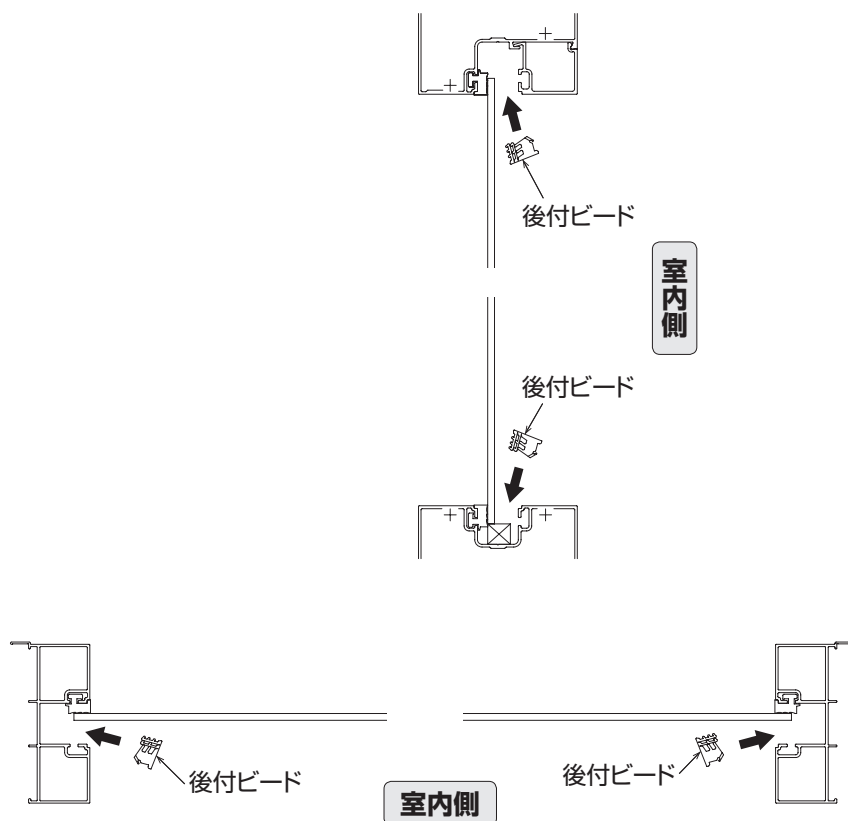
4. ガラス厚に応じて、室内側より後付ビードを押し込んでください。



- 型板ガラス使用の場合は、後付ビード取付け側（室内側）に型板ガラス特有の表面凹凸があるため、通常の板ガラスとは後付ビードの接地条件が異なり、外れやすくなる可能性があります。後付ビードの外れ防止として、数ピッチごとに先打シールを施す方法をお勧めします。



- 後付ビードのコーナー部は切れ目を入れて取付けてください。



開口部の施工

■後付ビード一覧

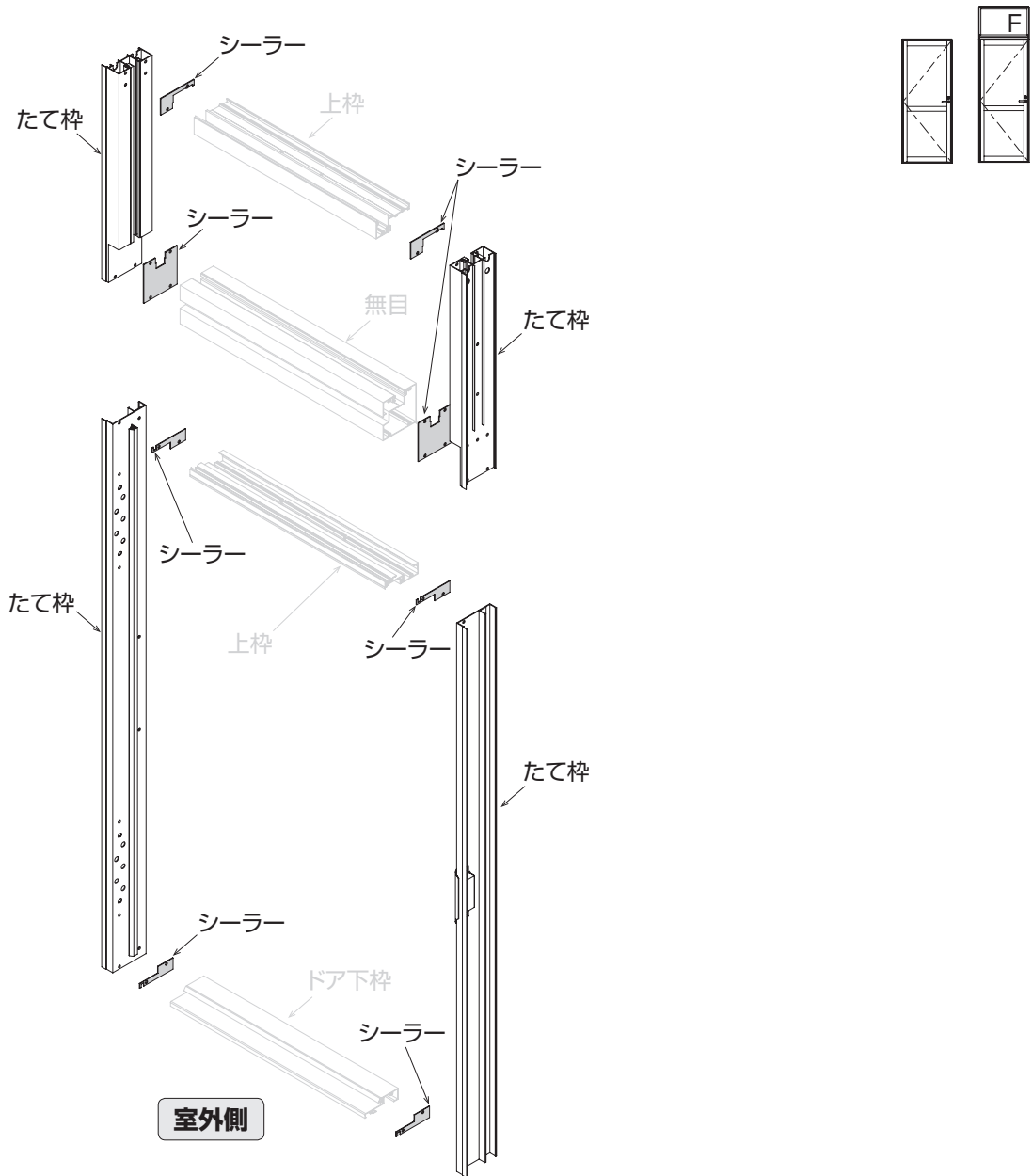
ガラス厚	3mm用	4mm用 (型板ガラス)	5mm用	6.8mm用
姿 図		 ※3mm用と同じ状態	 切取り ハクリ線	 切取り ハクリ線
品 番	2K-22467			

ドアの施工

枠の組立

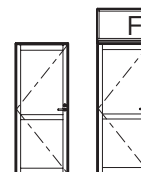
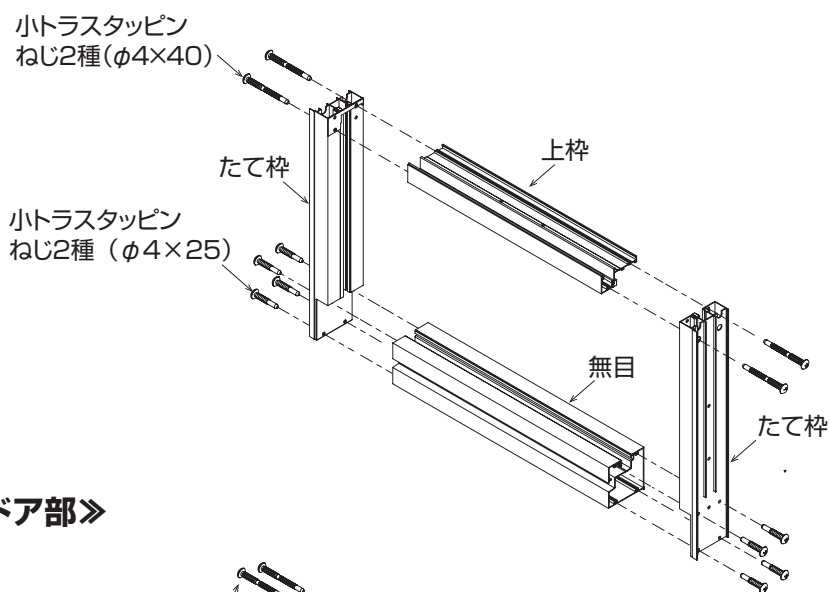
枠の組立

1.シーラーを取付けてください。

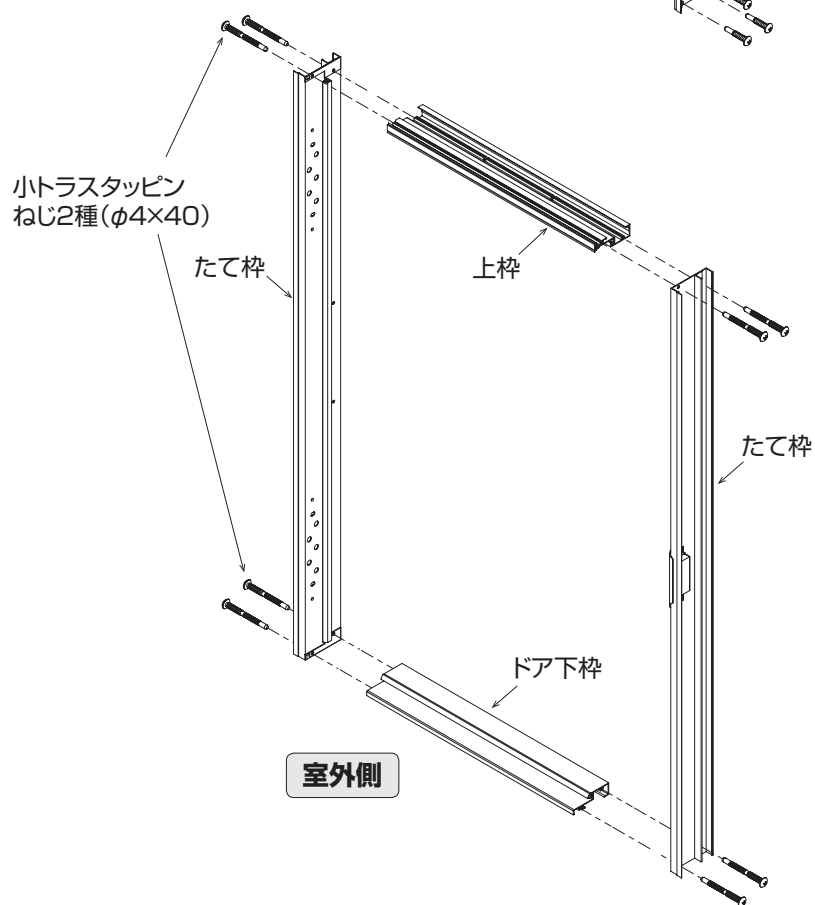


2. 枠を組立ててください。

《ランマ部》



《ドア部》



枠組立後の確認

1. 上下枠・無目まわりからシーラーがはみ出していることを確認してください。

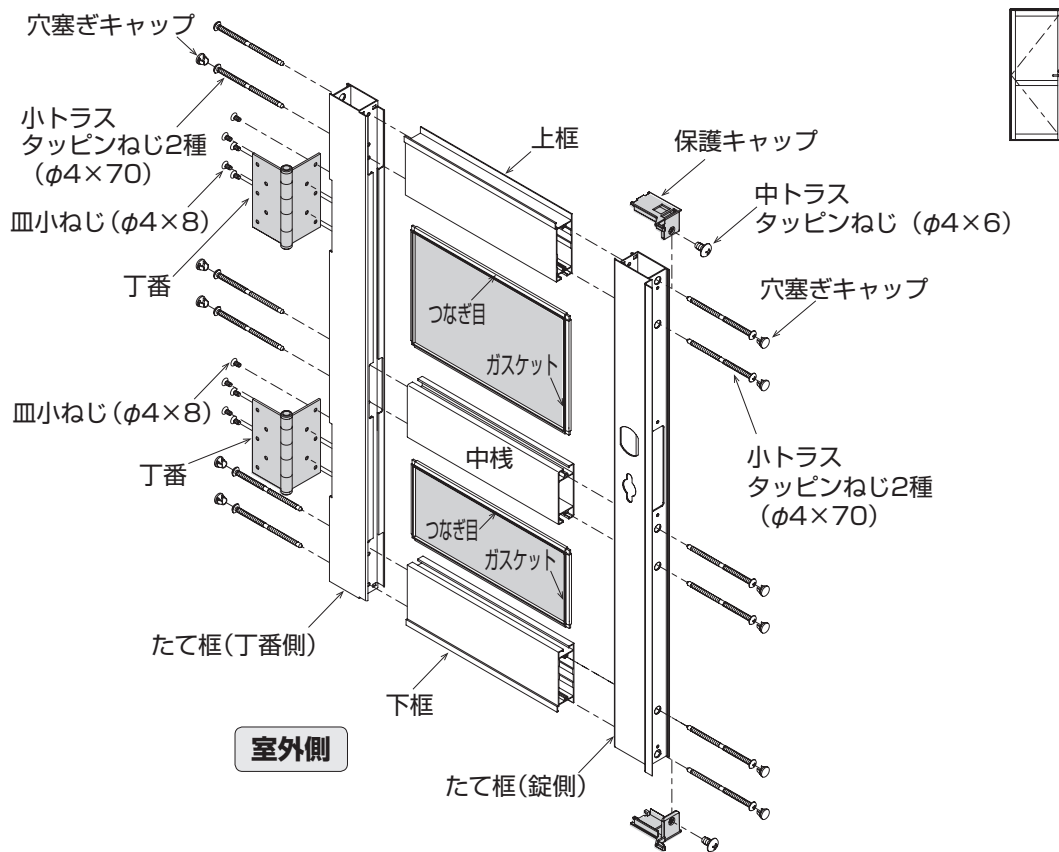
(単位 : mm)

ドアの組立

お願い

• 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

1. ドアを組立ててください。



室外側

■U字ガスケット一覧 (ドア障子)

ガラス厚	3.4mm用	5mm用	6mm用	6.8mm用
姿 図				
品 番	K-6426	K-20358	K-20866	K-6413

開口部の施工

(単位: mm)

錠の取付

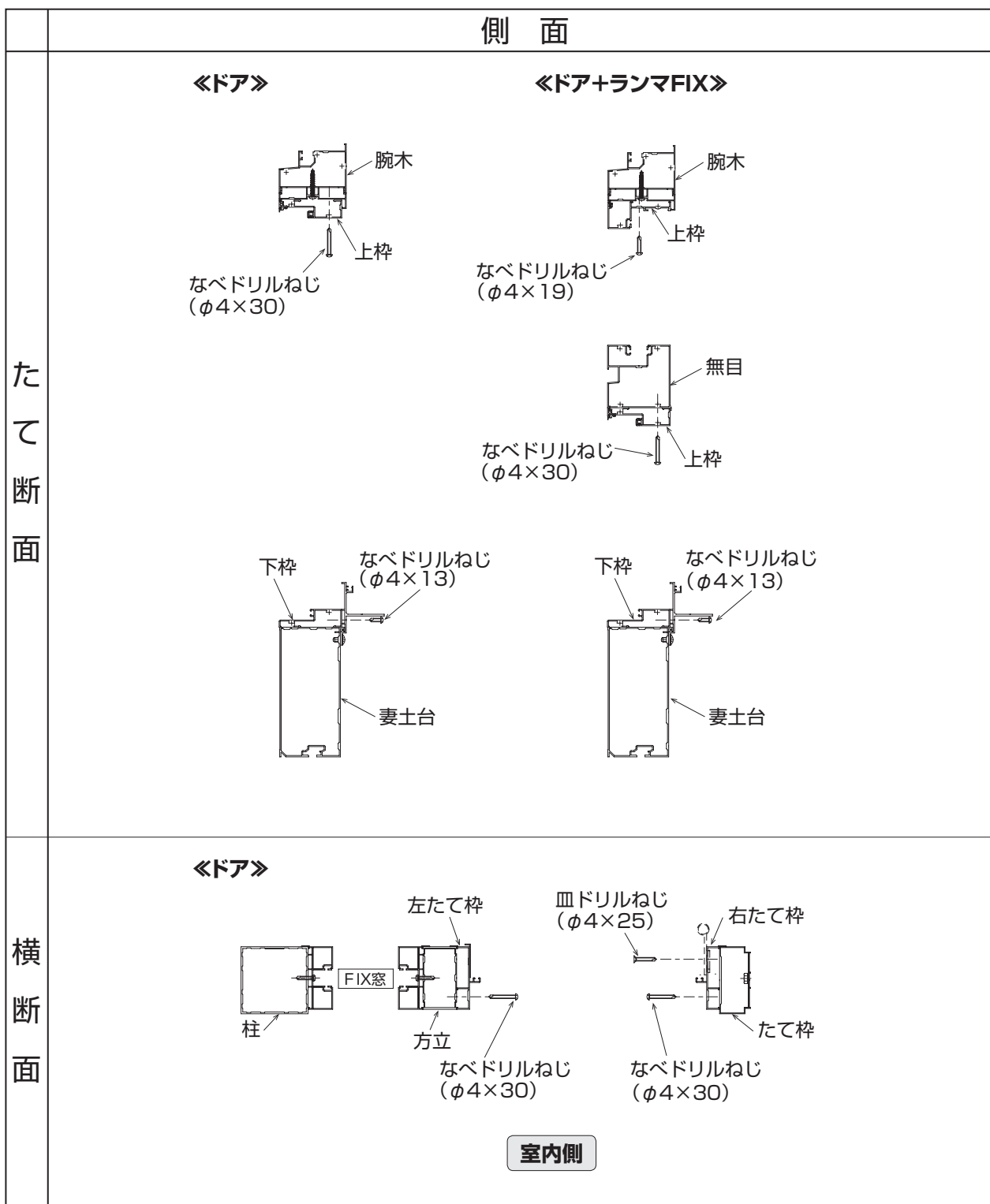
1. 錠を取付けてください。
取付方法は錠に同梱の取付説明書を参照してください。

枠の取付



・段窓の場合、ランマFIX枠取付後、なべドリルねじでドア枠を連結してください。

1. 枠を取付けてください。



横断面は室内側から見て左右を示します。

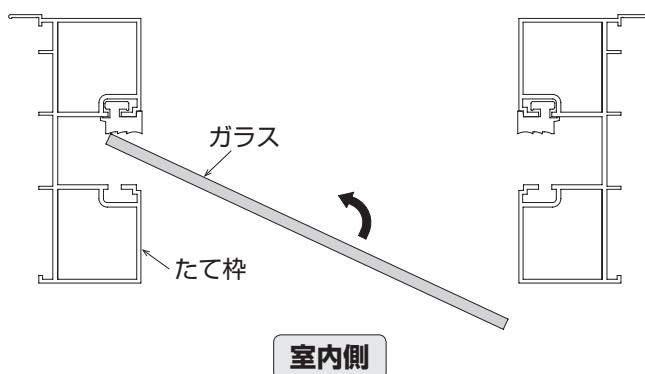
ガラスの組込み

お願い

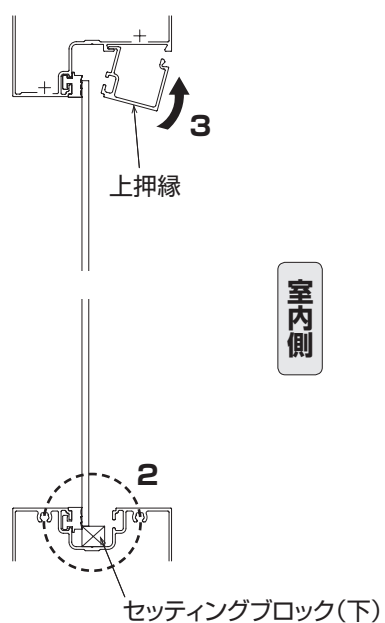
- 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

ランマ付の場合

1. ガラスを左右ケンドン式でたて枠にのみ込ませてください。



2. ガラスをセッティングブロック（下）の上におわせてください。
3. 上押縁を取付けてください。



4. ガラス厚に応じて、室内側より後付ビードを押し込んでください。



型板ガラス使用の場合は、後付ビード取付け側（室内側）に型板ガラス特有の表面凹凸があるため、通常の板ガラスとは後付ビードの接地条件が異なり、外れやすくなる可能性があります。後付ビードの外れ防止として、数ピッチごとに先打シールを施す方法をお勧めします。



後付ビードのコーナー部は切れ目を入れて取付けてください。

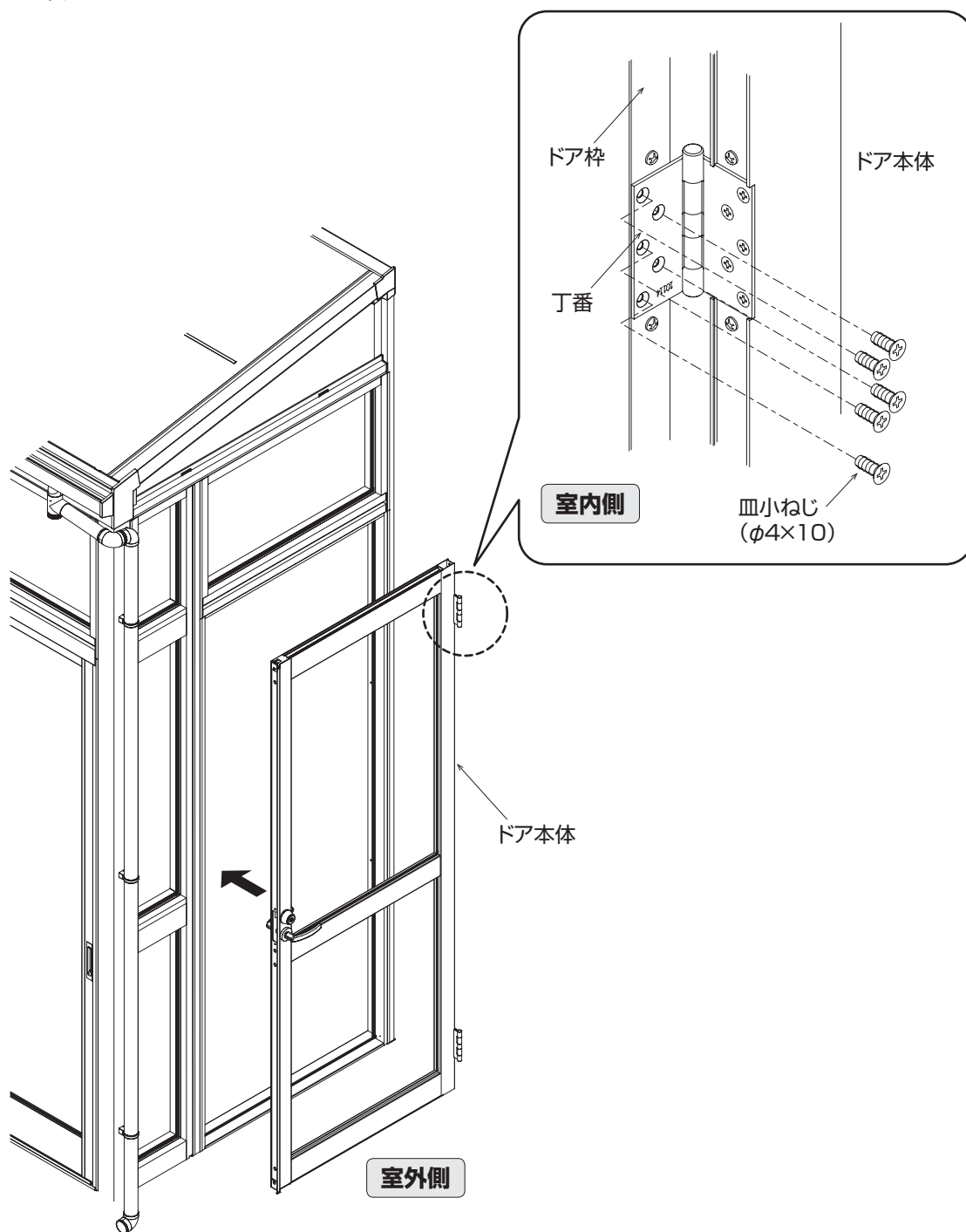


■後付ビード一覧

ガラス厚	3mm用	4mm用 (型板ガラス)	5mm用	6.8mm用
姿 図		 ※3mm用と同じ状態	 切取り ハクリ線	 切取り ハクリ線
品 番	2K-22467			

ドアの吊込み

1. ドアを吊込んでください。



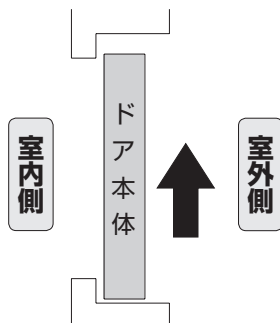
ドアの建付調整

お願い

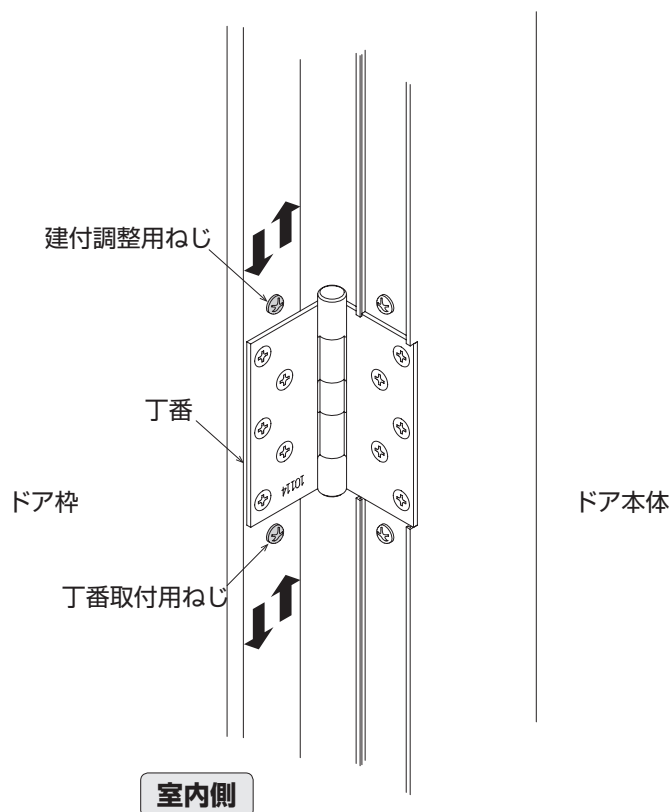
- 建付調整用ねじは外さないでください。裏板が落下するおそれがあります。

丁番の調整

ドア全体が下がった場合



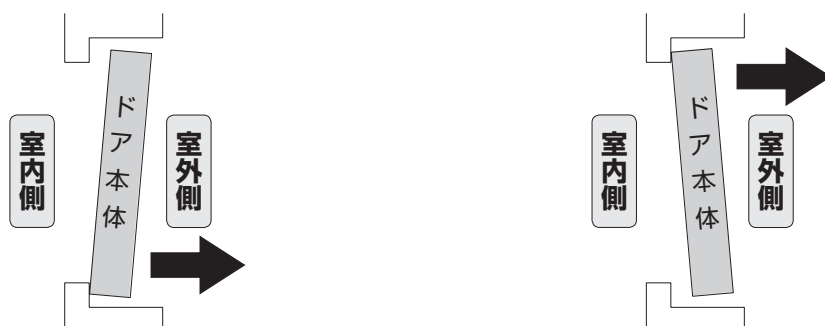
1. 丁番取付ねじをゆるめてください。
2. 建付調整用ねじをゆるめてください。
3. ドアを持上げながら、建付調整用ねじを締めてください。
4. 丁番取付ねじを締めてください。



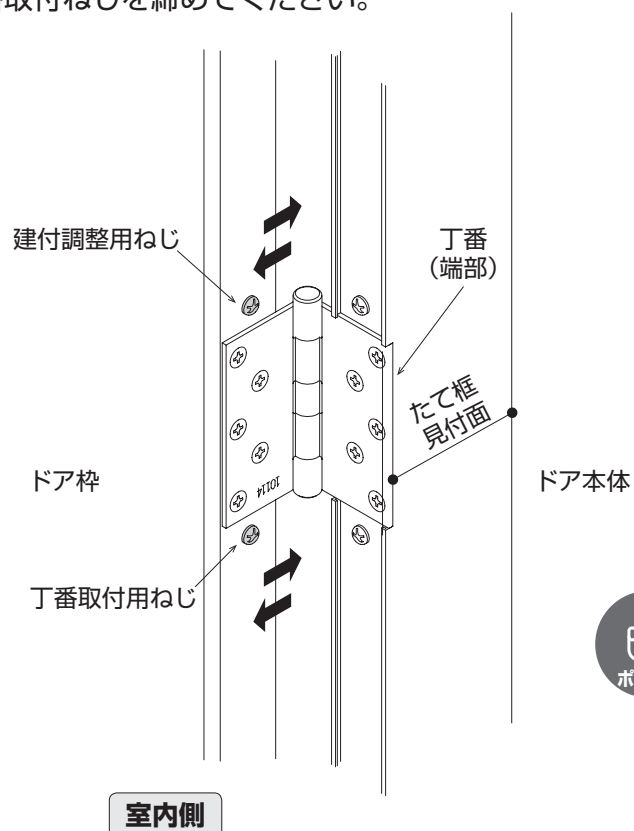
ドアと枠のすき間が上下でずれている場合

《上部にすき間が生じる場合》

《下部にすき間が生じる場合》



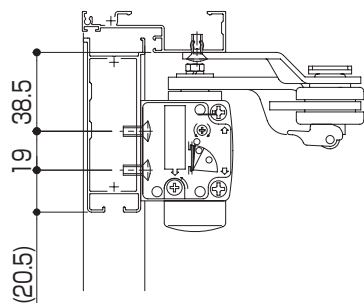
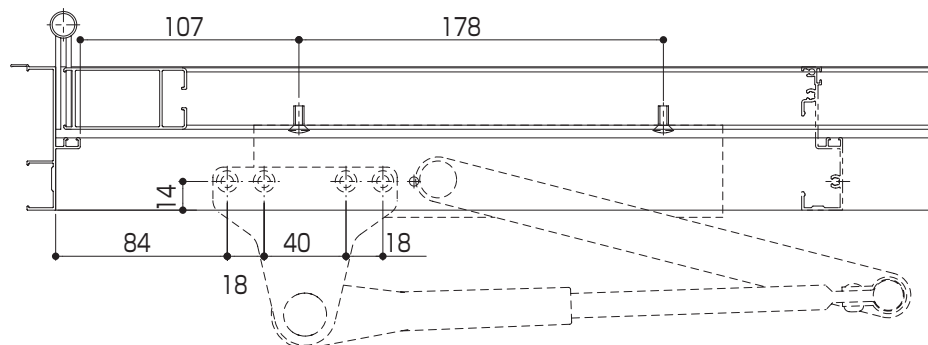
1. 当たりが強い方の丁番取付ねじをゆるめてください。
2. 建付調整用ねじをゆるめてください。
3. 室外側へ押しながら建付調整用ねじを締めてください。
4. 丁番取付ねじを締めてください。



• 丁番端部がたて枠見付面とあうように調整してください。

ドアクローザーの取付

1. ドアクローザーを取付けてください。取付・調整方法はドアクローザーに同梱の取付説明書を参照してください。



上枠・上枠： $\phi 4.2 \times 4$
(M5タップ加工)

床部の施工

床部の施工	P.172
根太の加工.....	P.172
デッキ材の部品付.....	P.173
根太の取付.....	P.174
デッキ材の取付.....	P.179
カバーの取付.....	P.182

床部の施工



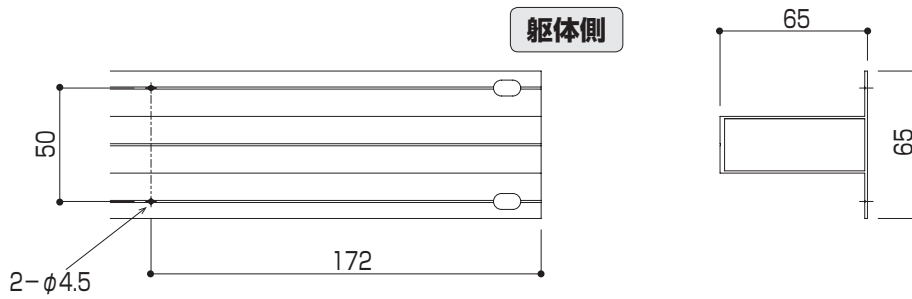
- 開口枠が取付いていることを確認し、床部の施工を行ってください。
床部の施工後に開口枠（下枠）の取付けはできません。

根太の加工

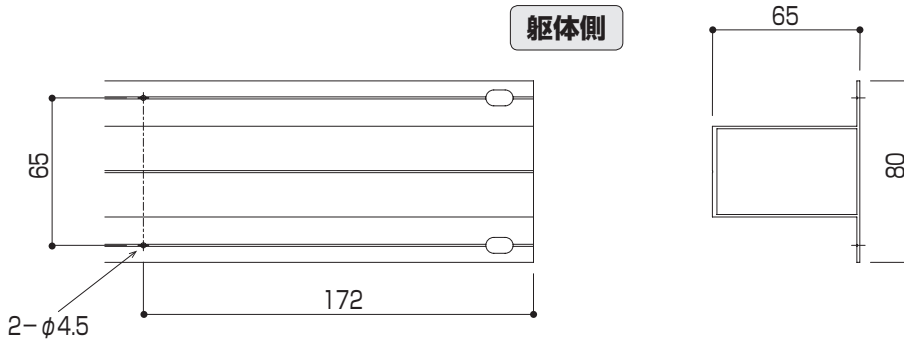
大引きセット（オプション仕様）の場合

1. 根太に穴をあけてください。

《出幅 3・4・7・8・9 尺用》

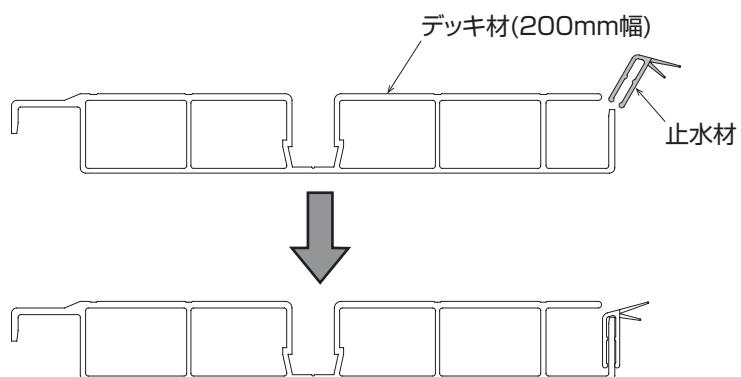


《出幅 5・6 尺用》



デッキ材の部品付

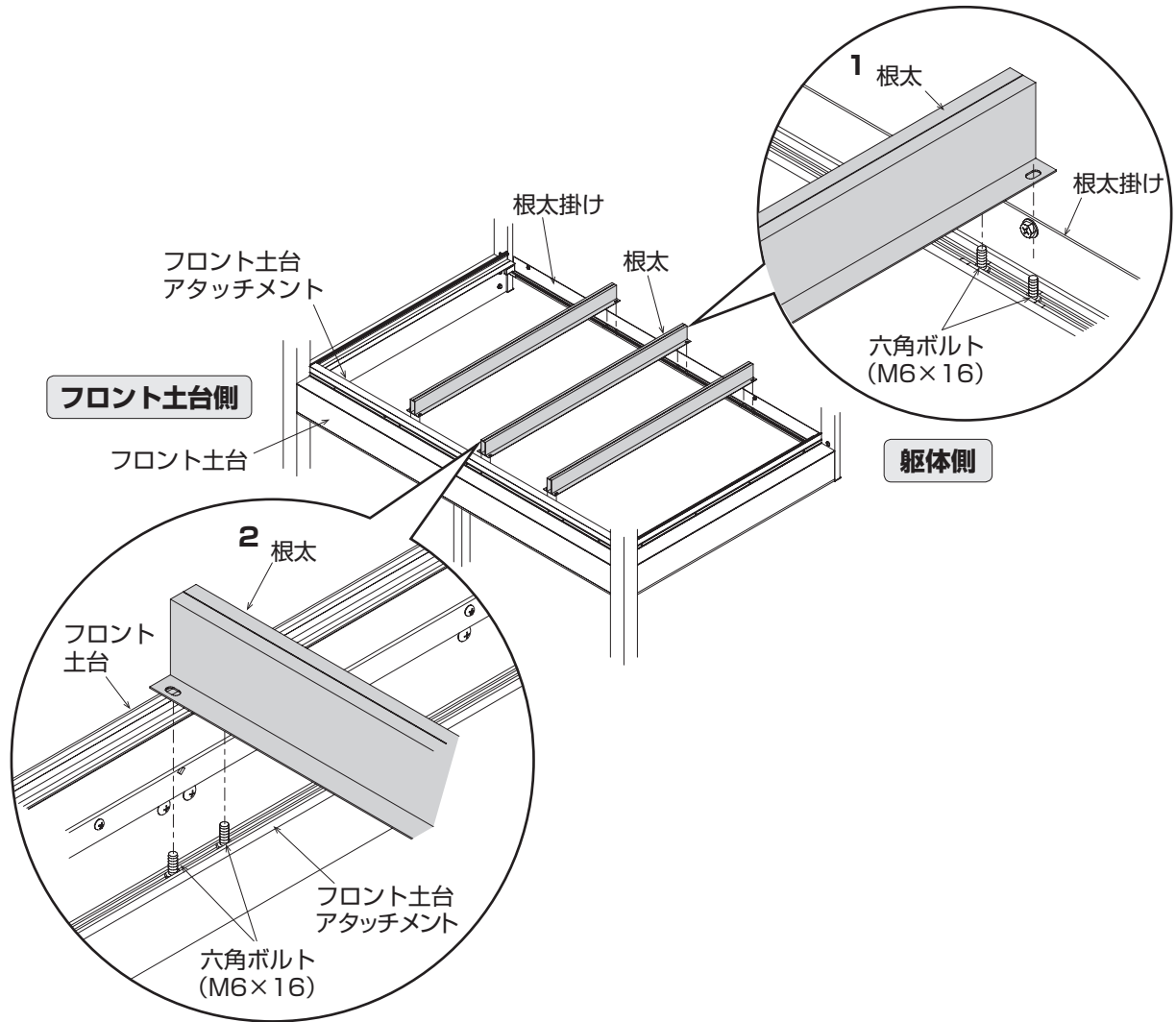
1. 止水材を200mm幅のデッキ材に取付けてください。



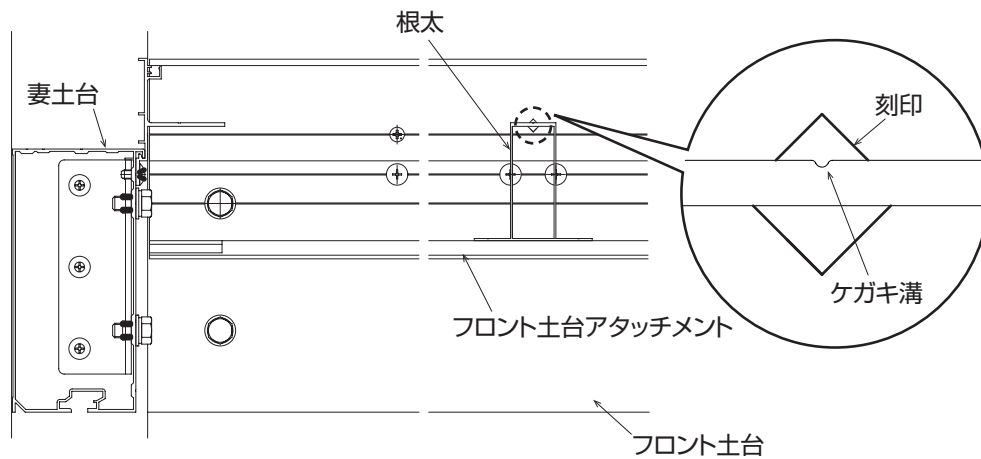
根太の取付

根太掛けセット（基本仕様） 出幅 3～6 尺の場合

1. 根太を根太掛けの六角ボルトに挿入してください。
2. 根太をフロント土台アタッチメントの六角ボルトに挿入してください。

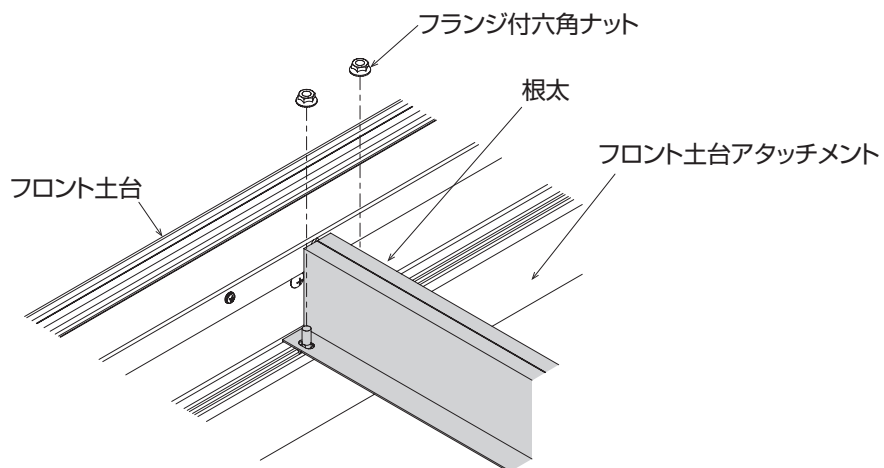


3. 根太のケガキ溝をフロント土台アタッチメントの刻印位置にあわせてください。

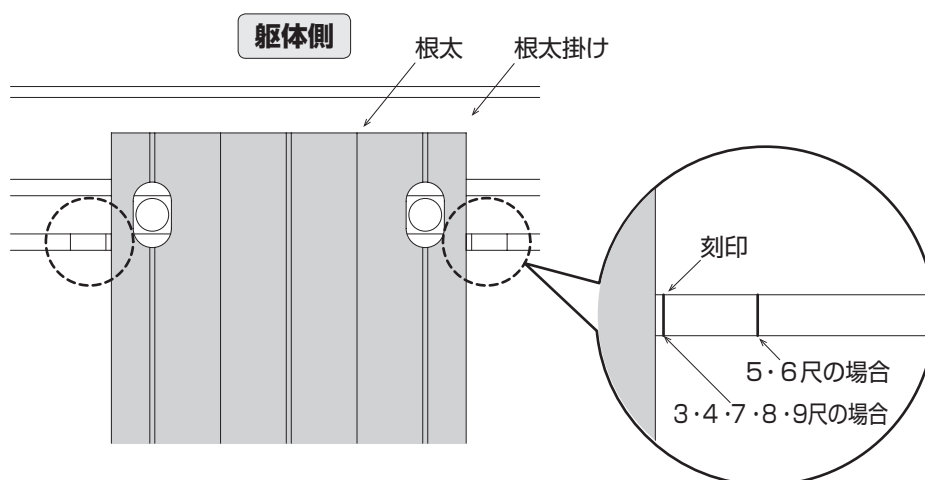


(単位：mm)

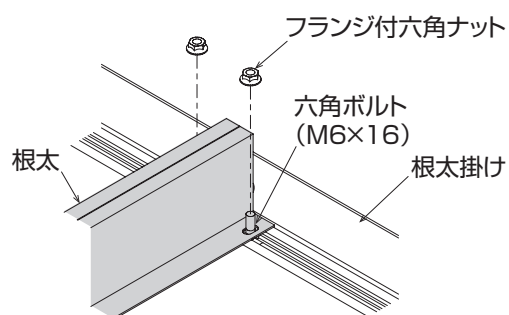
4. 根太をフロント土台アタッチメントに取付けてください。



5. 根太の端部を根太掛けの刻印位置にあわせてください。



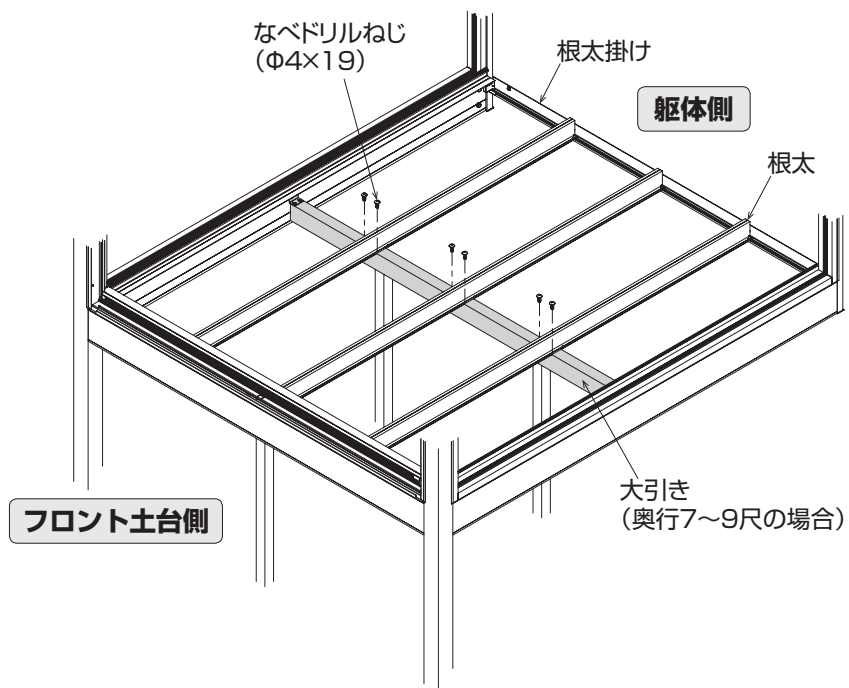
6. 根太を根太掛けに取付けてください。



(単位：mm)

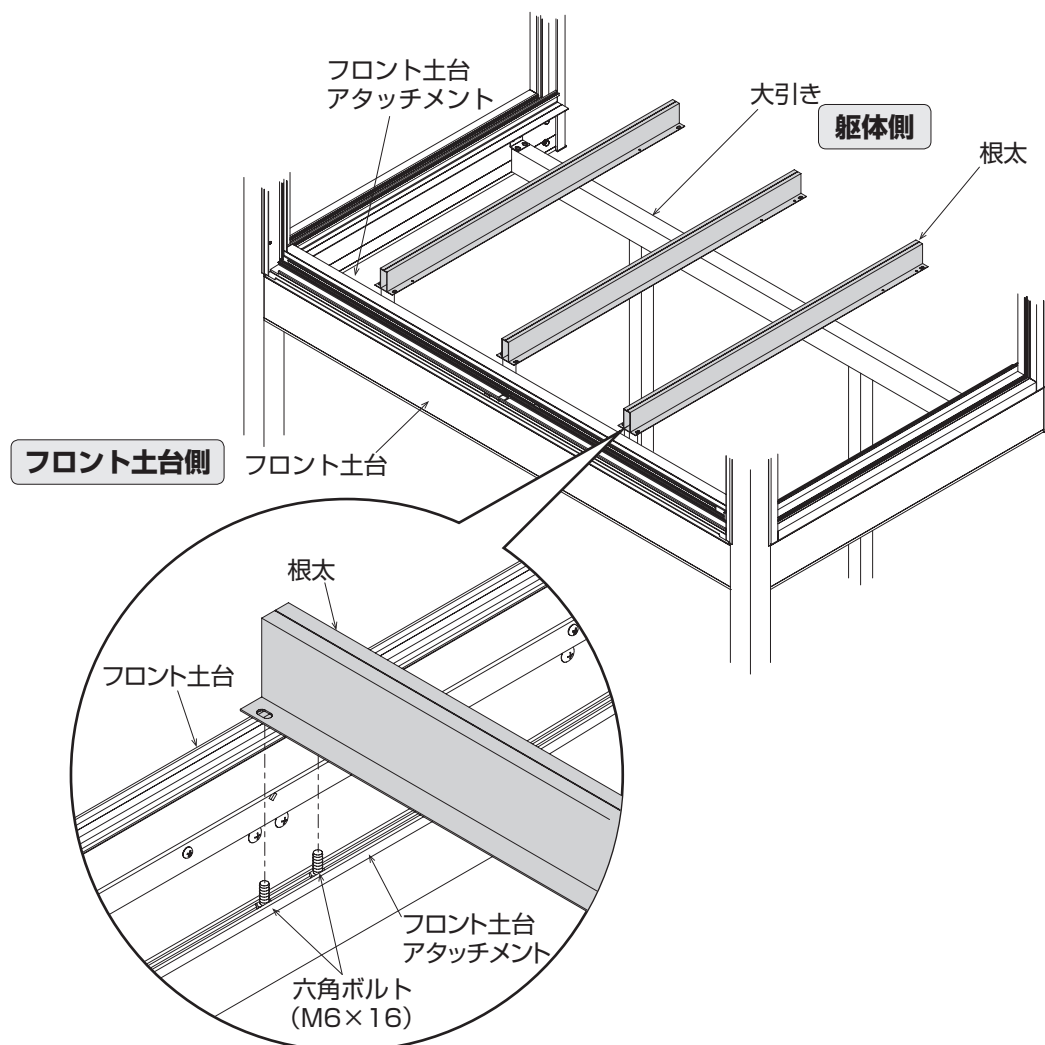
根太掛けセット（基本仕様） 出幅 7～9 尺の場合

1. 根太を出幅3～6尺の場合と同様に取付けてください。(P.174 参照)
2. 根太を大引きに取付けてください。

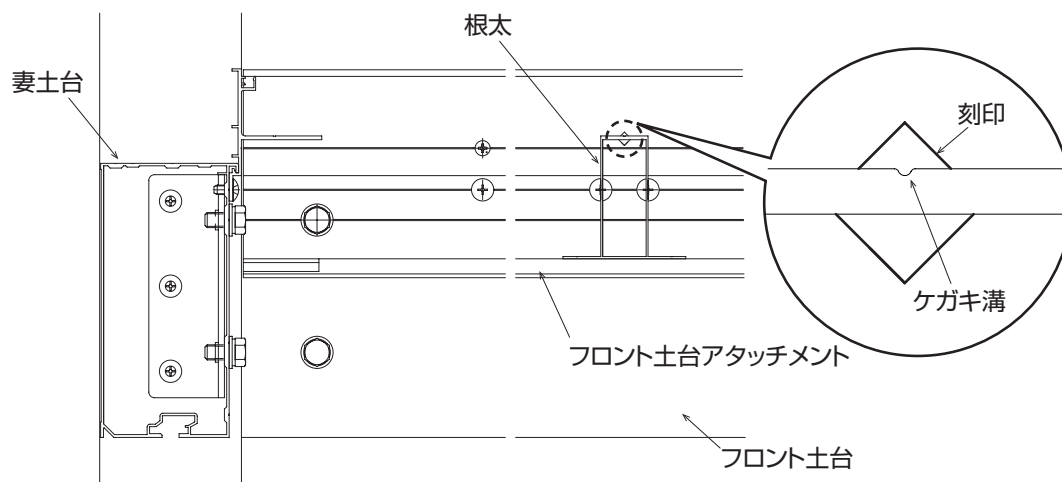


大引きセット (オプション仕様) の場合

1. 根太をフロント土台アタッチメントの六角ボルトに挿入してください。

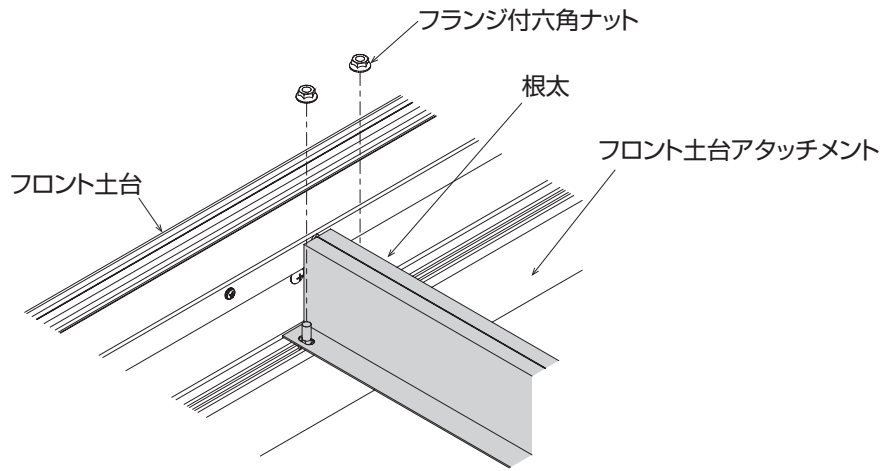


2. 根太のケガキ溝をフロント土台アタッチメントの刻印位置にあわせてください。

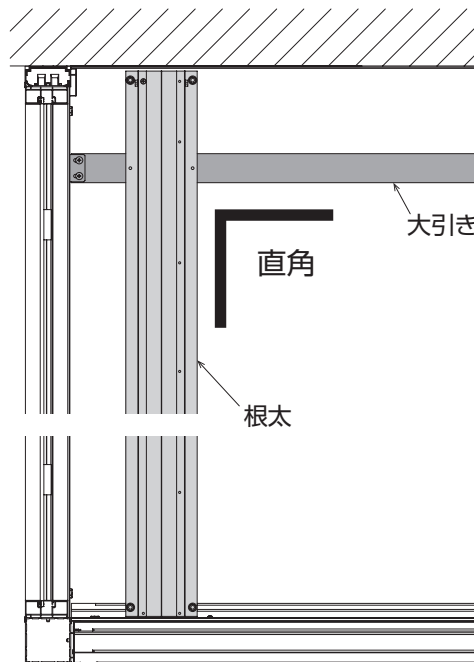


(単位 : mm)

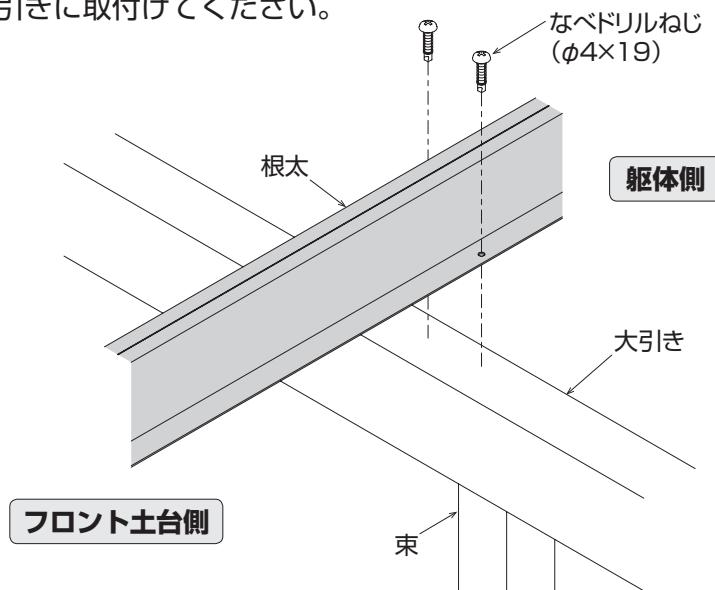
3. 根太をフロント土台アタッチメントに取付けてください。



4. 根太を大引きに対し、直角に配置してください。



5. 根太を大引きに取付けてください。

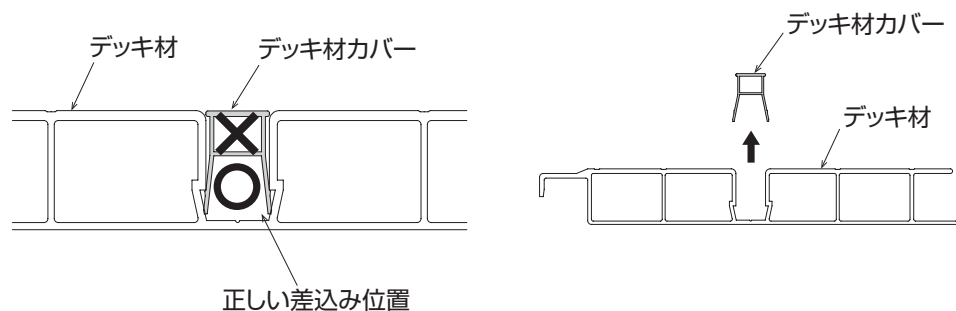


デッキ材の取付

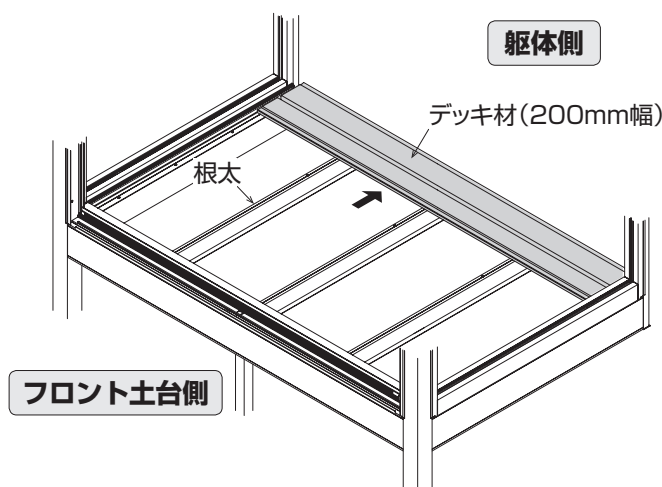
1. デッキ材カバーをデッキ材から取外してください。



- デッキ材カバーを外す際は、下図を参考に、小口中央のリブにドライバーなどを差し込み引上げて外してください。上段に差し込むと変形や破損のおそれがあります。



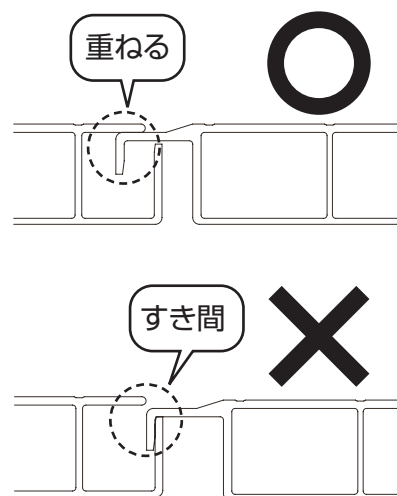
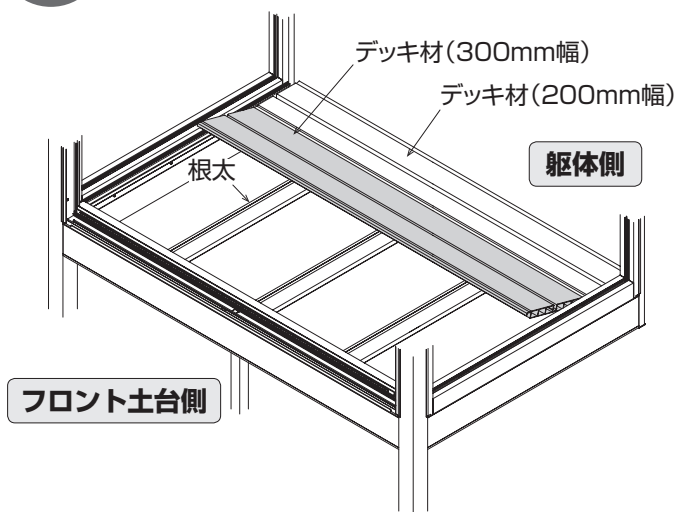
2. 200mm幅のデッキ材を根太の上に敷き、躯体側まで寄せてください。



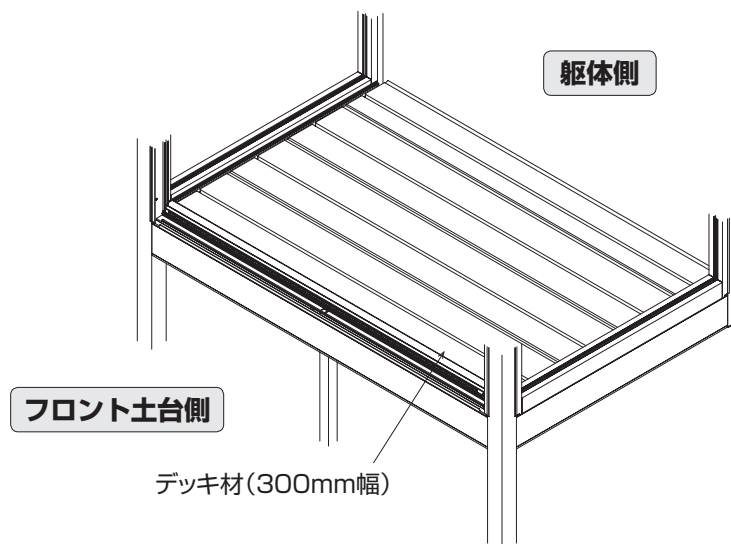
3. 300mm幅のデッキ材を200mm幅のデッキ材に引っかけて根太の上に敷いてください。



- デッキ材同士の連結部は、しっかり重なるようにしてください。デッキ材どうしにすき間があると、ゴミが溜まりやすくなります。



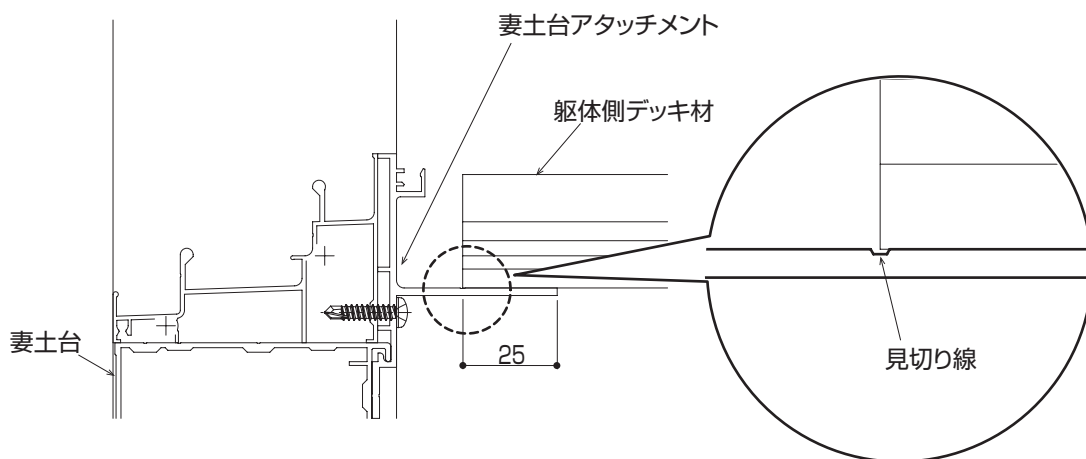
4.手順3と同様に300mm幅のデッキ材をフロント土台側まで敷いてください。



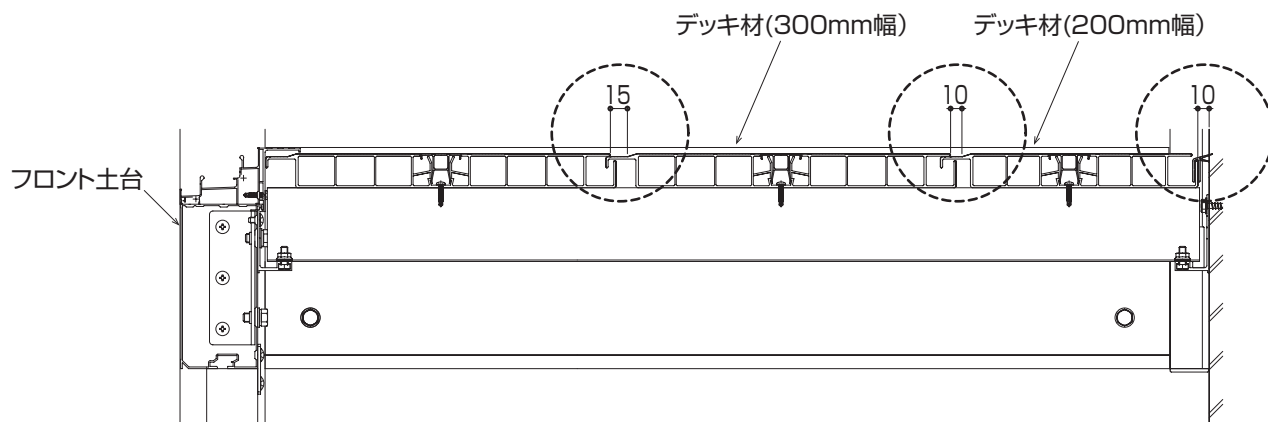
5.デッキ材の切断面を妻土台アタッチメントの見切り線にあわせてください。



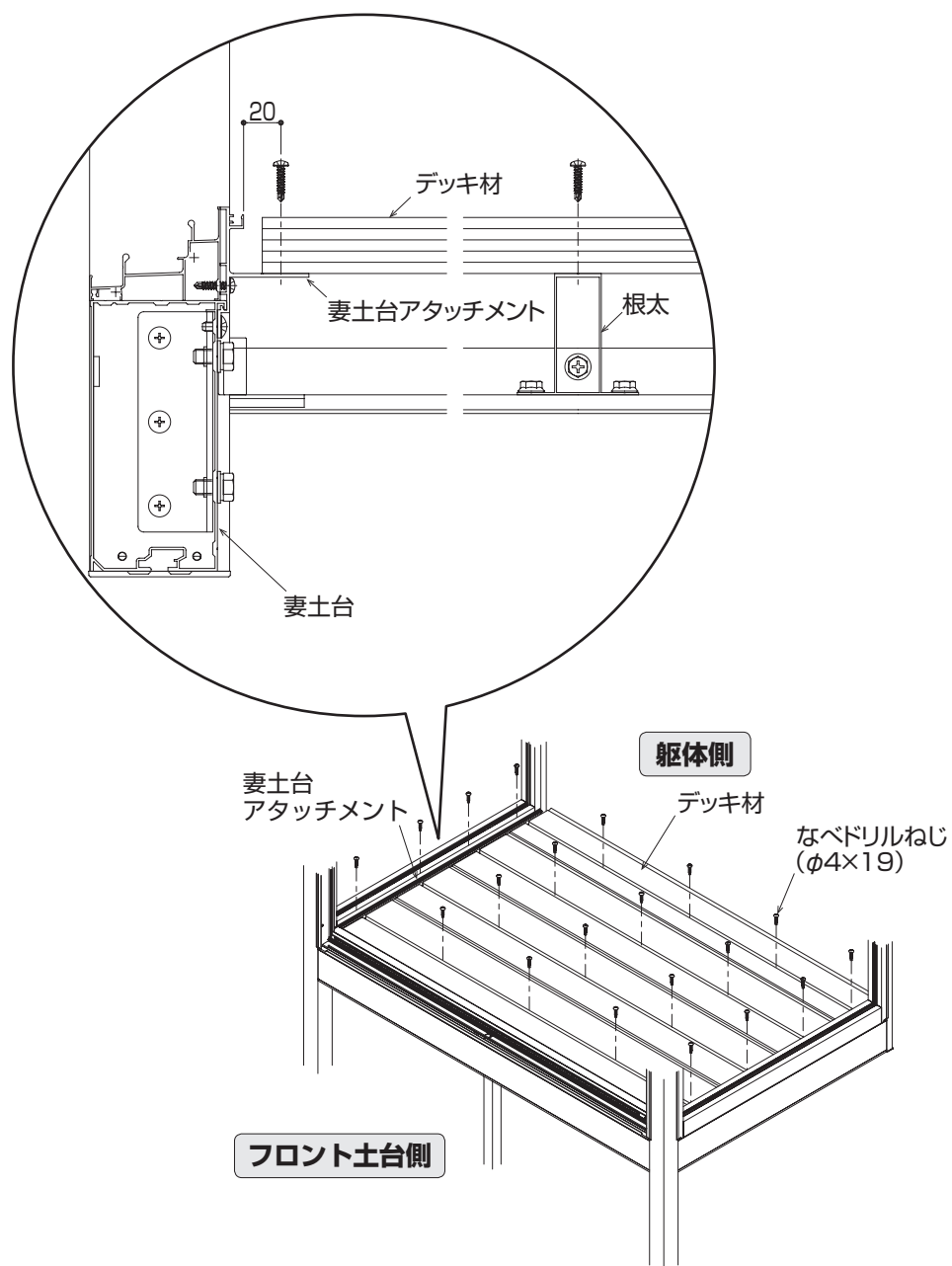
- デッキ材の切断面が妻土台アタッチメントの見切り線にあっていることを確認してください。見切り線からずれた位置でデッキ材を取付けると、小口が露出する場合があります。



6. 躯体とデッキ材(200mm幅)のすき間が10mmになるように、デッキ材同士のすき間を調整してください。



7. デッキ材を妻土台アタッチメント→根太の順に取付けてください。

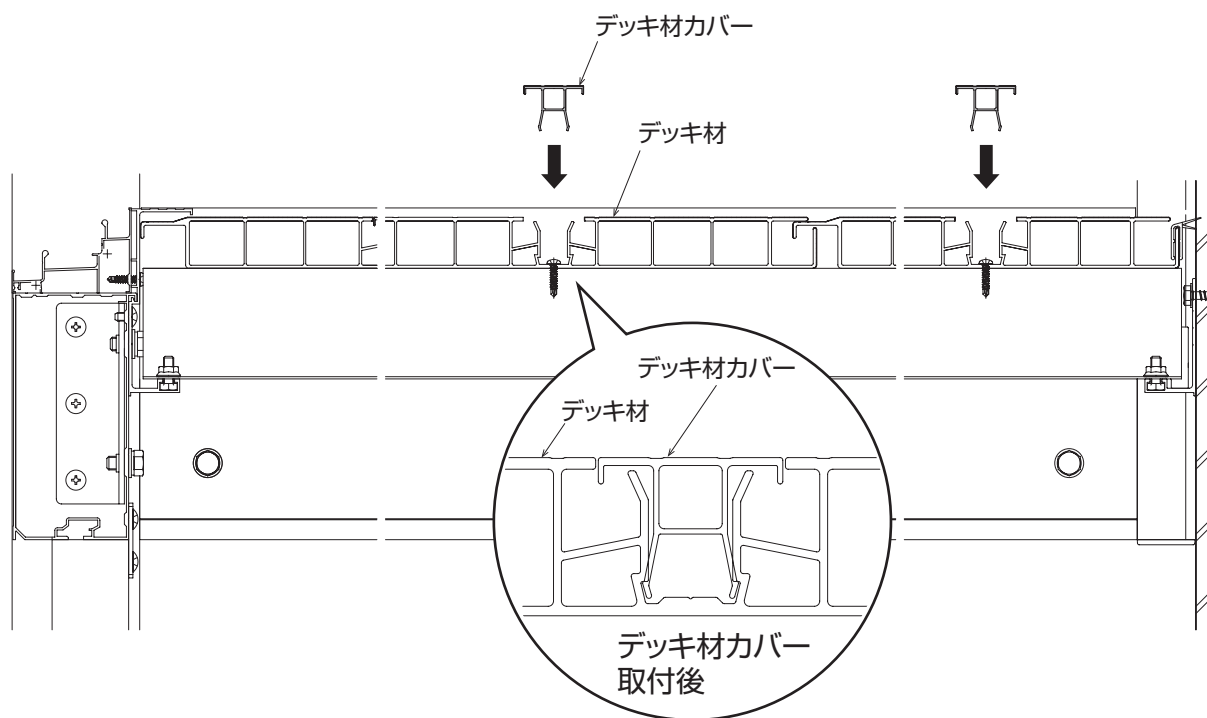
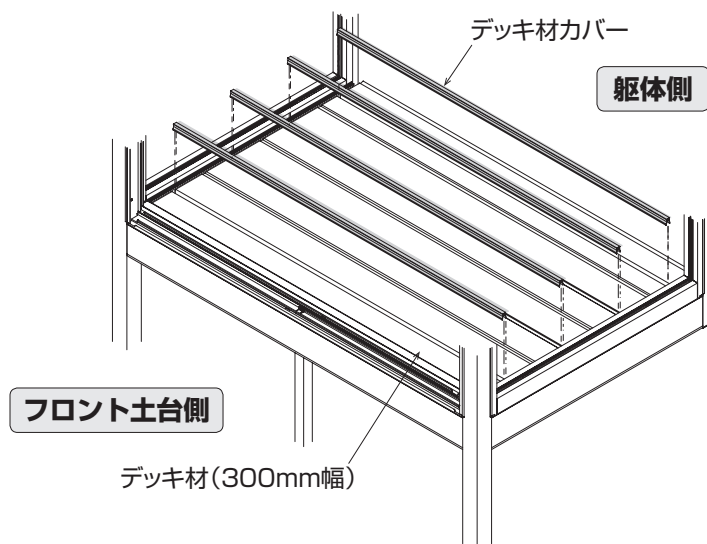


(単位：mm)

カバーの取付

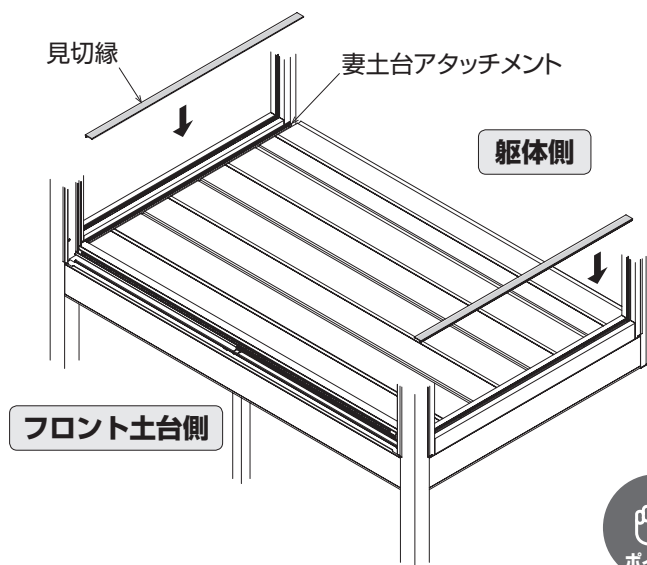
デッキ材カバーの取付

1. デッキ材カバーをデッキ材の切断面にあわせてください。
2. デッキ材カバーをデッキ材に取付けてください。

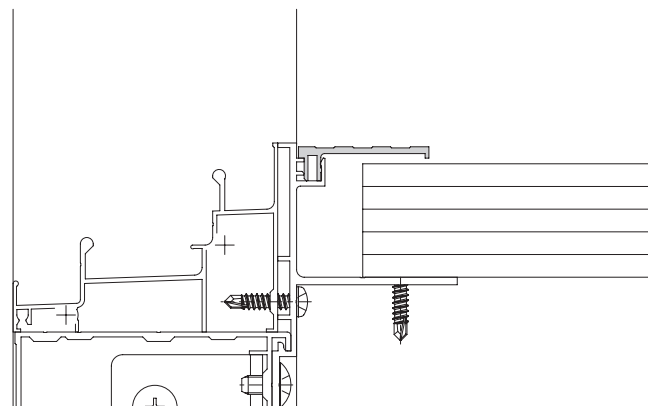
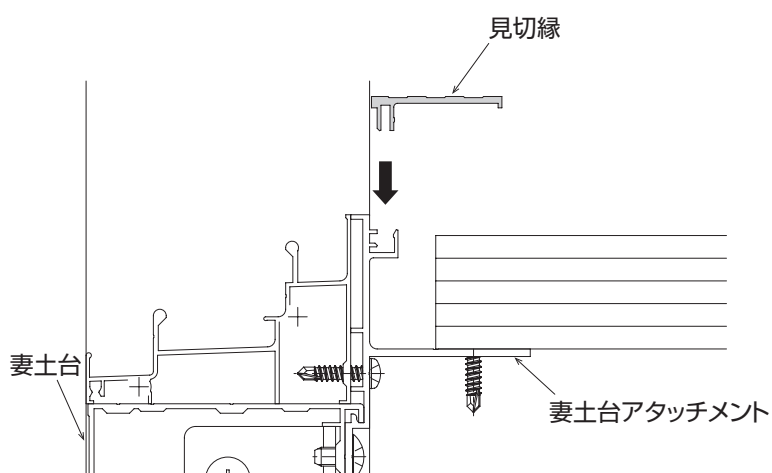


見切縁の取付

1.見切縁を妻土台アタッチメントに取付けてください。



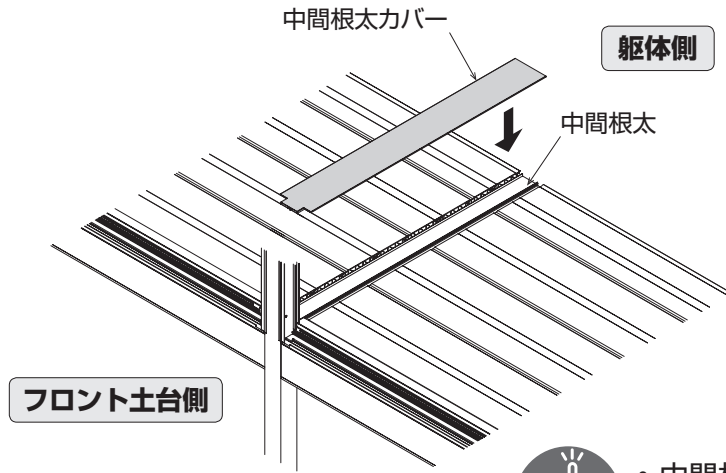
• 見切縁は当て木とハンマーを使用して取付けてください。



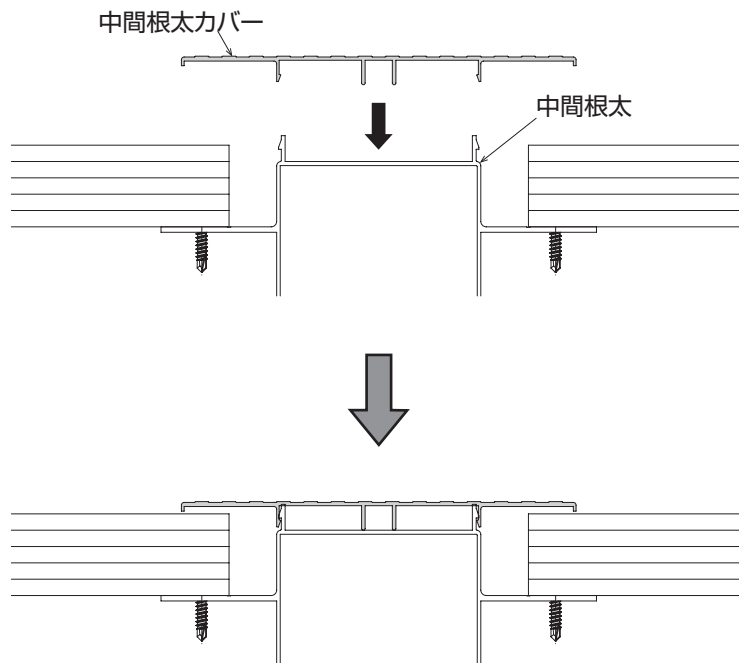
中間根太カバーの取付

連棟の場合

1. 中間根太カバーを中間根太に取付けてください。



• 中間根太カバーは当て木とハンマーを使用して取付けてください。



雨樋の施工

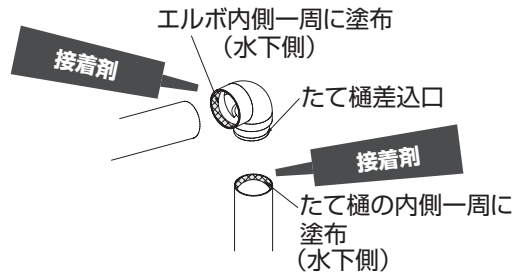
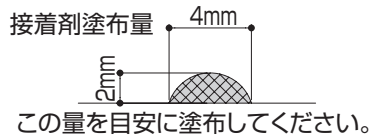
雨樋の取付.....	P.186
雨樋の取付.....	P.186

雨樋の取付

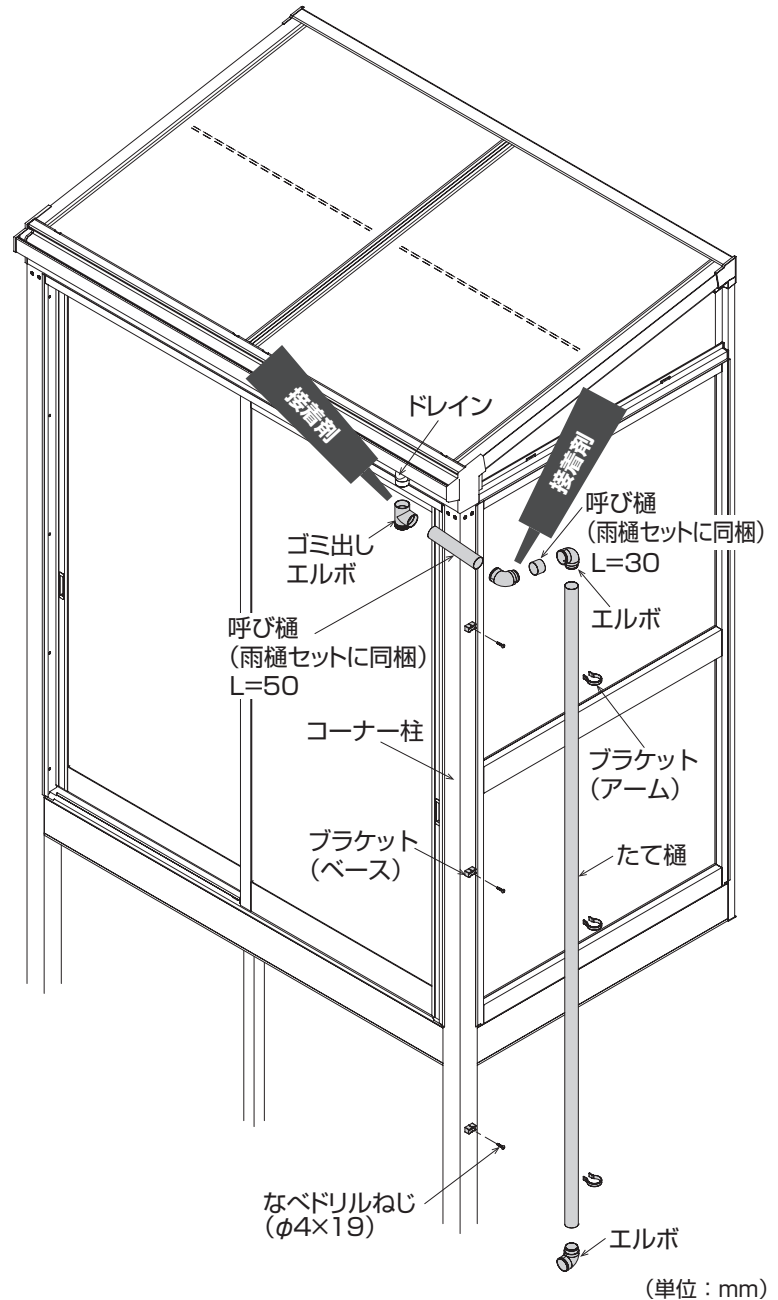
雨樋の取付



- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。必ず商品に同梱の接着剤をご使用ください。



1. ブラケット (ベース) をコーナー柱に取付けてください。
2. ゴミ出しエルボに接着剤を塗布してください。
3. 呼び樋に接着剤を塗布してください。
4. ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
5. 呼び樋をエルボに挿入してください。
6. エルボを呼び樋に挿入してください。
7. たて樋を取付長さにあわせて切断してください。
8. たて樋をエルボに挿入してください。
9. エルボをたて樋に挿入してください。
10. ブラケット (アーム) をたて樋に挿入してください。
11. たて樋のブラケット (アーム) をブラケット (ベース) に取付けてください。



切断・加工要領図

現場の状況に応じて部材の切断・加工を行ってください。

切詰め.....P.188

切詰め.....P.188

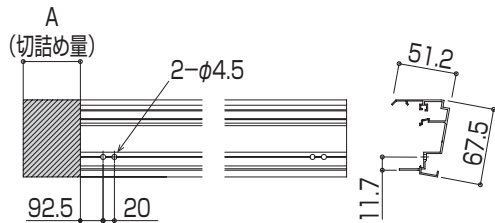
切詰め

切詰め

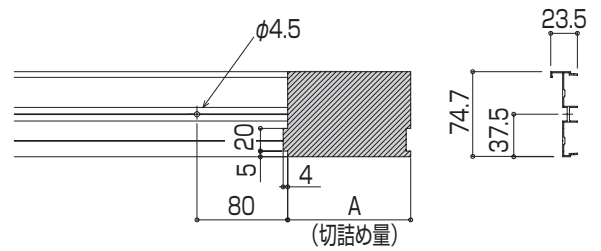
間口方向の切詰め

《加工図》

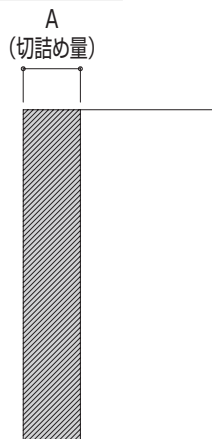
垂木掛け



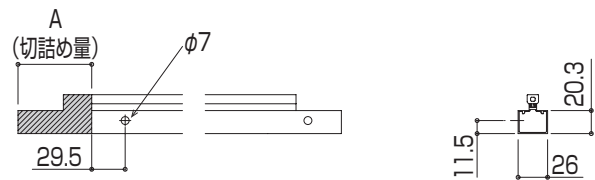
上枠アタッチメント



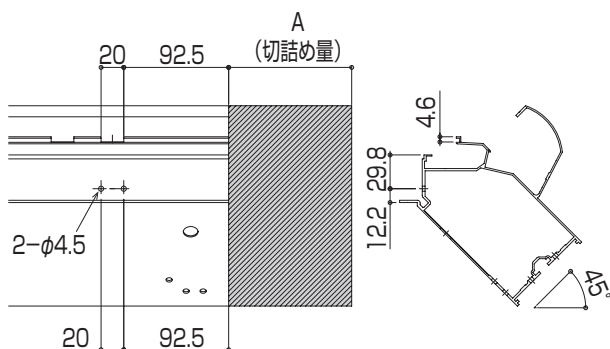
屋根ふき材



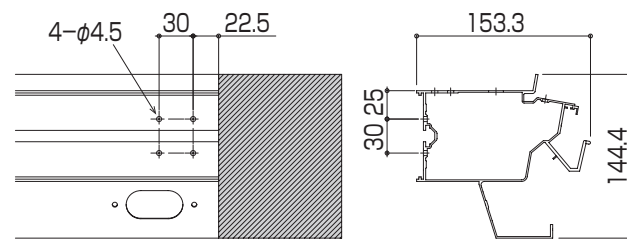
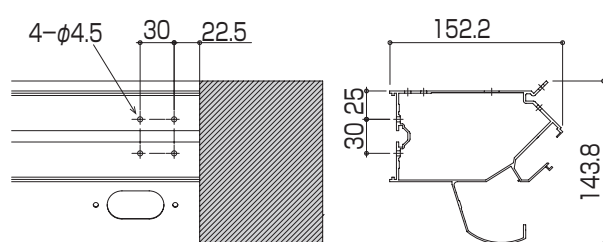
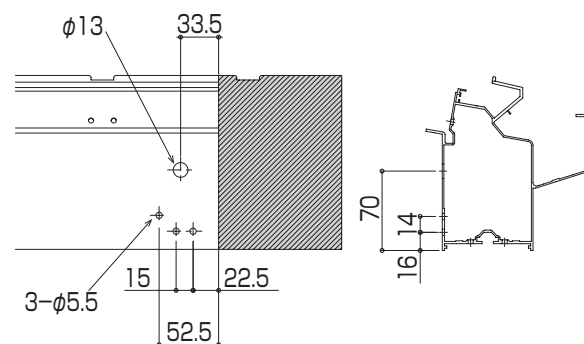
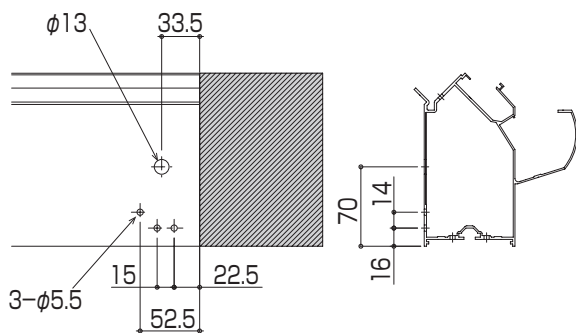
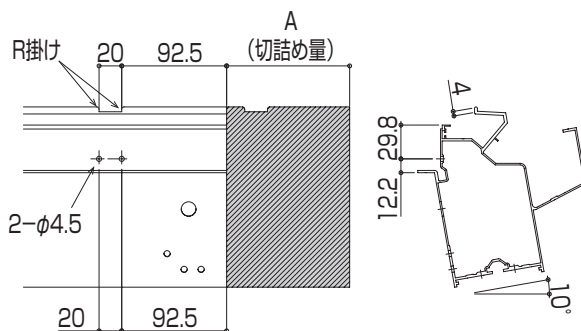
中棧



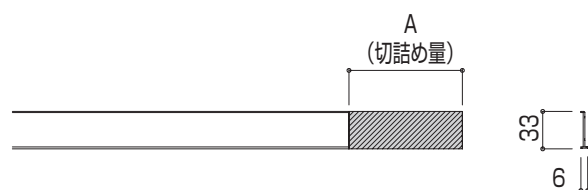
前枠(Rタイプ)



前枠(Fタイプ)

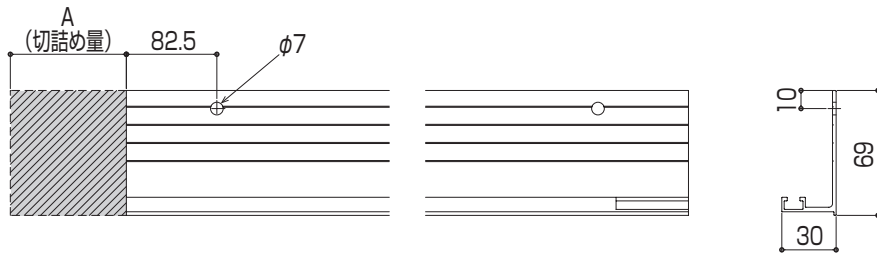


前枠アタッチメント(Fタイプ)

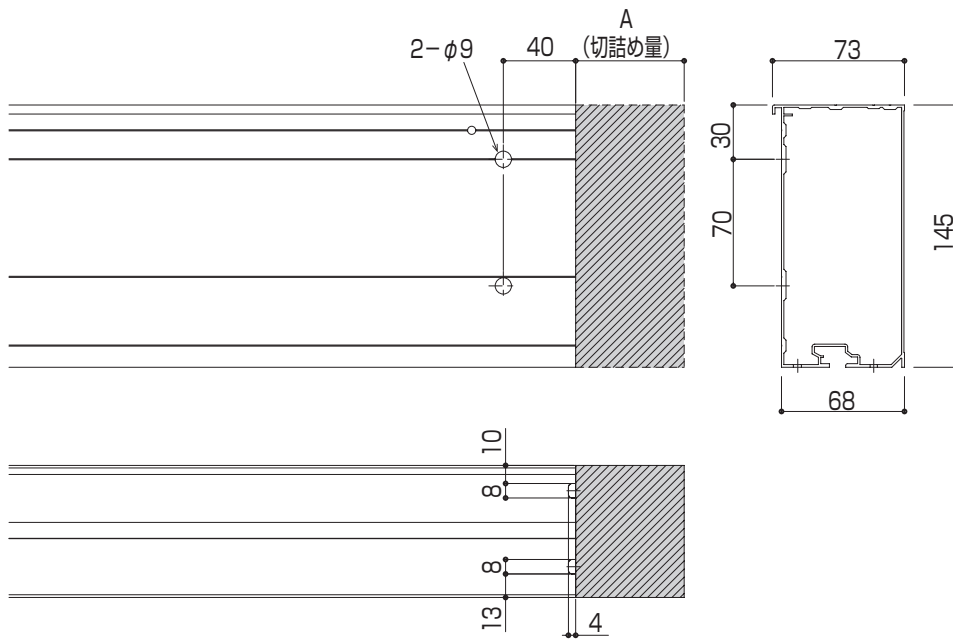


(単位 : mm)

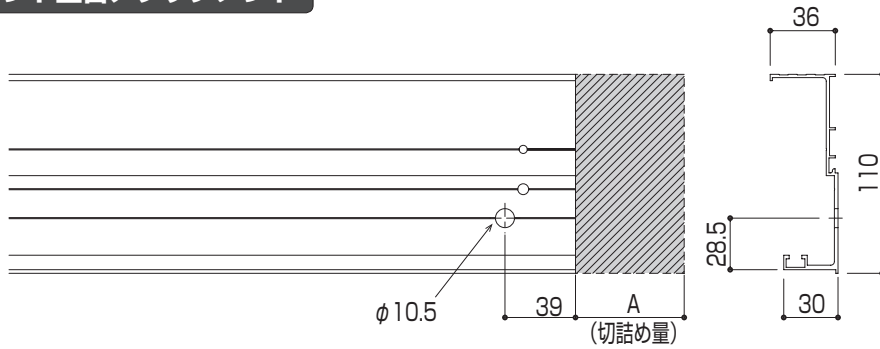
根太掛け



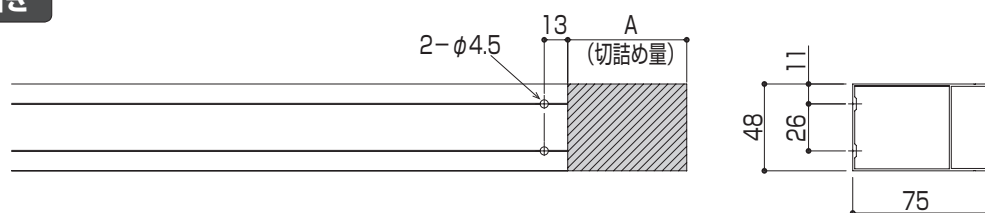
フロント土台



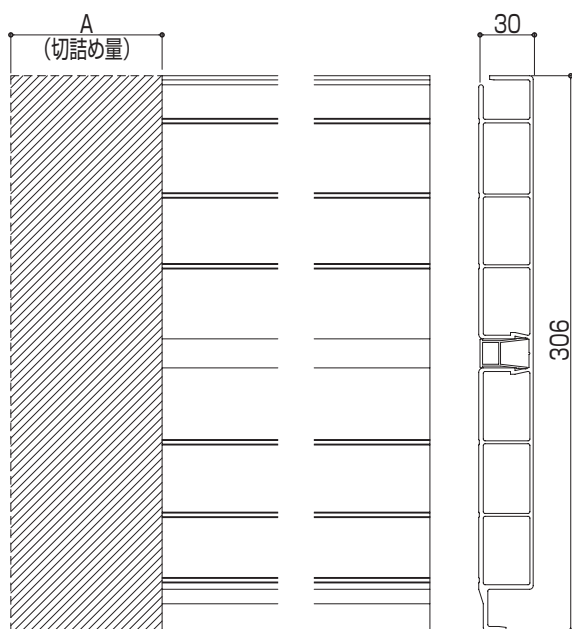
フロント土台アタッチメント



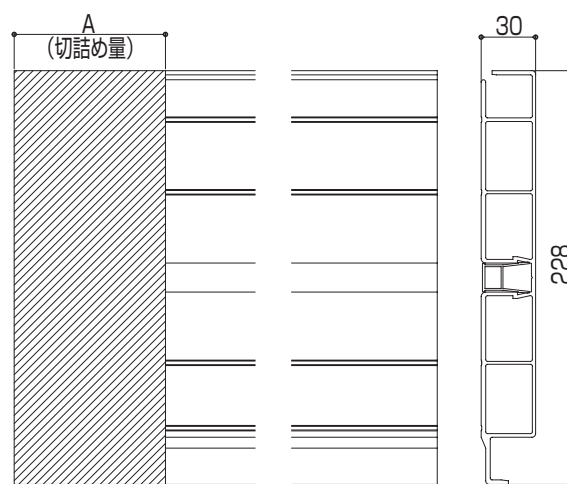
大引き



デッキ材 (300 幅)

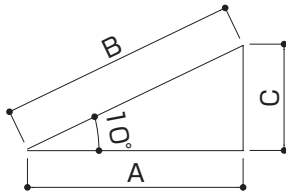


デッキ材 (200 幅)



出幅方向の切詰め

《公式》



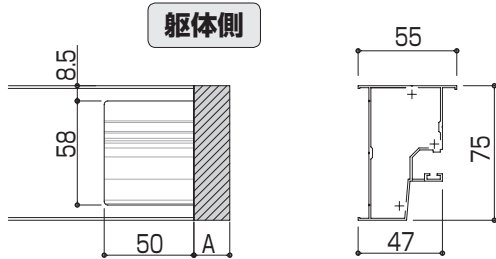
A : 切詰め量
B、C : 切断量

$$B = \frac{A}{\cos 10^\circ} \quad C = \tan 10^\circ \times A$$

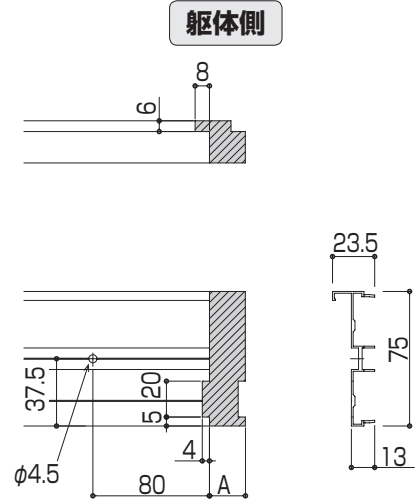
$$\cos 10^\circ = 0.985 \quad \tan 10^\circ = 0.176$$

《加工図》

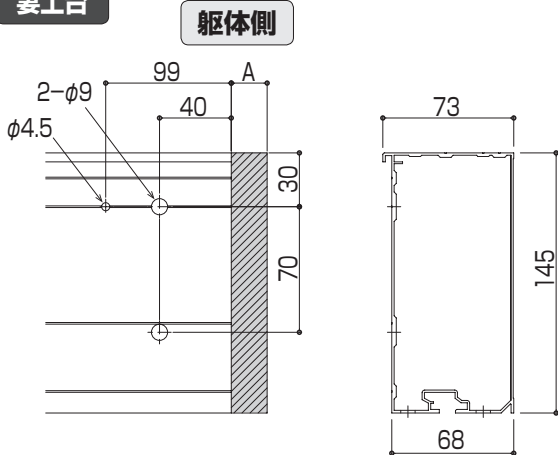
腕木



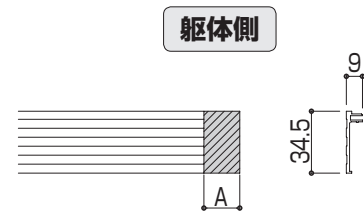
上枠アタッチメント



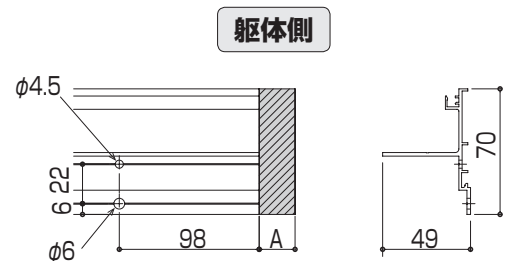
妻土台



見切縁

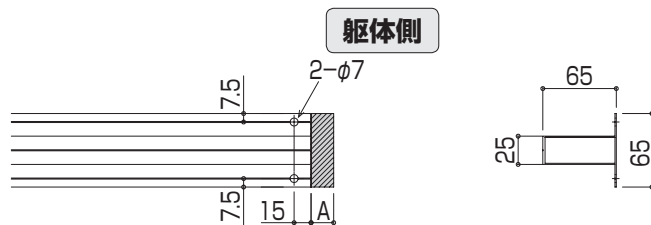


妻土台アタッチメント



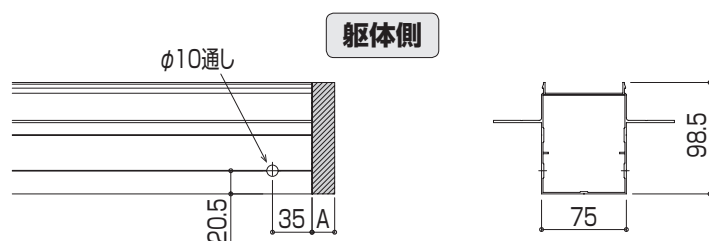
(単位 : mm)

根太

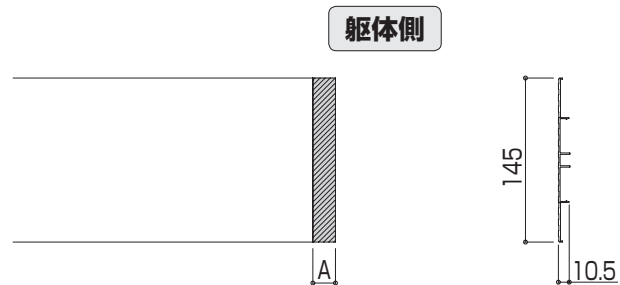


図は出幅3・4・7・8・9尺用の根太を示しています。
出幅5・6尺用の根太も同様です。

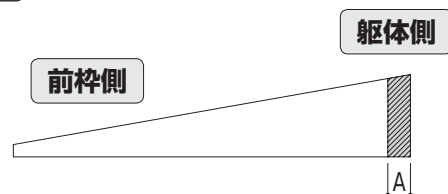
中間根太 (連棟の場合)



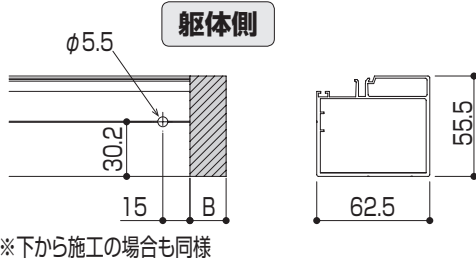
中間根太カバー (連棟の場合)



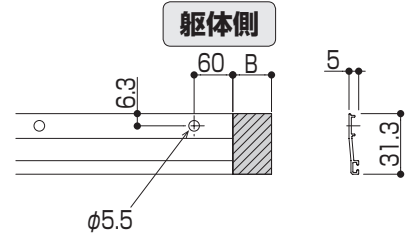
妻 FIX パネル



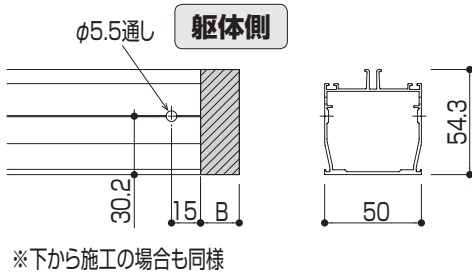
妻垂木



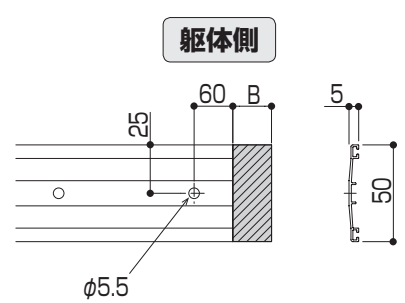
屋根ふき材押え(妻垂木用)



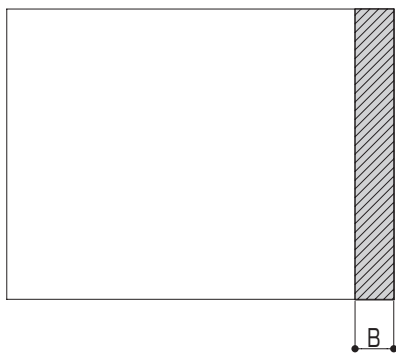
垂木



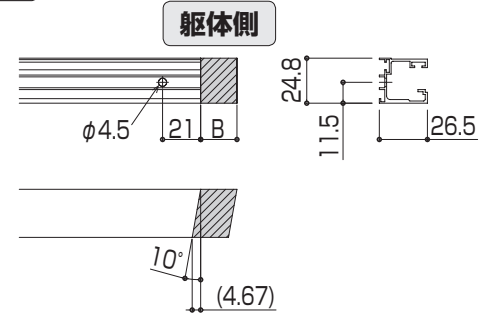
屋根ふき材押え(垂木用)



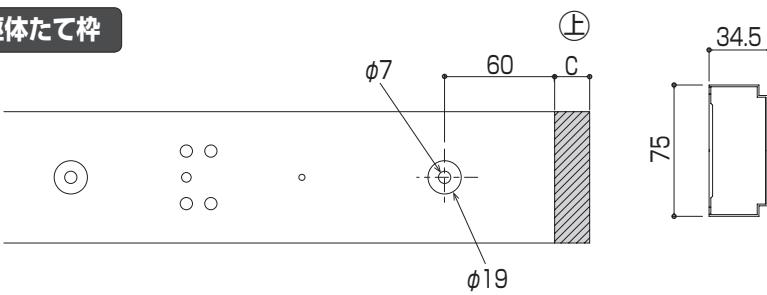
屋根ふき材



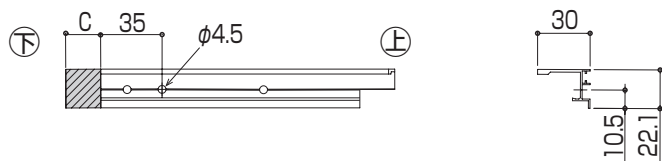
上廻り縁



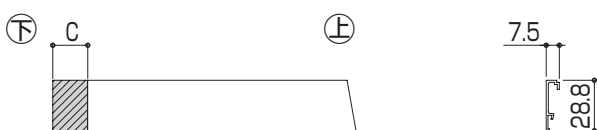
躯体たて枠



たて廻り縁



押縁

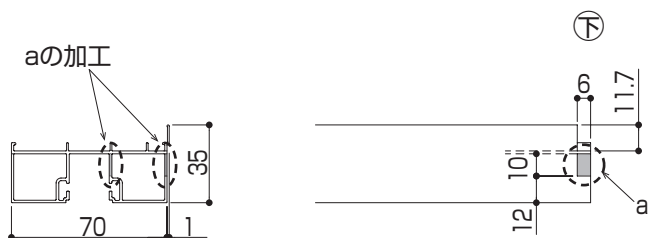


(単位：mm)

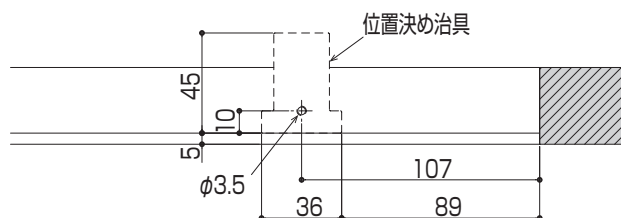
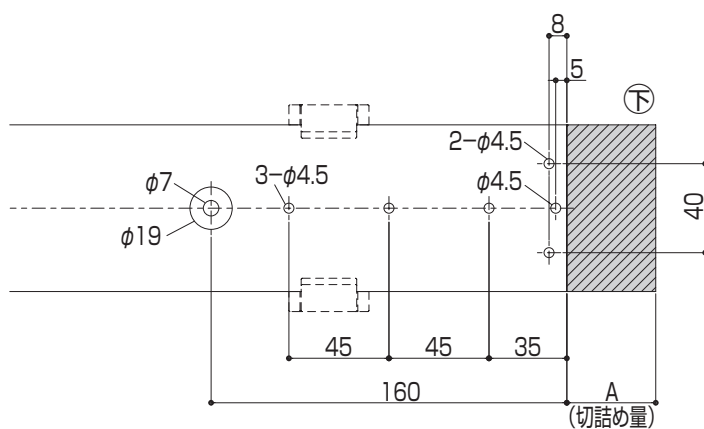
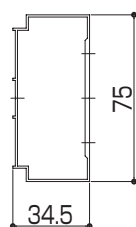
高さ方向の切詰め

《加工図》

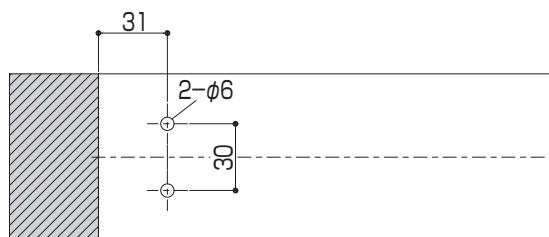
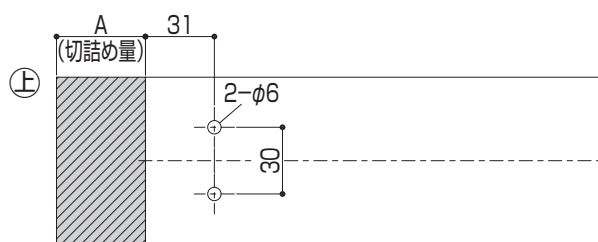
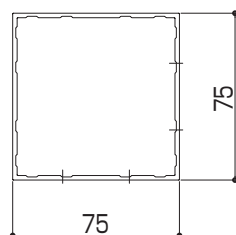
たて枠 (高窓下 FIX・壁 FIX 下部)



躯体たて枠

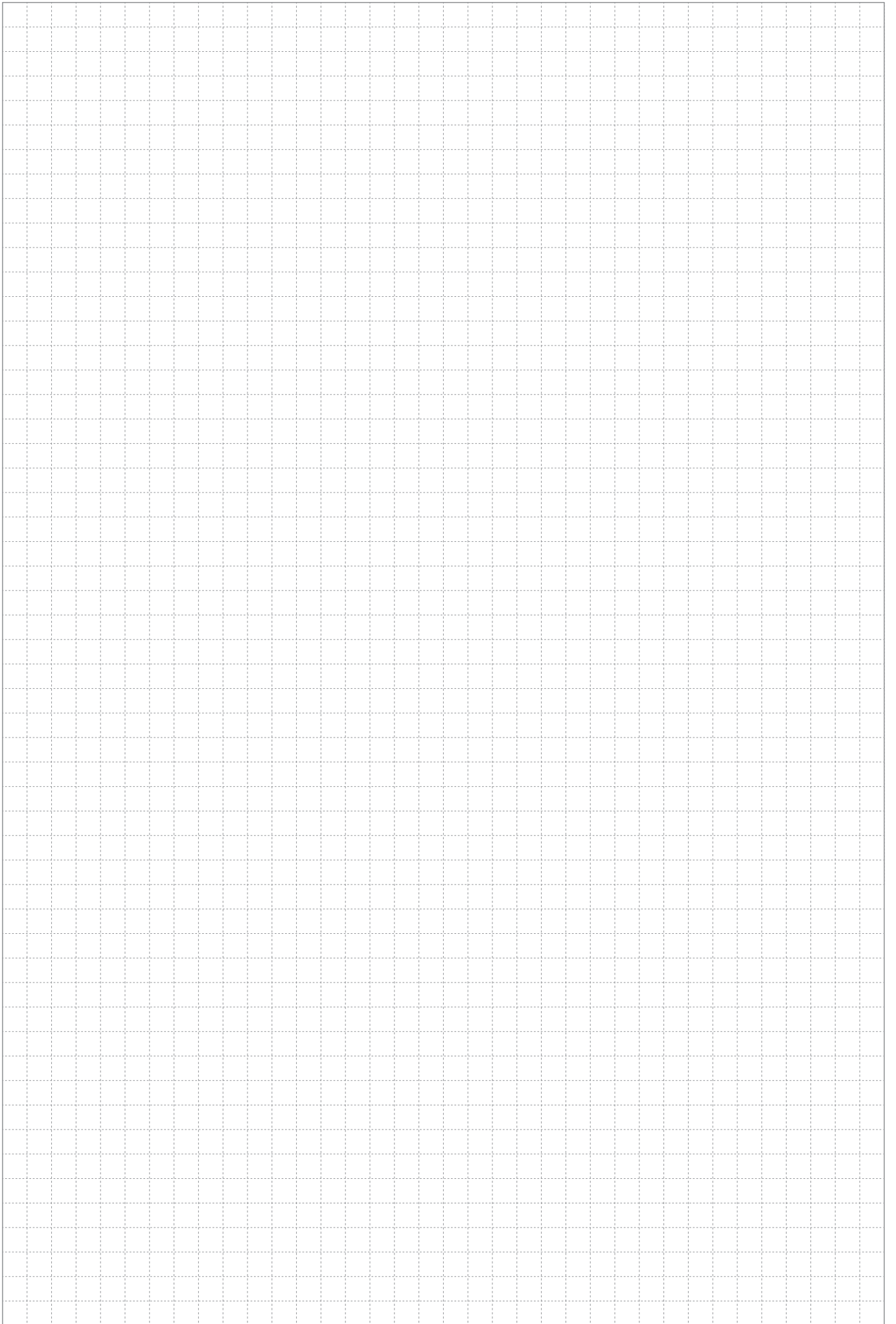


柱



切断・加工要領図

(単位 : mm)



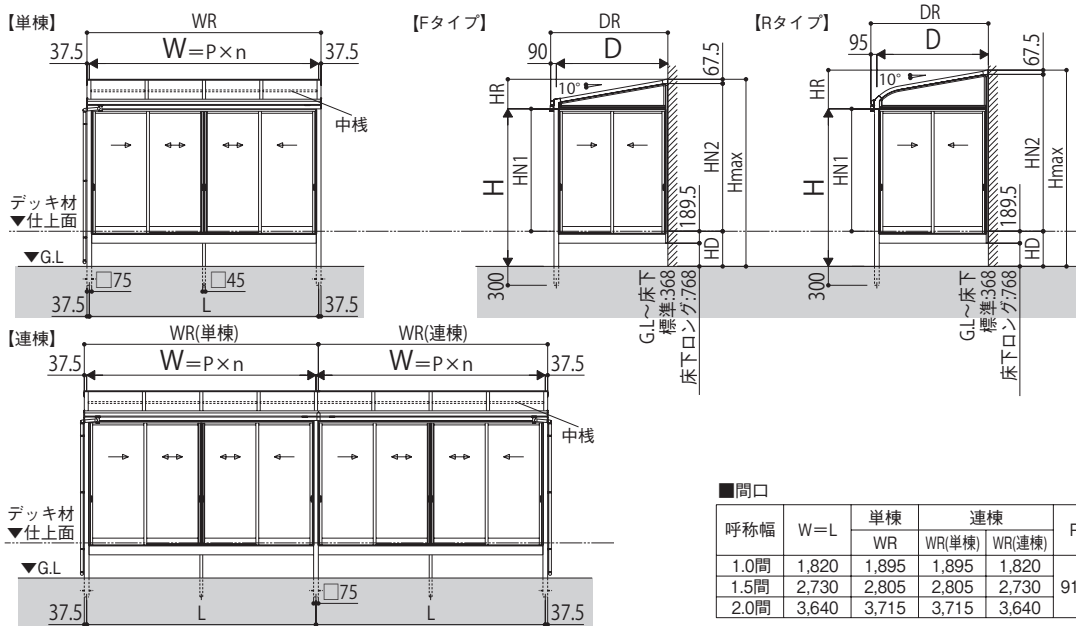
姿図・商品断面図

根太掛けセット（基本仕様）	P.198
姿図	P.198
商品断面図	P.201
大引きセット（オプション仕様）	P.206
姿図	P.206
商品断面図	P.209
開口部	P.214
姿図	P.214
商品断面図	P.218

根太掛けセット (基本仕様)

姿図

●根太掛けセット (基本仕様) (600N/m² 3~6尺)



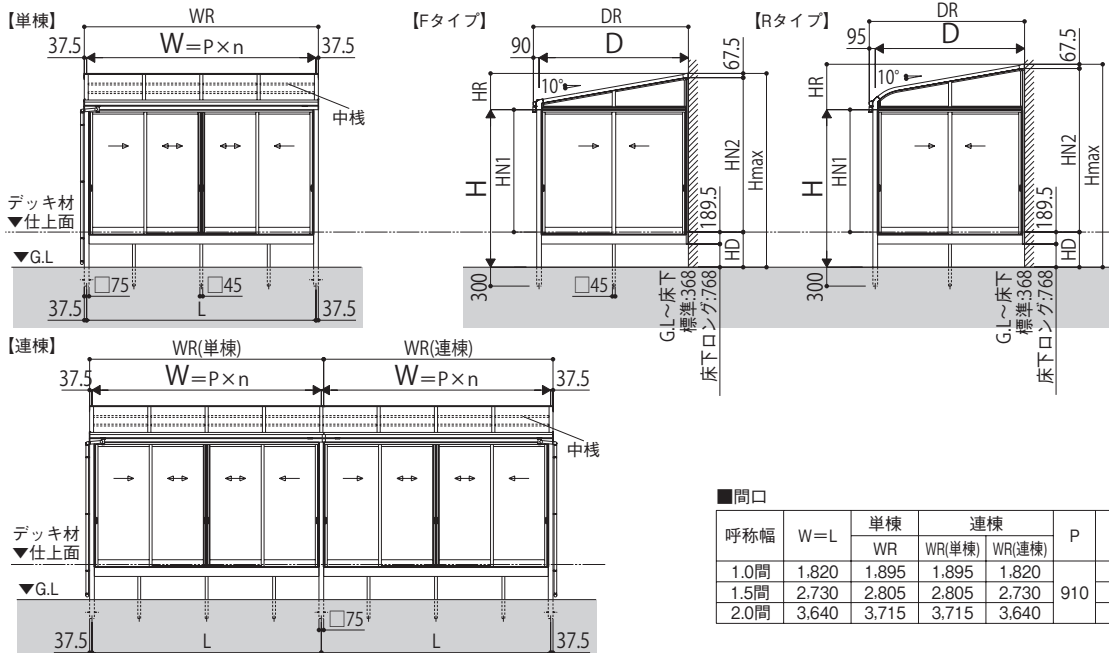
■間口

呼称幅	W=L	単棟		連棟		P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820		910	2
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730			3
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640			4

■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサツ						ランマ付き						中棧本数						
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング									
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax							
Fタイプ	3尺	870	960	310.8	2,810.8			2,916.6	2,916.6	1,942.5	2,185.8	2,238.7	2,238.7	3,108.0	3,063.7	3,116.6	3,116.6	2,142.5	2,385.8	2,438.7	2,438.7	3,323.8	3,276.7	3,323.8	3,413	957.5	2,455.5	2,698.8	0
	4尺	1,170	1,260	363.7	2,863.7			2,916.6	2,916.6	1,942.5	2,238.7	2,238.7	3,108.0	3,063.7	3,116.6	3,116.6	2,142.5	2,438.7	2,491.6	2,491.6	3,013	3,376.7	3,429.6	3,429.6	3,413	957.5	2,455.5	2,751.7	1
	5尺	1,470	1,560	416.6	2,916.6			2,916.6	2,916.6	1,942.5	2,344.5	2,344.5	3,169.5	3,169.5	3,169.5	3,169.5	2,142.5	2,544.5	2,544.5	2,544.5	3,013	3,482.5	3,482.5	3,482.5	3,413	957.5	2,455.5	2,804.6	1
Rタイプ	3尺	870	965	456.2	2,956.2			3,009.1	3,009.1	1,942.5	2,331.2	2,331.2	3,156.2	3,156.2	3,156.2	3,156.2	2,142.5	2,531.2	2,531.2	2,531.2	3,013	3,469.2	3,469.2	3,469.2	3,413	957.5	2,455.5	2,844.2	0
	4尺	1,170	1,265	509.1	3,009.1			3,009.1	3,009.1	1,942.5	2,384.1	2,384.1	3,209.1	3,209.1	3,209.1	3,209.1	2,142.5	2,584.1	2,584.1	2,584.1	3,013	3,522.1	3,522.1	3,522.1	3,413	957.5	2,455.5	2,897.1	1
	5尺	1,470	1,565	562.0	3,062.0			3,062.0	3,062.0	1,942.5	2,437.0	2,437.0	3,262.0	3,262.0	3,262.0	3,262.0	2,142.5	2,637.0	2,637.0	2,637.0	3,013	3,575.0	3,575.0	3,575.0	3,413	957.5	2,455.5	2,950.0	1
6尺	1,770	1,865	614.9	3,114.9			3,114.9	3,114.9	1,942.5	2,489.9	2,489.9	3,314.9	3,314.9	3,314.9	3,314.9	2,142.5	2,689.9	2,689.9	2,689.9	3,013	3,627.9	3,627.9	3,627.9	3,413	957.5	2,455.5	3,002.9	1	

●根太掛けセット (基本仕様) (600N/m² 7~8尺)



■間口

呼称幅	W=L	単棟		連棟		P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820		910	2
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730			3
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640			4

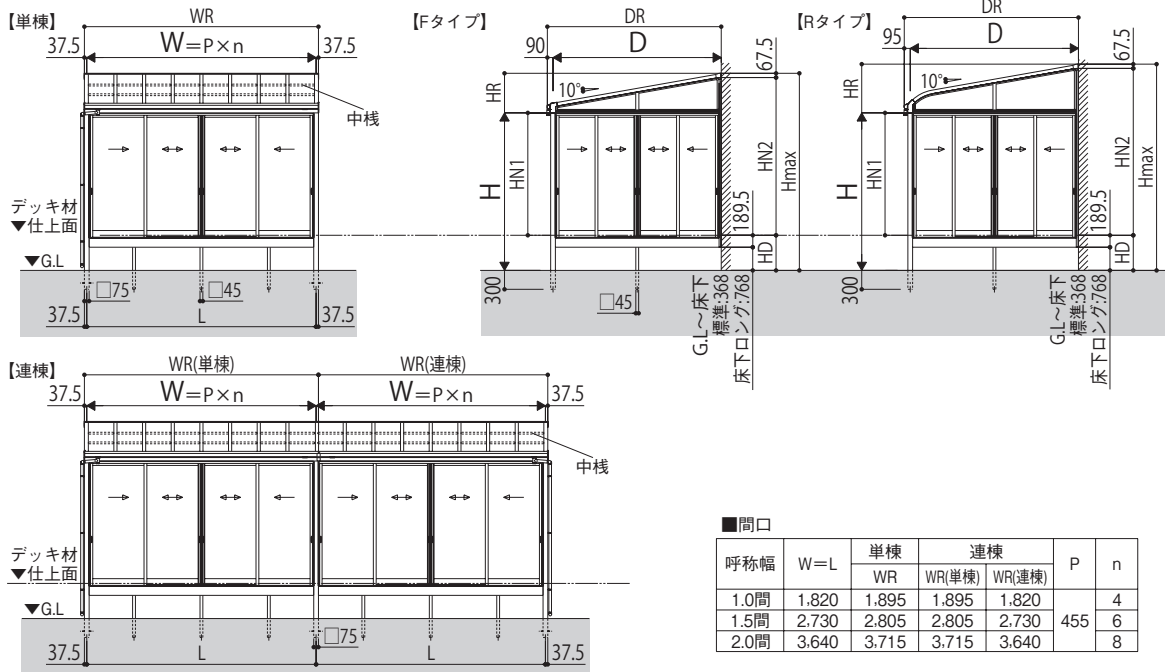
■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサツ						ランマ付き						中棧本数						
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング									
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax							
Fタイプ	7尺	2,070	2,160	522.4	3,022.4			3,073.3	3,073.3	1,942.5	2,397.4	2,397.4	3,222.4	3,222.4	3,222.4	3,222.4	2,142.5	2,597.4	2,597.4	2,597.4	3,013	3,535.4	3,588.3	3,588.3	3,413	957.5	2,455.5	2,910.4	2
	8尺	2,370	2,460	575.3	3,073.3			3,073.3	3,073.3	1,942.5	2,450.3	2,450.3	3,275.3	3,275.3	3,275.3	3,275.3	2,142.5	2,650.3	2,650.3	2,650.3	3,013	3,588.3	3,588.3	3,588.3	3,413	957.5	2,455.5	2,963.3	2
Rタイプ	7尺	2,070	2,165	667.8	3,167.8			3,167.8	3,167.8	1,942.5	2,542.8	2,542.8	3,367.8	3,367.8	3,367.8	3,367.8	2,142.5	2,742.8	2,742.8	2,742.8	3,013	3,680.8	3,680.8	3,680.8	3,413	957.5	2,455.5	3,055.8	2
	8尺	2,370	2,465	720.7	3,220.7			3,220.7	3,220.7	1,942.5	2,595.7	2,595.7	3,420.7	3,420.7	3,420.7	3,420.7	2,142.5	2,795.7	2,795.7	2,795.7	3,013	3,733.7	3,733.7	3,733.7	3,413	957.5	2,455.5	3,108.7	2

W:躯体柱芯々 L:柱の中心間距離 WR:屋根幅 P:垂木ピッチ
 D:出幅 DR:屋根出幅 H:G.L~前枠下端 HR:前枠下端~垂木掛け上端 Hmax:G.L~垂木掛け上端 HN1:デッキ材仕上~前枠下端
 HN2:デッキ材仕上~垂木掛け下端 HD:G.L~デッキ材仕上 ※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数

(単位: mm)

●根太掛けセット (基本仕様) (600N/m² 9R)



■間口

呼称幅	W=L	単棟		連棟		P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)	WR(連棟)		
1.0間	1.820	1.895	1.895	1.820	455	4	
1.5間	2.730	2.805	2.805	2.730	455	6	
2.0間	3.640	3.715	3.715	3.640	455	8	

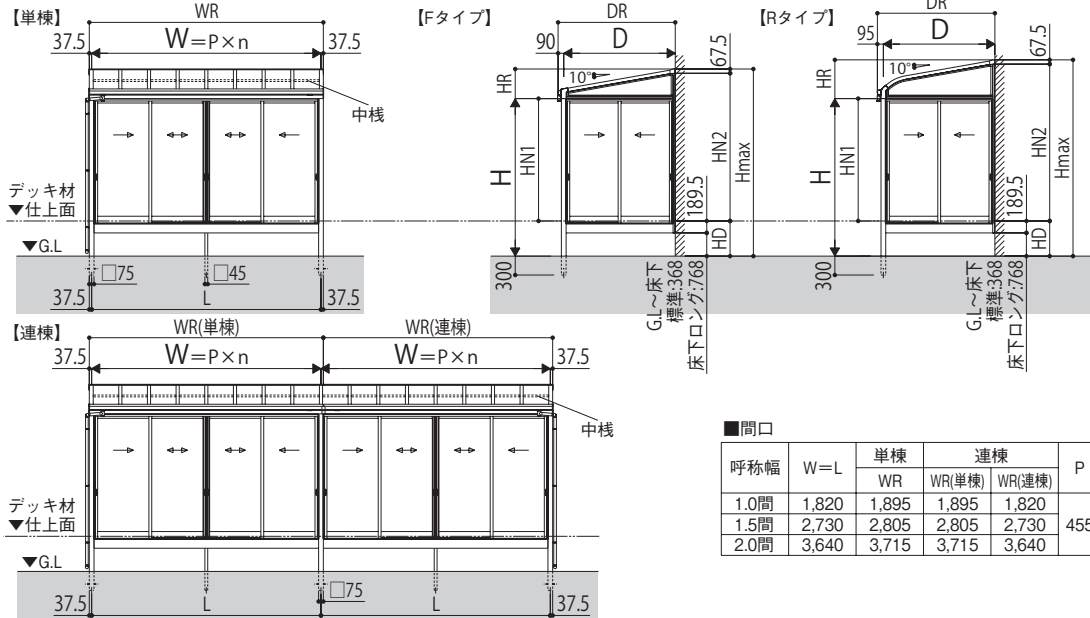
■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数						
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング									
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD		Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2
Fタイプ	9尺	2,670	2,760	628.2	2,500	557.5	3,128.2	2,900	957.5	3,528.2	1,942.5	2,503.2	2,700	557.5	3,328.2	3,100	957.5	3,728.2	2,142.5	2,703.2	3,013	557.5	3,641.2	3,413	957.5	4,041.2	2,455.5	3,016.2	2
Rタイプ	9尺	2,670	2,765	773.6	2,500	557.5	3,273.6	2,900	957.5	3,673.6	1,942.5	2,648.6	2,700	557.5	3,473.6	3,100	957.5	3,873.6	2,142.5	2,848.6	3,013	557.5	3,786.6	3,413	957.5	4,186.6	2,455.5	3,161.6	2

W:躯体柱芯々 D:出幅 H:G.L~前枠下端 HN2:デッキ材仕上面~垂木掛け下端
 L:柱の中心間距離 DR:屋根出幅 HR:前枠下端~垂木掛け上端 HD:G.L~デッキ材仕上面
 WR:屋根幅 Hmax:G.L~垂木掛け上端 ※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数
 P:垂木ピッチ HN1:デッキ材仕上面~前枠下端

根太掛けセット (基本仕様)

●根太掛けセット (基本仕様) (1500N/m² 3~6尺)



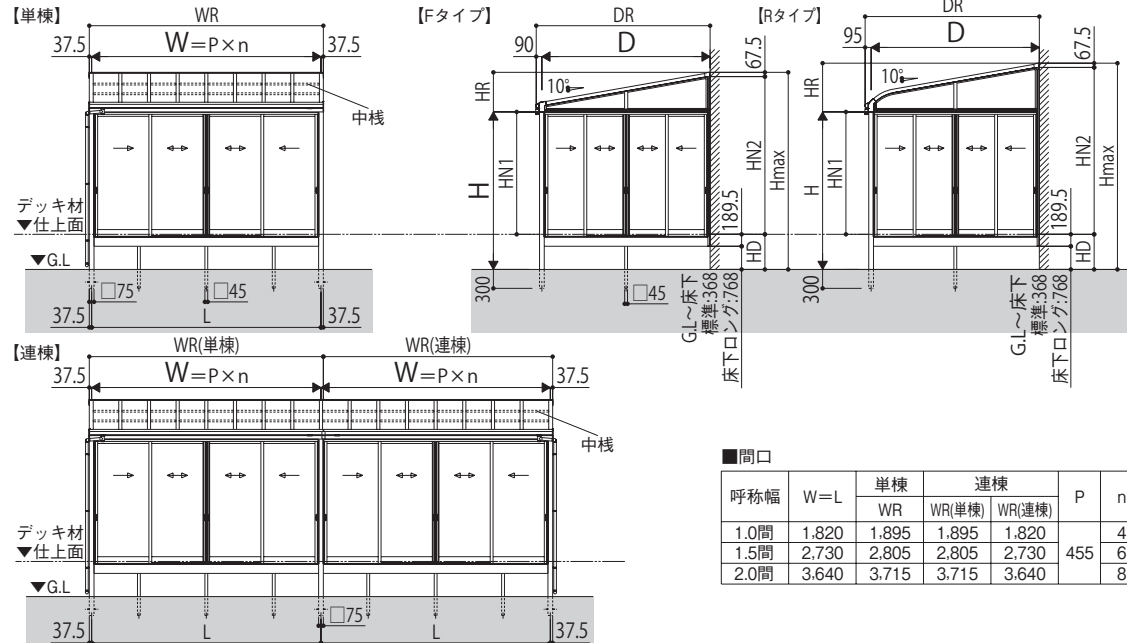
■間口

呼称幅	W=L	単棟		連棟		P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)			
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	455	4	
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730	455	6	
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640	455	8	

■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数			
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング						
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD		Hmax	H	HD
Fタイプ	3尺	870	960	310.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	2,810.8	0
	4尺	1,170	1,260	363.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	2,863.7	1
	5尺	1,470	1,560	416.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	2,916.6	1
Rタイプ	3尺	870	965	456.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	2,956.2	0
	4尺	1,170	1,265	509.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	3,009.1	1
	5尺	1,470	1,565	562.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	3,062.0	1
	6尺	1,770	1,865	614.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	3,114.9	0

●根太掛けセット (基本仕様) (1500N/m² 7~9尺)



■間口

呼称幅	W=L	単棟		連棟		P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)			
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	455	4	
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730	455	6	
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640	455	8	

■出幅・高さ

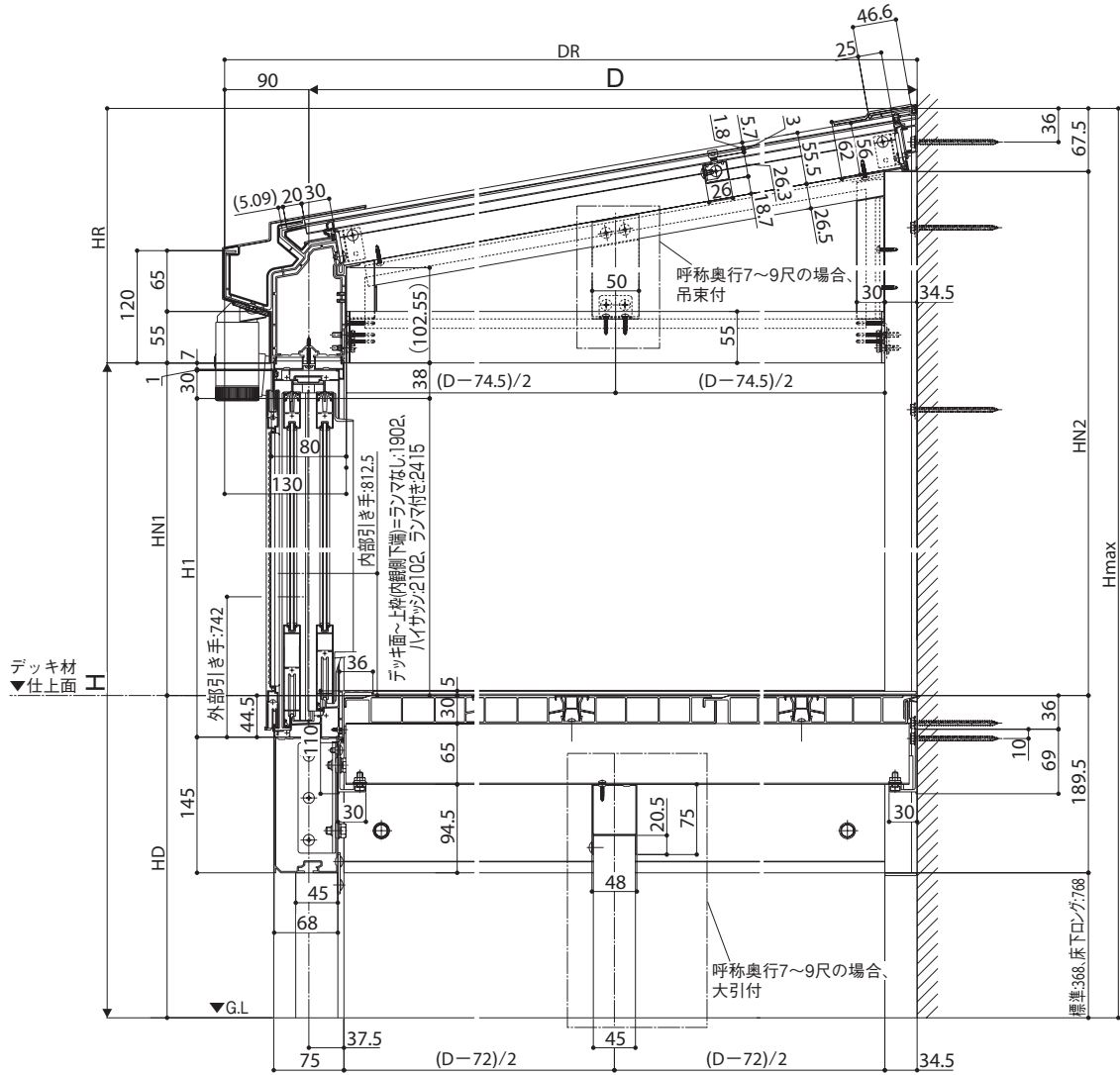
屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数			
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング						
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD		Hmax	H	HD
Fタイプ	7尺	2,070	2,160	522.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	3,022.4	2
	8尺	2,370	2,460	575.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	3,075.3	2
	9尺	2,670	2,760	628.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	3,128.2	2
Rタイプ	7尺	2,070	2,165	667.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	3,167.8	0
	8尺	2,370	2,465	720.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	3,220.7	2
	9尺	2,670	2,765	773.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	3,273.6	2

W:躯体柱芯々 L:柱の中心間距離
 D:出幅 DR:屋根出幅
 H:G.L~前枠下端 HR:前枠下端~垂木掛け上端
 Hmax:G.L~垂木掛け上端
 P:垂木ピッチ
 HN1:デッキ材仕上面~前枠下端
 HN2:デッキ材仕上面~垂木掛け下端
 HD:G.L~デッキ材仕上面
 ※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数

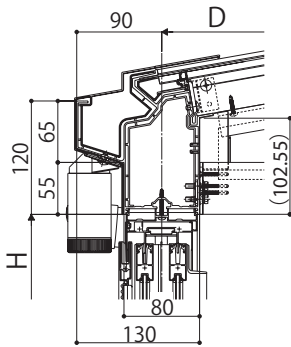
(単位: mm)

商品断面図

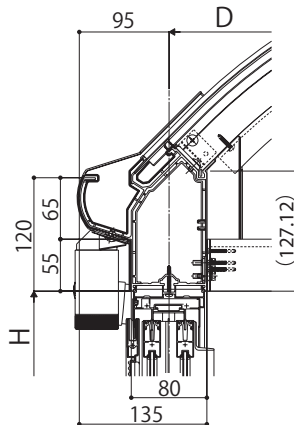
【側面図】



【Fタイプ】
[前枠FE]



【Rタイプ】
[前枠RC]



■前枠サイズ対応表

□ : 前枠FE、前枠RC

・600N/m²

呼称 出幅	呼称幅		
	1.0間	1.5間	2.0間
3尺	09		
4尺	12		
5尺	15		
6尺	18		
7尺	21		
8尺	24		
9尺	27		

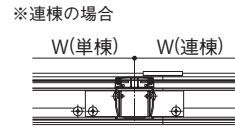
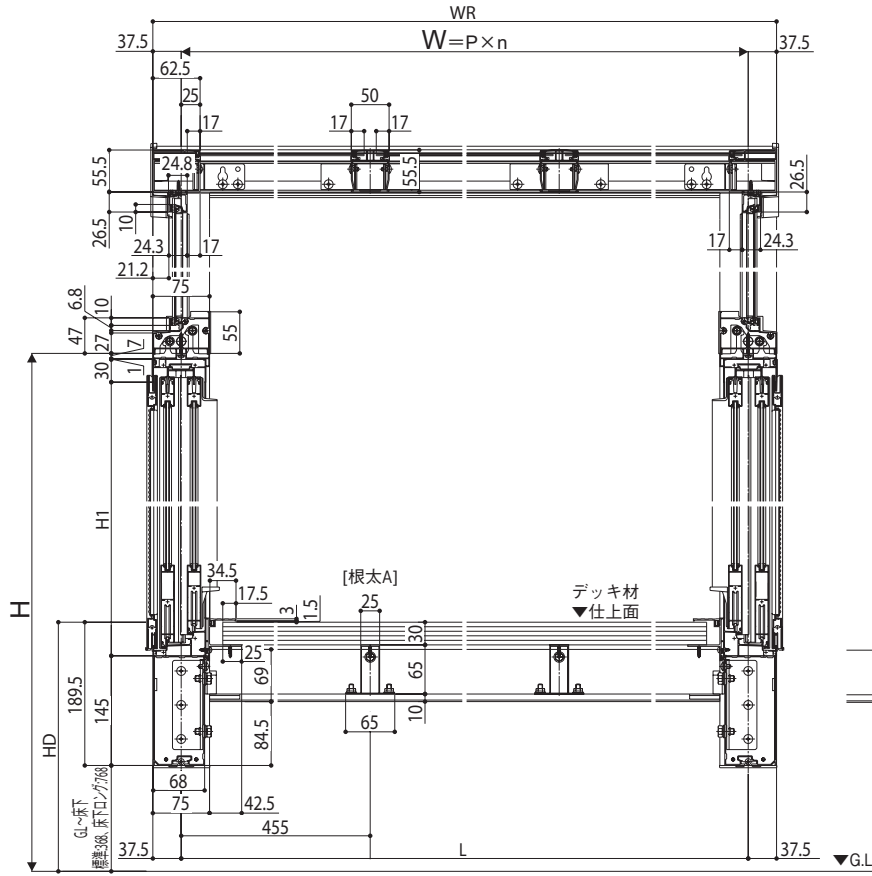
・1500N/m²

呼称 出幅	呼称幅		
	1.0間	1.5間	2.0間
3尺	09		
4尺	12		
5尺	15		
6尺	18		
7尺	21		
8尺	24		
9尺	27		

(単位 : mm)

根太掛けセット (基本仕様)

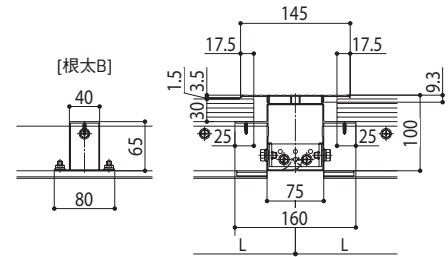
【正面図】 単棟・連棟



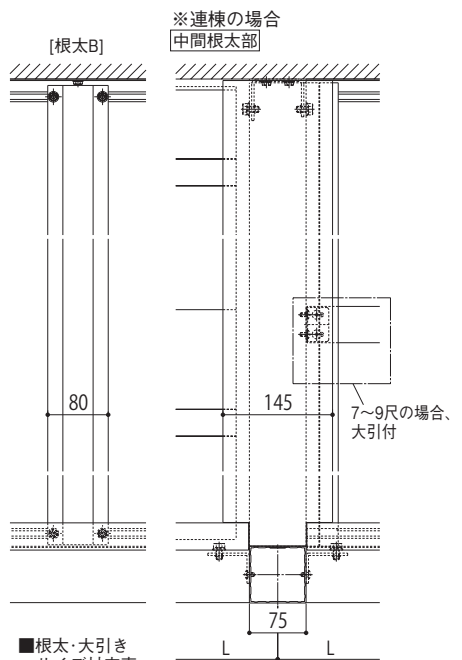
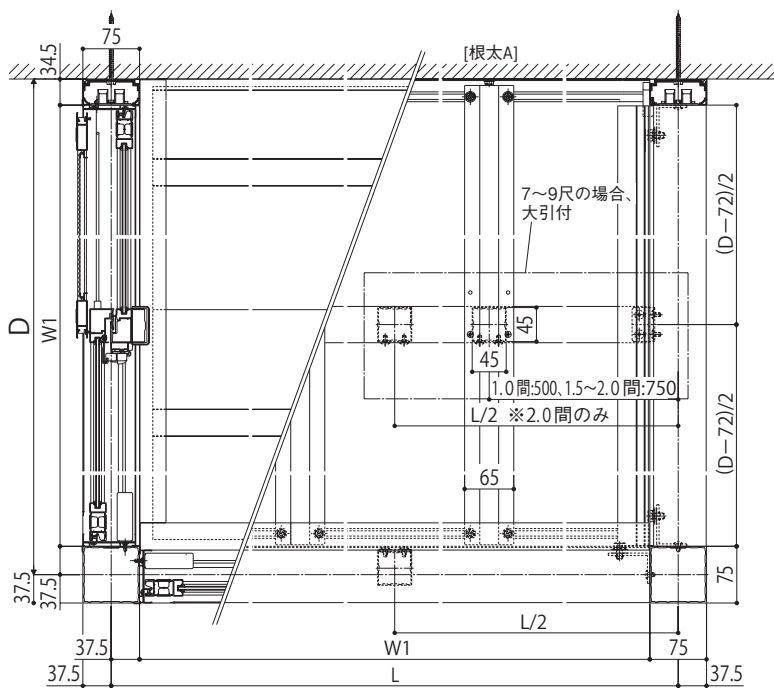
■根太サイズ対応表

☒:根太A
☒:根太B

呼称 出幅	根太
3尺	☒
4尺	☒
5尺	☒
6尺	☒
7尺	☒
8尺	☒
9尺	☒



【平面図】 単棟・連棟



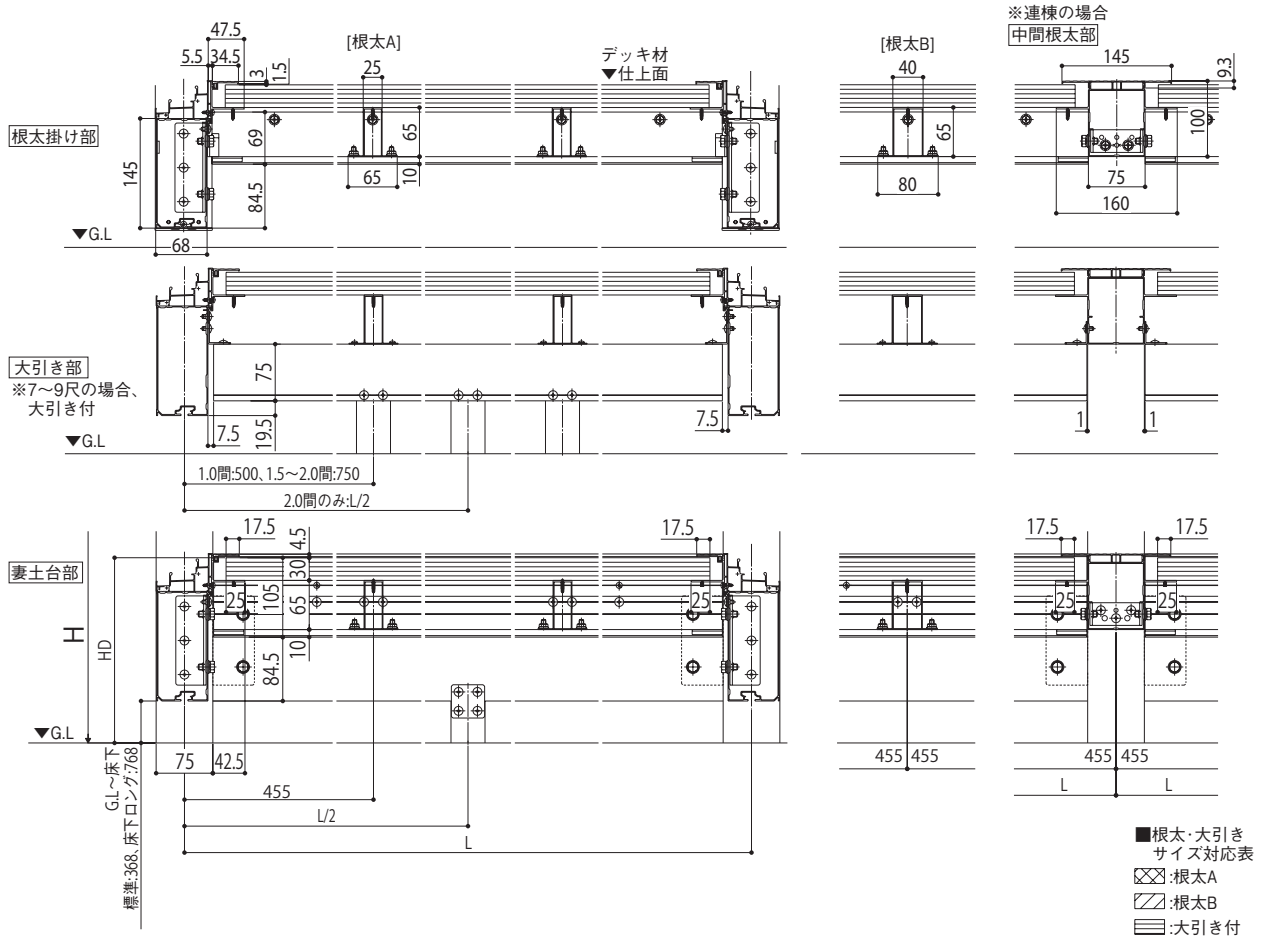
■根太・大引き
サイズ対応表

呼称 出幅	根太	大引き
3尺	☒	☒
4尺	☒	☒
5尺	☒	☒
6尺	☒	☒
7尺	☒	☒
8尺	☒	☒
9尺	☒	☒

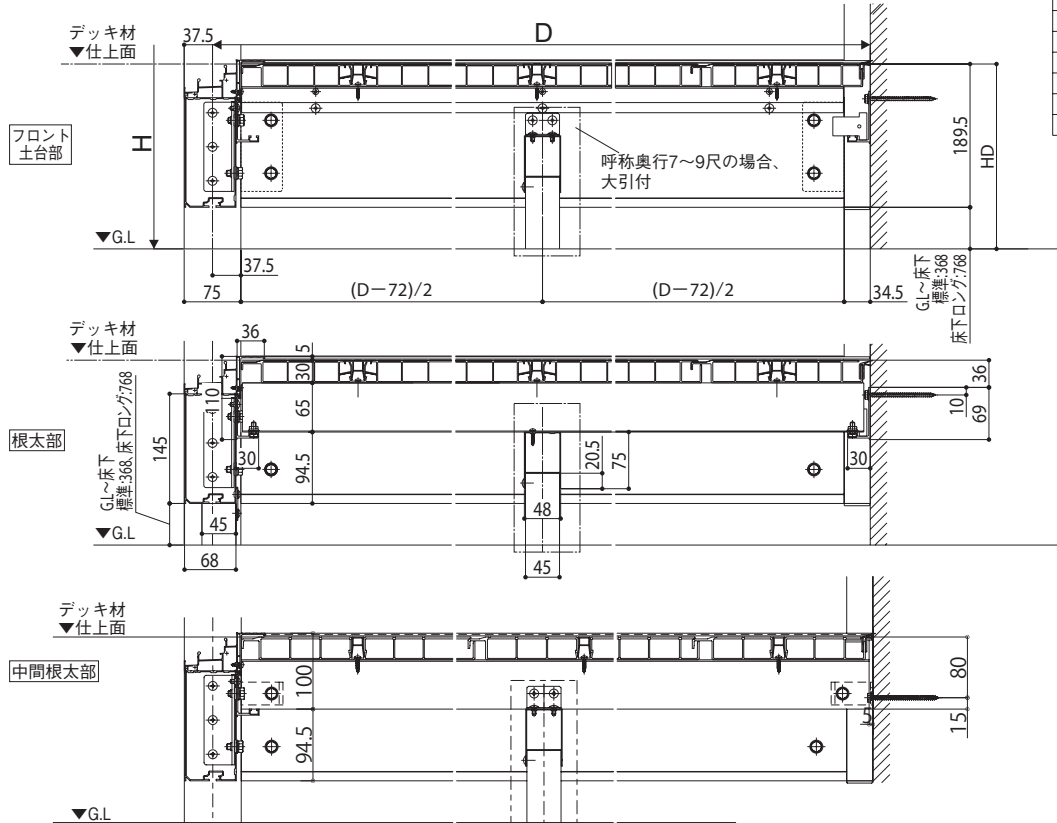
☒:根太A
☒:根太B
☒:大引き付

(単位: mm)

【正面図】床部



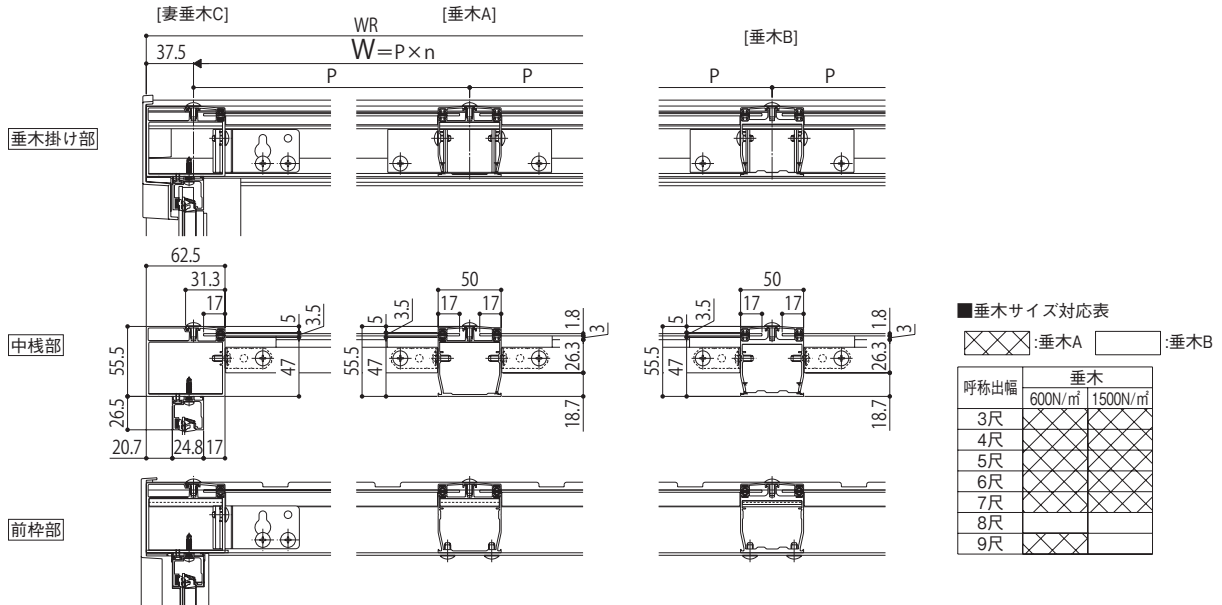
【側面図】床部



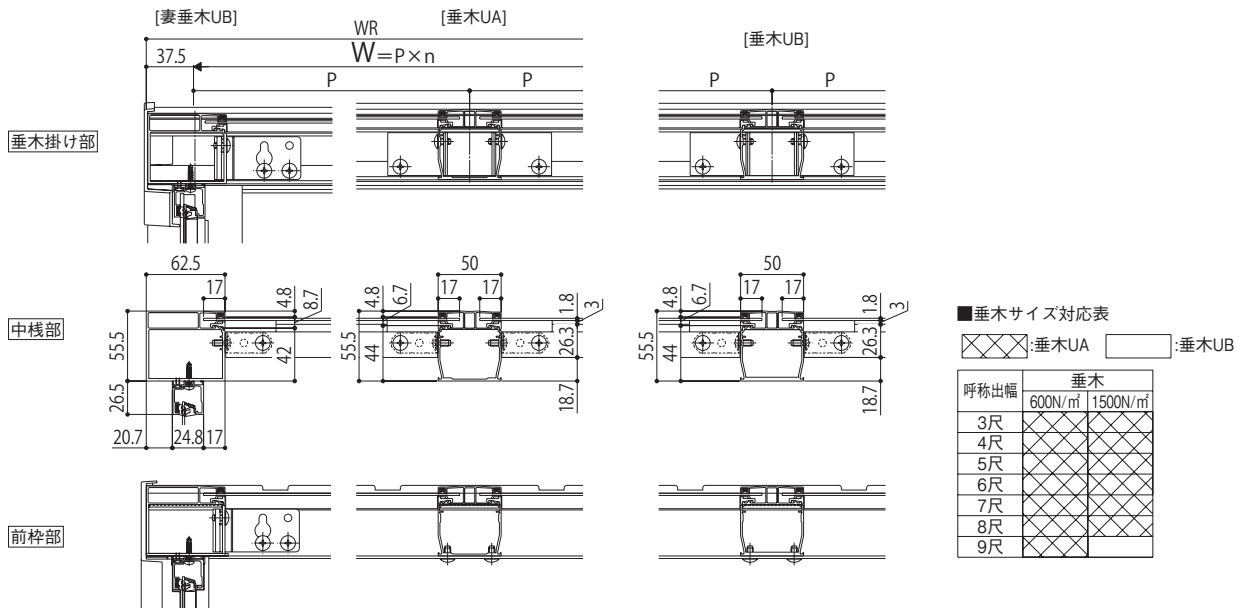
(単位: mm)

《屋根部》

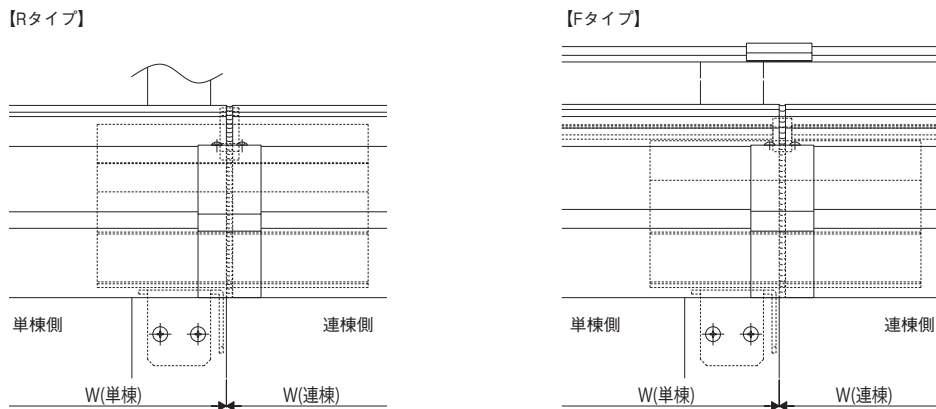
【正面図】 上から施工



【正面図】 下から施工



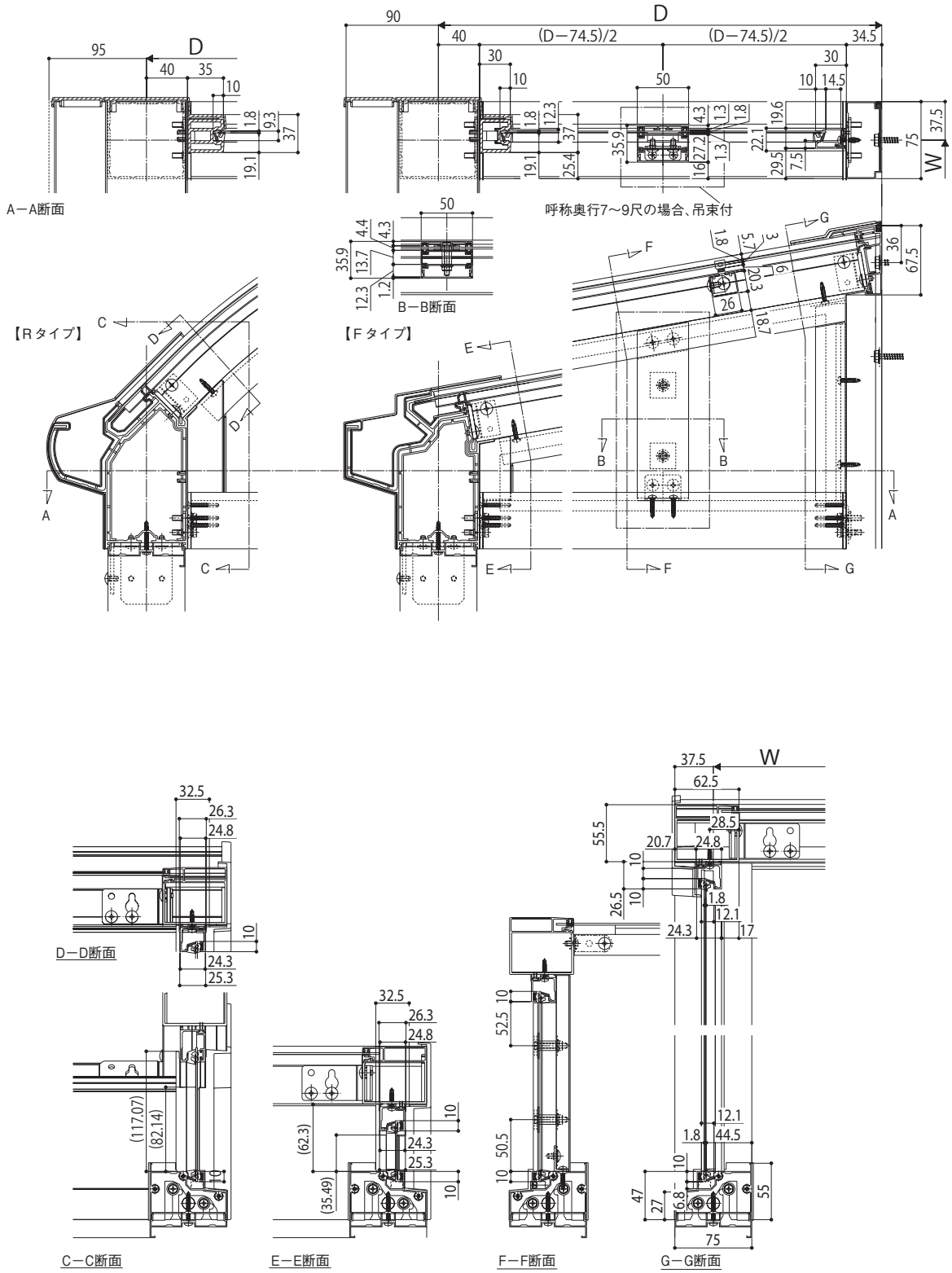
【正面図】 前柵連棟部詳細(Rタイプ・Fタイプ)



(単位: mm)

《妻FIX部》

【断面図】



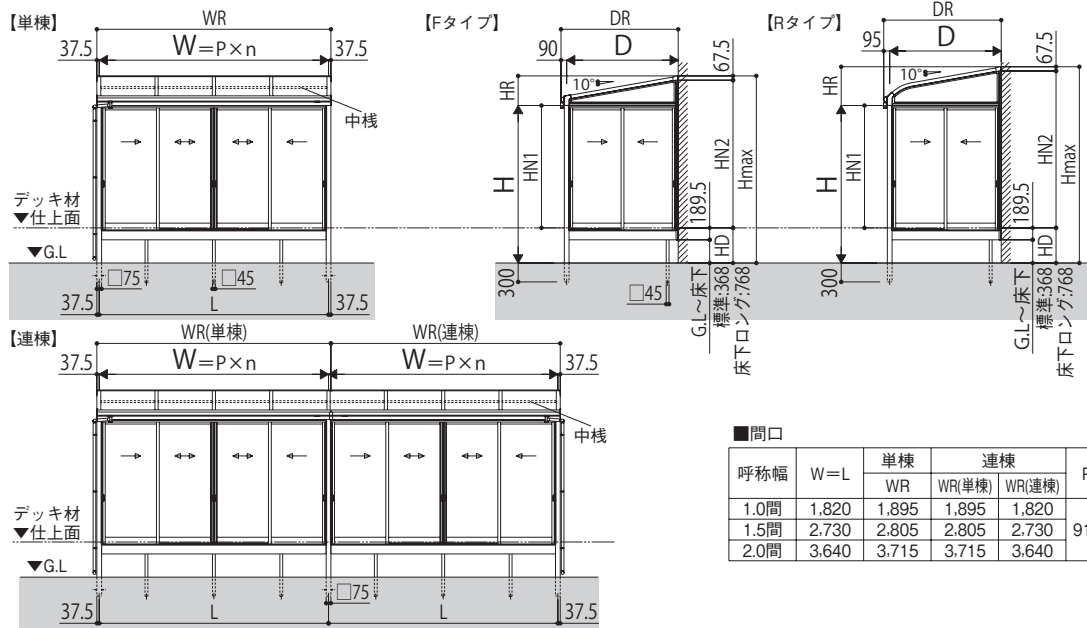
姿図・商品断面図

(単位 : mm)

大引きセット (オプション仕様)

姿図

●大引きセット (オプション仕様) (600N/㎡ 3~6尺)



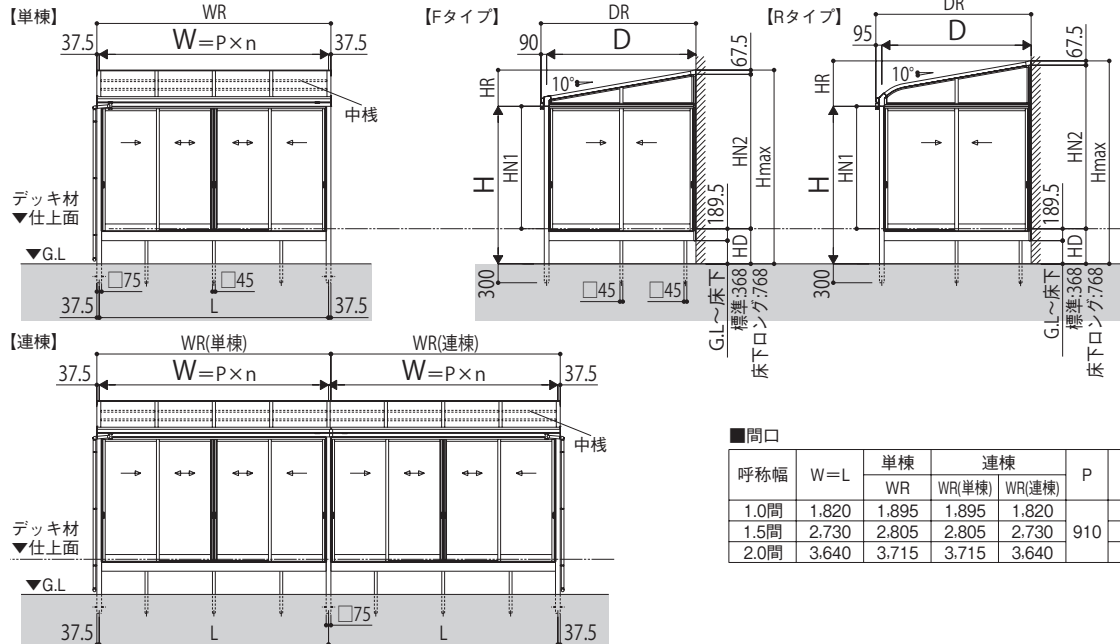
■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	910	2
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		3
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		4

■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング			
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	
Fタイプ	3尺	870	960	310.8	2,810.8			2,238.7			3,010.8			3,410.8	2,385.8	3,323.8	3,723.8	2,698.8	0				
	4尺	1,170	1,260	363.7	2,863.7			2,238.7			3,063.7			3,463.7	2,438.7	3,376.7	3,776.7	2,751.7	1				
	5尺	1,470	1,560	416.6	2,916.6	2,900	957.5	3,166.6	2,291.6	2,700	557.5	3,116.6	3,100	957.5	3,516.6	2,491.6	3,429.6	3,829.6		2,804.6			
	6尺	1,770	1,860	469.5	2,969.5	2,900	957.5	3,369.5	2,344.5	2,700	557.5	3,169.5	3,100	957.5	3,569.5	2,544.5	3,482.5	3,882.5	2,857.5				
Rタイプ	3尺	870	965	456.2	2,956.2			3,356.2			3,156.2			3,556.2	2,531.2	3,469.2	3,869.2	2,844.2	0				
	4尺	1,170	1,265	509.1	3,009.1			3,409.1			3,209.1			3,609.1	2,584.1	3,521.1	3,921.1	2,897.1	1				
	5尺	1,470	1,565	562.0	3,062.0	2,900	957.5	3,462.0	2,437.0	2,700	557.5	3,262.0	3,100	957.5	3,662.0	2,637.0	3,575.0	3,975.0		2,950.0			
	6尺	1,770	1,865	614.9	3,114.9	2,900	957.5	3,514.9	2,489.9	2,700	557.5	3,314.9	3,100	957.5	3,714.9	2,689.9	3,627.9	4,027.9	3,002.9				

●大引きセット (オプション仕様) (600N/㎡ 7~8尺)



■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	910	2
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		3
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		4

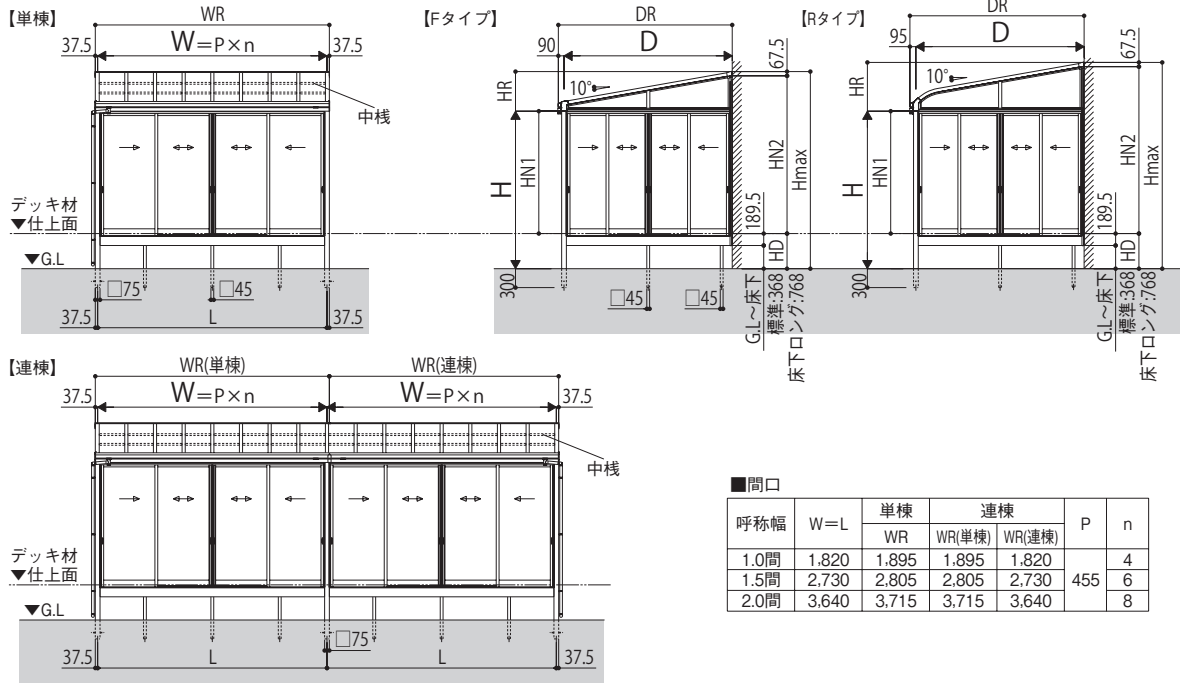
■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング			
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	
Fタイプ	7尺	2,070	2,160	522.4	3,022.4			3,422.4			3,222.4			3,622.4	2,142.5	2,597.4	3,535.4	3,935.4	2,910.4	2			
	8尺	2,370	2,460	575.3	3,075.3	2,900	957.5	3,475.3	2,450.3	2,700	557.5	3,275.3	3,100	957.5	3,675.3	2,650.3	3,588.3	3,988.3	2,963.3				
Rタイプ	7尺	2,070	2,165	667.8	3,167.8			3,567.8			3,367.8			3,767.8	2,742.8	3,680.8	4,080.8	3,055.8	2				
	8尺	2,370	2,465	720.7	3,220.7	2,900	957.5	3,620.7	2,595.7	2,700	557.5	3,420.7	3,100	957.5	3,820.7	2,795.7	3,733.7	4,133.7		3,108.7			

W:躯体柱芯々 L:柱の中心間距離 WR:屋根幅 P:垂木ピッチ
 D:出幅 HR:前枠下端~垂木掛け上端 Hmax:G.L~垂木掛け上端 HN1:デッキ材仕上~前枠下端
 DR:屋根出幅 HN2:デッキ材仕上~垂木掛け上端 HD:G.L~デッキ材仕上
 ※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数

(単位: mm)

●大引きセット (オプション仕様) (600N/㎡ 9尺)



■間口

呼称幅	W=L	単棟		連棟		P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)	WR(連棟)		
1.0間	1.820	1.895	1.895	1.820	455	4	
1.5間	2.730	2.805	2.805	2.730	455	6	
2.0間	3.640	3.715	3.715	3.640	455	8	

■出幅・高さ

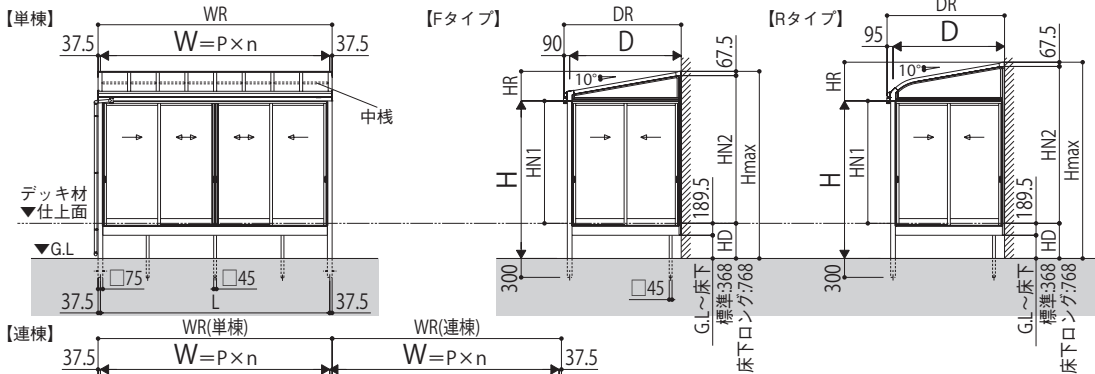
屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数						
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング									
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD	Hmax	HN1	HN2	H	HD	Hmax	HN1	HN2							
Fタイプ	9尺	2.670	2.760	628.2	2.500	557.5	3.128.2	2.900	957.5	3.528.2	1.942.5	2.503.2	2.700	557.5	3.328.2	3.100	957.5	3.728.2	2.142.5	2.703.2	3.013	557.5	3.641.2	3.413	957.5	4.041.2	2.455.5	3.016.2	2
Rタイプ	9尺	2.670	2.765	773.6	2.500	557.5	3.273.6	2.900	957.5	3.673.6	1.942.5	2.648.6	2.700	557.5	3.473.6	3.100	957.5	3.873.6	2.142.5	2.848.6	3.013	557.5	3.786.6	3.413	957.5	4.186.6	2.455.5	3.161.6	2

W:躯体柱芯々 D:出幅 H:G.L~前枠下端 HN2:デッキ材仕上面~垂木掛け下端
 L:柱の中心間距離 DR:屋根出幅 HR:前枠下端~垂木掛け上端 HD:G.L~デッキ材仕上面
 WR:屋根幅 Hmax:G.L~垂木掛け上端 ※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数
 P:垂木ピッチ HN1:デッキ材仕上面~前枠下端

(単位: mm)

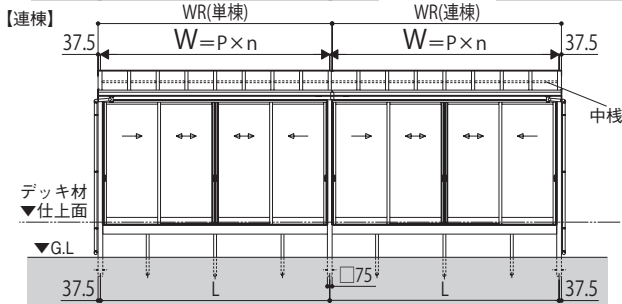
大引きセット (オプション仕様)

●大引きセット (オプション仕様) (1500N/m² 3~6尺)



■間口

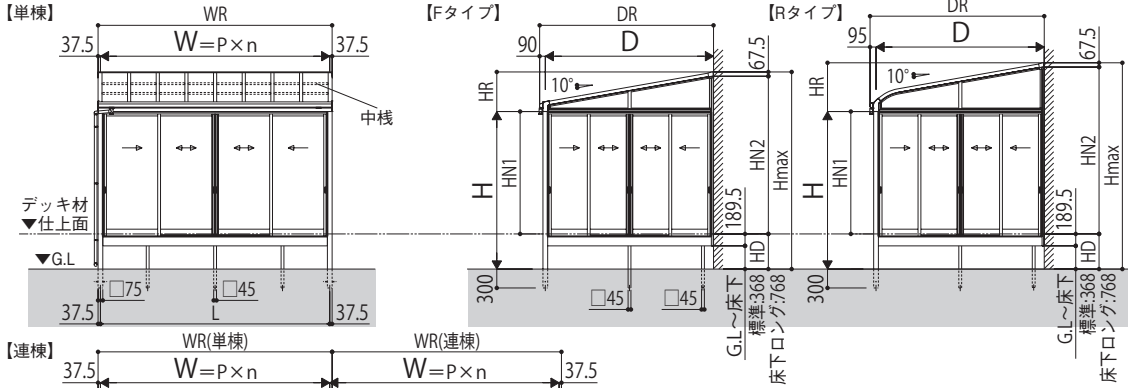
呼称幅	W=L	連棟			P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1.820	1.895	1.895	1.820	455	4
1.5間	2.730	2.805	2.805	2.730		6
2.0間	3.640	3.715	3.715	3.640		8



■出幅・高さ

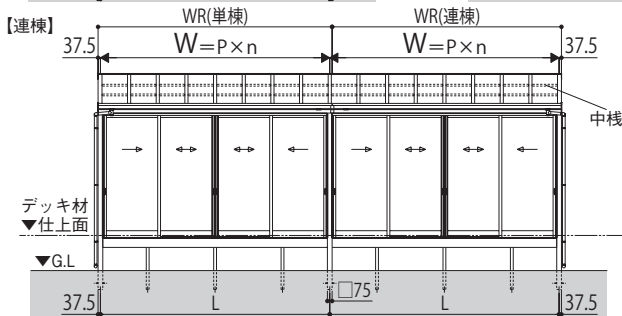
屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング			
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	
Fタイプ	3尺	870	960	310.8	2.810.8	3.210.8	2.185.8	3.010.8	3.410.8	2.385.8	3.323.8	3.723.8	2.698.8	0									
	4尺	1,170	1,260	363.7	2,863.7	3,263.7	2,238.7	3,063.7	3,463.7	2,438.7	3,376.7	3,776.7	2,751.7	1									
	5尺	1,470	1,560	416.6	2,916.6	3,316.6	2,291.6	3,116.6	3,516.6	2,491.6	3,429.6	3,829.6	2,804.6										
Rタイプ	3尺	870	965	456.2	2,969.5	3,369.5	2,344.5	3,169.5	3,569.5	2,544.5	3,482.5	3,882.5	2,857.5	0									
	4尺	1,170	1,265	509.1	3,009.1	3,409.1	2,384.1	3,209.1	3,609.1	2,584.1	3,522.1	3,922.1	2,897.1										
	5尺	1,470	1,565	562.0	3,062.0	3,462.0	2,437.0	3,262.0	3,662.0	2,637.0	3,575.0	3,975.0	2,950.0	1									
	6尺	1,770	1,865	614.9	3,114.9	3,514.9	2,489.9	3,314.9	3,714.9	2,689.9	3,627.9	4,027.9	3,002.9										

●大引きセット (オプション仕様) (1500N/m² 7~9尺)



■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		WR	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1.820	1.895	1.895	1.820	455	4
1.5間	2.730	2.805	2.805	2.730		6
2.0間	3.640	3.715	3.715	3.640		8



■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし						ハイサッシ						ランマ付き						中棧本数
					標準			床下ロング			標準			床下ロング			標準			床下ロング			
					H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	H	HD	Hmax	
Fタイプ	7尺	2,070	2,160	522.4	3,022.4	3,422.4	2,397.4	3,222.4	3,622.4	2,597.4	3,535.4	3,935.4	2,910.4	2									
	8尺	2,370	2,460	575.3	3,075.3	3,475.3	2,450.3	3,275.3	3,675.3	2,650.3	3,588.3	3,988.3	2,963.3										
	9尺	2,670	2,760	628.2	3,128.2	3,528.2	2,503.2	3,328.2	3,728.2	2,703.2	3,641.2	4,041.2	3,016.2										
Rタイプ	7尺	2,070	2,165	667.8	3,167.8	3,567.8	2,542.8	3,367.8	3,767.8	2,742.8	3,680.8	4,080.8	3,055.8	0									
	8尺	2,370	2,465	720.7	3,220.7	3,620.7	2,595.7	3,420.7	3,820.7	2,795.7	3,737.7	4,137.7	3,108.7										
	9尺	2,670	2,765	773.6	3,273.6	3,673.6	2,648.6	3,473.6	3,873.6	2,848.6	3,786.6	4,186.6	3,161.6	2									

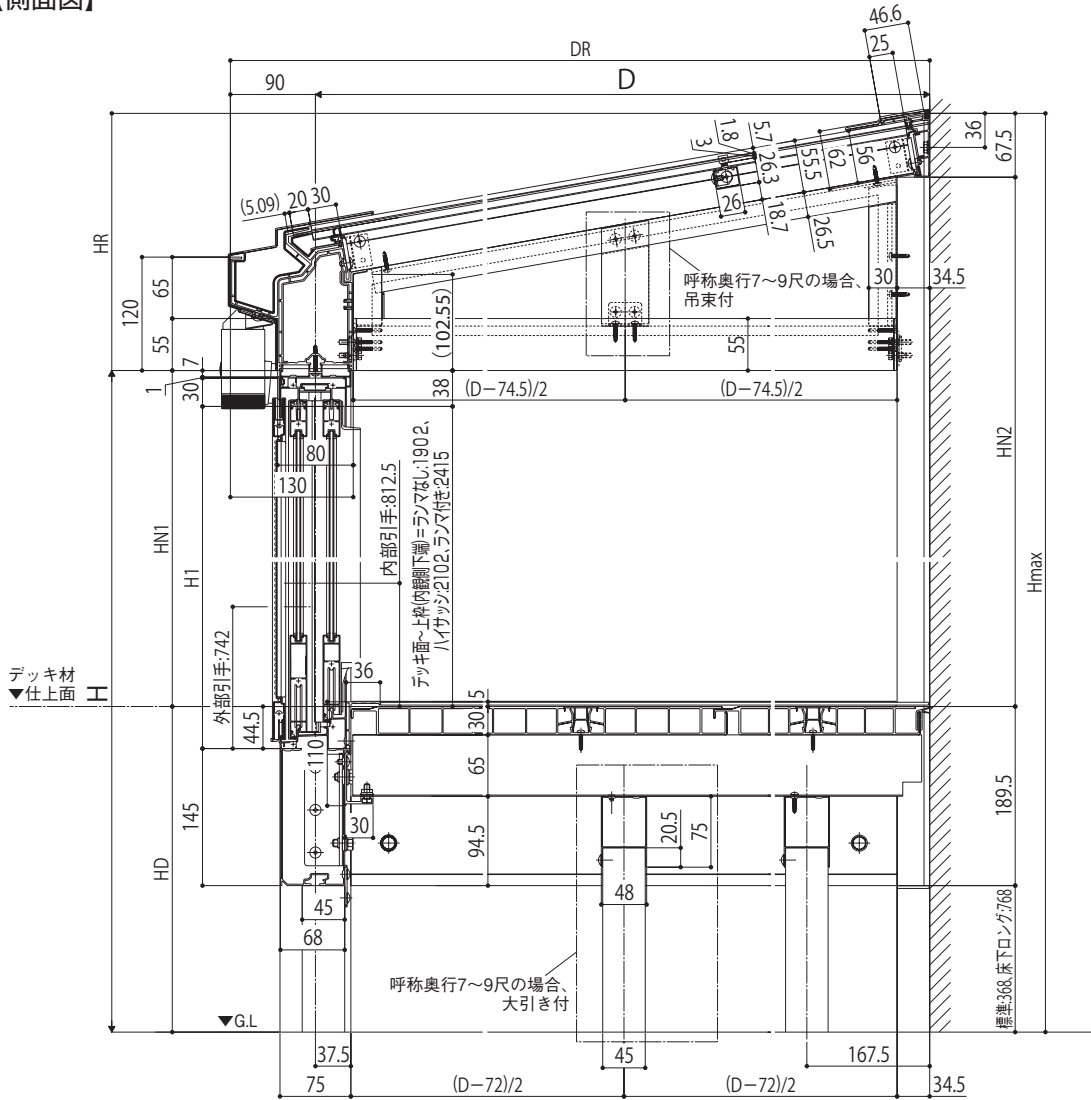
W: 躯体柱芯々 L: 柱の中心間距離
 WR: 屋根幅 P: 垂木ピッチ
 D: 出幅 DR: 屋根出幅
 H: G.L.~前枠下端 HR: 前枠下端~垂木掛け上端
 HD: G.L.~デッキ材仕上面
 HN2: デッキ材仕上面~垂木掛け下端
 Hmax: G.L.~垂木掛け上端
 ※中棧本数: 垂木1ピッチ当りの本数

姿図・商品断面図

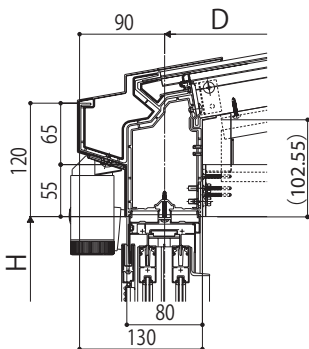
(単位: mm)

商品断面図

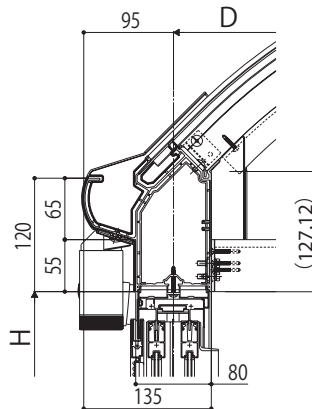
【側面図】



【Fタイプ】
[前枠FE]



【Rタイプ】
[前枠RC]



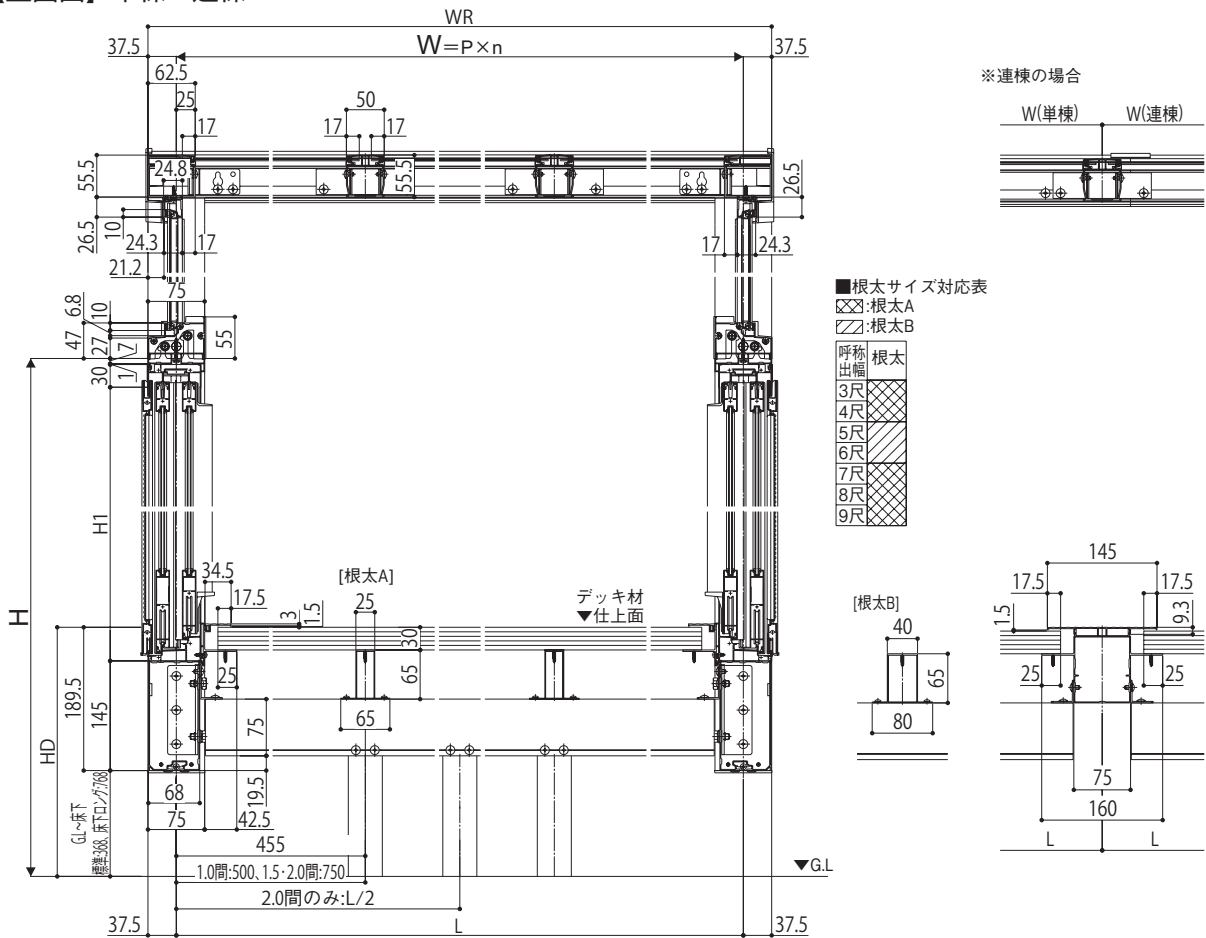
■前枠サイズ対応表

□ : 前枠FE、前枠RC

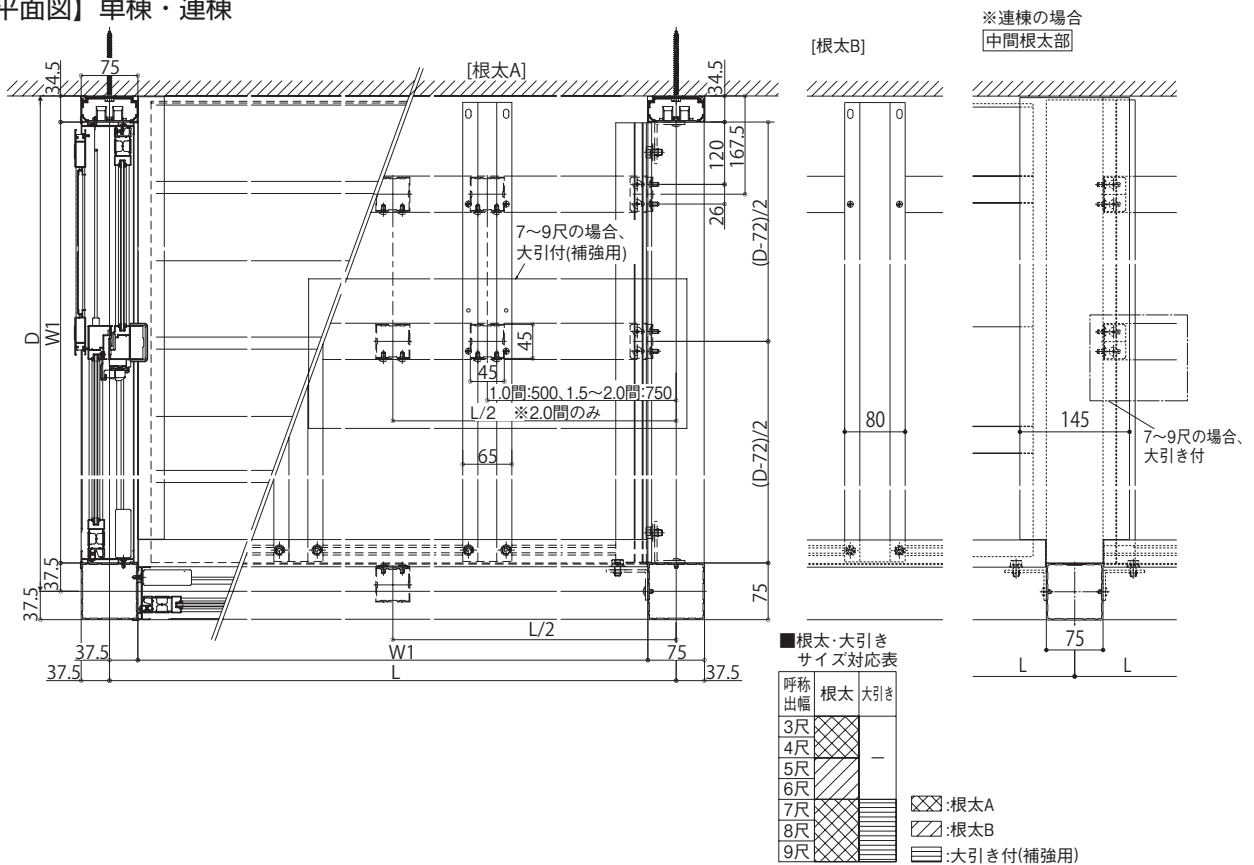
・600N/m ²				・1500N/m ²				
呼称 出幅	呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間	呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
3尺	09	18	27	36	3尺	09		
4尺	12				4尺	12		
5尺	15				5尺	15		
6尺	18				6尺	18		
7尺	21				7尺	21		
8尺	24				8尺	24		
9尺	27				9尺	27		

(単位 : mm)

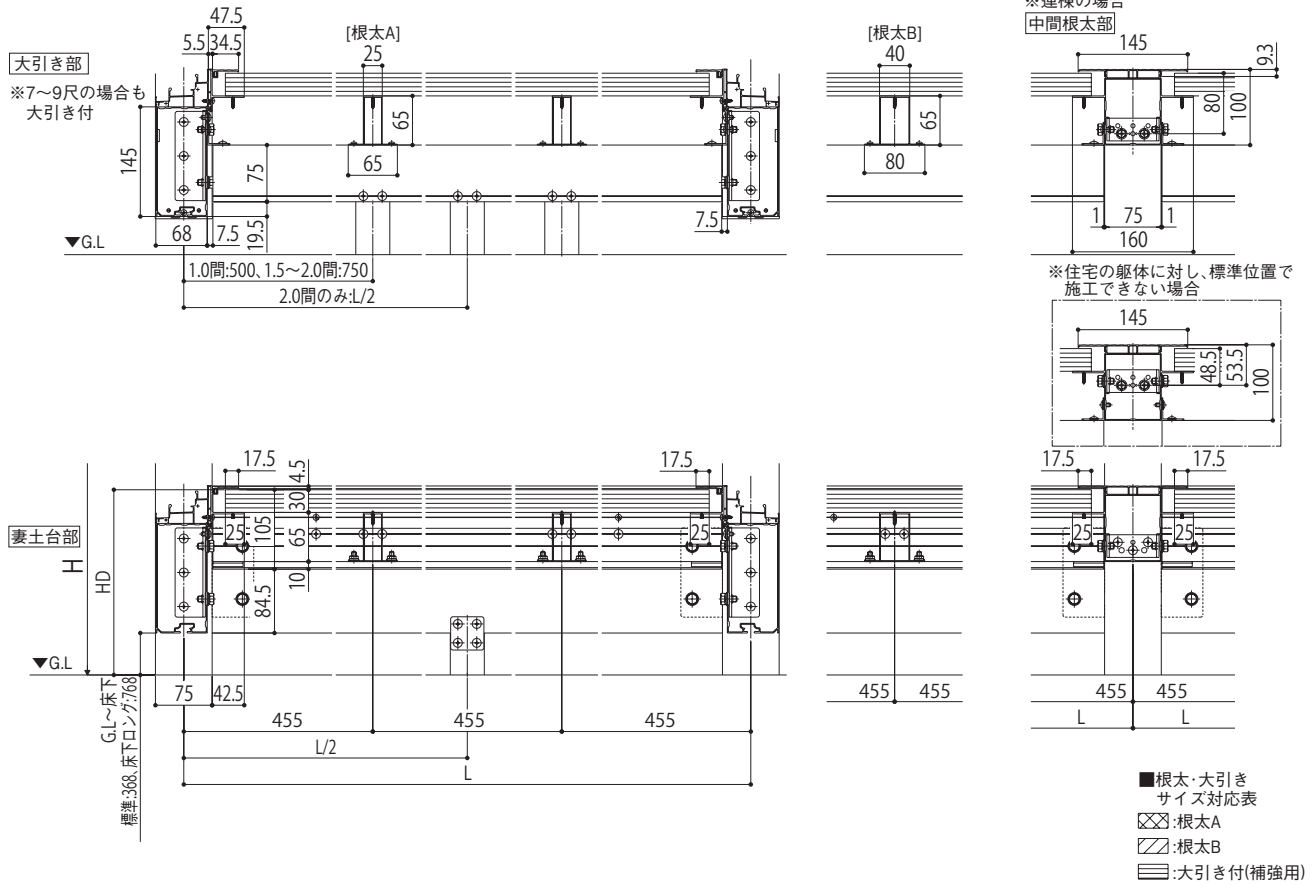
【正面図】 単棟・連棟



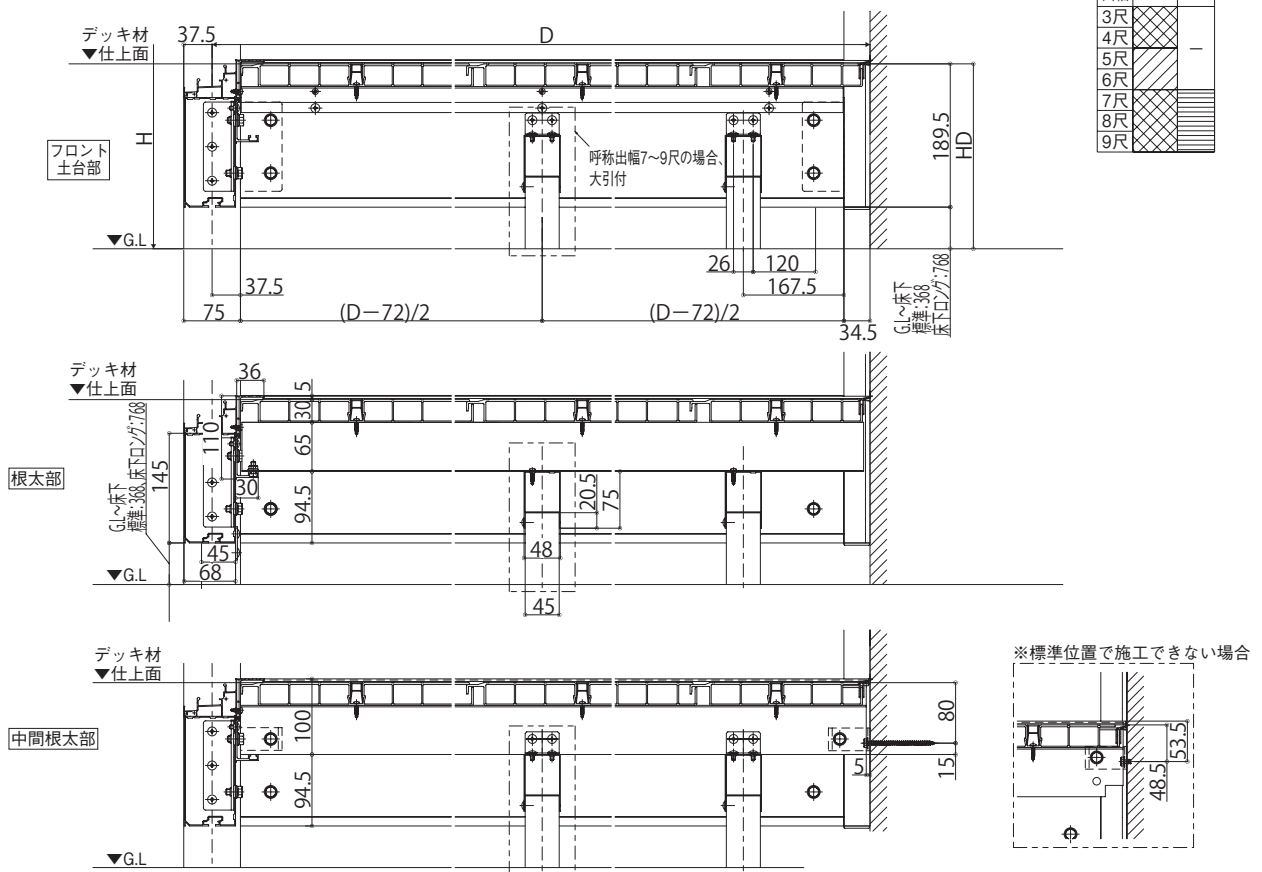
【平面図】 単棟・連棟



【正面図】床部



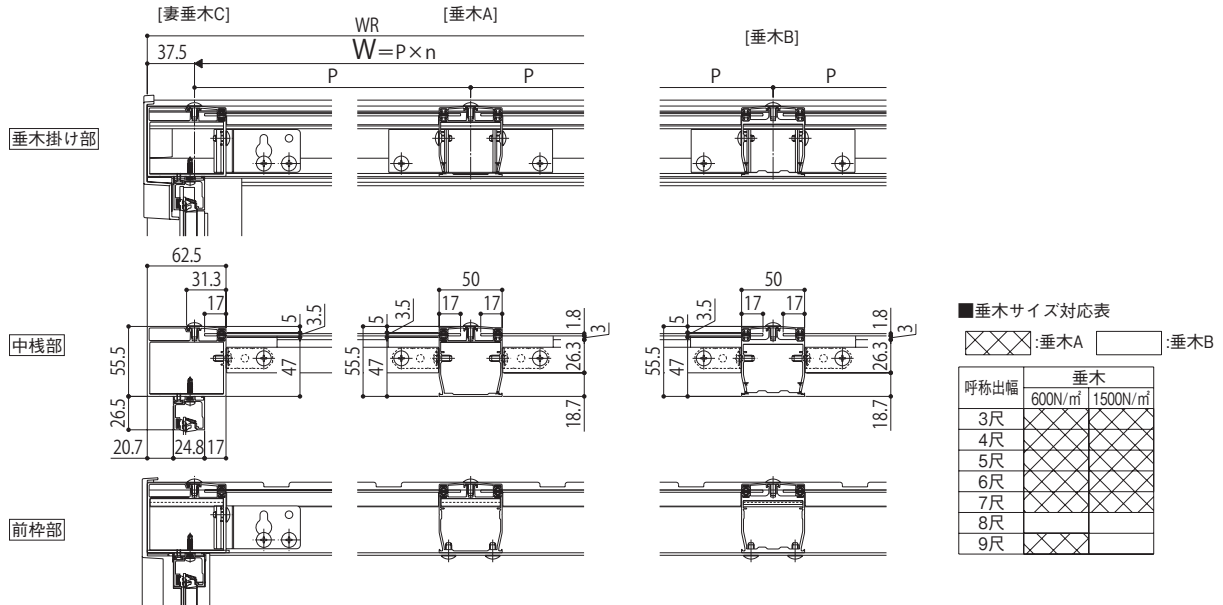
【側面図】床部



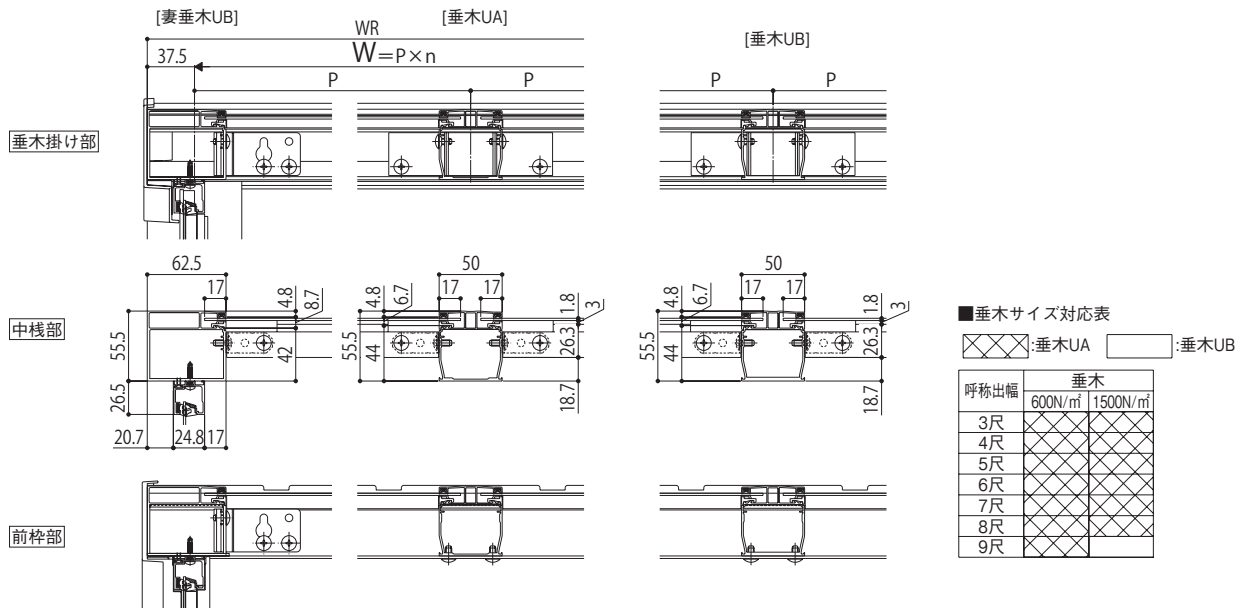
(単位: mm)

《屋根部》

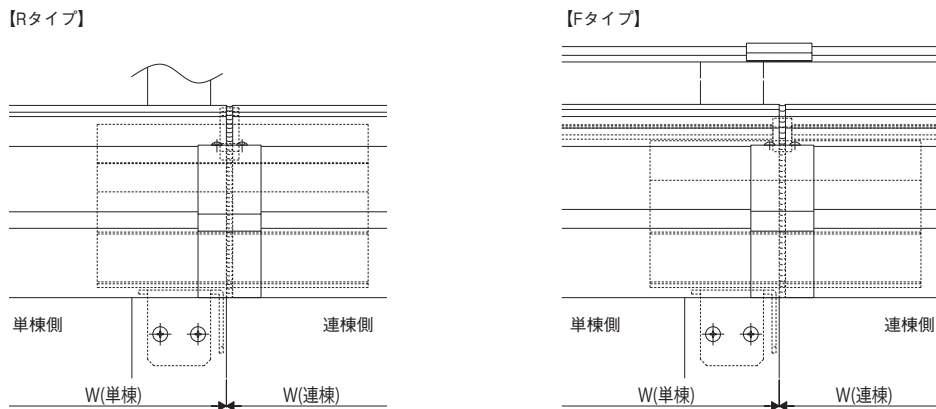
【正面図】 上から施工



【正面図】 下から施工



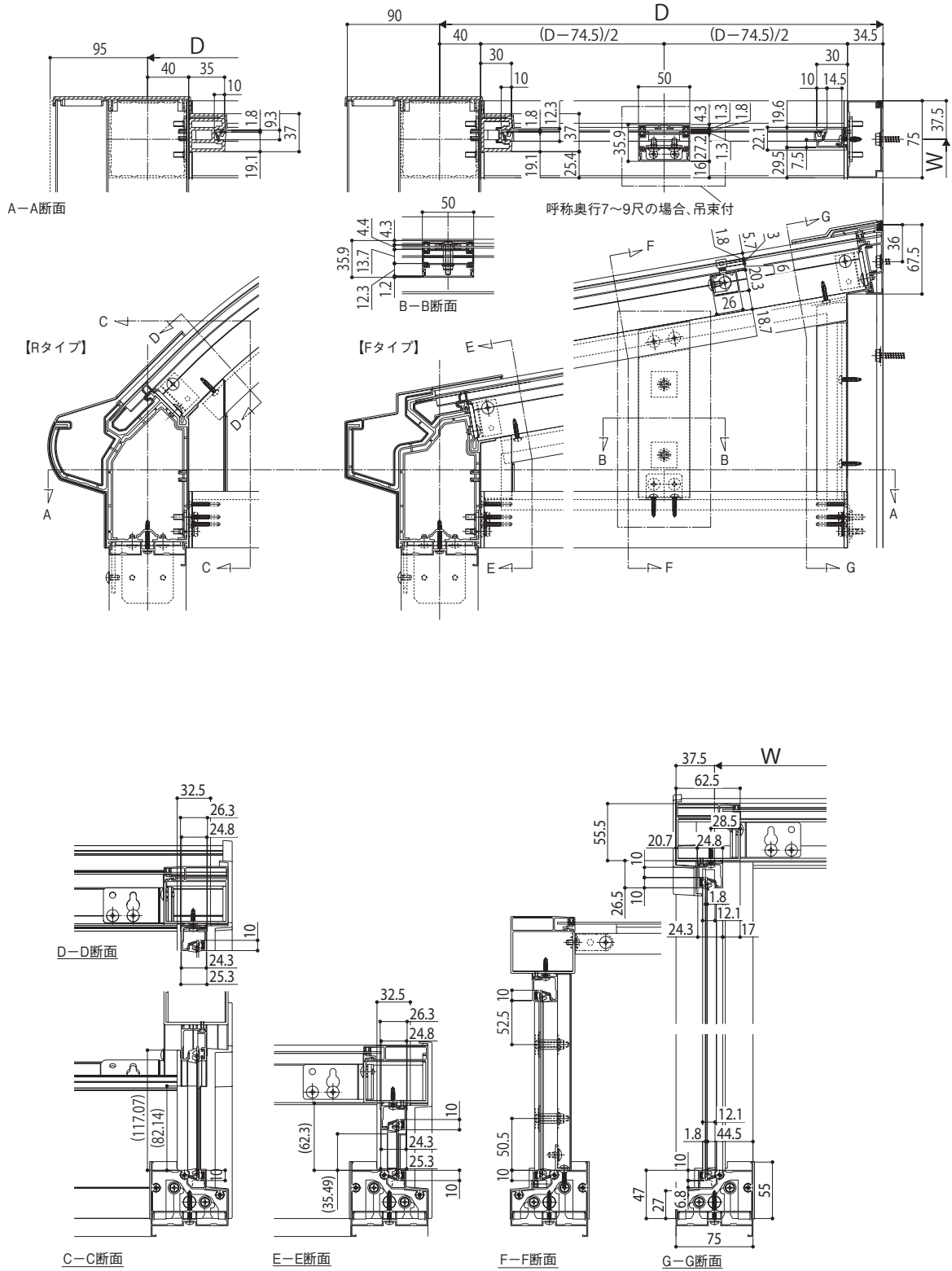
【正面図】 前枠連棟部詳細(Rタイプ・Fタイプ)



(単位: mm)

《妻FIX部》

【断面図】



(単位: mm)

開口部

姿図

《正面》

【姿図一覧】 ランマなし・ハイサッシ

呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
中 棧 なし			
掃 出 し サ ッシ (床			
中 棧 付 き			
高 密			

●ランマなし

高さ	掃出しサッシ(床)	高密
H1	1,949	—
H2	—	977
H3	—	802

●ハイサッシ

高さ	掃出しサッシ(床)	高密
H1	2,149	—
H2	—	1,177
H3	—	802

幅	1.0間	1.5間	2.0間
W1	1,745	2,655	3,565

※本図は全て外觀姿図を表す。

【姿図一覧】ランマ付き

呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
掃出しサッシ(床)	ランマ フォー X 		
	ランマ フォー 通 		
	ランマ フォー X 		
	ランマ フォー 通 		
高さ	ランマ フォー X 		
	ランマ フォー 通 		

高さ	掃出しサッシ(床)	高窓
H1	1,949	—
H2	—	977
H3	—	802
H4	413	413

幅	1.0間	1.5間	2.0間
W1	1,745	2,655	3,565

※本図は全て外観姿図を表す。

《側面》

【姿図一覧】ランマなし・ハイサッシ

呼称出幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
掃出しサッシ(床)	中棧なし						
	中棧付き						
高密							
壁FIX					Diagonal lines indicating no diagram for these configurations.		
ドア(壁FIX) ※1	外観左用 						
	外観右用 						

●ランマなし

高さ	掃出しサッシ(床)	高密	壁FIX	ドア
H1	1,949	—	1,949	1,959
H2	—	977	—	—
H3	—	802	—	—

●ハイサッシ

高さ	掃出しサッシ(床)	高密	壁FIX
H1	2,149	—	2,149
H2	—	1,177	—
H3	—	802	—

幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
W1	798	1,098	1,398	1,698	1,998	2,298	2,598
W2	798						
W3	—	262.5	562.5	862.5	—	—	—

※本図は全て外観姿図を表す。
※1 ハイサッシには設定は無し。

【姿図一覧】ランマ付き

呼称出幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
掃出しサッシ(床)	中棧なし						
	中棧付き						
高窓							
壁FIX							
ドア(壁FIX)	外観左用						
	外観右用						

高さ	掃出しサッシ(床)	高窓	壁FIX	ドア	幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
H1	1,949	—	2,462	1,959	W1	798	1,098	1,398	1,698	1,998	2,298	2,598
H2	—	977	—	—	W2	—	798	—	—	—	—	—
H3	—	802	—	—	W3	—	262.5	562.5	862.5	—	—	—
H4	413	413	—	413								

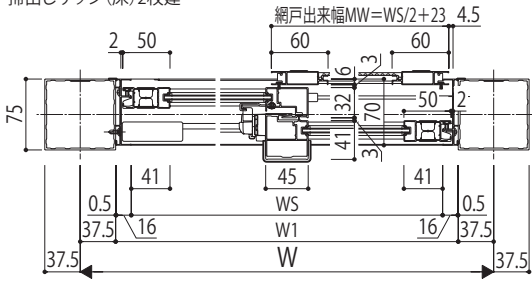
※本図は全て外観姿図を表す。

商品断面図

《掃出しサッシ (床) (正面)》

【平面図】

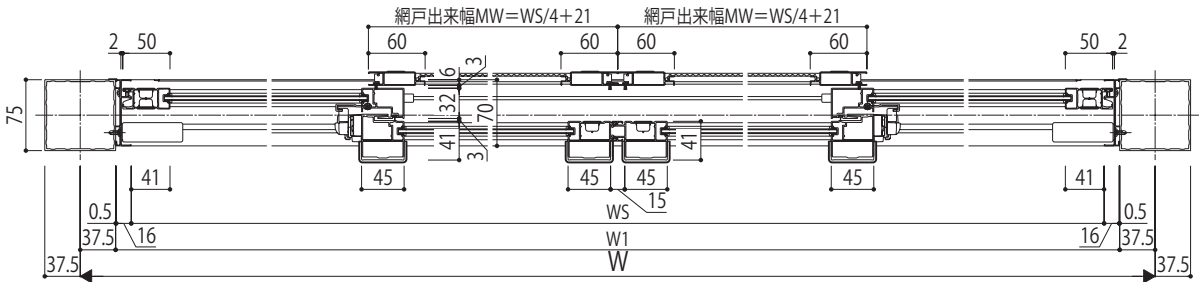
正面:1.0間
掃出しサッシ(床)2枚建



■正面ユニット

呼称間口	W1	WS
1.0間	1,745	1,712
1.5間	2,655	2,622
2.0間	3,565	3,532

正面:1.5~2.0間
掃出しサッシ(床)4枚建



【戸先框(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし	ハイサッシ
正面	1.0~2.0間	1.0~2.0間
側面	5~9尺	5~9尺
型材		

【左突合せ框(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし	ハイサッシ
型材		

【右突合せ框(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

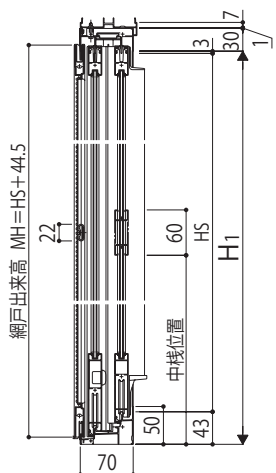
開口タイプ	ランマなし	ハイサッシ
型材		

【側面図】ランマなし、ハイサッシ、ランマFIX、ランマ引違い

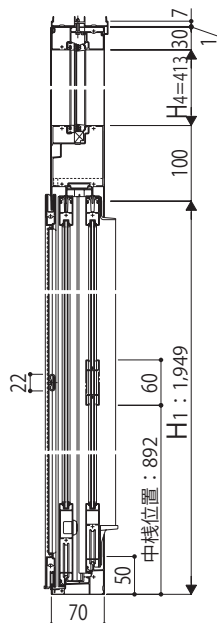
ランマなし・ハイサッシ
正面:1.0~2.0間

開口タイプ	H1	HS	中棧位置
ランマなし	1,949	1,903	892
ハイサッシ	2,149	2,103	908

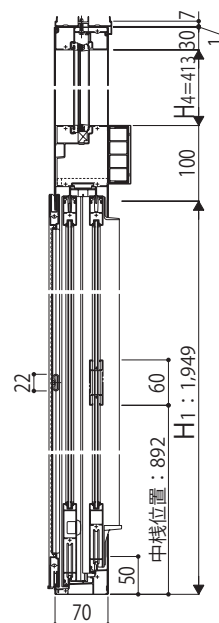
※ハイサッシにはランマ付の設定は無し



ランマFIX
正面:1.0~1.5間

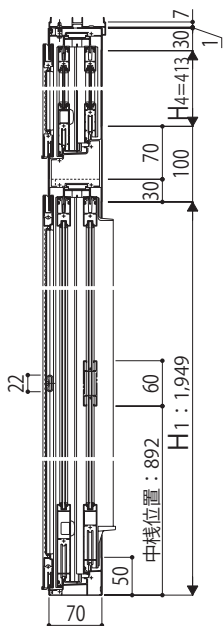


正面:2.0間

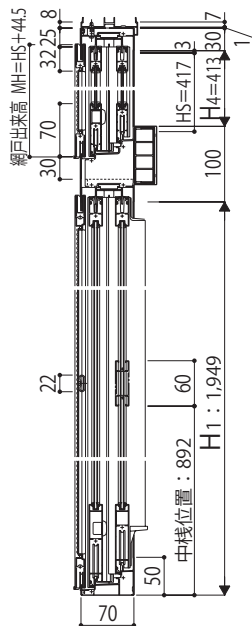


ランマ引違い窓

正面:1.0~1.5間



正面:2.0間




【外下框(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし	ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5~9尺	1.0~2.0間/5~9尺
形材		

【内下框(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし	ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5~9尺	1.0~2.0間/5~9尺
形材		

【中棧(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.6,9尺, 7,8尺
形材	 

【上框(掃出しサッシ(床)):サイズ別対応一覧】

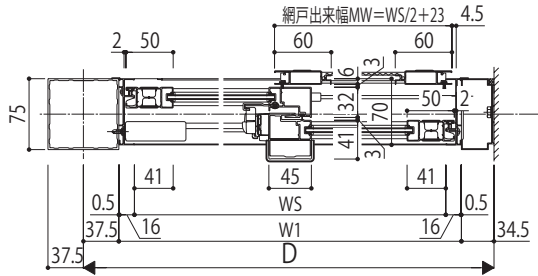
開口タイプ	ランマなし	ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.6,9尺, 7,8尺	1.0~2.0間/5~9尺
形材	 	

(単位: mm)

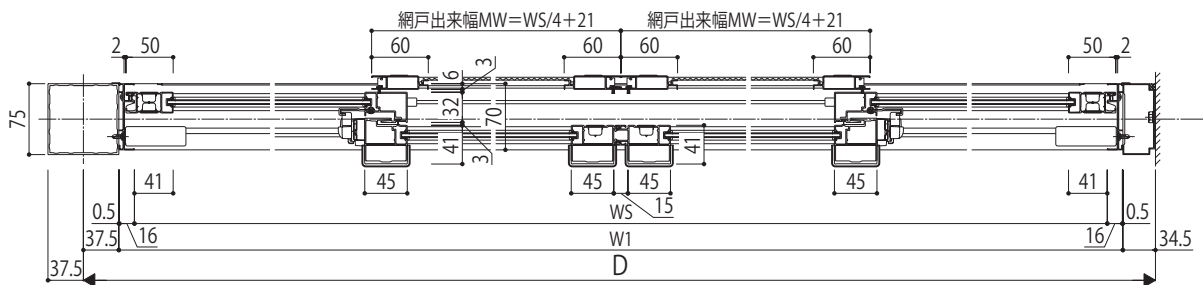
《掃出しサッシ (床) (側面)》

【平面図】 ランマなし、ハイサッシ、ランマFIX

側面:5~8尺
掃出しサッシ(床)2枚建



側面:9尺
掃出しサッシ(床)4枚建



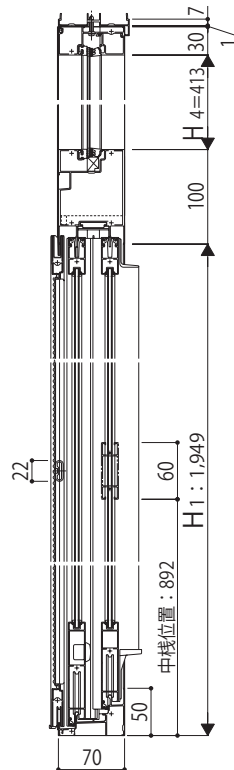
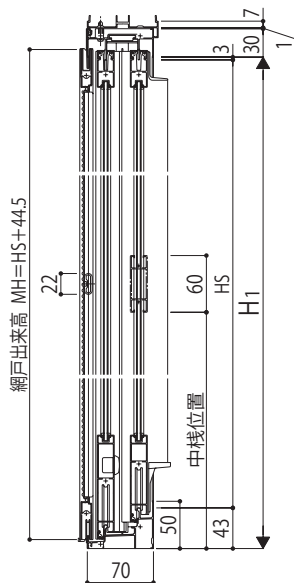
【側面図】 ランマなし、ハイサッシ、ランマFIX

ランマなし・ハイサッシ
側面:5~9尺

ランマFIX
側面:5~9尺

開口タイプ	H1	HS	中棧位置
ランマなし	1,949	1,903	892
ハイサッシ	2,149	2,103	908

※ハイサッシにはランマ付の設定は無し

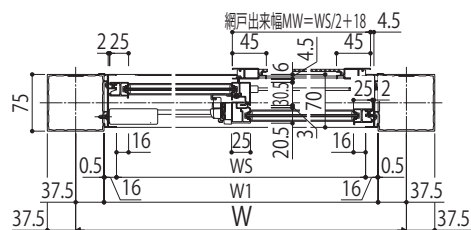


(単位: mm)

《ランマ引違い (正面)》

【平面図】

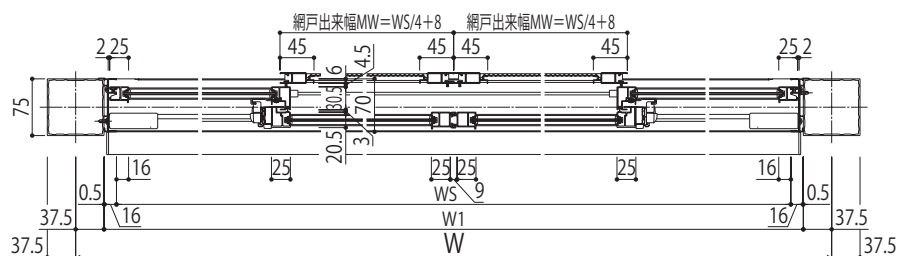
正面:1.0間
ランマ引違い窓 2枚建



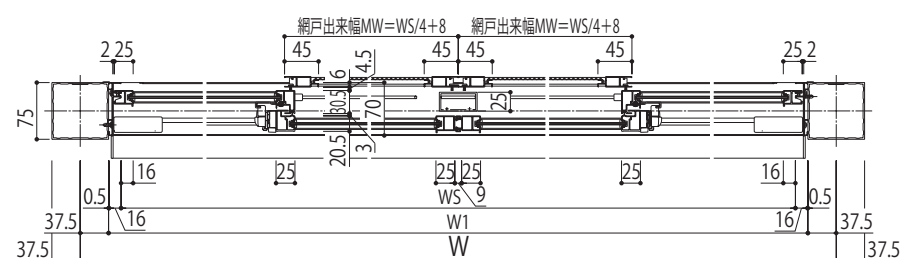
■正面ユニット

呼称間口	W1	WS
1.0間	1,745	1,712
1.5間	2,655	2,622
2.0間	3,565	3,532

正面:1.5間
ランマ引違い窓 4枚建



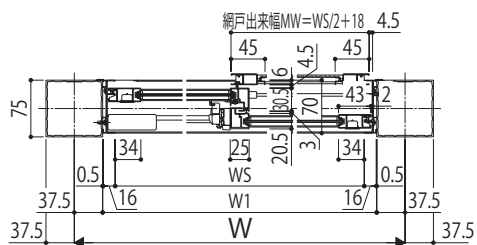
正面:2.0間
ランマ引違い窓 4枚建



《高窓 (正面)》

【平面図】

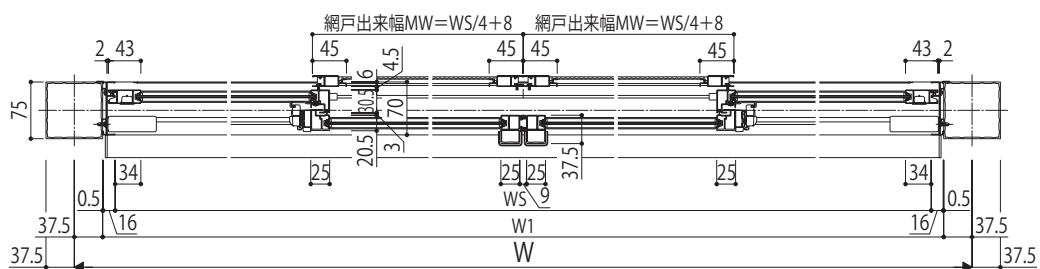
正面:1.0間
高窓2枚建



■正面ユニット

呼称間口	W1	WS
1.0間	1,745	1,712
1.5間	2,655	2,622
2.0間	3,565	3,532

正面:1.5~2.0間
高窓4枚建



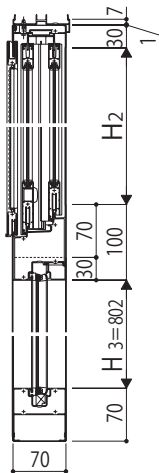
(単位: mm)

【側面図】 ランマなし、ハイサッシ、ランマFIX、ランマ引違い

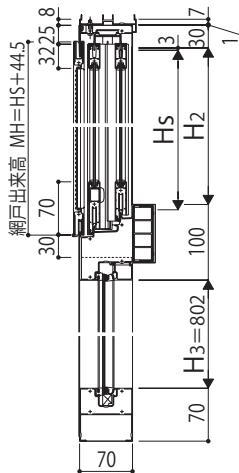
ランマなし・ハイサッシ
正面:1.0~1.5間

開口タイプ	H2	HS
ランマなし	977	981
ハイサッシ	1,177	1,181

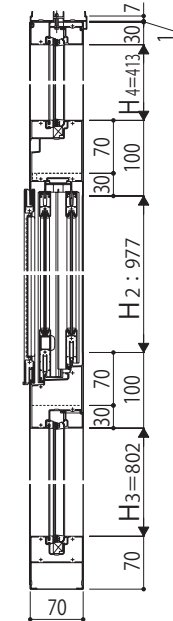
※ハイサッシにはランマ付の設定は無し



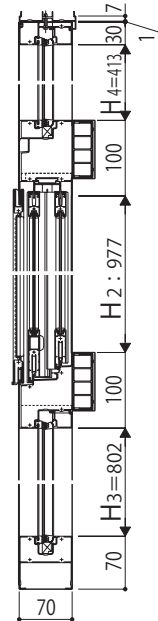
正面:2.0間



ランマFIX
正面:1.0~1.5間

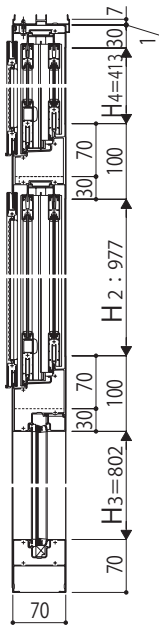


正面:2.0間

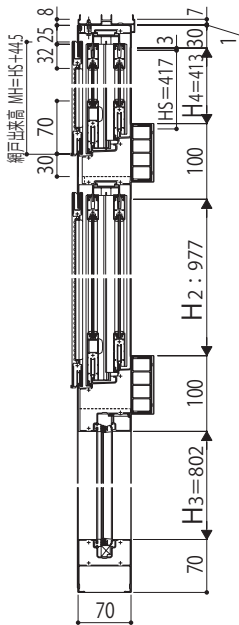


ランマ引違い窓

正面:1.0~1.5間



正面:2.0間



【外下框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5~9尺
型材	

【内下框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.69尺 7.8尺
型材	

【上框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ランマなし/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.69尺 7.8尺
型材	

【上下框(網戸):サイズ別対応一覧】

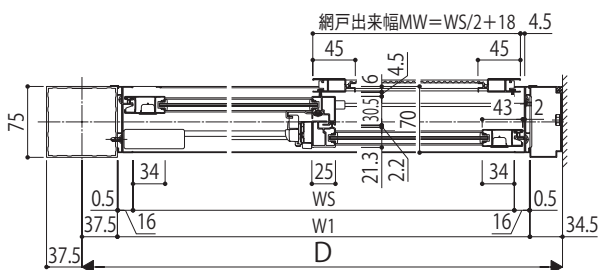
開口タイプ	ランマなし/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.69尺 7.8尺
型材	

(単位: mm)

《高窓(側面)》

【平面図】



側面:3~8尺
高窓2枚建



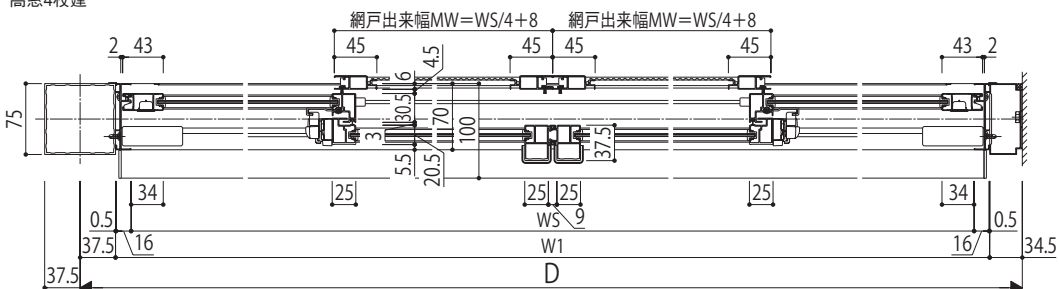
■側面ユニット

呼称出幅	W1	WS
3尺	798	765
4尺	1,098	1,065
5尺	1,398	1,365
6尺	1,698	1,665
7尺	1,998	1,965
8尺	2,298	2,265
9尺	2,598	2,565

【内召合せ框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ハイサッシ	
	ランマなし	ハイサッシ
側面	3~8尺	3.4, 5.6尺
形材		

側面:9尺
高窓4枚建



【側面図】 ランマなし、ハイサッシ、ランマFIX

ランマなし・ハイサッシ

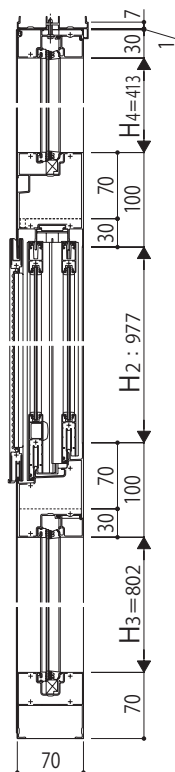
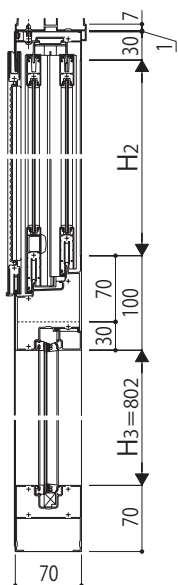
側面:3~9尺

ランマFIX

側面:3~9尺

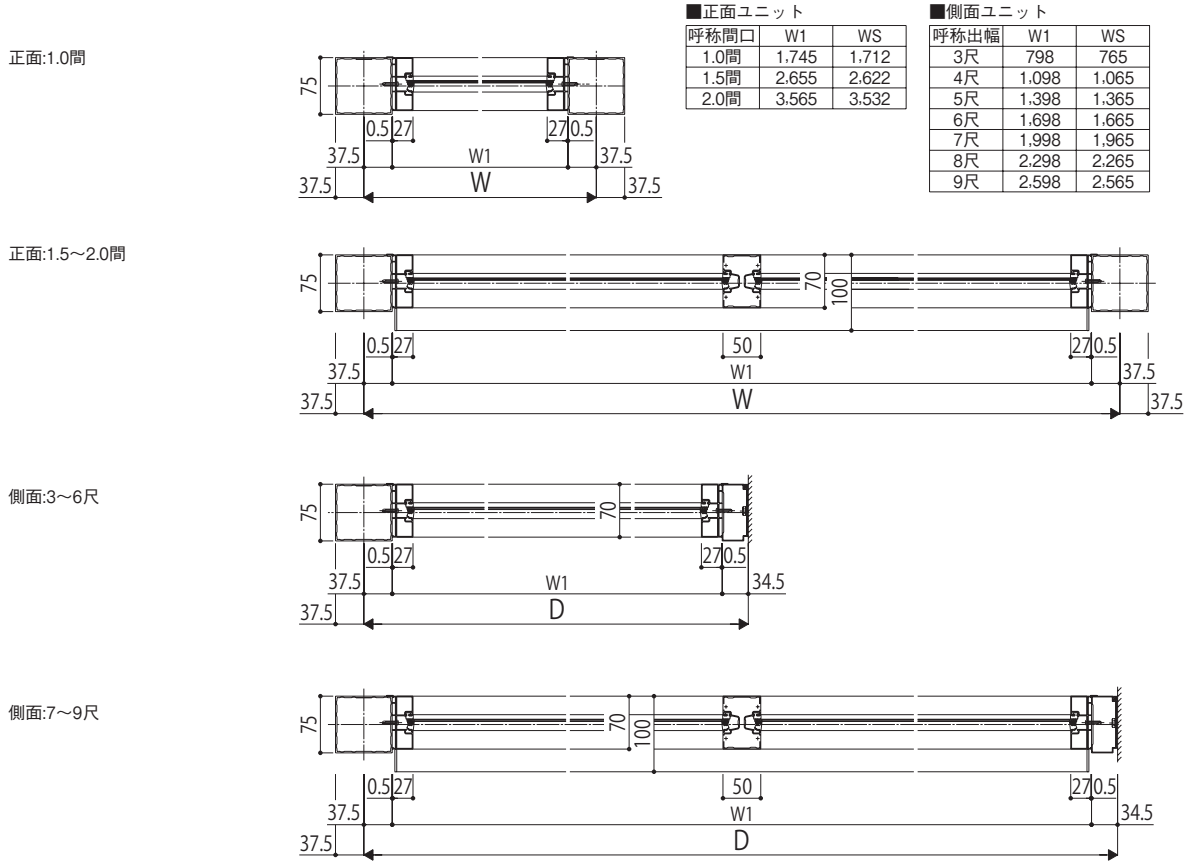
開口タイプ	H2	HS
ランマなし	977	981
ハイサッシ	1,177	1,181

※ハイサッシにはランマ付の設定は無し

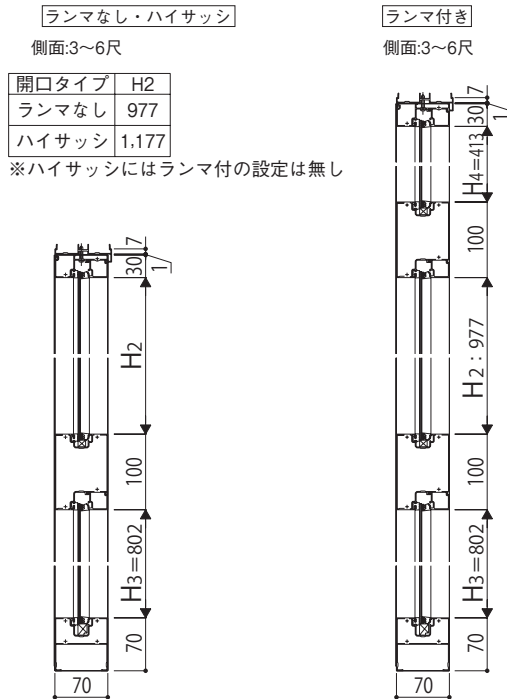


(単位: mm)

《壁FIX・ランマFIX(正面・側面)》 【平面図】

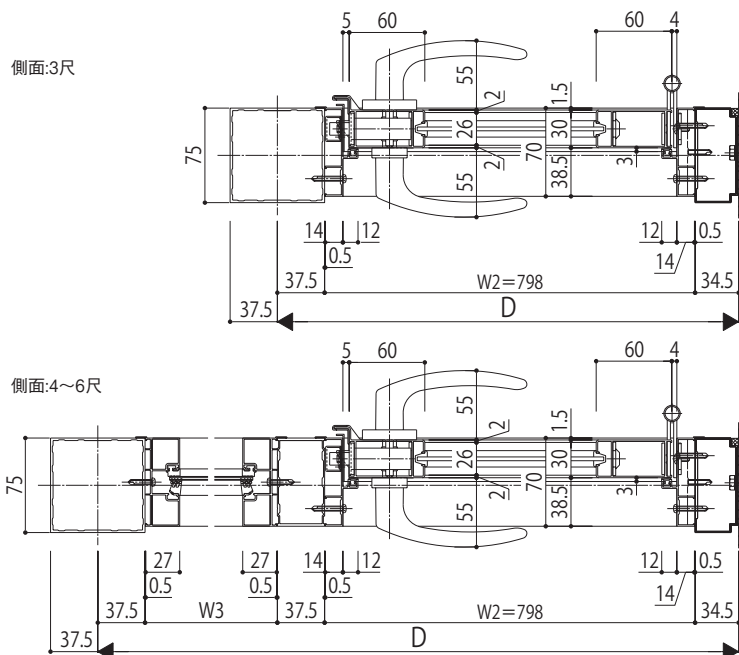


【側面図】



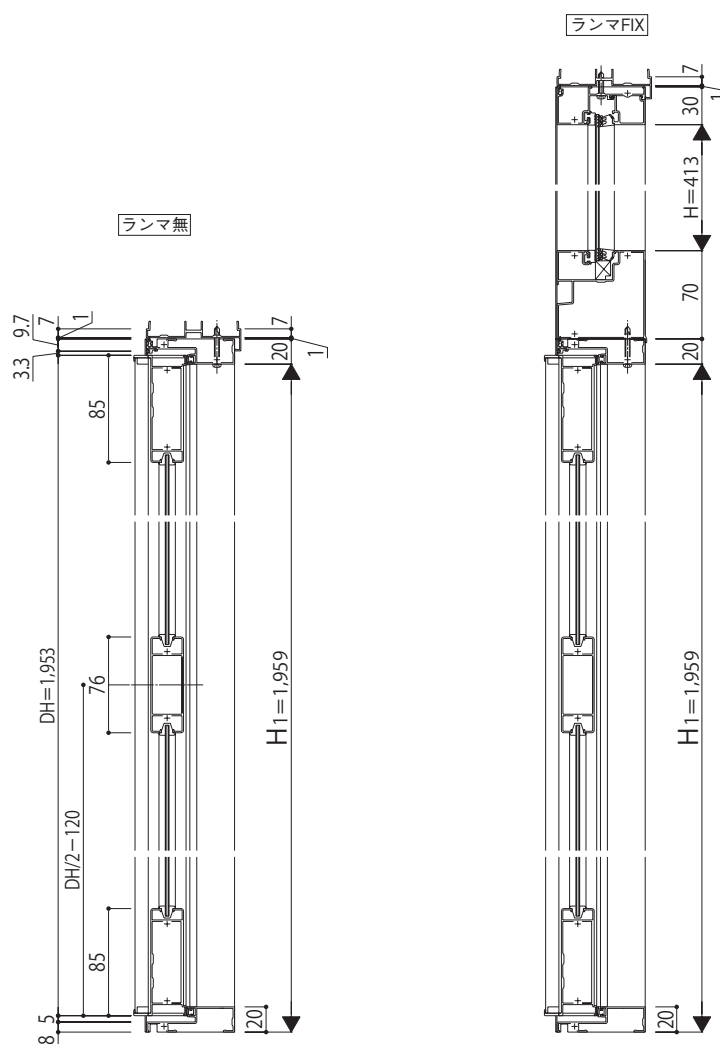
《ドア(側面)》

【平面図】 ランマ無・ランマFIX



呼称出幅	W3
3尺	-
4尺	262.5
5尺	562.5
6尺	862.5

【側面図】



(単位 : mm)

